

平成 30 年

住生活総合調査（速報集計）結果

国土交通省住宅局

目 次

I 調査の概要

調査の概要
用語の解説

II 結果の概要

1. 住宅及び居住環境の評価
2. 最近 5 年間の居住状況の変化に関する事項
3. 今後の住まい方の意向に関する事項
4. 家族構成別に見た住宅及び居住環境の評価と住み替え・改善意向
5. 現住居以外の住宅の所有に関する事項

III 分析表

IV 参考資料

標本抽出方法及び結果の推定方法
大都市圏構成市町村名一覧
平成 30 年住生活総合調査 調査票
平成 30 年住宅・土地統計調査 建物調査票
平成 30 年住宅・土地統計調査 調査票甲

目次（詳細）

I 調査の概要	1
調査の概要	3
用語の解説	9
II 結果の概要	37
1. 住宅及び居住環境の評価.....	39
(1) 住宅及び居住環境に対する評価.....	39
① 住宅及び居住環境に対する総合的な評価.....	39
② 住宅に対する評価.....	40
③ 居住環境に対する評価.....	40
④ 持ち家・借家別の住宅及び居住環境に対する総合的な評価.....	41
⑤ 持ち家・借家別の住宅に対する評価.....	42
⑥ 持ち家・借家別の居住環境に対する評価.....	43
⑦ 持ち家に住む世帯の住宅取得経験別の住宅及び居住環境の総合的な評価.....	44
⑧ 家族構成別の住宅及び居住環境の総合的な評価.....	45
(2) 住宅及び居住環境の評価における個別要素.....	45
① 住宅の個別要素に対する評価.....	46
② 居住環境の個別要素に対する評価.....	47
(3) 住宅及び居住環境に関して重要と思う項目.....	48
(4) 住居費負担に対する評価.....	49
① 住宅ローンのある持ち家	49
② 借家	50
(5) 居住面積水準.....	52
① 所有関係別の居住面積水準	52
② 居住面積水準別の住宅及び居住環境の総合的な評価	52
2. 最近5年間の居住状況の変化に関する事項.....	53
(1) 最近5年間に実施した住み替えの状況.....	53
① 最近5年間に実施した住み替えの主な目的	53
② 最近5年間に実施した住み替えにおける居住形態の変化別の割合.....	54
③ 住み替えの目的別に見た最近5年間の居住形態の変化別の割合.....	54
④ 最近5年間に実施した持ち家への住み替えにおける住宅の取得方法.....	55
(2) 最近5年間に実施した住み替えの満足度.....	56
① 広さや部屋数.....	56
② 収納の多さ、使い勝手・水回りの広さ、使い勝手.....	56
③ 維持管理のしやすさ.....	57
④ 換気のよさ(臭いや煙などが残らない)、日当たり、断熱性	57
⑤ 住居費負担	58
⑥ 災害時の避難のしやすさ.....	58
⑦ 治安	59

⑧ 福祉・介護の生活支援サービス.....	59
⑨ 通勤・通学の利便.....	60
⑩ 日常の買物などの利便、医療・福祉・文化施設など.....	60
3. 今後の住まい方の意向に関する事項.....	61
(1) 今後の住み替え・改善意向.....	61
① 今後の住み替え意向.....	61
② 今後の居住形態.....	62
③ 今後の住み替え方法.....	62
(2) 今後の住み替え・改善の実現時期.....	64
① 持ち家に住む世帯の将来の住み替え時期.....	64
② 借家に住む世帯の将来の住み替え時期.....	64
③ 将来のリフォーム時期.....	65
(3) 今後 5 年以内における住み替え・改善意向.....	66
① 今後 5 年以内の住み替え・改善意向.....	66
② 家族構成別の今後 5 年以内の住み替え意向.....	67
③ 住み替えの目的（複数回答・主なもの）.....	68
④ 今後 5 年以内の住み替え意向における居住形態の変化別の割合.....	69
⑤ 今後 5 年以内のリフォーム意向を持つ世帯の考えている工事内容.....	70
(4) 今後 5 年以内の住み替えの課題.....	71
① 住み替えの課題.....	71
② 住み替え先別の住み替えの課題.....	73
(5) 今後 5 年以内の改善の課題.....	74
① リフォームの課題.....	74
② 建て替えの課題.....	74
(6) 今後の住み替え意向のない世帯.....	75
① 住み替え意向のない理由.....	75
② 今後の住み替え意向の有無別現在の住宅の点検等の依頼先（持ち家）.....	76
③ 今後の改善の意向の有無別現在の住宅の点検等の依頼先（持ち家）.....	76
4. 家族構成別に見た住宅及び居住環境の評価と住み替え・改善意向.....	77
(1) 子育て世帯の住まい方.....	77
① 家族構成別の居住面積水準.....	77
② 子育て世帯の住宅及び居住環境の総合的な評価.....	78
③ 住宅及び居住環境に関して子育てのために最も重要と思う項目.....	78
④ 家族構成別に見た持ち家世帯の今後 5 年以内の住み替え・改善意向.....	81
⑤ 親と子からなる世帯の住み替えの目的.....	81
⑥ 子育て世帯の住み替えの課題.....	82
(2) 高齢期の住まい方.....	83
① 高齢者世帯における子との住まい方別の総合的な評価.....	83
② 高齢単身世帯及び夫婦世帯が考える住宅及び居住環境に関して重要と思う項目 ...	83
③ 家計主の年齢別持ち家世帯の住み替え・改善意向.....	85

④ 高齢単身世帯及び夫婦世帯の改善の目的.....	85
⑤ 高齢期における子との住まい方（距離）の希望.....	86
⑥ 高齢期における住み替え後の居住形態の意向.....	87
⑦ 高齢期における住み替えの課題.....	89
⑧ 家計主の年齢別の今後の住み替え意向のない理由.....	90
⑨ 高齢期の住みやすさが目的の住み替え意向がある世帯割合.....	91
⑩ 高齢期の住みやすさが目的の改善意向がある世帯割合.....	92
(3) 要介護者等のいる世帯の住まい方.....	93
① 要介護者等のいる住宅及び居住環境の総合的な評価.....	93
② 要介護者等のいる世帯の住み替え・改善意向.....	93
5. 現住居以外の住宅の所有に関する事項.....	94
(1) 現住居以外に所有している住宅.....	94
① 現住居以外の住宅の所有の状況.....	94
② 現住居以外で所有している住宅の居住世帯の有無.....	94
③ 現住居以外に所有している住宅の種類.....	95
(2) 将来の住宅相続.....	96
① 住宅を相続する可能性.....	96
② 相続可能性のある住宅の利用意向.....	97
6. 地域別集計	98
(1) 地域類型別の住まい方.....	98
① 居住形態	98
② 家族構成	99
(2) 現住居の地域類型別に見た住宅及び居住環境の評価.....	99
① 住宅及び居住環境の総合的な評価.....	99
② 住宅及び居住環境の個別要素に対する評価.....	100
③ ニュータウンにおける居住環境の個別要素に対する評価.....	101
③ 住宅及び居住環境の評価に関して重要と思う項目	102
Ⅲ 分析表	103
表 1 住宅及び居住環境に対する総合的な評価.....	105
表 2 各要素の満足度及び重要度.....	106
表 3 住宅タイプ別、住居費負担に対する評価.....	107
表 4 居住面積水準.....	108
表 5 最近の住み替えの目的（最近5年以内に住み替えた世帯）	109
表 6 最近5年間の住み替え実施世帯における居住形態の変化別の割合.....	110
表 7 住み替えの目的別に見た最近5年間の居住形態の変化別の割合.....	111
表 8 最近5年間に持ち家に住み替えた世帯の住宅の取得方法.....	112
表 9 最近5年間に実施した住み替えの目的別満足度.....	113
表 10 今後の住み替え意向.....	114
表 11 住み替え後の居住形態（今後の住み替え意向のある世帯）	115

表 12	建築時期別住み替え・改善の実現時期（今後の住み替え意向のある世帯）	116
表 13	今後の居住形態の変化.....	117
表 14	今後のリフォームの内容.....	118
表 15	今後 5 年以内の住み替え先別の住み替えの課題.....	119
表 16	今後 5 年以内の改善（リフォーム・建て替え）の課題.....	120
表 17	今後の住み替え意向のない理由.....	121
表 18	今後の住み替え意向の有無別の現在の住宅の点検等の依頼先（持ち家）..	122
表 19	子育て世帯・高齢者世帯における各要素の重要度.....	123
表 20	持ち家世帯における今後 5 年以内の住み替え・改善意向.....	124
表 21	住み替え意向のある世帯における住み替えの目的.....	125
表 22	住み替え先別の住み替えの課題.....	126
表 23	今後の住み替え・改善意向.....	127
表 24	改善意向のある世帯における改善の目的.....	128
表 25	高齢期における子との住まい方.....	129
表 26	住み替え後の居住形態に関する意向.....	130
表 27	高齢期の住みやすさが目的の住み替え意向がある世帯割合.....	131
表 28	高齢期の住みやすさが目的の改善意向がある世帯割合.....	132
表 29	現住居以外の住宅の所有の状況.....	133
表 30	現住居以外で所有している住宅の居住世帯の有無.....	134
表 31	現住居以外の住宅を「所有している」住宅の種類.....	135
表 32	住宅を相続する可能性.....	136
表 33	相続する可能性のある住宅の利用意向.....	137
表 34	地域類型別の属性.....	138
表 35	地域類型別各要素の不満率、重要と思う割合.....	139
表 36	ニュータウンに居住する世帯の住環境の評価の個別要素に対する不満率..	140

IV	参考資料	141
	標本抽出方法及び結果の推定方法.....	143
	大都市圏構成市町村名一覧.....	147
	平成 30 年住生活総合調査 調査票.....	157
	平成 30 年住宅・土地統計調査 建物調査票.....	161
	平成 30 年住宅・土地統計調査 調査票甲.....	162

I 調査の概要

調 査 の 概 要

調査の目的

住生活総合調査は、全国の普通世帯の住宅及び居住環境に対する評価、住み替え・改善意向の有無と内容、住み替え・改善の実態等を把握することにより、住宅政策の基礎的資料を得ることを目的とする。

調査の沿革

本調査は、平成 15 年までは、「住宅需要実態調査」として継続的に実施してきたもので、昭和 48 年以降は、住宅や世帯の実態を把握する住宅・土地統計調査（総務省実施）と同年に、5 年周期で実施してきた。

平成 20 年調査から、住宅・土地統計調査との連携を強化し「住生活総合調査」と名称を改め実施しており、平成 30 年調査においては、住生活を取り巻く環境の変化への対応や回答者負担の軽減等を図る観点から、質問事項の見直し等を進めた。

調査の対象

平成 30 年住宅・土地統計調査の調査対象世帯のうち普通世帯から、無作為に抽出した世帯とした。

調査の時期

平成 30 年 12 月 1 日現在によって実施した。

調査項目

平成 30 年住生活総合調査では、次に掲げる事項を調査した。

(1) 住宅及び居住環境の評価に関する事項

- 住宅及び居住環境の総合満足度
- 住宅の総合満足度
- 居住環境の総合満足度
- 住宅の各要素の満足度
- 居住環境の各要素の満足度
- 住宅及び居住環境の各要素の重要度

(2) 最近の住み替えに関する事項

- 住み替えの目的
- 住み替え費用
- 従前住宅の居住期間
- 従前住宅の床面積

(3) 今後の住み替え・改善に関する事項

今後の住み替え意向
住み替えの目的
住み替えの時期
住み替え後の居住形態
住み替え上の課題
住み替えの意向のない理由
現在の住宅の処分方法
今後の改善意向
改善の目的
改善の時期
改善の内容
改善上の課題

(4) 高齢期における子との住まい方

(5) 世帯の住居費等に関する事項

住居費負担についての評価
月あたりの住宅ローン返済額

(6) 要介護認定に関する事項

(7) 住宅の維持管理に関する事項

点検等の依頼先
持家の共同住宅の管理費等

(8) 相続する可能性のある住宅

建て方
現住所からの所要時間
公共交通機関との距離
建築の時期
活用意向

また、平成 30 年住宅・土地統計調査が調査した事項のうち、次に掲げる事項を利用した。

〈世帯に配布する調査〉

(1) 世帯に関する事項

種類
構成
年間収入

(2) 家計を主に支える世帯員又は世帯主に関する事項

従業上の地位
通勤時間
子の住んでいる場所
現住居に入居した時期
前住居に関する事項

(3) 住宅に関する事項

居住室の数及び広さ

所有関係に関する事項

床面積

建築時期

設備に関する事項

家賃又は間代等に関する事項

増改築及び改修工事に関する事項

(4) 現住居の敷地に関する事項

敷地の所有関係に関する事項

敷地面積

〈調査員が記入する建物調査〉

(1) 住宅に関する事項

種類

(2) 建物に関する事項

建て方

構造

腐朽・破損の有無

建物全体の階数

設備に関する事項

調査の方法

本調査は、次に掲げる方法によって行った。

調査の流れ

平成 30 年住生活総合調査は、国（国土交通省住宅局）－民間事業者－世帯の流れによって行った。

調査の実施

調査員は平成 30 年 11 月 24 日から平成 30 年 11 月 30 日までの間に、調査区内の抽出された調査対象世帯に調査票等のポスティングを行った。

また、調査票は郵送またはオンラインで受け付け、事務局が調査に関する問い合わせ対応を行った。

標本の抽出

平成 30 年住宅・土地統計調査と同様に、平成 27 年国勢調査の調査区を第 1 次抽出単位、調査区内の世帯を第 2 次抽出単位とする層化二段抽出方法により、調査区として 9,269 を抽出し、さらに、それらの調査区毎に、平成 30 年住宅・土地統計調査で調査対象となった住戸から 8 戸を系統抽出した（詳細は参考資料を参照）。

注 1）層化抽出法：母集団をいくつかの部分母集団に分割し、各部分母集団から標本を抽出する方法。

注 2）系統抽出法：全ての抽出単位に番号を付け、ある出発点から等間隔に個体を抽出することにより標本抽出を行う方法。

調査票の回収

本調査の対象世帯数、回収世帯数及び集計対象世帯数は、次のとおりである。ここで、対象世帯数は、標本抽出方法によって抽出された対象のうち実際に調査票を配布できた世帯数である。集計世帯数は、回収世帯のうち平成 30 年住宅・土地統計調査結果と連結できた世帯である。

対象世帯数：93,586

回収世帯数：47,898（回収率 52.7%）

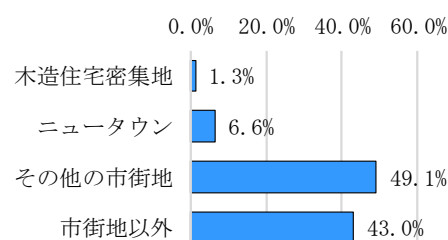
集計世帯数：46,868

また、本調査の回答者（集計世帯の世帯の家計を主に支える人）の基本属性は次のとおりである。

■地域

(千世帯)

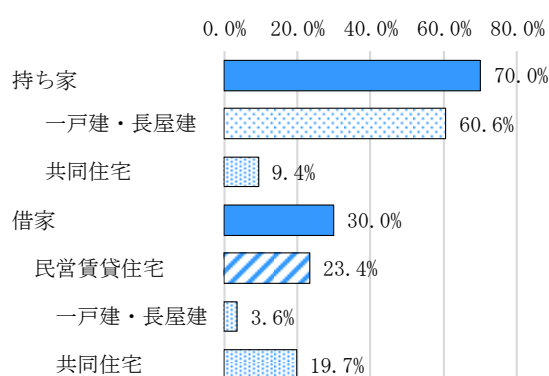
総計	100.0%	(54,001)
木造住宅密集地	1.3%	(715)
ニュータウン	6.6%	(3,540)
その他の市街地	49.1%	(26,507)
市街地以外	43.0%	(23,239)



■住宅タイプ（主世帯）

(千世帯)

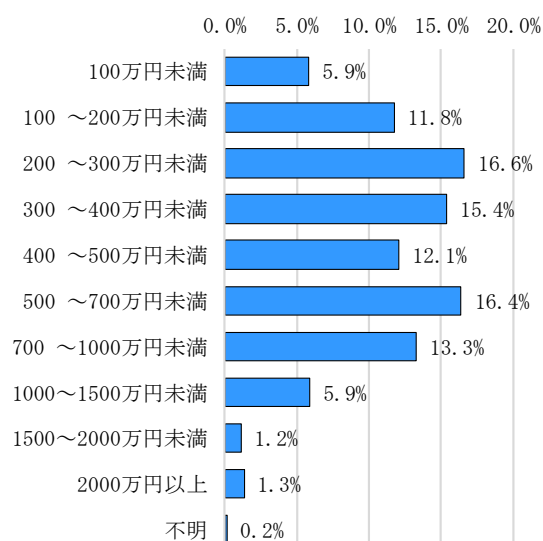
総計	100.0%	(53,739)
持ち家	70.0%	(37,620)
一戸建・長屋建	60.6%	(32,560)
共同住宅	9.4%	(5,029)
借家	30.0%	(16,105)
民営賃貸住宅	23.4%	(12,572)
一戸建・長屋建	3.6%	(1,950)
共同住宅	19.7%	(10,605)



■世帯年収

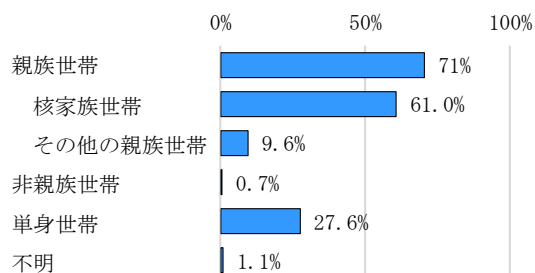
(千世帯)

総計	100.0%	(54,001)
100万円未満	5.9%	(3,165)
100～200万円未満	11.8%	(6,348)
200～300万円未満	16.6%	(8,985)
300～400万円未満	15.4%	(8,308)
400～500万円未満	12.1%	(6,528)
500～700万円未満	16.4%	(8,863)
700～1000万円未満	13.3%	(7,174)
1000～1500万円未満	5.9%	(3,192)
1500～2000万円未満	1.2%	(622)
2000万円以上	1.3%	(729)
不明	0.2%	(87)



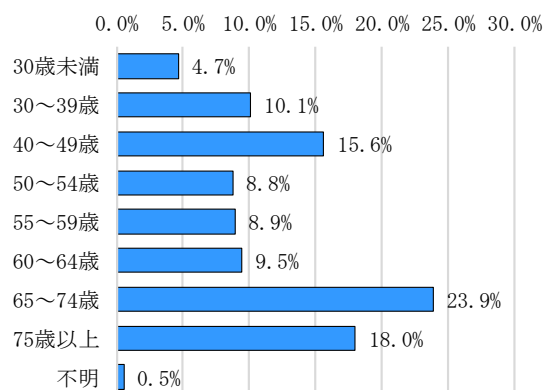
■家族構成 (千世帯)

総計	100.0%	(54,001)
親族世帯	71%	(38,119)
核家族世帯	61.0%	(32,914)
その他の親族世帯	9.6%	(5,205)
非親族世帯	0.7%	(369)
単身世帯	27.6%	(14,926)
不明	1.1%	(588)



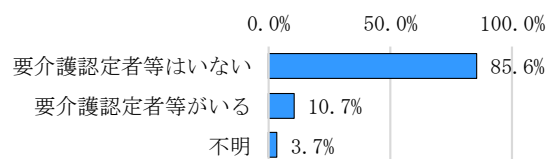
■家計を主に支える者の年齢 (千世帯)

総計	100.0%	(54,001)
30歳未満	4.7%	(2,521)
30～39歳	10.1%	(5,461)
40～49歳	15.6%	(8,450)
50～54歳	8.8%	(4,733)
55～59歳	8.9%	(4,821)
60～64歳	9.5%	(5,106)
65～74歳	23.9%	(12,893)
75歳以上	18.0%	(9,728)
不明	0.5%	(288)



■要介護認定者の有無 (千世帯)

総計	100.0%	(54,001)
要介護認定者等はいない	85.6%	(46,249)
要介護認定者等がいる	10.7%	(5,753)
不明	3.7%	(2,000)



集計及び結果の公表

平成30年住生活総合調査の結果は、平成30年住宅・土地統計調査（総務省）の住宅及び世帯に関する基本集計の結果と連結して集計した。その際、平成30年住宅・土地統計調査における推計世帯数をベンチマークとする比推定により、住宅・土地統計調査結果の推計世帯数に合致するように推定した（詳細は参考資料を参照）。

その結果については、令和2年1月に調査結果（速報）を公表した。

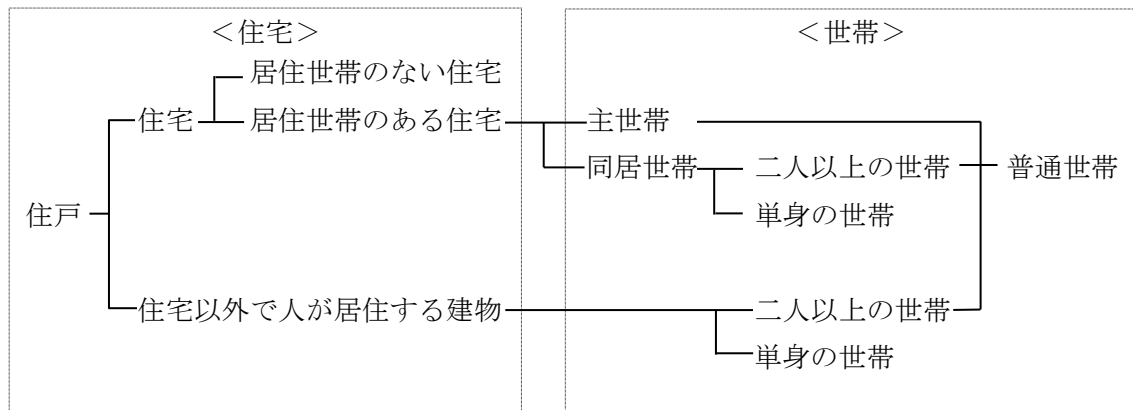
今後、平成30年住宅・土地統計調査（総務省）の住宅の構造等に関する集計の結果と連結して集計し、令和2年9月に調査結果（確報）を公表予定。

用語の解説

☆平成30年住生活総合調査の調査事項。○平成30年住宅・土地統計調査の調査事項。

★平成30年住生活総合調査の調査事項及び平成30年住宅・土地統計調査の調査事項を用いて独自に集計する事項。

<住 宅>



住 戸 ★

住戸とは「住宅」と「住宅以外の建物」の総称である

住宅、住宅以外で人が居住する建物 ○

住 宅

一戸建の住宅やアパートのように完全に区画された建物の一部で、一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができるように建築又は改造されたものをいう。

ここで、「完全に区画された」とは、コンクリート壁や板壁などの固定的な仕切りで、同じ建物の他の部分と完全に遮断されている状態をいう。

また、「一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる」とは、次の四つの設備要件を満たしていることをいう。

- ①一つ以上の居住室
 - ②専用の炊事用流し(台所)
 - ③専用のトイレ
 - ④専用の出入口
- ... 共用であっても、他の世帯の居住部分を通らずに、いつでも使用できる状態のものを含む。
- 屋外に面している出入口又は居住者やその世帯への訪問者がいつでも通れる共用の廊下などに面している出入口

なお、いわゆる「廃屋」については、そのままではそこで家庭生活を営むことが困難なことから、この調査では住宅としていない。

住宅以外で人が居住する建物 ○

住宅以外の建物でも、ふだん人が居住していれば調査の対象とした。

住宅以外で人が居住する建物の種類を次のとおり区分した。

区分	内容
会社等の寮・寄宿舍	会社・官公庁・団体の独身寮などのように、生計を共にしない単身の従業員をまとめて居住させる建物
学校等の寮・寄宿舍	学校の寄宿舍などのように、生計を共にしない単身の学生・生徒をまとめて居住させる建物
旅館・宿泊所	旅館や宿泊所・保養所などのように、旅行者など一時滞在者の宿泊のための建物
その他の建物	下宿屋、社会施設・病院・工場・作業場・事務所などや、建設従業者宿舎のように臨時応急的に建てられた建物で、住宅に改造されていない建物

住宅の種類 ○

住宅をその用途により、次のとおり区分した。

専用住宅

居住の目的だけに建てられた住宅で、店舗、作業場、事務所など業務に使用するために設備された部分がない住宅

店舗その他の併用住宅

商店、飲食店、理髪店、医院などの業務に使用するために設備された部分と居住の用に供せられる部分とが結合している住宅や農業、林業、狩猟業、漁業又は水産養殖業の業務に使用するために設備された土間、作業場、納屋などの部分と居住の用に供せられる部分とが結合している住宅

住宅の建て方 ○

住宅の建て方を次のとおり区分した。

区分	内容
一戸建	一つの建物が1住宅であるもの
長屋建	二つ以上の住宅を一棟に建て連ねたもので、各住宅が壁を共通にし、それぞれ別々に外部への出入口をもっているもの いわゆる「テラスハウス」と呼ばれる住宅もここに含まれる。
共同住宅	一棟の中に二つ以上の住宅があり、廊下・階段などを共用しているものや二つ以上の住宅を重ねて建てたもの 1階が店舗で、2階以上に二つ以上の住宅がある建物も含む。
その他	上記のどれにも当てはまらないもの 例えば、工場や事務所などの一部に住宅がある場合

建物の構造 ○

建物の構造を次のとおり区分した。

なお、二つ以上の構造から成る場合は、床面積の広い方の構造によった。

区分		内容
木造	木造（防火木造を除く）	建物の主な構造部分のうち、柱・はりなどの骨組みが木造のもの ただし、「防火木造」に該当するものは含めない。
	防火木造	柱・はりなどの骨組みが木造で、屋根や外壁など延焼のおそれのある部分がモルタル、サイディングボード、瓦、トタンなどの防火性能を有する材料でできているもの
非木造	鉄筋・鉄骨コンクリート造	建物の骨組みが鉄筋コンクリート造、鉄骨コンクリート造又は鉄筋・鉄骨コンクリート造のもの
	鉄骨造	建物の骨組みが鉄骨造（柱・はりが鉄骨のもの）のもの
	その他	上記以外のもので、例えば、ブロック造、レンガ造などのもの

建物の階数 ○

建物全体の地上部分の階数をいう（したがって、地階は含めない。）。

なお、中2階や屋根裏部屋は階数に含めない。

建築の時期 ○

人が居住する住宅の建築の時期をいう。住宅の建築後、増改築や改修工事等をした場合でも初めに建てた時期を建築の時期とした。ただし、増改築や改修工事等をした部分の面積が、増改築や改修工事等後の住宅の延べ面積の半分以上であれば、増改築や改修工事等をした時期を建築の時期とした。

なお、むね数の集計における「建築の時期」とは、一棟の中に二つ以上の住宅がある場合、建物内の各住宅の建築の時期のうち最も多いものを、当該建物の建築の時期とした。

住宅の所有の関係 ○

人が居住する住宅について、所有の関係を次のとおり区分した。

区分		内容
持ち家		そこに居住している世帯が全部又は一部を所有している住宅 最近建築、購入又は相続した住宅で、登記がまだ済んでいない場合やローンなどの支払が完了していない場合も「持ち家」とした。また、親の名義の住宅に住んでいる場合も「持ち家」とした。
借家	公営の借家	都道府県・市区町村が所有又は管理する賃貸住宅で、「給与住宅」でないもの。いわゆる「県営住宅」、「市営住宅」などと呼ばれているもの。
	都市再生機構（UR）・公社の借家	都市再生機構（UR）又は都道府県・市区町村の住宅供給公社・住宅協会・開発公社などが所有又は管理する賃貸住宅で、「給与住宅」でないもの。いわゆる「UR 賃貸住宅」、「公社住宅」などと呼ばれているもの。 ※高齢・障害・求職者雇用支援機構の雇用促進住宅（移転就職者用宿舎）も含む

	民営借家	「公営の借家」、「都市再生機構（UR）・公社の借家」及び「給与住宅」でないもの
	給与住宅	勤務先の会社・官公庁・団体などが所有又は管理していて、職務の都合上又は給与の一部として居住している住宅 いわゆる「社宅」、「公務員住宅」などと呼ばれているもの。 ※家賃の支払の有無を問わず、また、勤務先の会社又は雇主が借りている一般の住宅に、その従業員が住んでいる場合を含む

住宅タイプ（居住形態） ★

現在の居住形態を、居住する建物が住宅か否か、主世帯・同居世帯の別、住宅の所有関係、建て方によって、次のとおり区分した。



なお、持家の共同住宅、借家の非木造の共同住宅については、建物の階数によってさらに区分した。

居住室数及び居住室の畳数 ○

(1) 居住室数

居住室とは、居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、仏間、食事室など居住用の室をいう。したがって、玄関、台所（炊事場）、トイレ、浴室、廊下、農家の土間など、また、店、事務室、旅館の客室など営業用の室は含めない。

ただし、ダイニング・キッチン（食事室兼台所）は、流しや調理台などを除いた広さが3畳以上の場合は居住室とした。

また、同居世帯がある場合には、その世帯が使用している居住室も室数も含めた。

(2) 居住室の畳数

畳数は、上に述べた各居住室の畳数の合計をいう。洋室など畳を敷いていない居住室も、3.3㎡を2畳の割合で畳数に換算した。

最近の居住室畳数の増減 ★

最近 5 年以内に住み替えた世帯の居住室全体の畳数の増減について、住宅・土地統計調査による前住居と現住居の床面積と比較した増減を区分した。

住宅の延べ面積 ○

人が居住する住宅における、各住宅の床面積の合計をいう。この延べ面積には、居住室の床面積のほか、その住宅に含まれる玄関、台所、トイレ、浴室、廊下、農家の土間、押し入れなどや店、事務室など営業用に使用している部分の面積も含めた。ただし、別棟の物置・車庫の面積や商品倉庫・作業場など営業用の附属建物の面積は含めない。

アパートやマンションなど共同住宅の場合は、共同で使用している廊下、階段などの面積を除いたそれぞれの住宅の専用部分の床面積とした。

台所の型 ○

台所の型について、次のとおり区分した。

区分	内容
専用台所	その住宅専用の台所 主世帯と同居世帯が同じ台所を共同で使用している場合も含む。
独立の台所 (K)	他の室と間仕切りされている独立の台所
食事室兼用 (DK)	台所兼食事室のように台所と食事室が間仕切りされていない台所 例えば、ダイニング・キッチンなど
食事室・居間兼用 (LDK・LK)	台所・食事室・居間が間仕切りされていない台所 例えば、リビング・ダイニング・キッチン、リビング・キッチンなど
その他と兼用	上記以外の兼用の台所 例えば、いわゆる「ワンルームマンション」のように居住室が 1 室だけの住宅で、間仕切りされていない台所など
共用台所	アパートなどで、他の住宅の世帯と共同で使用している台所

高齢者等のための設備状況 ○

バリアフリー化住宅

人が居住する住宅について、バリアフリー化の状況を次のとおり区分した。

一定のバリアフリー化

高齢者等のための設備等のうち、以下のいずれかに該当すること

- ・ 2 箇所以上の手すりの設置
- ・ 段差のない屋内

高度のバリアフリー化

高齢者等のための設備等のうち、以下のいずれにも該当すること

- ・ 2 箇所以上の手すりの設置
- ・ 段差のない屋内
- ・ 廊下などが車いすで通行可能な幅

人が居住する住宅について、高齢者等のための設備・構造を次のとおり区分した。

区分	内容
高齢者等のための設備がある	以下の設備がある
手すりがある	高齢者などが住宅内でバランスを崩して転倒したりしないよう安全に生活するために手すりが設置されている場合 また、手すりの設置場所について、次のとおり区分した。 (1) 玄関、(2) トイレ、(3) 浴室、(4) 脱衣所、(5) 廊下、(6) 階段、(7) 居住室、(8) その他
またぎやすい高さの浴槽	浴槽のまたぎ込みの高さ（洗い場から浴槽の縁までの高さ）が高齢者や身体障害者などに配慮されている場合 なお、高齢者の場合は、約 30～50cm をまたぎやすい高さとした。
廊下などが車いすで通行可能な幅	廊下や部屋の入口の幅が約 80cm 以上ある場合
段差のない屋内	高齢者などが屋内で段差につまずいて転倒したりしないよう設計されている場合 なお、玄関の“上がりかまち”や階段は、ここでのいう段差に含めない。
道路から玄関まで車いすで通行可能	敷地に接している道路から玄関口までに、高低差や障害物などがなく、車いすで介助を必要とせず通れる場合 なお、高低差等がある場合でも、緩やかな傾斜路（スロープ）などが設置され、車いすで通れる場合はここに含めた。
高齢者等のための設備がない	上記の設備がない

省エネルギー設備等 ○

人が居住する住宅について、省エネルギー設備を次のとおりとした。

太陽熱を利用した温水機器等

水を屋根の上に引き上げて太陽の熱で温め、そのお湯を浴室や台所の給湯に利用するシステムのほか、太陽の日差しで暖められた屋根裏の空気をファンで床下に流して住宅全体を暖房するシステム

太陽光を利用した発電機器

屋根の上に乘せた集光板によって太陽光を集め、これを電力に換えて用いる機器

二重以上サッシ又は複層ガラスの窓

(1) 二重以上のサッシ

外窓と内窓が二重以上の構造となった窓（内側が障子の場合を含めない。）

(2) 複層ガラスの窓

複数枚のガラスを組み合わせ、すき間に空気層を作ることによって断熱効果をもたせた窓

腐朽・破損の有無 ○

住宅の主要な構造部分（壁・柱・床・はり・屋根等）やその他の部分の腐朽・破損の有無について、次のとおり区分した。

腐朽・破損あり

建物の主要部分やその他の部分に不具合があるもの。例えば、外壁がところどころ落ちていたり、壁や基礎の一部にひびが入っていたり、かわらが一部はずれているものや、雨どいが破損してひさしの一部が取れている場合など。

腐朽・破損なし

建物の主要部分やその他の部分に損傷がないもの。

エレベーターの有無等 ○

「共同住宅」について、エレベーターの有無等を次のとおり区分した。

区分	内容
エレベーターあり	
ドアの一部がガラス張り	エレベーターの中の様子について、ドアが閉まっても外から確認できる場合
防犯カメラの設置	エレベーター内に防犯カメラを設置している場合 なお、本物のように見せかけたカメラの場合もここに含めた。
これらの設備はない	エレベーターに上記のどちらの設備もない場合
エレベーターなし	

高齢者対応型共同住宅 ○

共同住宅のうち、その敷地に接している道路から共同住宅の各住宅の入口まで、介助なしに車いすで行ける構造になっている場合で、次の三つの要件をおおむね満たしているもの

- ① 道路から建物内まで高低差がある場合は、傾斜路が設置してあること。
- ② エレベーターの入口の幅が 80cm 以上あり、乗り場のボタン及びエレベーター内の操作盤が、車いす利用者に配慮した設計になっていること。
- ③ 共用の廊下に段差がなく、その幅が 140cm 以上あること。

オートロック ○

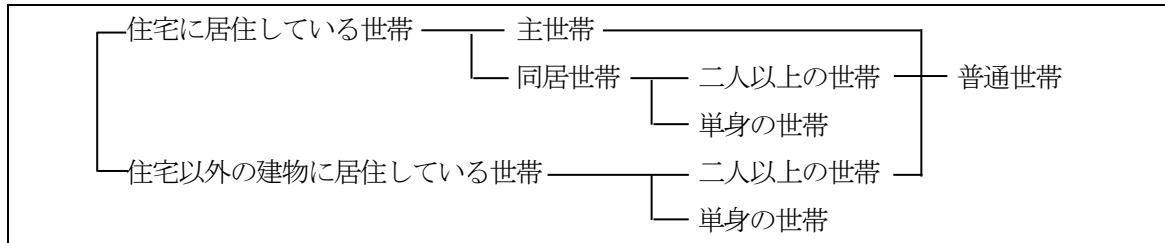
建物内に共用玄関のドアがあり、外からドアを開けるためには、鍵や暗証番号などを用いるか、居住者などに内側から鍵を解除してもらう必要がある共同住宅

住宅の取得方法 ○

「持ち家」について、現在住んでいる住宅の取得方法を次のとおり区分した。

区分	内容
新築の住宅を購入	新築の建て売り住宅又は分譲住宅を購入した場合
都市再生機構 (UR)・公社など	都市再生機構 (UR) 又は都道府県・市区町村の住宅供給公社・住宅協会・ 開発公社などから、新築の住宅を購入した場合
民間	民間の土地建物業者などから、新築の住宅を購入した場合
中古住宅を購入	他の世帯が住んでいた住宅を購入した場合 なお、借りていた住宅を購入した場合もここに含めた。
リフォーム前の住宅	引渡し前1年以内にリフォームされた住宅以外の中古住宅を購入した場合
リフォーム後の住宅	引渡し前1年以内にリフォームされた中古住宅を購入した場合
新築(建て替えを除く)	「新築の住宅を購入」及び「建て替え」以外の場合で、新しく住宅(持ち家) を建てた場合又は以前あった住宅以外の建物や施設を取り壊してそこに新 しく住宅(持ち家)を建てた場合
建て替え	以前あった持ち家を壊して同じ敷地の中に新しく住宅(持ち家)を建てた場合
相続・贈与で取得	相続や贈与によって住宅を取得した場合
その他	上記以外の方法で取得した場合 例えば、住宅以外の建物を住宅に改造した場合など

＜世 帯＞



主世帯、同居世帯 ○

1 住宅に 1 世帯が住んでいる場合はその世帯を「主世帯」とし、1 住宅に 2 世帯以上住んでいる場合には、そのうちの主な世帯（家の持ち主や借り主の世帯など）を「主世帯」とし、他の世帯を「同居世帯」とした。

なお、単身者が友人と共同でアパートの 1 室を借りて住んでいる場合など、1 住宅に二人以上の単身者が住んでいる場合は、便宜、そのうちの一人を「主世帯」とし、他の人は一人一人を「同居世帯」とした。

普通世帯 ○

「普通世帯」とは、住居と生計を共にしている家族などの世帯をいう。家族と一緒に間借りや同居している世帯及び一人で一戸を構えて暮らしている世帯も「普通世帯」とした（主世帯は全て「普通世帯」）。住宅に住む同居世帯や住宅以外の建物に住む世帯の場合は、家族と一緒に住んでいたりと、寮・寄宿舎の管理人の世帯であれば「普通世帯」とした。

		普通世帯
住宅に居住している世帯	主世帯	・ 二人以上の世帯 ・ 単身の世帯
	同居世帯	・ 二人以上の世帯
住宅以外の建物に居住している世帯		・ 二人以上の世帯（注1）

（注1）寮・寄宿舎の管理人・家主などの世帯は、単身の世帯であっても普通世帯とした。

高齢夫婦世帯

「高齢夫婦世帯」とは、夫 65 歳以上かつ妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯

世帯人員 ○

世帯を構成する各人（世帯員）を合わせた数をいう。

たまたま旅行などで一時不在の人でも、ふだんそこに住んでいれば世帯人員に含めた。船舶に乗り組んで長期不在の人（自衛隊の艦船乗組員を除く。）は世帯人員に含めた。

なお、「単身の住み込みの家事手伝い」は雇主の世帯に含めたが、「住み込みの従業員」や「下宿人」、「間借り人」は、雇主や家主の世帯とは別の世帯とした。

家族構成 ★

住宅・土地統計調査では、普通世帯について、その世帯員の世帯主との続き柄により、家族類型を次のとおり区分した。

区分	内容
A 親族のみの世帯	二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のみから成る世帯
B 非親族を含む世帯	二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にない人がいる世帯
C 単独世帯	世帯人員が一人の世帯

また、「親族のみの世帯」については、その親族の中で原則として最も若い世代の夫婦とその他の親族世帯員との関係によって、次のとおり区分した。

区分	備考
1 核家族世帯	
(1) 夫婦のみの世帯	
(2) 夫婦と子供から成る世帯	
(3) 男親と子供から成る世帯	
(4) 女親と子供から成る世帯	
2 核家族以外の世帯	
(5) 夫婦と両親から成る世帯	
(6) 夫婦とひとり親から成る世帯	
(7) 夫婦、子供と両親から成る世帯	1)
(8) 夫婦、子供とひとり親から成る世帯	1)
(9) 夫婦と他の親族（親、子供を含まない）から成る世帯 例) 世帯主夫婦と世帯主の祖母から成る世帯	
(10) 夫婦、子供と他の親族（親を含まない）から成る世帯 例) 世帯主夫婦と配偶者のない世帯主の子供と世帯主の祖母から成る世帯	(注)
(11) 夫婦、親と他の親族（子供を含まない）から成る世帯	1)
(12) 夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯	1)
(13) 兄弟姉妹のみから成る世帯 例) 配偶者のない世帯主と世帯主の兄から成る世帯	(注)
(14) 他に分類されない世帯 例) 配偶者のない世帯主と世帯主の祖母から成る世帯	(注)

1) 夫の親か妻の親か特定できない場合を含む。

(注) ここでいう「配偶者のない」とは、同じ世帯の中に配偶者と成る世帯員がいない場合。

なお、住生活総合調査では「単身世帯」「夫婦世帯」については家計を主に支える者の年齢によって、「親と子供」から成る世帯については長子の年齢によって、さらに区分した。

世帯員の年齢 ○

平成 30 年 10 月 1 日現在の満年齢

世帯の年間収入 ○

世帯全員の 1 年間の収入（税込み）の合計をいう。

収入には給料・賃金のほか、ボーナス・残業手当などの収入、内職や副業による収入、年金・恩給などの給付金、配当金・利子・家賃・地代などの財産収入、その他仕送り金などを含む。

なお、相続・贈与や退職金などの経常的でない収入は含めない。

自営業の場合は、売上高ではなく仕入高、原材料費、人件費などの必要経費を差し引いた営業利益をいう。

居住面積水準状況 ★

居住面積水準を確保しているかどうかを下記の条件から判定した。なお、住宅・土地統計調査における居住面積水準とは判定基準が異なるため一致しない。

- 最低居住面積水準未滿
- 最低居住面積水準以上誘導居住面積水準未滿
- 誘導居住面積水準以上

居住面積水準は、国民の住生活の安定の確保及び向上の促進が図られるよう、住生活基本計画（全国計画）（平成 28 年 3 月閣議決定）に定められた住宅の面積に関する水準で、次のように設定されている。

区分	内容
最低居住面積水準	世帯人員に応じて、健康で文化的な住生活を営む基礎として必要不可欠な住宅の面積に関する水準
誘導居住面積水準	世帯人員に応じて、豊かな住生活の実現の前提として多様なライフスタイルに対応するために必要と考えられる住宅の面積に関する水準
都市居住型	都市の中心及びその周辺における共同住宅居住を想定したもの
一般型	都市の郊外及び都市部以外の一般地域における戸建住宅居住を想定したもの

この居住面積水準では、住宅性能水準（住生活基本計画一別紙 1）の基本的機能を満たすことを前提として、多様な世帯構成を反映した世帯の規模（人員）に応じた住宅の規模（面積）についての基準が示されている。また、単身者の比較的短期間の居住や適切な規模の共用の台所や浴室などを有する共同の居住などについては、基準面積によらないことができるとされている。

最低居住面積水準

- 1 二人以上の世帯で、床面積の合計（延べ面積）が次の算式以上を確保している。

$$10 \text{ m}^2 \times \text{世帯人員} + 10 \text{ m}^2 \text{注1、注2、注3}$$

- 2 単身世帯の場合は、以下のいずれかを確保している。

- (1) 継続居住意向^{注4}がない者で、専用の台所があり、居住室の畳数が「4.5 畳」以上
- (2) 継続居住意向^{注4}がない者で、共用の台所があり、居住室の畳数が「6.0 畳」以上
- (3) 継続居住意向^{注4}がある者で、床面積の合計（延べ面積）が「25 m²」以上

誘導居住面積水準

都市居住型

- 1 二人以上の世帯で、床面積の合計（延べ面積）が次の算式以上を確保している。
$$20 \text{ m}^2 \times \text{世帯人員} + 15 \text{ m}^2 \text{注1、注2、注3}$$
- 2 単身世帯の場合は、以下のいずれかを確保している。
 - (1) 継続居住意向^{注4}がない者で、独立の台所があり、居住室の畳数が「10.5 畳」以上の場合
 - (2) 継続居住意向^{注4}がない者で、食事室等他の用途と兼用の台所又は共用の台所があり、居住室の畳数が「12.0 畳」以上の場合
 - (3) 継続居住意向^{注4}がある者で、床面積の合計（延べ面積）が「40 m²」以上の場合

一般型

- 1 二人以上の世帯で、床面積の合計（延べ面積）が次の算式以上を確保している。
$$25 \text{ m}^2 \times \text{世帯人員} + 25 \text{ m}^2 \text{注1、注2、注3}$$
- 2 単身世帯の場合は、以下のいずれかを確保している。
 - (1) 継続居住意向^{注4}がない者で、独立の台所があり、居住室の畳数が「15.0 畳」以上の場合
 - (2) 継続居住意向^{注4}がない者で、食事室等他の用途と兼用の台所又は共用の台所があり、居住室の畳数が「16.5 畳」以上の場合
 - (3) 継続居住意向^{注4}がある者で、床面積の合計（延べ面積）が「55 m²」以上の場合

注1 世帯人員は、3歳未満の者は0.25人、3歳以上6歳未満の者は0.5人、6歳以上10歳未満の者は0.75人として算出する。ただし、これらにより算出された世帯人員が2人に満たない場合は2人とする。また、年齢が「不詳」の者は1人とする。

注2 世帯人員（注1の適用がある場合には適用後の世帯人員）が4人を超える場合は、上記の面積から5%を控除する。

注3 最終的な算出数値は小数点以下切り上げとする。

注4 継続居住意向とは、「現在の住まいで満足」または「住み慣れている」という理由で、現在の住まいに「できれば住み続けたい」と考えていることをいう。

世帯の家計を主に支える者 ○

その世帯の家計の主たる収入を得ている人

なお、他の世帯からの送金等により家計を支えている場合は、便宜その世帯のうちの一人を代表者とし、その代表者を家計を主に支える者とした。

家計を主に支える者の従業上の地位 ○

世帯の家計を主に支える者の従業上の地位を次のとおり区分した。

区分	内容
自営業主	
農林・漁業業主	個人で農業、漁業などを営んでいる者
商工・その他の業主	個人経営の商店主・工場主など、農林・漁業業主以外の自営業主 個人で自己の専門の技術又は知識を内容とする業務に従事している 開業医・弁護士・著述家・画家・公認会計士なども含まれる。 また、家庭で内職をしている場合もここに含めた。
雇用者	
会社・団体・公社又は 個人に雇われている者	会社、都市再生機構（UR）・公社やその他の法人・団体又は個人に常 時雇われて、給料・賃金などを受けている者（会社員・団体職員・個 人商店の従業員など） いわゆる会社・団体の社長・取締役・理事などの役員も含まれる。
官公庁	現業・非現業を問わず、国又は地方公共団体に常時雇われて、給料・ 賃金などを受けている者
労働者派遣事業 所の派遣社員	労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣さ れている者
パート・アルバイト・そ の他	・就業の時間や日数に関係なく、「パートタイマー」、「アルバイト」 又はそれらに近い名称で呼ばれている者 ・専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用され、雇用 期間の定めのある「契約社員」や、労働条件や雇用期間に関係なく、 勤め先で「嘱託職員」又はそれに近い名称で呼ばれている者
無職	
学生	ふだん仕事をしないで、主に通学をしている者
その他	ふだん仕事をしないで、仕送り金、雇用保険金、生活保護給付金、年 金、財産収入などで生活している者

家計を主に支える者の通勤時間 ○

自営業主、雇用者について、徒歩やバス・鉄道などふだん利用している交通機関による自宅から勤め先までの通常の通勤所要時間（片道）。

なお、農家や漁家の人が自家の田畑・山林や漁船で仕事をしている場合、自営の大工、左官、行商などに従事している人が自宅を離れて仕事をしている場合、雇われて船に乗り組んでいる場合などは、「自宅・住み込み」とした。

家計を主に支える者の入居時期 ○

世帯の家計を主に支える者が現在の住居に入居した時期

現在の住宅が入居後に建て替えられた場合には、建て替え前の住宅に入居した時期をいう。

出生時から引き続き住んでいる場合は、出生時を入居時期とした。

要介護認定者等の有無、要介護度 ☆

介護保険法による要介護認定、又は要支援認定を受けている者の有無を調査した。要介護認定者等がいる世帯について、要介護度を、要支援1～2、要介護1～2、要介護3～5の3区分で調査した。要介護認定等を受けている者が複数いる場合は、最も重度な要介護度認定等を受けている者の要介護度等とした。

<住宅及び居住環境の評価>

住宅及び居住環境の総合満足度 ☆

現在居住している住宅及び居住環境について、総合的にみてどのように思っているかを「満足」「まあ満足」「多少不満」「非常に不満」の4段階評価で調査した。

住宅の満足度 ☆

現在居住している住宅について、広さや設備などを総合的にみてどのように思っているかを「満足」「まあ満足」「多少不満」「非常に不満」の4段階評価で調査した。

居住環境の満足度 ☆

現在居住している住宅のまわりの環境について、安全性や利便性などを総合的にみてどのように思っているかを「満足」「まあ満足」「多少不満」「非常に不満」の4段階評価で調査した。

住宅の各要素の満足度 ☆

現在居住している住宅の各要素について、どのように思っているかを「満足」「まあ満足」「多少不満」「非常に不満」の4段階評価で調査した。

居住環境の各要素の満足度 ☆

現在居住している住宅のまわりの環境の各要素について、どのように思っているかを「満足」「まあ満足」「多少不満」「非常に不満」の4段階評価で調査した。

住宅の各要素の重要度 ☆

現在居住している住宅の各要素について、重要と思うものを選択した世帯で、「満足」「まあ満足」「多少不満」「非常に不満」の4段階評価で調査した。

居住環境の各要素の重要度 ☆

現在居住している住宅のまわりの環境の各要素について、重要と思うものを選択した世帯で、「満足」「まあ満足」「多少不満」「非常に不満」の4段階評価で調査した。

＜最近の住み替え・改善＞

改善 ★

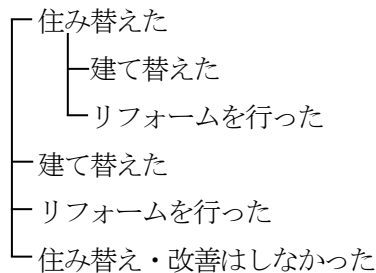
建て替え、リフォームの総称とした。

最近のリフォームの状況 ★

住宅・土地統計調査において、平成 26 年 1 月以降の増改築・改修工事等、高齢者等のための設備工事、耐震改修工事のいずれかに該当するか調査した。

最近の住み替え・改善の状況 ★

平成 26 年 1 月以降の住み替え、建て替え、リフォームの状況を、次のとおり区分した。貸家を建てたり、貸間を経営するための増築をした場合などは含まない。また、建て替えとリフォームを総称して改善という場合がある。



住み替えたとは、家計を主に支える者が現在の住居に入居した時期が平成 26 年 1 月以降である場合をいう。

建て替えたとは、住宅・土地統計調査の住宅取得区分が「建て替え」であり、建築の時期が平成 26 年 1 月以降である場合をいう。

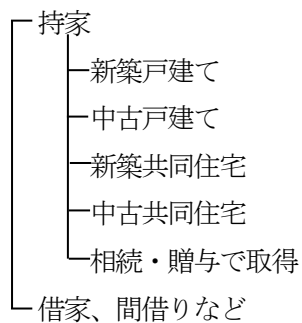
リフォームを行ったとは、住宅・土地統計調査において、平成 26 年 1 月以降の増改築・改修工事等、高齢者等のための設備工事、耐震改修工事のいずれかに該当する場合をいう。

最近の住み替えの目的 ★

住宅・土地統計調査で平成 26 年 1 月以降に住み替えを行った世帯のうち、住生活総合調査で「出生時から住んでいる」以外を選択した世帯の目的を区分した。

最近の住み替え方法 ★

平成 26 年 1 月以降に住み替えた持ち家の世帯について、現在住んでいる住宅の取得方法を、住宅・土地統計調査結果を用いて、住生活総合調査の選択項目名に変更し次のとおり区分した。



持ち家

新築戸建て

「新築の住宅を購入」、「建て替え」を選択した「一戸建」の場合。

中古戸建て

「中古住宅を購入」を選択した「一戸建」の場合。

新築共同住宅

「新築の住宅を購入」、「建て替え」を選択した「共同住宅」の場合。

中古共同住宅

「中古住宅を購入」を選択した「共同住宅」の場合。

相続・贈与で取得

「相続・贈与で取得」した場合。

その他

「その他」を選択した場合。

借家、間借りなど

借家、同居世帯、住宅以外の建物に住んでいる場合。

住み替え前の居住形態 ○

現住居への入居時期が平成 26 年 1 月以降の世帯の家計を主に支える者について、現住居に入居する前に居住していた住居の居住形態を次のとおり区分した。

区分		内容
持ち家		「住宅の所有の関係」の項を参照
借家	公営の借家	
	都市再生機構（UR）・ 公社の借家	
	民営借家	
	給与住宅	
親その他の親族の家に同居		親・その他の親族の家に同居していた場合
下宿・寮等		下宿・間借りしていた場合、勤め先に住み込みの従業員だった場合 会社、学校等の寮・寄宿舎に住んでいた場合
その他		上記以外で、例えば、病院、学校、旅館、工場など住宅以外の建物に住んでいた場合

なお、「持ち家」「民営借家住宅」については、「一戸建・長屋建」「共同住宅」によって、さらに区分した。

最近の居住形態の変化 ★

平成 26 年 1 月以降に住み替えた世帯の住み替え前の居住形態及び現在の居住形態（住宅タイプ）の関係について、区分した。

最近の床面積の増減 ★

住生活総合調査において前の住宅の床面積を調査し、住宅・土地統計調査による現在の住宅の床面積の合計と比較した増減を区分した。

最近のリフォームの内容、最近の改善の内容 ★

平成 26 年以降の増改築・改修工事等

「持ち家」について、平成 26 年 1 月以降にその世帯が使用するために増改築（「建て替え」及び「新築」を除く。）や改修工事等を行ったか否かを次のとおり区分した。

区分	内容
増改築・改修工事等をした	
増築・間取りの変更	居住室の増改築や、離れを建てたり、廊下や押入れなどを居住室に変更するなどの工事
台所・トイレ・浴室・洗面所の改修工事	老朽化などによる水漏れのための配管修理や水道修理、また、和式トイレから洋式トイレへの変更やくみ取りトイレから水洗トイレへの変更などの工事
天井・壁・床等の内装の改修工事	室内（トイレ、台所、浴室及び洗面所を含む。）のクロス張替えや床の張替え、畳からフローリングへの変更、床暖房の設置、建具の交換などの工事 なお、単なるカーテンやブラインドの交換は含めない。
屋根・外壁等の改修工事	屋根のふき替え・塗り替え、屋根・屋上・バルコニーの床（下の階の屋根となっている場合）の水漏れ修理、外壁の塗装・交換、コンクリート壁や雨どいの修理などの工事
壁・柱・基礎等の補強工事	壁の新設・補強、筋かいの設置、基礎の補強、柱やはりを金具で補強などの工事
窓・壁等の断熱・結露防止工事	窓を二重以上のサッシ又は複層ガラスに変更、天井や壁に断熱材を注入したり発砲ウレタンを吹き付ける工事
その他の工事	上記以外の工事 例えば、ベランダの設置や修理、手すりの設置、電気配線（コンセント、スイッチの増設）など
増改築・改修工事等をしていない	店舗・事務所など営業用部分だけの増改築や改修工事をした場合や間貸しなど他の世帯に使用させるための工事は「増改築・改修工事等をしていない」に含めた。

最近の高齢者対応リフォームの内容 ○

平成 26 年以降の高齢者等のための設備工事

「持ち家」について、平成 26 年 1 月以降、高齢者等のための設備工事を行ったか否かを次のとおり区分した。

区分		内容
高齢者等のための工事をした		現在、その世帯に高齢者がいなくても、将来を見越して工事した場合も含めた。
	階段や廊下の手すりの設置	階段や廊下に手すりを設置する工事
	屋内の段差の解消	居住室と廊下の段差にスロープを設置する工事を行うなど、屋内の段差をなくす工事
	浴室の工事	埋め込み式浴槽への変更や浴室内の手すりの設置などの工事
	トイレの工事	和式トイレから洋式トイレへの変更、温水洗浄便座の設置などの工事
	その他	上記以外の工事
高齢者等のための工事をしていない		

住み替えに要した費用 ☆

平成 26 年 1 月以降に住宅が変化した世帯について、「持家」は購入・建築費用と諸費用別、合計値の 3 区分、「借家」は諸費用に区分した。購入・建築費用は土地取得費用と建物の建築費、外構費の合計額をいう。諸費用は引越、敷金・礼金、仲介手数料、融資手数料、陶器、家具、エアコン、カーテン、家電の合計額をいう。住宅を建てた年の 5 年以上前に土地を取得していた場合、土地を借りた場合、土地の贈与・相続を受けた場合は、土地取得費用は含まない。該当する費用がない場合は 0 とした。

住み替え前の住宅の居住期間 ☆

平成 26 年 1 月以降に住み替えた世帯について、住み替え前の住宅の居住期間を調査した。

＜今後の住み替え・改善の意向＞

今後の住み替えの意向 ☆

今後の住み替えの意向について、調査した。

今後の改善意向 ☆

今後のリフォーム・建て替えの意向について、調査した。

今後の住み替え・改善の意向 ☆

今後の住み替え、建て替え、リフォームの意向について、以下のとおり区分した。

- └ できれば住み替えたい
- └ できれば住み続けたい
 - └ リフォーム・建て替えどちらも考えている
 - └ リフォームを考えている
 - └ 建て替えを考えている
 - └ リフォーム・建て替えいずれも考えていない
 - └ わからない
 - └ 当面はリフォームして将来は住み替えたい
- └ わからない

住み替えの実現時期、改善の実現時期 ☆

今後の住み替え、建て替え・リフォームを考えている世帯について、住み替え、建て替え・リフォームそれぞれの実現の時期を調査した。

今後5年以内の住み替え・改善の意向 ☆

実現の時期を今後5年以内とする住み替え、建て替え、リフォームの意向について、次のとおり区分した。

- できれば住み替えたい
- できれば住み続けたい
 - リフォーム・建て替えどちらも考えている
 - リフォームを考えている
 - 建て替えを考えている
 - リフォーム・建て替えいずれも考えていない
 - わからない
 - 当面はリフォームして、5年以内に住み替えたい
- わからない

今後の住み替えの目的 ☆

住み替えの意向について、目的（当てはまるもの全て）を区分した。

今後の改善の目的 ☆

建て替え、リフォームの意向について、目的（当てはまるもの全て）を区分した。

今後5年以内の住み替えの目的 ☆

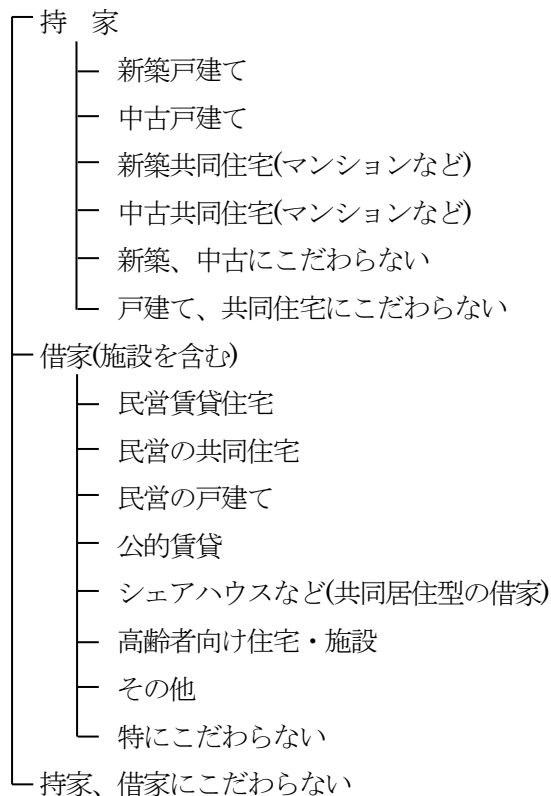
今後5年以内の住み替えの意向について、目的（当てはまるもの全て）を区分した。

今後5年以内の改善の目的 ☆

今後5年以内の建て替え、リフォームの意向について、目的（当てはまるもの全て）を区分した。

住み替え後の居住形態 ☆

今後5年以内の住み替え意向のある世帯について、住み替え後の住宅について次のとおり区分した。



今後の居住形態の変化 ☆

現在の居住形態（住宅タイプ）及び住み替え後の居住形態の関係について、区分した。

今後のリフォームの内容 ☆

今後5年以内にリフォームする意向がある世帯について、工事内容を調査した。

住み替え上の課題 ☆

今後5年以内の住み替えの意向がある世帯について、実現上の課題を調査した。

建て替え上の課題、リフォーム上の課題 ☆

今後5年以内の建て替え、リフォームの意向がある世帯について、実現上の課題を調査した。

住み替え意向がない理由 ☆

今後、住み替える意向がない世帯について、その理由を調査した。

現在の住宅の処分方法 ☆

今後、現在の住宅を必要としなくなった場合の住宅の処分方法について調査した。

＜子育ての環境等＞

子の居住地 ○

家計を主に支える者の子の住んでいる場所について、次のとおり区分した。子が二人以上いる場合は、最も近くに住んでいる子について調査した。

また、ここでいう「子」には、未婚の子だけでなく、既婚の子や子の配偶者も含まれる。

高齢期における子との住まい方 ★

家計を主に支えている者が高齢期において望ましいと思う子との住まい方について区分した。

区分	備考
子がいる	
一緒に住んでいる (同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含む)	子がアパートやマンションなどの同じ棟内の別の住居に住んでいる場合や同じ敷地内にある別棟の建物に住んでいる場合も含む
徒歩5分程度の場所に住んでいる	
片道15分未満の場所に住んでいる	「片道15分」及び「片道1時間」とは、ふだん行き来に利用している交通手段による片道の所要時間
片道1時間未満の場所に住んでいる	
片道1時間以上の場所に住んでいる	
子はいない	

子との住まい方の変化 ★

住宅・土地統計調査における「子の居住地」及び住生活総合調査の「高齢期における子との住まい方」の関係から、下記の通り区分した。

- └ 変わらない
- └ 同居
- └ 近くなる（近居）
- └ 別居（施設）
- └ 別居（近居）
- └ その他
- └ 不明

子育てにおいて重要な要素 ★

家族構成が「親と子（長子17才以下）」の世帯について、「住宅及び居住環境の各要素」で子育てにおいて重要と思う要素を抽出し調査した。

＜現住居以外の住宅＞

現住居以外の住宅の有無 ○

普通世帯の世帯員が、現在居住している住宅又は住宅以外の建物のほかに所有している住宅（共有の場合を含む）。ここでいう「所有している」とは、登記の有無にかかわらず、世帯員がその住宅の固定資産税を納付している場合をいう。なお、世帯員が相続する予定の住宅は、その手続き中の場合も「所有している」とした。

ただし、一時現在者のみの住宅（昼間だけ使用している住宅や、何人かの人が交代で寝泊まりしている住宅）及び建築中の住宅は除いた。

現住居以外の住宅の種類 ○

現住居以外に所有する住宅の主な用途について、次のとおり区分した。

区分	内容
居住世帯のある住宅	ふだん人が居住している住宅
親族居住用	住居又は生計を別にしている親族が住んでいる住宅
貸家用	賃貸している住宅や賃貸を目的に所有している住宅で居住世帯のある住宅 また、貸別荘は便宜ここに含めた。
売却用	売却することを目的としている住宅で居住世帯のある住宅 例えば、転居先の住宅が完成していないなどで、まだ居住世帯がある住宅
その他	上記以外で居住世帯のある住宅 例えば、取り壊す予定としている住宅や無償で譲渡する予定にしている住宅 であるが、転居先の住宅が完成していないなどで、まだ居住世帯がある住宅
居住世帯のない住宅 （空き家）	ふだん人が居住しておらず、空き家となっている住宅
二次的住宅・別荘用	残業で遅くなったときに寝泊まりするなど、たまに使用する住宅や、週末や 休暇時に避暑・避寒・保養などの目的で利用する住宅
貸家用	賃貸を目的に所有している住宅で居住世帯のない住宅
売却用	売却することを目的としている住宅で居住世帯のない住宅
その他	上記以外で空き家になっている住宅 例えば、老人ホームなどの施設に入居していて誰も住んでいない住宅や、使 用目的がない住宅など

相続する可能性がある住宅 ☆

将来、親などが住んでいる住宅を相続する可能性の有無、相続する可能性がある場合の住宅について以下5つの項目を調査した。

- ①建て方
- ②現住居からの所要時間
- ③公共交通までの距離
- ④建築の時期
- ⑤相続後の活用などの意向

複数の住宅を相続する可能性がある場合は、古い順に3住宅目までを調査した。

＜世帯の住居費＞

年間住宅ローン返済額 ☆

住宅ローン・リフォームローンを返済している方に、月額返済額とボーナス返済額(年間の合計)を調査し、月額返済額の12か月分とボーナス返済額の合計値で年間返済額を区分した。

月あたりの住宅ローン返済額 ☆

住宅ローン・リフォームローンを返済している方に、月額返済額とボーナス返済額(年間の合計)を調査し、月額返済額とボーナス返済額を12で割った合計値で月当たりの返済額を区分した。

月あたりの管理費等 ☆

共同住宅、長屋建住宅に住んでいる持家世帯について、毎月の管理費（管理組合費、修繕積立金などを含む）を調査した。

月あたりの家賃及び共益費等 ○

住宅の家賃・間代

持ち家以外の住宅において、最近、支払われた1か月分の家賃又は間代の金額。この「家賃・間代」には、敷金・権利金・礼金や共益費・管理費などは含まれない。

なお、1住宅を2世帯以上の世帯が共同で借りている場合、各世帯が負担している家賃又は間代の総額をその1住宅の「家賃・間代」とした。

住宅の共益費・管理費

家賃・間代とは別に支払われる、廊下・階段などの共用部分の水道料・電気料・清掃費など。

1住宅を2世帯以上の世帯が共同で借りている場合の取扱いは、上記「住宅の家賃・間代」と同じ。

住居費負担に対する評価 ☆

持家世帯におけるローン返済と共同住宅等世帯における家賃の住居費負担についての評価を4段階で調査した。

住宅の点検等の依頼先 ☆

持ち家世帯における住宅の点検等の依頼先について調査した。

＜住環境・都市計画＞

役所からの距離 ☆

調査区の中心から調査区が属する市区町村役場（本庁）までの距離（直線距離）によって調査区を区分した。

＜地 域＞

大都市圏 ○

「大都市圏」及び「都市圏」は、広域的な都市地域を規定するため行政区域を越えて設定した統計上の地域区分であり、中心市及びこれに社会・経済的に結合している周辺市町村によって構成されている。

大都市圏・都市圏の中心市と周辺市町村は、設定基準は以下のとおり。

(1) 中心市

大都市圏の「中心市」は、東京都特別区部及び政令指定都市とする。

ただし、中心市が互いに近接している場合には、それぞれについて大都市圏を設定せず、その地域を統合して一つの大都市圏としている（例：関東大都市圏）。都市圏の中心市は、大都市圏に含まれない人口 50 万以上の市とする。

(2) 周辺市町村

「周辺市町村」は、大都市圏及び都市圏の中心市への 15 歳以上通勤・通学者数の割合が当該市町村の常住人口の 1.5% 以上であり、かつ中心市と接続している市町村とする。

ただし、中心市への 15 歳以上通勤・通学者数の割合が 1.5% 未満の市町村であっても、その周囲が周辺市町村の基準に適合した市町村によって囲まれている場合は、周辺市町村としている。

大都市圏	中心市
札幌大都市圏	札幌市
仙台大都市圏	仙台市
関東大都市圏	さいたま市、千葉市、東京都特別区部、横浜市、川崎市、相模原市
新潟大都市圏	新潟市
静岡・浜松大都市圏	静岡市、浜松市
中京大都市圏	名古屋市
京阪神大都市圏	京都市、大阪市、堺市、神戸市
岡山大都市圏	岡山市
広島大都市圏	広島市
北九州・福岡大都市圏	北九州市、福岡市
熊本大都市圏	熊本市

都市圏	中心市
宇都宮都市圏	宇都宮市
松山都市圏	松山市
鹿児島都市圏	鹿児島市

地方 ☆

各地方圏に含まれる都道府県は以下のとおりである。

地方名	都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東(南関東)	埼玉、千葉、東京、神奈川
(北関東・甲信)	茨城、栃木、群馬、山梨、長野
中部	岐阜、静岡、愛知、三重
北陸	新潟、富山、石川
近畿	福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

人口集中地区（DID） ☆

本調査の人口集中地区は、平成 27 年国勢調査で設定された人口集中地区を適用している。平成 27 年の国勢調査の人口集中地区の設定に当たっては、以下の 3 点を条件として設定した。

- 1 平成 27 年国勢調査基本単位区を基礎単位区地域とする。
- 2 市区町村の境界内で人口密度の高い基本単位区（原則として人口密度が 1 平方キロメートル当たり 4、000 人以上）が隣接している。
- 3 隣接した地域の人口が平成 27 年国勢調査時に人口 5、000 人以上を有する。

地域 ☆

木造住宅密集地

調査区が属する平成 27 年国勢調査の町丁字等のうち、住宅戸数密度が 80 戸/ha 以上、かつ、調査区の木防率 2/3 以上。

ニュータウン

上記以外の調査区で、調査区が属する平成 27 年国勢調査の町大字のうち、「全国のニュータウンリスト（平成 30 年 6 月）（国土交通省）」に該当するニュータウンの代表座標が存在するもの。

その他の市街地

上記以外の調査区で、平成 27 年国勢調査において人口 10 万人以上または DID 人口 3 万人以上の市区町村における DID 地区。

市街地以外

農山漁村等、上記以外の地域。

Ⅱ 結 果 の 概 要

結 果 の 概 要

住生活総合調査では、住宅及び居住環境の評価、最近 5 年間の居住状況の変化（住み替え・改善の状況等）、今後の住まい方に関する意向（住み替え・改善意向等）、現住居以外に所有・賃借している住宅の状況等について調査した。

1. 住宅及び居住環境の評価

（1）住宅及び居住環境に対する評価

本項目では、住宅及び居住環境に対する総合的な評価、また、住宅、居住環境に対する評価に関して、それぞれ「非常に不満」、「多少不満」、「まあ満足」、「満足」の 4 段階評価を選択する方式で調査した。

各評価の集計については、世帯の不満率（「非常に不満」または「多少不満」を選択した世帯の割合）で整理した。

① 住宅及び居住環境に対する総合的な評価

住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関して、不満率は継続して減少しており、昭和 58 年の 38.4%から平成 30 年の 21.5%となっている。（図 1、表 1）

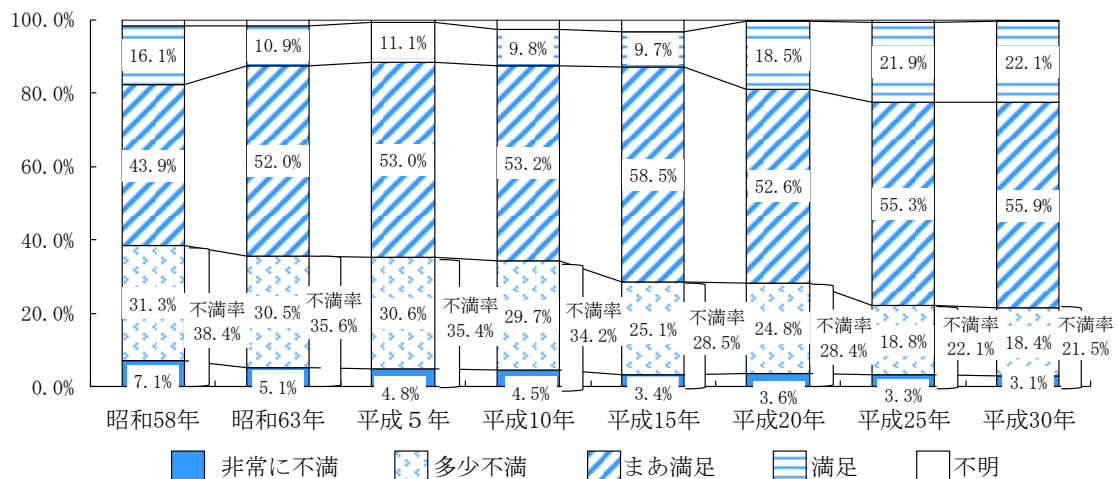


図 1 住宅及び居住環境に対する総合的な評価

② 住宅に対する評価

住宅に対する評価に関して、不満率の経年変化を見ると総じて減少しており、これまでの調査で最も不満率が高かった昭和 63 年の 51.5%から平成 30 年の 23.1%となっている。（図 2、表 1）

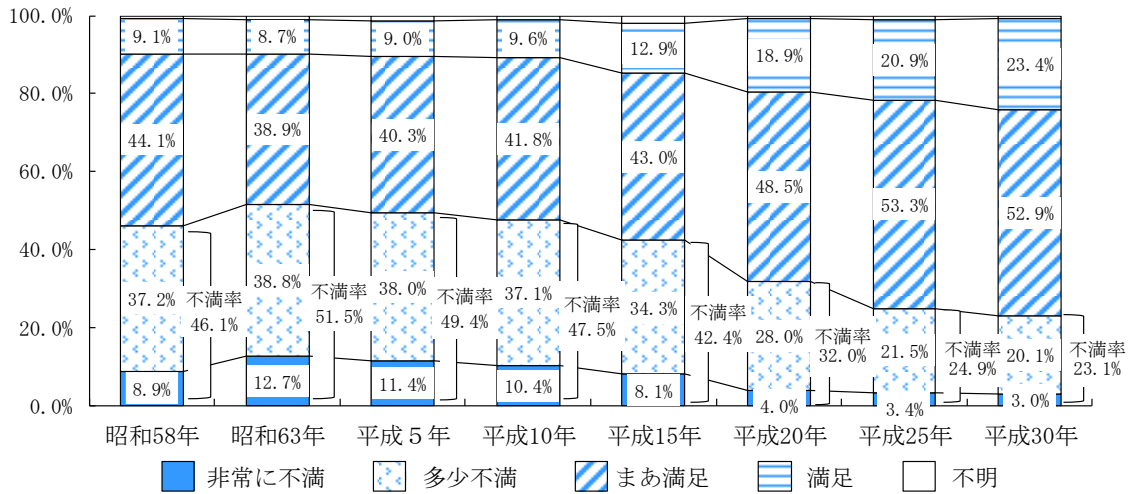


図 2 住宅に対する評価

③ 居住環境に対する評価

居住環境に対する評価に関して、不満率の経年変化を見ると平成 10 年をピークに平成 25 年までは減少していたが、平成 30 年は 27.8%に微増している。（図 2、図 3、表 1）

住宅に対する評価に関する不満率と、居住環境に対する評価に関する不満率とを比較すると、昭和 58～平成 20 年までは住宅に関する不満率の方が高かったが、平成 25 年以降は居住環境に関する不満率の方が高くなっている。（図 3、表 1）

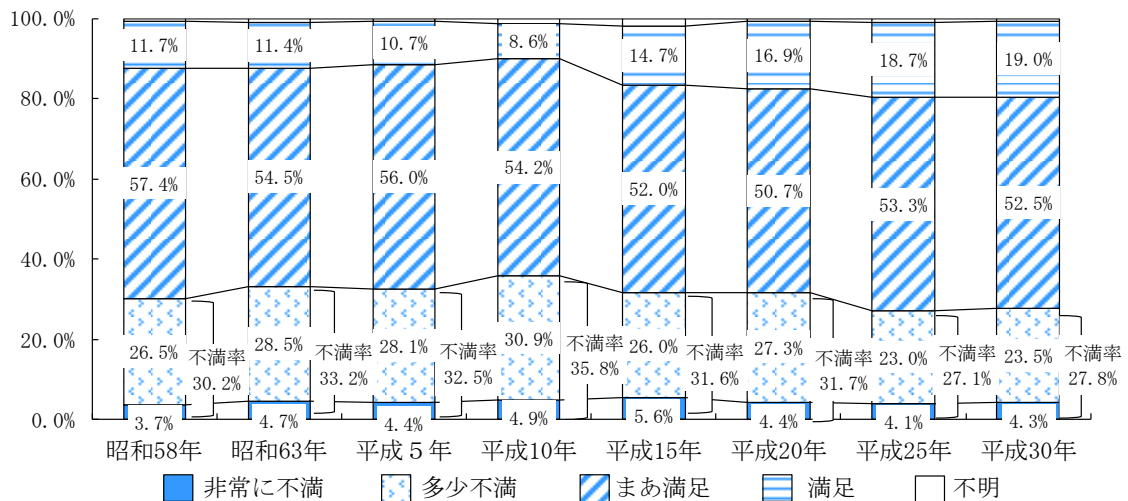


図 3 居住環境に対する評価

④ 持ち家・借家別の住宅及び居住環境に対する総合的な評価

住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関して、持ち家・借家別に整理を行った。

持ち家の住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関して、不満率の経年変化を見ると概ね減少しており、昭和58年の33.6%から平成30年の19.9%となっている。

また、借家の住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関して、不満率の経年変化を見ると、昭和58～平成25年までは減少していたが、平成30年は25.3%に微増している。

持ち家と借家の不満率は借家の方が高いが、その差の経年変化を見ると減少しており、昭和58年の14.0ポイントから平成30年の5.4ポイントとなっている。（図4、表1）

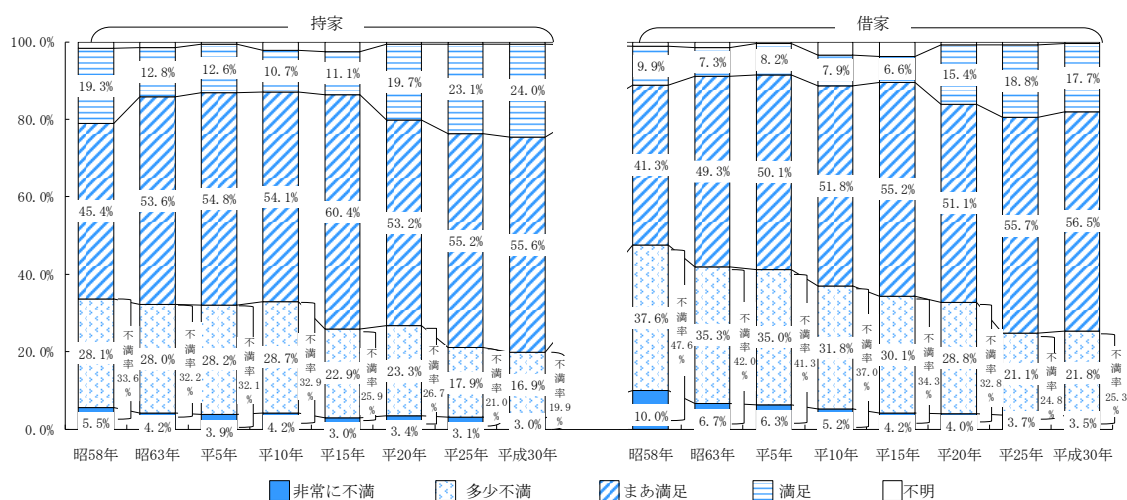


図4 持ち家・借家別の住宅及び居住環境に対する総合的な評価

⑤ 持ち家・借家別の住宅に対する評価

持ち家の住宅に対する評価に関して、不満率の経年変化を見ると昭和 63 年以降減少しており、昭和 63 年の 45.0%から平成 30 年の 18.8%となっている。

また、借家の住宅に対する評価に関して、不満率の経年変化を見ると昭和 63 年以降減少しており、昭和 63 年の 64.1%から平成 30 年の 33.1%となっている。

持ち家と借家の不満率は借家の方が高いが、その差の経年変化を見ると減少しており、昭和 63 年の 19.1 ポイントから平成 30 年の 14.3 ポイントとなっている。(図 5、表 1)

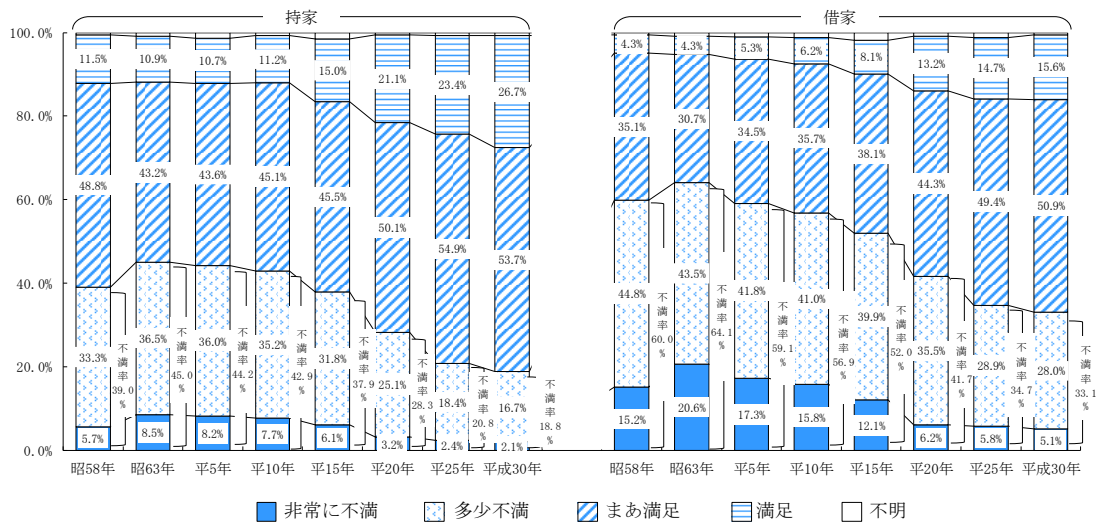


図 5 持ち家・借家別の住宅に対する評価

⑥ 持ち家・借家別の居住環境に対する評価

持ち家の居住環境に対する評価に関して、不満率の経年変化を見ると、平成 10 年～平成 25 年までは減少していたが、平成 30 年は 28.0%に微増している。

また、借家の居住環境に対する評価に関して、不満率の経年変化を見ると平成 10 年以降減少しており、平成 10 年の 37.2%から平成 30 年の 27.5%となっている。

持ち家と借家の不満率は借家の方が高いが、平成 30 年では逆転している。(図 6、表 1)

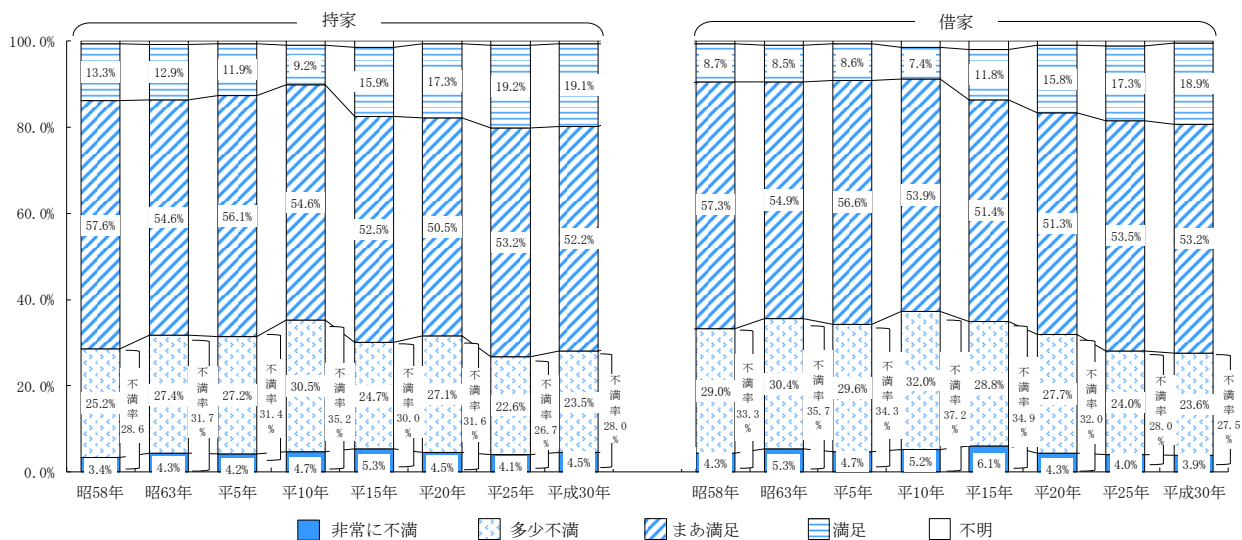


図 6 持ち家・借家別の居住環境に対する評価

⑦ 持ち家に住む世帯の住宅取得経験別の住宅及び居住環境の総合的な評価

住宅取得経験別に、住宅及び居住環境の総合的な評価に関する不満率を比較すると、「相続・贈与」で住宅を取得した世帯の不満率は、「相続・贈与」以外で住宅を取得した世帯に比べやや高く 23.6%となっている。（図 7、表 1）

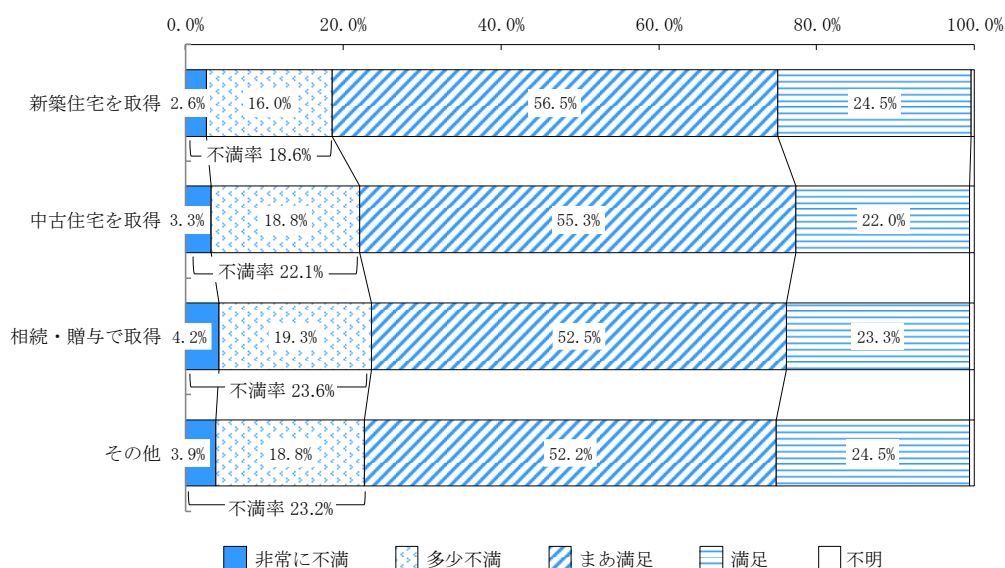


図 7 住宅取得方法別の住宅及び居住環境に対する総合的な評価

注 「新築住宅を取得」には、「新築（建て替えを除く）」と「建て替え」を含む。

⑧ 家族構成別の住宅及び居住環境の総合的な評価

住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関して、家族構成別の不満率の経年変化を見ると、親と子からなる世帯や夫婦のみの世帯は減少傾向にあるが、単身世帯については平成30年に23.2%と微増している。（図8、表1）

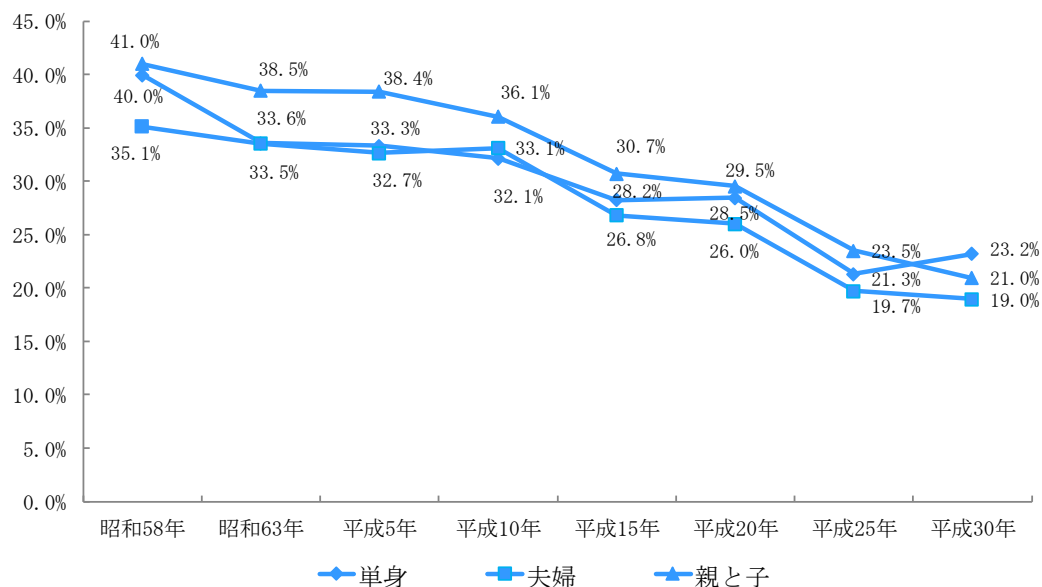


図8 家族構成別の住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関する不満率

(2) 住宅及び居住環境の評価における個別要素

本項目では、住宅及び居住環境について、個別要素ごとにそれぞれ「非常に不満」、「多少不満」、「まあ満足」、「満足」の4段階評価を選択する方式で調査した。

個別要素の評価においては、世帯の不満率（「非常に不満」または「多少不満」を選択した世帯の割合）について個別要素ごとに集計した。

① 住宅の個別要素に対する評価

住宅の評価について、個別要素ごとの不満率の上位 5 項目を見ると、「高齢者などへの配慮（段差がない等）」が 47.2%と最も高く、次いで「地震時の安全性」が 43.6%、「遮音性」が 42.9%、「台風時の安全性」が 38.8%、「断熱性」が 38.6%となっている。

上位 5 項目における平成 25 年と平成 30 年の差を見ると、概ね不満率は減少しているが、「台風時の安全性」（-0.6 ポイント）は変化の差が小さく、「高齢者への配慮（段差がない等）」（-6.3 ポイント）、「地震時の安全性」（-5.0 ポイント）、「断熱性」（-5.5 ポイント）は減少幅が大きくなっている。（図 9、表 2）

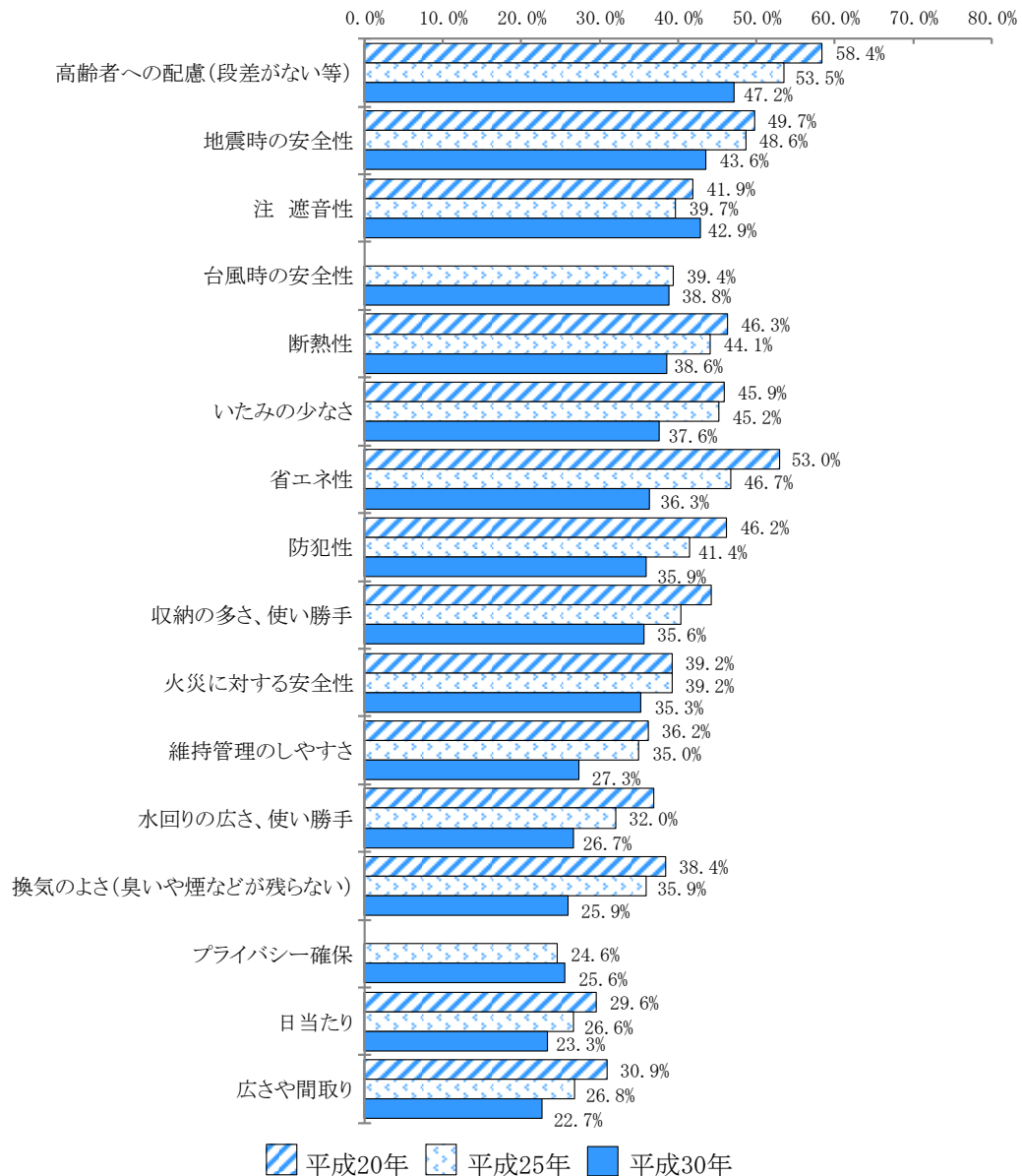


図 9 住宅の個別要素に対する不満率

注 平成 30 年の調査では、従前の「外部からの騒音に対する遮音性」と「上下階や隣戸の生活音などに対する遮音性」を「遮音性」に統合して調査した。ここでは従前の調査結果を「外部からの騒音に対する遮音性」と並べて表示した。

② 居住環境の個別要素に対する評価

居住環境の評価について、個別要素ごとの不満率の上位 5 項目を見ると、「周辺からの延焼のしにくさ」が 38.4%と最も高く、次いで「歩行時の安全性」が 36.7%、「災害時の避難のしやすさ」が 34.3%、「子どもの遊び場、子育て支援サービス」が 34.2%、「騒音・大気汚染の少なさ」が 29.7%となっている。

上位 5 項目における平成 25 年と平成 30 年の差を見ると、個別要素によって不満率の変化に差はあるが、「周辺からの延焼のしにくさ」（-4.8 ポイント）、「福祉・介護の生活支援サービス」（-3.8 ポイント）、「歩行時の安全性」（-2.6 ポイント）が比較的減少幅が大きくなっている。（図 10、表 2）

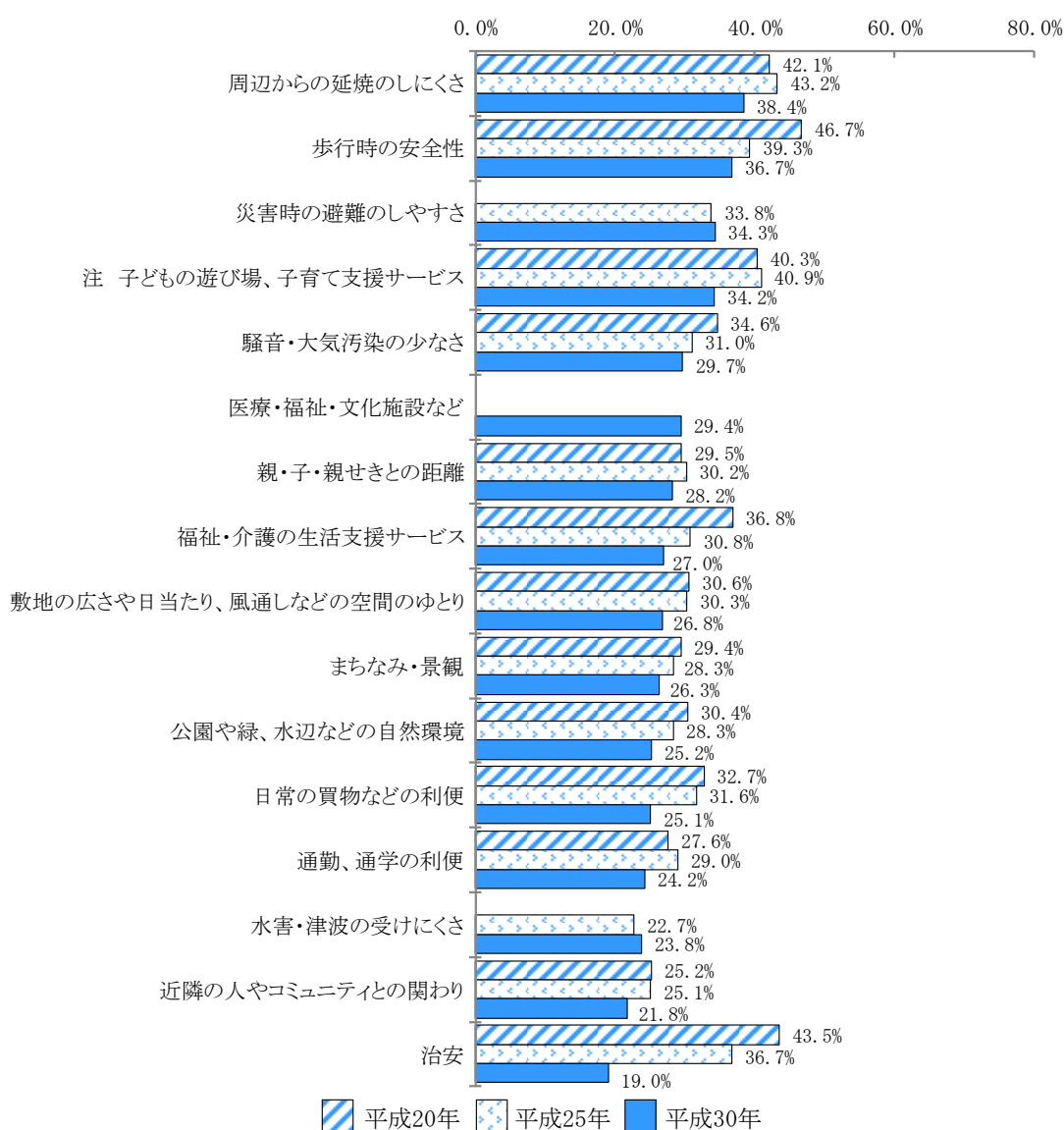


図 10 居住環境の個別要素に対する不満率

注 平成 30 年調査では、従前の「子育て支援サービスの状況」と「子どもの遊び場、公園など」を「子どもの遊び場、子育て支援サービス」に統合して調査した。ここでは、従前の調査結果を「子どもの遊び場、公園など」と並べて表示した。

(3) 住宅及び居住環境に関して重要と思う項目

本項目では、住宅及び居住環境の評価の個別要素について、「重要と思うもの」(8つまで(任意))を選択する方式で調査した。

住宅及び居住環境に関して、重要と思う項目を見ると、「治安」が45.8%と最も多く、次いで「広さや間取り」が42.3%、「通勤・通学の利便性」が41.7%、「日当たり」が40.4%、「日常の買い物などの利便」が40.0%となっている。(図11、表2)

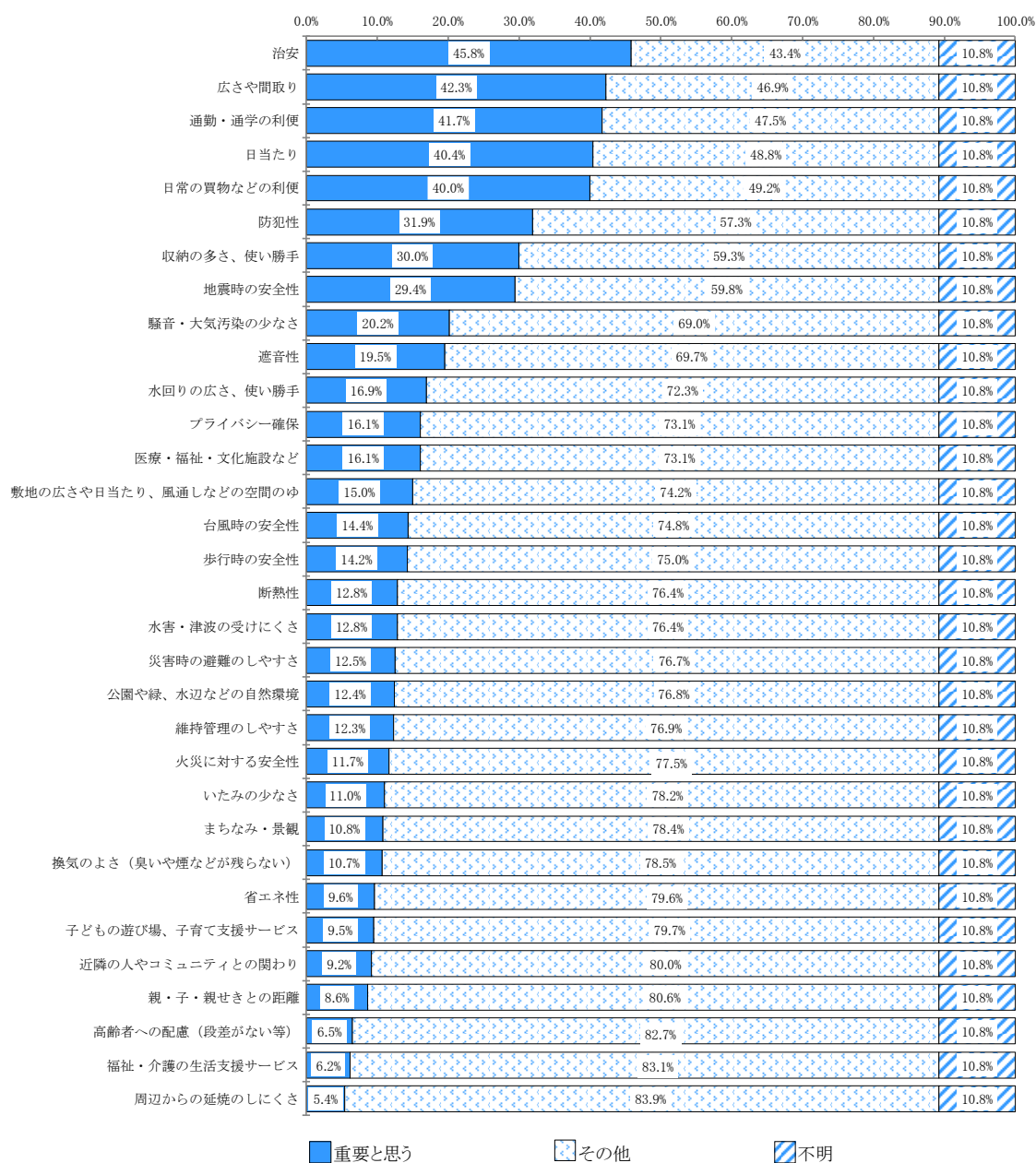


図 11 住宅及び居住環境に関して最も重要と思う項目

(4) 住居費負担に対する評価

本項目では、世帯の住居費について、年間のローン返済額・月額管理費を調査するとともに、その負担感に関して、「生活必需品を切りつめるほど苦しい」、「ぜいたくはできないが、何とかやっていける」、「ぜいたくを多少がまんしている」、「家計にあまり影響がない」の4段階評価を選択する方式で調査した。

① 住宅ローンのある持ち家

平成30年の住宅ローンのある持ち家における住居費負担に対する評価を見ると、「ぜいたくはできないが、何とかやっていける」が53.8%と最も多く、次いで「ぜいたくを多少がまんしている」が21.9%、「家計にあまり影響がない」が19.4%、「生活必需品を切りつめるほど苦しい」が5.0%となっている。

住宅ローンのある持ち家における住居費負担について、経年変化を見ると、平成25年から30年は、「家計にあまり影響がない」(+9.1ポイント)が増加し、「生活必需品を切りつめるほど苦しい」(-3.3ポイント)が減少し、「ぜいたくはできないが、何とかやっていける」(±2.1ポイント)、「ぜいたくを多少がまんしている」(+3.0ポイント)の変化は小さくなっている。(図12、表3)

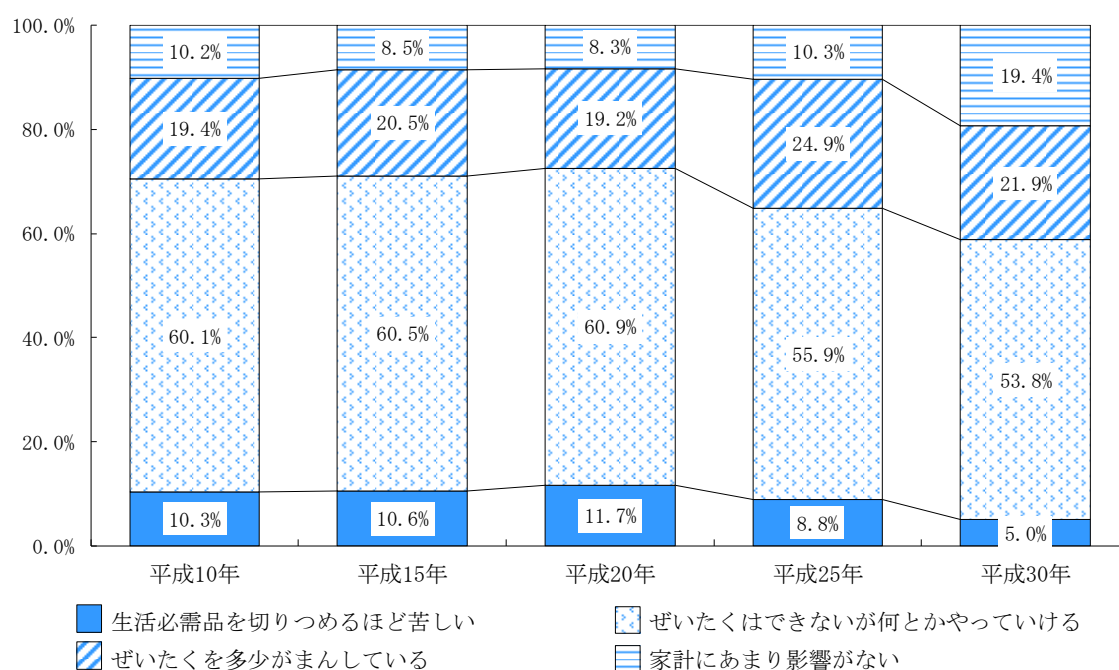


図12 住宅ローンのある持ち家の住居費負担に対する評価

② 借家

平成 30 年の借家における住居費負担に対する評価を見ると、「ぜいたくはできないが、何とかやっていける」が 52.1%と最も多く、次いで「ぜいたくを多少がまんしている」が 23.1%、「家計にあまり影響がない」が 16.7%、「生活必需品を切りつめるほど苦しい」が 8.1%となっている。

借家における家賃負担に対する評価について、平成 25 年と平成 30 年とを比較すると、「ぜいたくはできないが、何とかやっていける」(+3.0 ポイント)が増加し、「家計にあまり影響がない」(-2.0 ポイント)「生活必需品を切りつめるほど苦しい」(-1.7 ポイント)が減少している。また、「ぜいたくを多少がまんしている」(+0.8 ポイント)の変化は小さくなっている。(図 13、表 3)

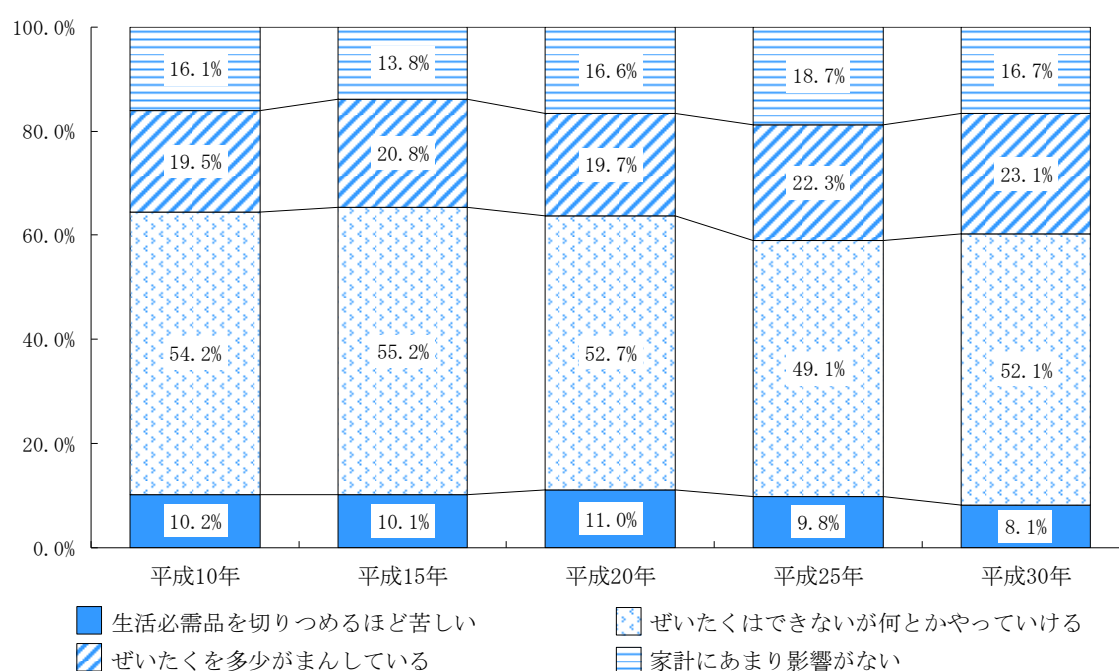


図 13 借家の住居費負担に対する評価

(5) 居住面積水準

① 所有関係別の居住面積水準

所有関係別に居住面積水準を見ると、持ち家世帯では「最低居住面積水準未満」が 0.8%と最も少なく、「誘導居住面積水準以上」が 75.0%と最も多い。一方借家世帯では「最低居住面積水準未満」の割合が高く、特に「民営賃貸住宅」では 9.6%となっている。（図 14、表 4）

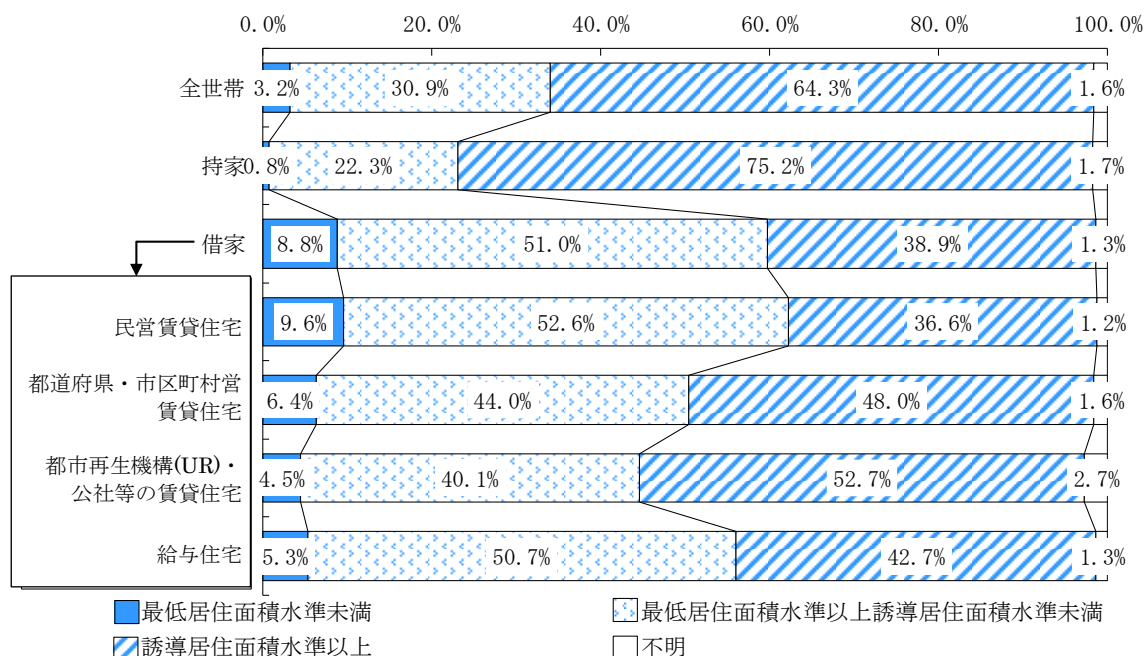
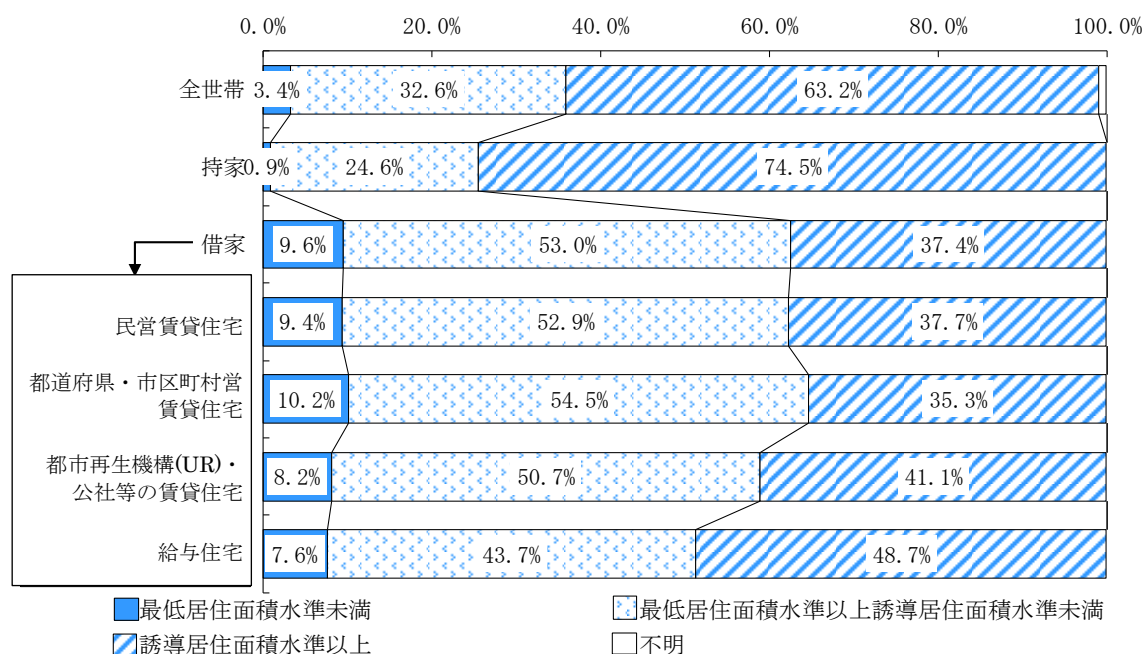


図 14 所有関係別の居住面積水準



(参考) 平成 25 年 所有関係別の居住面積水準

② 居住面積水準別の住宅及び居住環境の総合的な評価

居住面積水準別に住宅及び居住環境に対する総合的な評価を見ると、居住面積水準を上回るほど不満率は低く、最低居住面積水準未満の世帯では不満率が 26.8% となっている。（図 15、表 1）

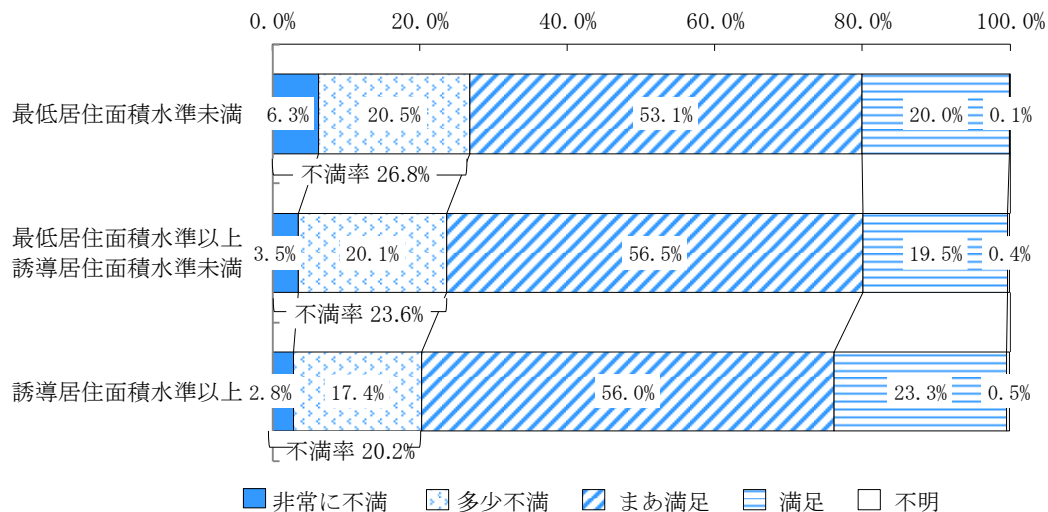


図 15 居住面積水準別の住宅及び居住環境の総合的な評価

2. 最近 5 年間の居住状況の変化に関する事項

(1) 最近 5 年間に実施した住み替えの状況

① 最近 5 年間に実施した住み替えの主な目的

最近 5 年間に実施した住み替えの主な目的を見ると、平成 30 年は「通勤・通学の利便」が 35.9%と最も多く、次いで「広さや部屋数」が 21.8%、「世帯からの独立(単身赴任、離婚などを含む)」が 19.5%となっている。

最近 5 年間に実施した住み替えの主な目的について、経年変化を見ると、平成 25 年まで「広さや部屋数」は総じて減少していたが、平成 30 年で増加している。また、「住居費負担の軽減」は、平成 15 年は 7.1%であったもの平成 30 年には 13.5%に増加している。(図 16、表 5)

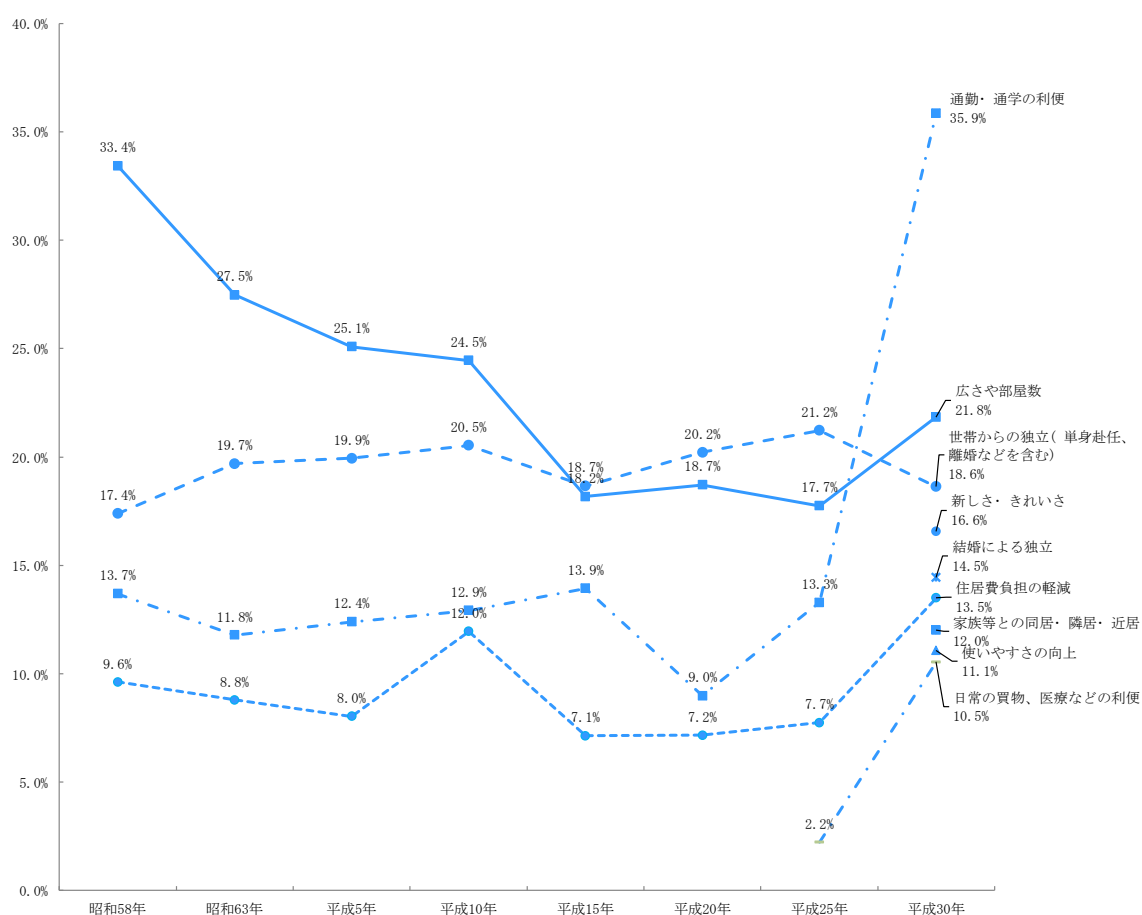


図 16 最近 5 年間に実施した住み替えの目的 (複数回答・主なもの)

注 最近 5 年間に住み替えをした世帯に対して、その目的を平成 10 年調査以前は 3 つまで、平成 15 年調査以降は 2 つまで選択させた。ここでは、平成 30 年において選択した世帯が 10%以上の 9 項目に関して経年変化を表示した。なお、平成 25 年調査の「住宅を広くする、部屋を増す」、「間取り、収納、設備などを使いやすくする」を平成 30 年調査では「広さや部屋数」として集計、「地震に対する安全性の向上」、「台風に対する安全性の向上」、「水害・津波を避ける」、「犯罪に対する安全性の向上」を「災害に対する安全性・治安」として集計した。

② 最近 5 年間に実施した住み替えにおける居住形態の変化別の割合

最近 5 年間に住み替えを実施した世帯の割合を、持ち家から持ち家、持ち家から借家、借家から持ち家、借家から借家の 4 種類の居住形態の変化別で集計すると、ほぼ半数が借家から借家への住み替えであり、借家から持ち家への住み替えも含めると、全体の約 8 割が借家からの住み替えとなっている。（図 17、表 6）

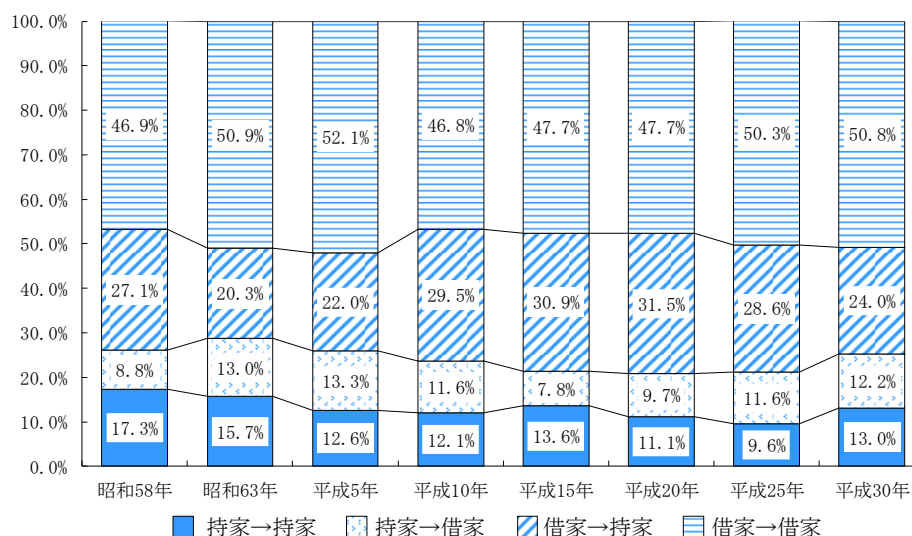


図 17 最近 5 年間の住み替え実施世帯における居住形態の変化別の割合

③ 住み替えの目的別に見た最近 5 年間の居住形態の変化別の割合

平成 30 年の居住形態の変化において、住み替えの目的（提示した項目のうち当てはまるもの全てを記入できる方式で調査し、当該項目を選択した世帯の割合）については、「通勤・通学の利便」では借家から借家が最も多く 32.2%となっている。次いで「広さや部屋数」では、借家から持ち家が最も多く 31.3%となっている。（図 18、表 7）

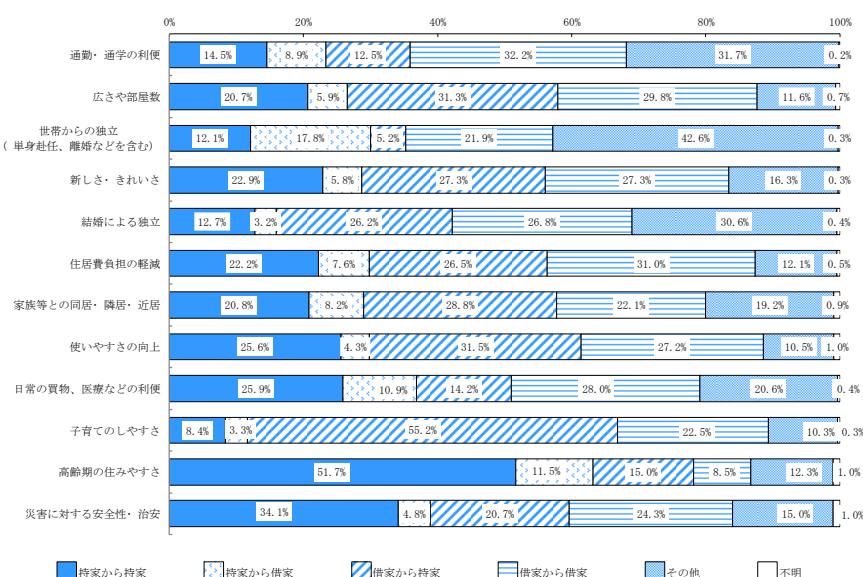


図 18 住み替えの目的別に見た最近 5 年間の居住形態の変化別の割合

④ 最近 5 年間に実施した持ち家への住み替えにおける住宅の取得方法

最近 5 年間に持ち家へ住み替えた世帯の住宅の取得方法を見ると、ほぼ半数が新築の住宅を取得している。また、平成 30 年においては、「相続・贈与で取得」が、平成 25 年の 9.9%から 11.5%に増加している。また、「建て替え」の経年変化を見ると、平成 5 年から平成 15 年まで減少傾向であったが、平成 20 年に 22.8%に増加し、平成 30 年では 17.7%に減少している。（図 19、表 8）

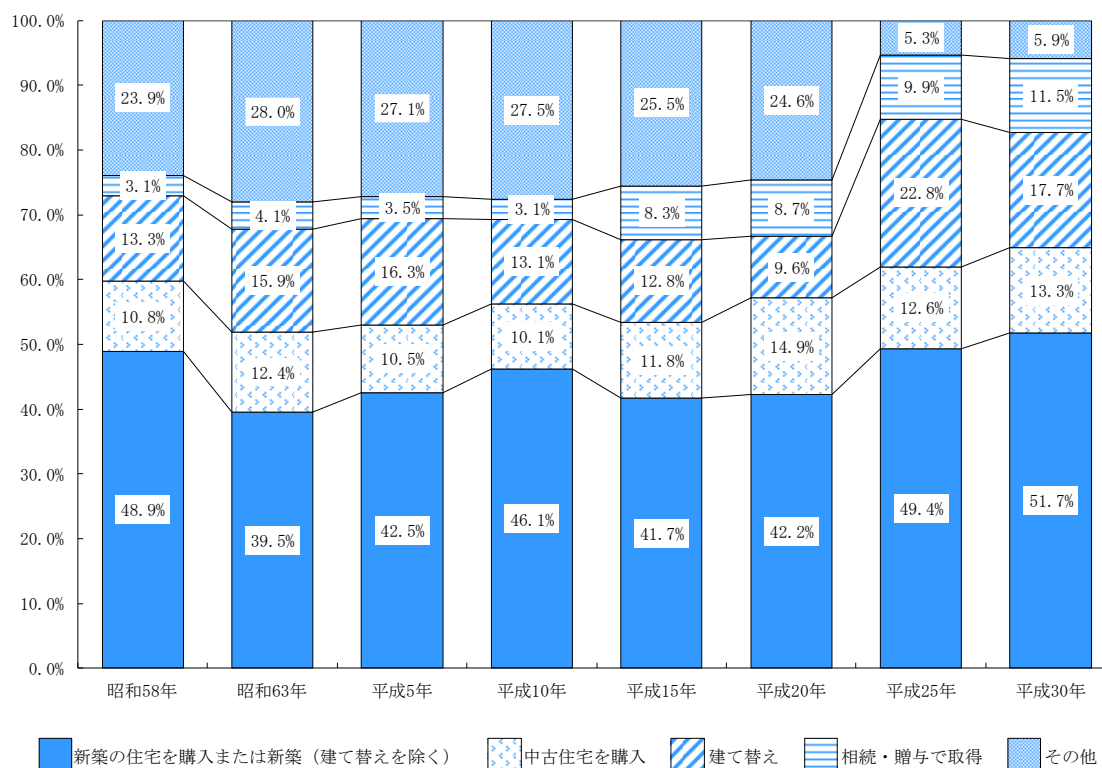


図 19 最近 5 年間に持ち家に住み替えた世帯の住宅の取得方法

注 平成 15 年調査及び平成 20 年調査に「新築の住宅を購入」の項目が無いため、平成 30 年調査では「新築の住宅を購入」と「新築（建て替えを除く）」を合わせて集計した。

(2) 最近 5 年間に実施した住み替えの満足度

① 広さや部屋数

最近 5 年間に実施した住み替えの目的に「広さや部屋数」を選択した世帯の「広さや間取り」の満足度を見ると、89.7%となっている。（図 20、表 9）

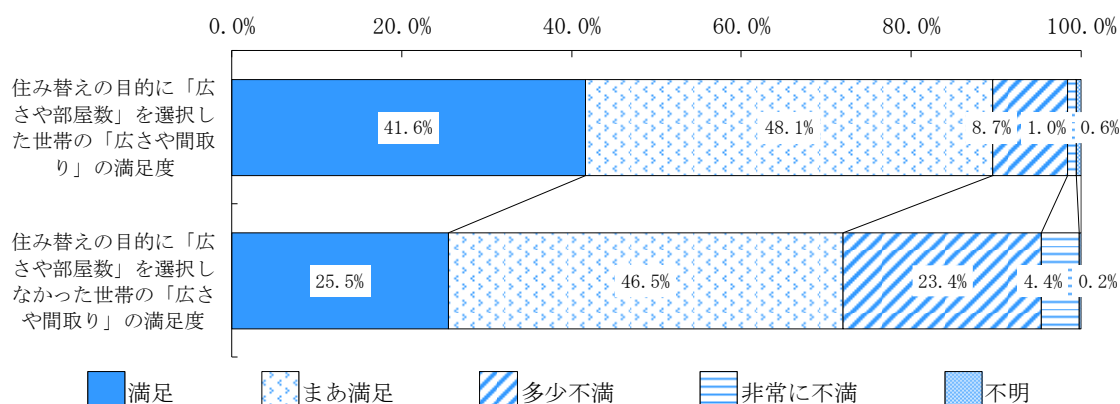


図 20 住み替えの満足度「広さや部屋数」

② 収納の多さ、使い勝手・水回りの広さ、使い勝手

最近 5 年間に実施した住み替えの主な目的に住み替えの目的に「使いやすさの向上」を選択した世帯の満足度を見ると、「収納の多さ、使い勝手」は 69.0%、「水回りの広さ、使い勝手」は 84.1%となっている。（図 21、表 9）

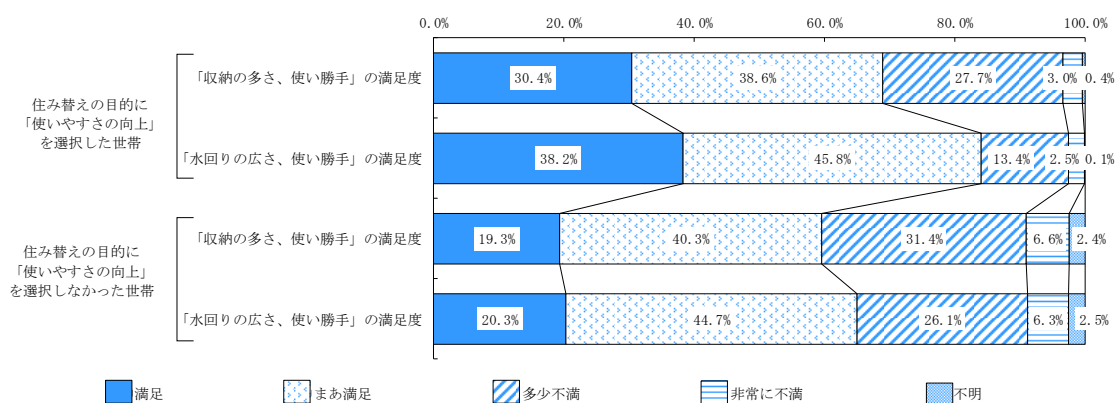


図 21 住み替えの満足度「収納の多さ、使い勝手・水回りの広さ、使い勝手」

③ 維持管理のしやすさ

最近 5 年間に実施した住み替えの目的に「使いやすさの向上」を選択した世帯の「維持管理のしやすさ」の満足度を見ると、85.9%となっている。（図 22、表 9）

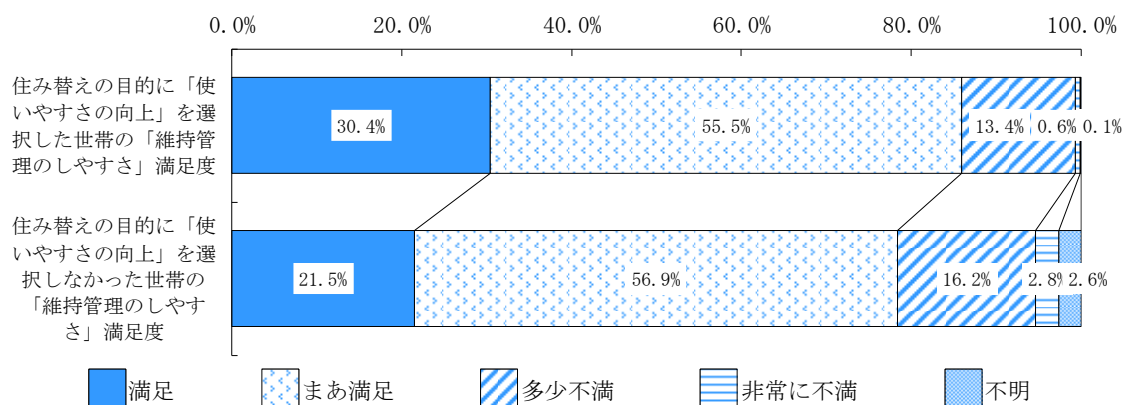


図 22 住み替えの満足度「維持管理のしやすさ」

④ 換気の高さ(臭いや煙などが残らない)、日当たり、断熱性

最近 5 年間に実施した住み替えの主な目的に住み替えの目的に住み替えの目的に「性能の向上(断熱性、省エネ性など)」を選択した世帯の満足度を見ると、「換気の高さ(臭いや煙などが残らない)」は 87.1%、「日当たり」は 87.2%、「断熱性」は 87.1% となっている。（図 23、表 9）

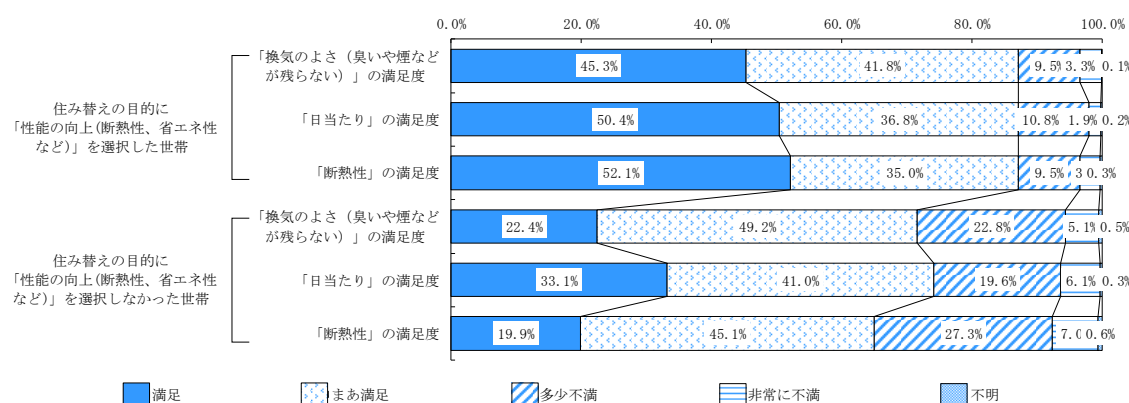


図 23 住み替えの満足度「換気の高さ(臭いや煙などが残らない)、日当たり、断熱性」

⑤ 住居費負担

最近 5 年間に実施した住み替えの目的に「住居費負担の軽減」を選択した世帯の「住居費負担」の満足度を見ると、55.9%となっている。（図 24、表 9）

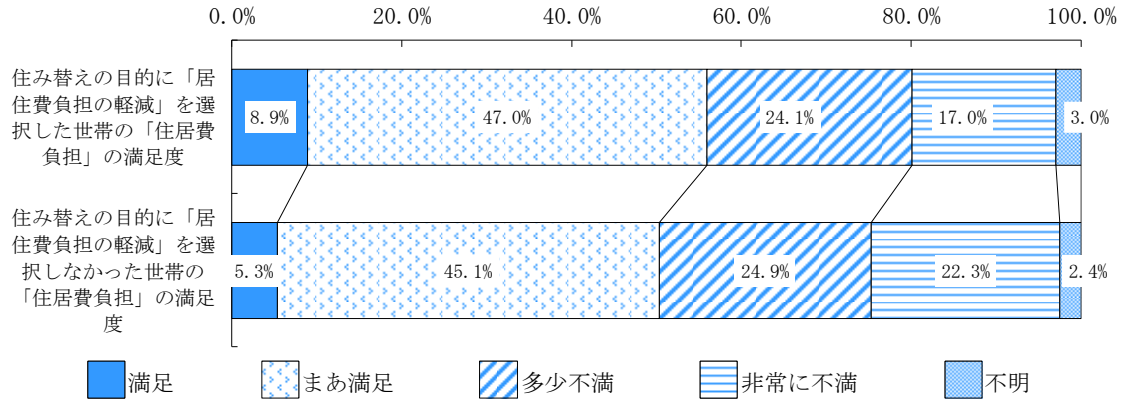


図 24 住み替えの満足度「住居費負担」

⑥ 災害時の避難のしやすさ

最近 5 年間に実施した住み替えの目的に「災害に対する安全性・治安」を選択した世帯の「災害時の避難のしやすさ」の満足度を見ると、81.9%となっている。（図 25、表 9）

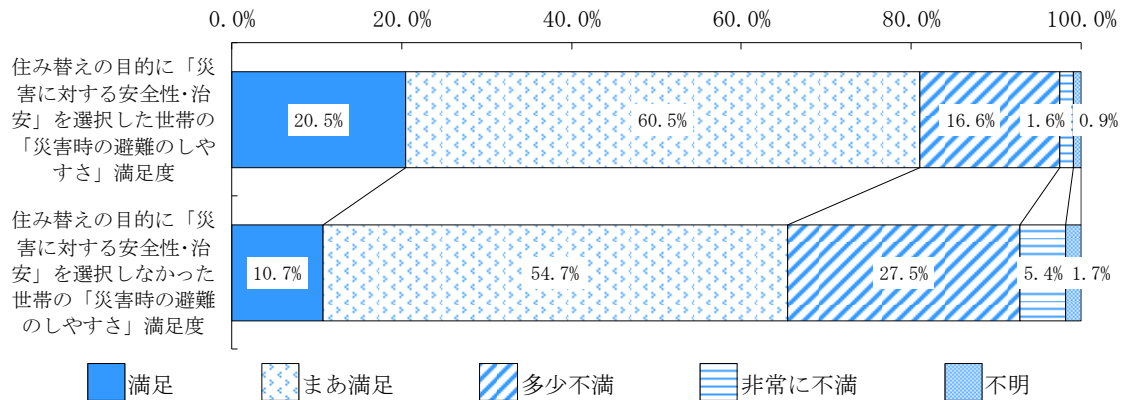


図 25 住み替えの満足度「災害時の避難のしやすさ」

⑦ 治安

最近5年間に実施した住み替えの目的に「安全・治安・周辺施設」を選択した世帯の「治安」の満足度を見ると、90.3%となっている。（図26、表9）

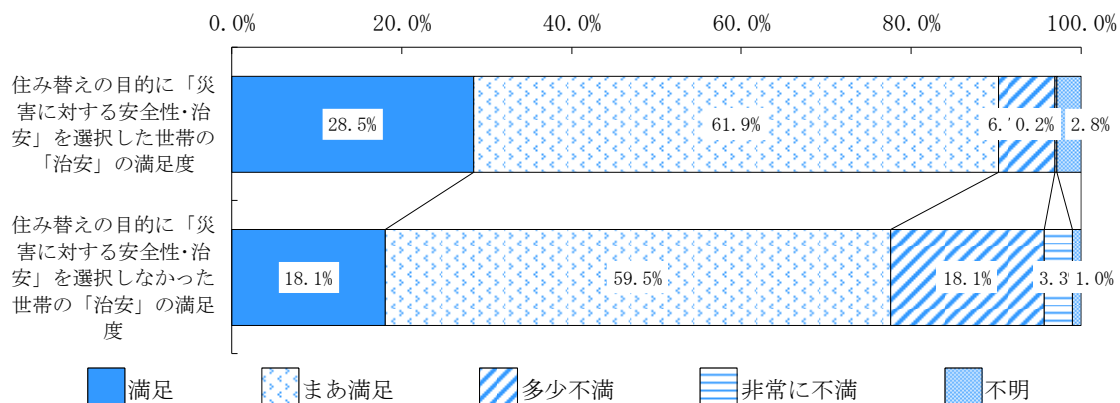


図 26 住み替えの満足度「治安」

⑧ 福祉・介護の生活支援サービス

最近5年間に実施した住み替えの目的に「高齢期の住みやすさ」を選択した世帯の「福祉・介護の生活支援サービス」の満足度を見ると、78.8%となっている。（図27、表9）

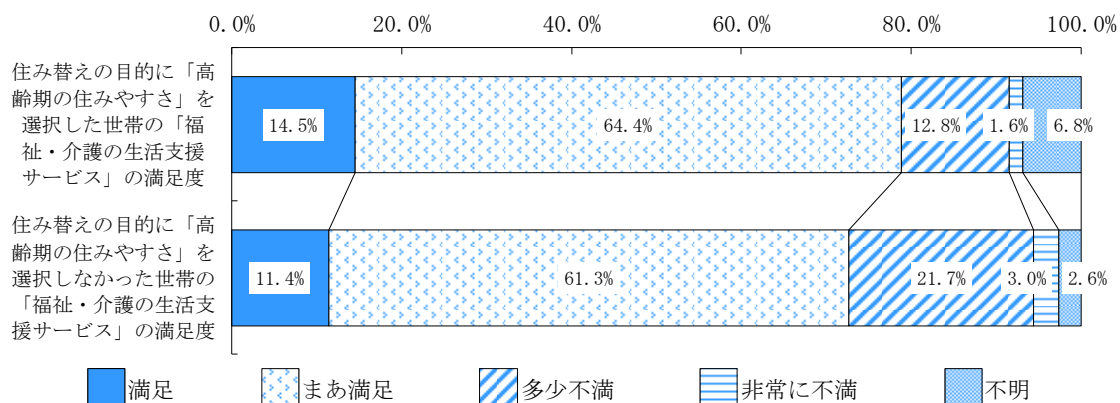


図 27 住み替えの満足度「福祉・介護の生活支援サービス」

⑨ 通勤・通学の利便

最近 5 年間に実施した住み替えの目的に「通勤・通学の利便」を選択した世帯の「通勤・通学の利便」の満足度を見ると、88.0%となっている。（図 28、表 9）

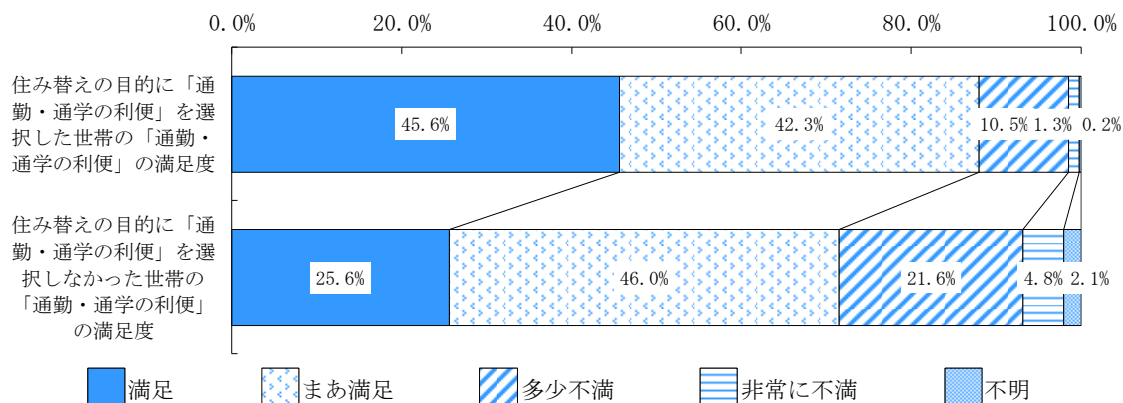


図 28 住み替えの満足度「通勤・通学の利便」

⑩ 日常の買物などの利便、医療・福祉・文化施設など

最近 5 年間に実施した住み替えの目的に「日常の買物、医療などの利便」を選択した世帯の満足度を見ると、「日常の買物などの利便」は 96.9%、「医療・福祉・文化施設など」は 89.2%となっている。（図 29、表 9）

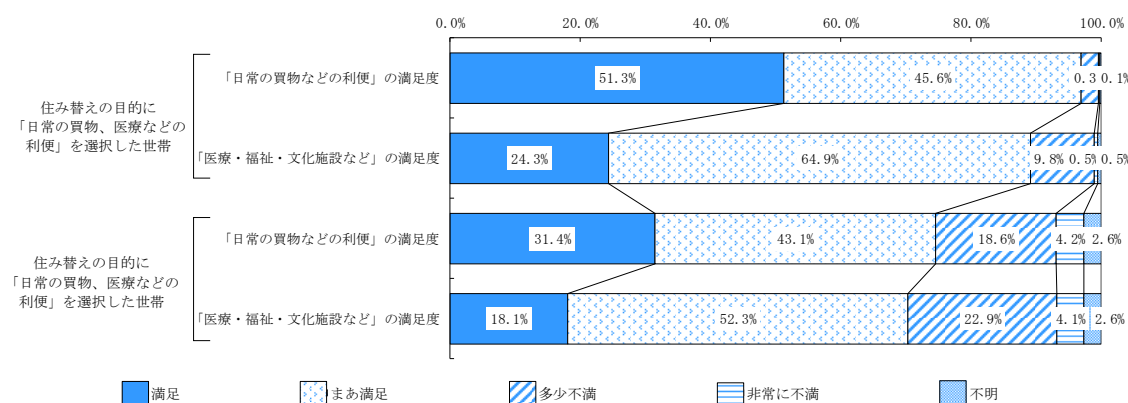


図 29 住み替えの満足度「日常の買物などの利便、医療・福祉・文化施設など」

3. 今後の住まい方の意向に関する事項

(1) 今後の住み替え・改善意向

本項目では、将来の住まい方の意向について、「今後の住み替え・改善意向」として集計した。

① 今後の住み替え意向

今後の住み替え意向を見ると、平成 30 年の「住み替えたい」とする世帯は 19.7% となっている。

今後の住み替え意向について、経年変化を見ると「住み替えたい」は減少していたが、平成 25 年から平成 30 年で微増している。(0.2 ポイント)。(図 30、表 10)

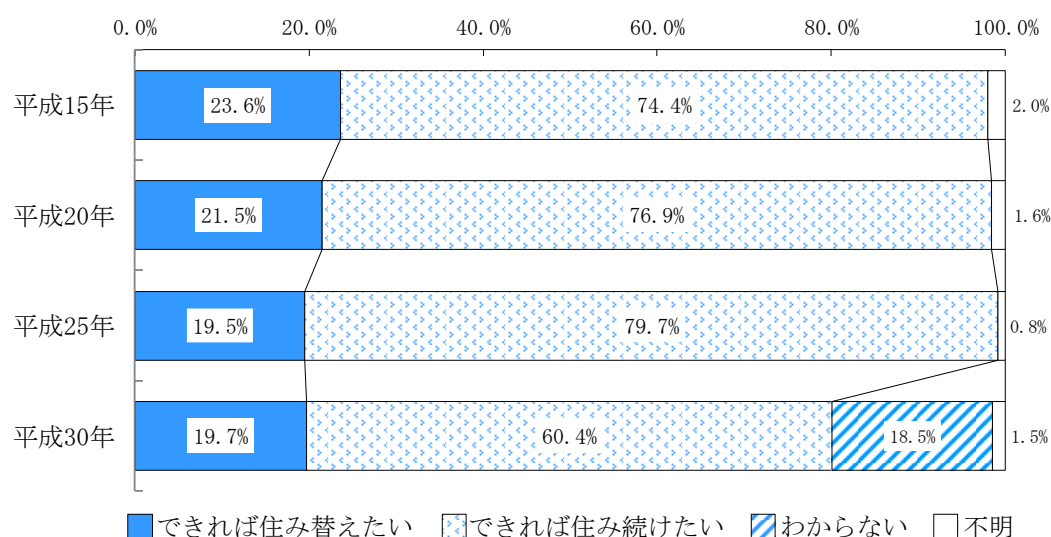


図 30 今後の住み替え意向

注 平成 25 年の調査では、住み替え意向について「考えている」と「考えていない（現住所に住み続ける）」の選択肢となっていたが、平成 30 年調査で変更となったため、「考えている→できれば住み替えたい」、「考えていない（現住所に住み続ける）→できれば住み続けたい」で集計し、「わからない」と新設して集計を行った。

② 今後の居住形態

今後の住み替え意向について、現在の所有関係（持ち家・借家）別に見ると、現在持ち家の世帯は、持ち家への住み替え意向が 62.7%、借家などへの住み替え意向が 10.2%となっている。現在借家の世帯は、持ち家の住み替え意向が 36.2%、借家などへの住み替え意向が 37.5%となっている。持ち家への住み替え意向は、現在持ち家の世帯が借家世帯より 26.5 ポイント多く、借家などへの住み替え意向は、現在借家の世帯が持ち家世帯より 27.3 ポイント多くなっている。（図 31、表 11）

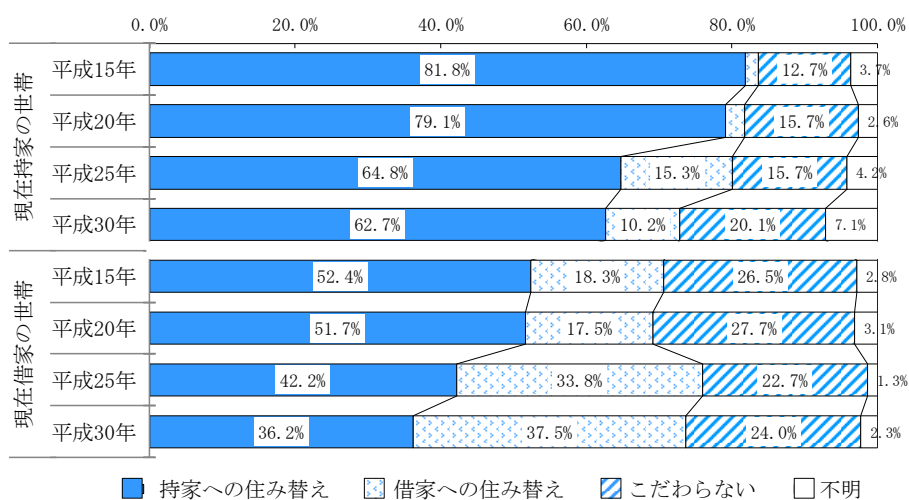


図 31 今後の居住形態（持ち家・借家）に関する意向

③ 今後の住み替え方法

今後の持ち家への住み替え方法（新築住宅・中古住宅別）について、現在の所有関係（持ち家・借家）別の経年変化を見ると、現在持ち家の世帯の住み替え先の意向については、新築住宅が減少し、平成 15 年の 75.1%から平成 30 年の 53.9%となっている。現在借家の世帯の住み替え先の意向についても、新築住宅が減少し、平成 15 年の 69.3%から平成 30 年の 49.1%となっている。中古住宅が増加し、平成 15 年の 6.2%から平成 30 年の 33.6%となっている。（図 32、表 11）

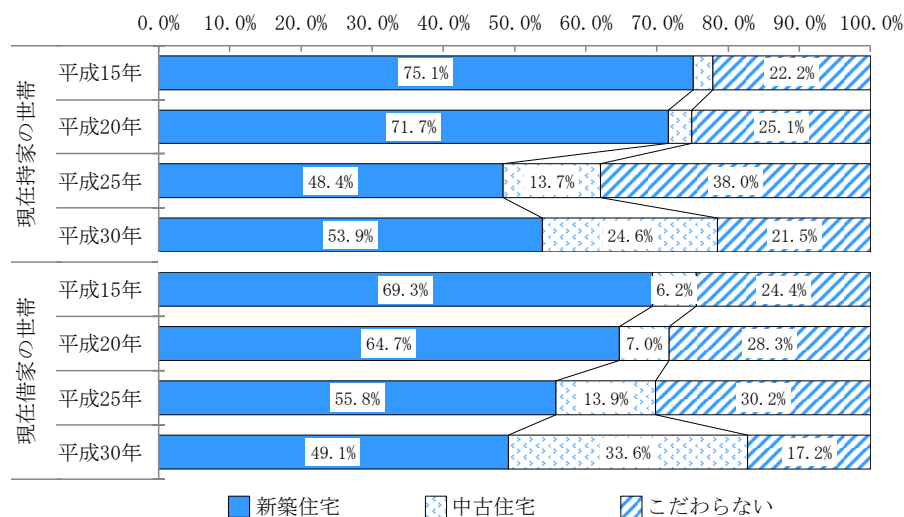
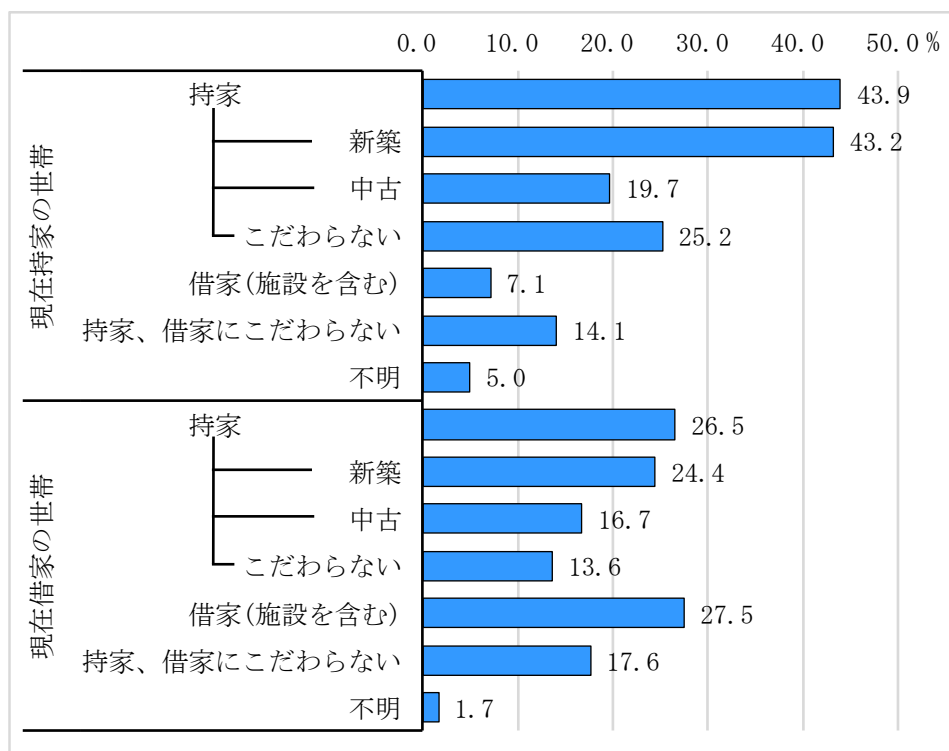


図 32 今後の持ち家への住み替え方法（新築・中古）に関する意向



(参考) 所有関係別今後の持ち家への住み替え方法（新築・中古）に関する意向

注 平成 25 年の調査では単数回答だったが、平成 30 年の調査では複数回答となったため、参考として所有関係別の集計を参考として再掲した。

(2) 今後の住み替え・改善の実現時期

① 持ち家に住む世帯の将来の住み替え時期

今後の住み替え・改善の実現時期に関する意向について、現住居の建築時期別に見ると、現在持ち家に住む世帯における住み替え意向は平成3～7年建築の住宅に住む世帯がピークとなっているが、建築時期が新しい住宅ほど実施時期を「10年先以降」とする世帯が多くなっている。（図33、表12）

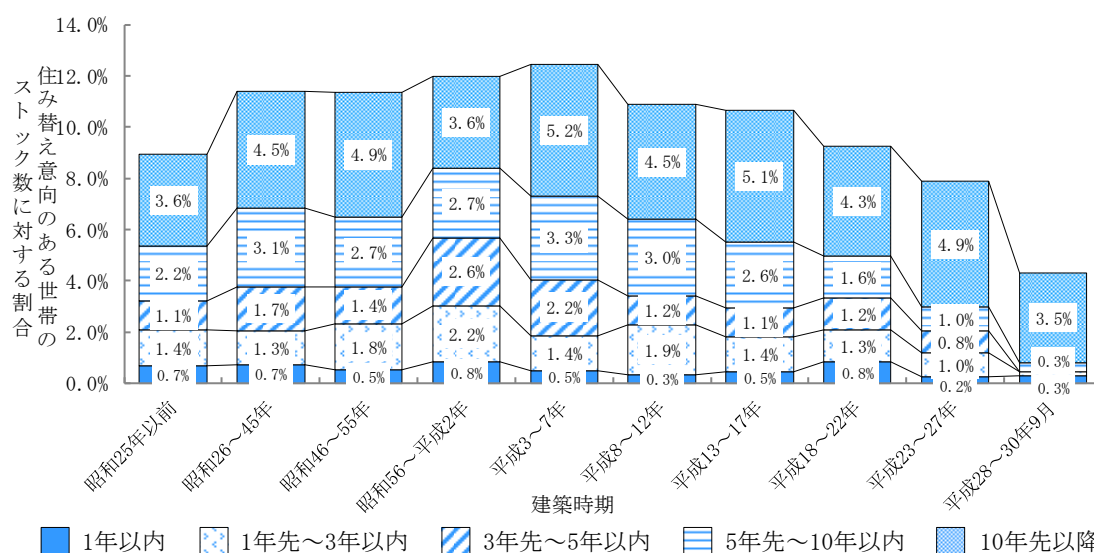


図 33 現住居の建築時期別の将来の住み替え時期〔持ち家〕

② 借家に住む世帯の将来の住み替え時期

現在借家に住む世帯の住み替え意向は、現住居の建築時期別に見ると平成28～30年9月建築の住宅に住む世帯がピークとなっており、実施時期については、「1年～3年以内」とする世帯が多くなっている。（図34、表12）

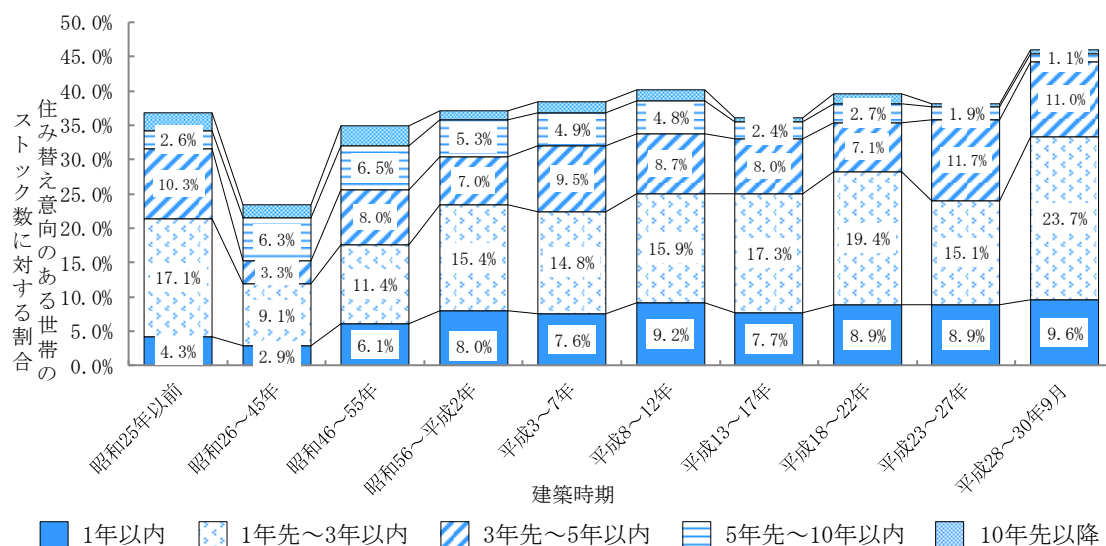


図 34 現住居の建築時期別の将来の住み替え時期〔借家〕

③ 将来のリフォーム時期

リフォーム時期は、現住居の建築時期別に見ると平成3～7年建築の住宅に住む世帯が多くなっており、実施時期については、建築時期が平成2年以前の古い住宅に住む世帯においては、比較的近い将来に実施する意向を持つ世帯が多くなっている一方、平成8年以降の新しい住宅に住む世帯では、比較的遠い将来とする世帯が多くなっている。（図35、表12）

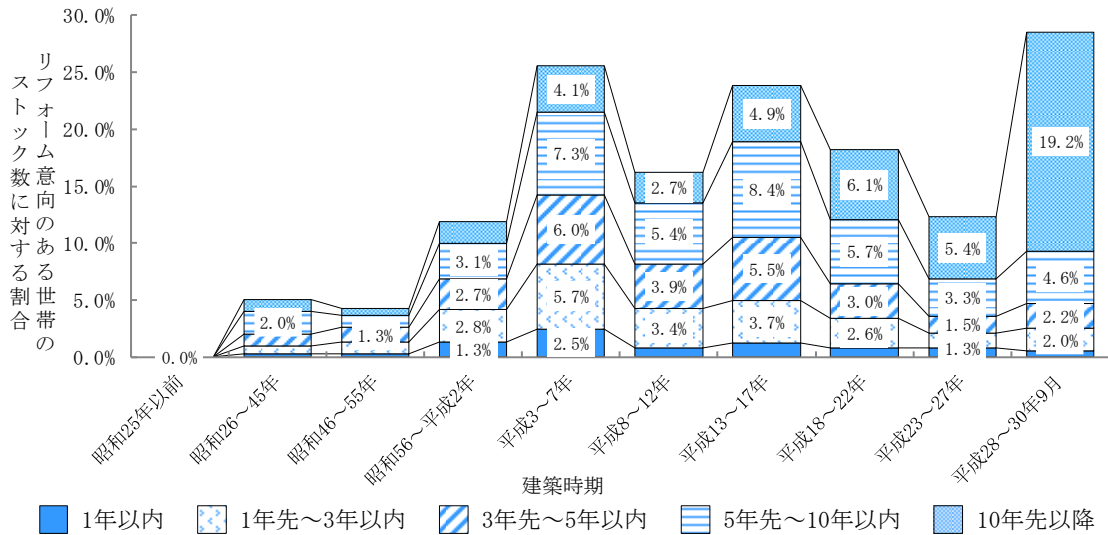


図 35 現住居の建築時期別の将来のリフォームの時期

(3) 今後 5 年以内における住み替え・改善意向

本項目では、今後 5 年以内における住まい方に関する意向について詳細に調査した。

① 今後 5 年以内の住み替え・改善意向

平成 30 年の調査における現在持ち家に住む世帯の今後 5 年以内の住み替え・改善意向を見ると、住み替え意向を持つ世帯の割合が 8.2%、リフォーム・建て替え意向の割合が 1.9%、リフォーム意向の割合が 10.7%、建て替え意向の割合が 0.6%となっており、今後 5 年以内の住み替え・改善意向のない割合が全体の約 80%を占める。今後 5 年以内の住み替え・改善意向について、経年変化を見ると、住み替え意向は、平成 10 年以降 10%前後で横ばいとなっている。建て替え意向は総じて減少し、昭和 63 年の 4.8%から平成 30 年の 0.6%となっている。リフォーム意向は、平成 30 年は 10.7%と増加している。(図 36、表 10)

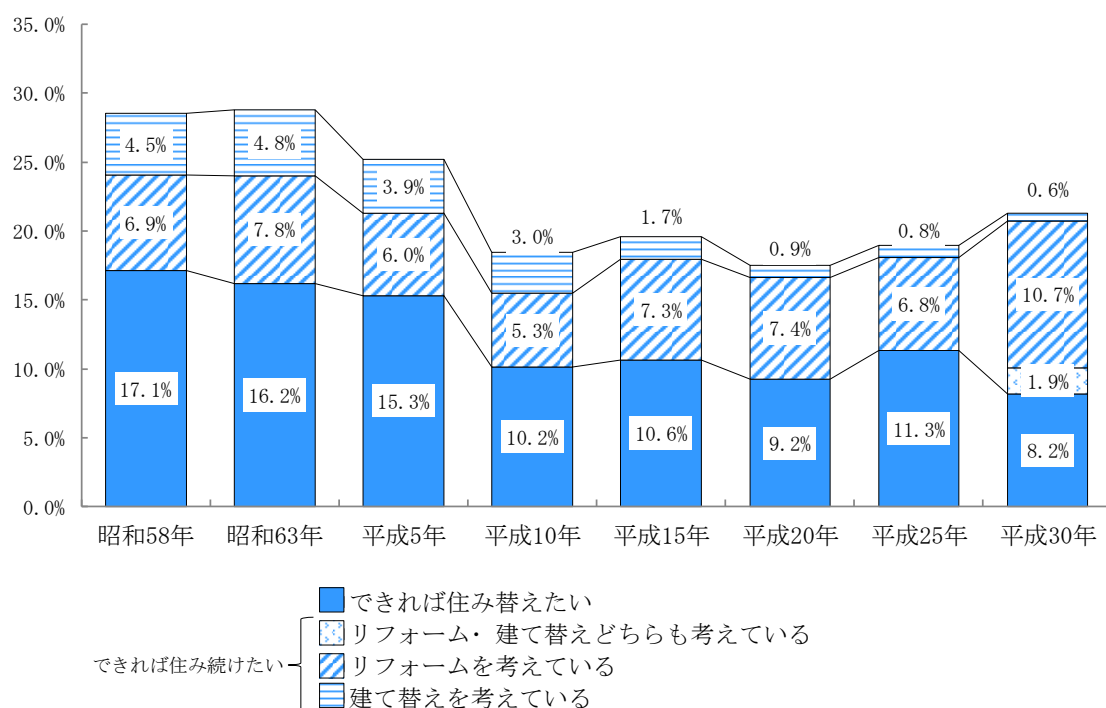


図 36 今後 5 年以内の住み替え・改善意向

注 平成 30 年では、「リフォーム・建て替えどちらも考えている」が追加された。

② 家族構成別の今後 5 年以内の住み替え意向

今後 5 年以内の住み替え意向について、家族構成別に経年変化を見ると、64 歳以下の単身世帯の住み替え意向が平成 10 年以降増加しており、平成 10 年の 12.3%から平成 30 年の 32.5%となっている。また、親と子世帯では平成 20 年まで減少していたが、平成 25 年から増加しており 21.1%となっている。

65 歳以上の高齢者世帯は、単身、夫婦世帯とも、住み替え意向を持つ割合が高くなっている。（図 37、表 10）

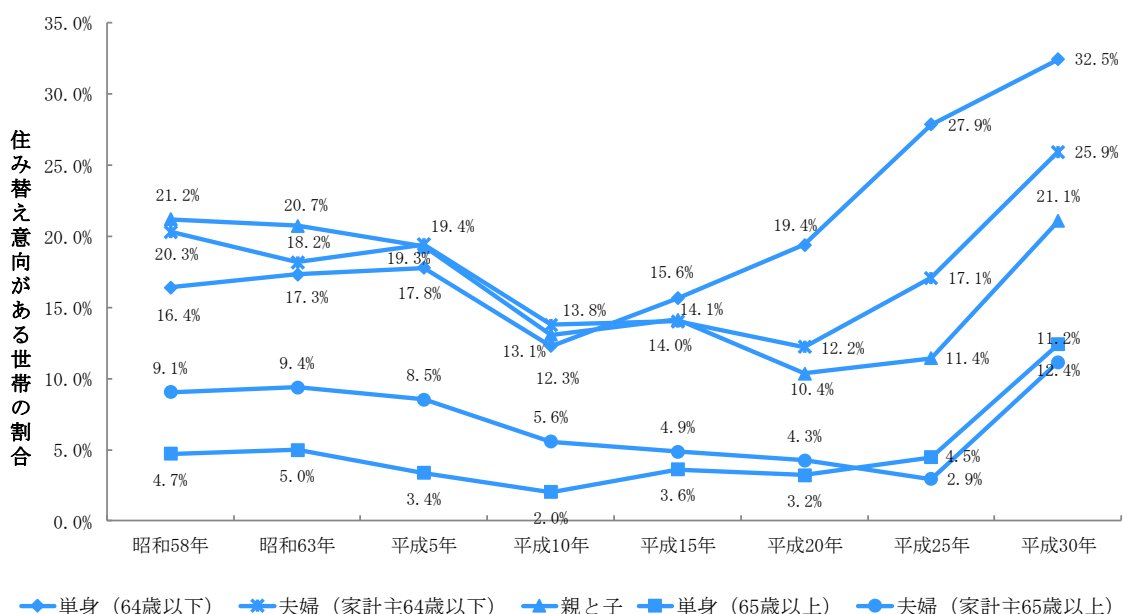


図 37 家族構成別の住み替え意向

③ 住み替えの目的（複数回答・主なもの）

今後5年以内に住み替え意向を持つ世帯において、住み替えの主な目的（提示した項目のうち当てはまるものをすべて記入できる方式で調査し、当該項目を選択した世帯の割合）は、「広さや部屋数」が42.3%と最も多く、「使いやすさの向上」が31.9%、「新しさ・きれいさ」が27.4%、「性能の向上(断熱性、省エネ性など)」が22.7%となっている。

これを最近5年間に実際に住み替えた世帯の主な目的と比較すると、「使いやすさの向上」（20.8ポイント）、「広さや部屋数」（20.5ポイント）、「性能の向上(断熱性、省エネ性など）」（16.6ポイント）において、今後5年以内の住み替え意向の主な目的にあげた世帯の割合が、最近5年間に実施した住み替え実績の主な目的にあげた世帯を大きく上回っている。（図38、表5、表22）

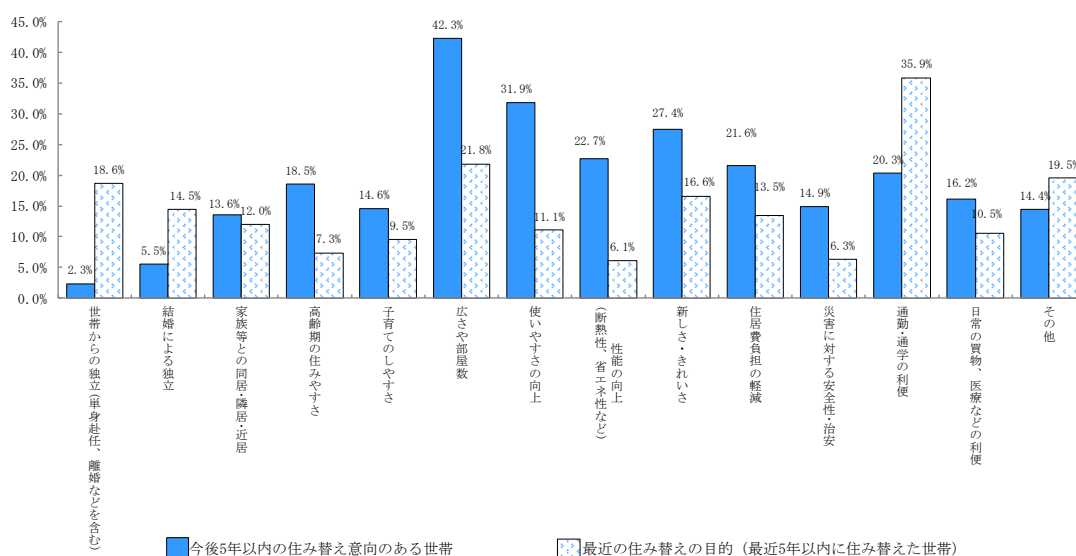


図 38 住み替えの目的（複数回答・主なもの）

④ 今後 5 年以内の住み替え意向における居住形態の変化別の割合

今後 5 年以内の住み替え意向について、住み替え前後の居住形態の変化別（持ち家→持ち家、持ち家→借家、借家→持ち家、借家→借家）に経年変化を見ると、借家→借家の住み替え意向が総じて増加しており、平成 5 年の 16.8%から平成 25 年の 38.3%となっている。一方、持ち家→持ち家の住み替え意向が減少しており、平成 5 年の 33.3%から平成 25 年の 15.4%となっている。

平成 30 年では住み替え後の居住形態を複数回答としたため、持ち家→持ち家が最も多く 32.8%となっており、次いで借家から借家が 31.7%となっている。（図 39、表 13）

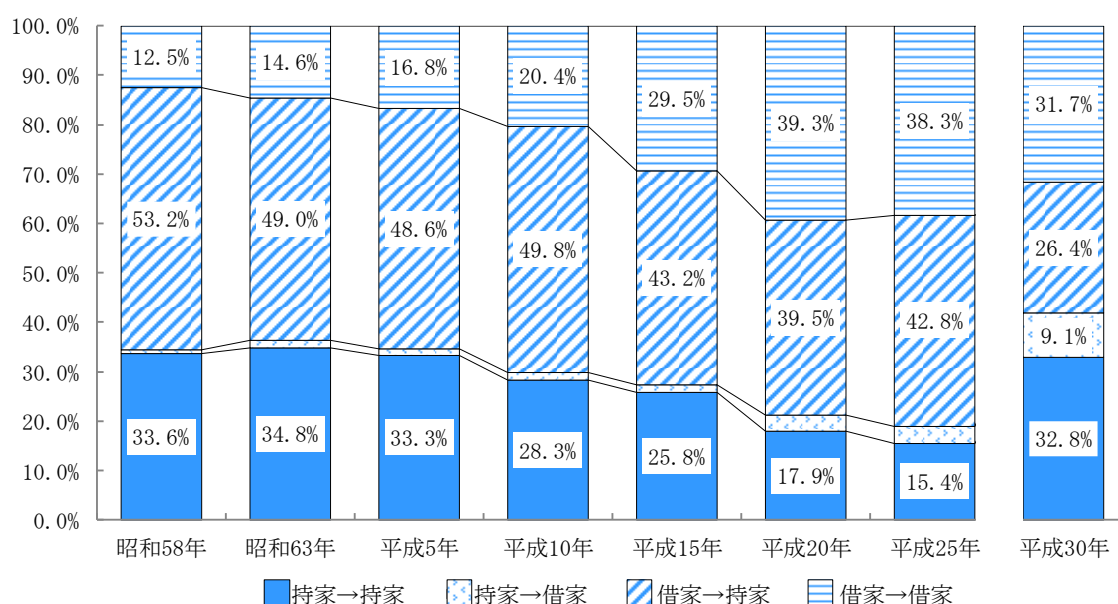


図 39 今後 5 年以内の住み替え意向における居住形態の変化の別の割合

注 平成 25 年調査では、住み替え後の居住形態が単数回答だったが、平成 30 年調査では複数回答となっている。

⑤ 今後5年以内のリフォーム意向を持つ世帯の考えている工事内容

今後5年以内のリフォーム意向を持つ世帯の考えている工事内容について見ると、平成30年調査では「外装・内装の更新・改善」が61.1%と最も多く、次いで「設備の更新・改善」が55.9%となっている。（図40、表14）

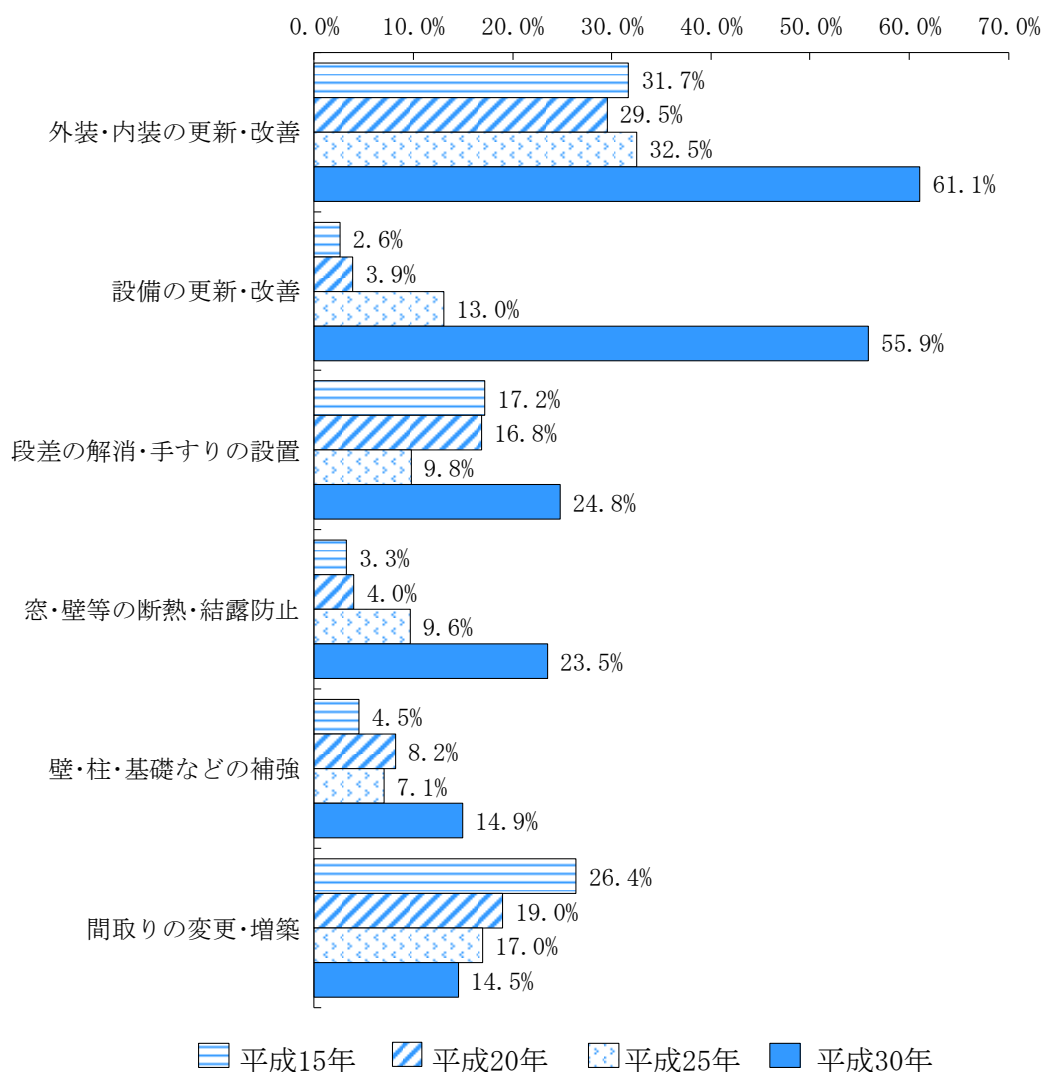


図 40 今後5年以内のリフォームの工事内容

注 当てはまる主なものを2つまで記入できる方式で調査している。平成10年の「増築、間取りの変更、収納の改善・増加」は、「壁の位置を変更する等、間取りの変更をする」の割合と「収納スペースの改善・設置をする」の割合の単純合計である。平成10年の「天井、壁、床などの内装の改修」は「内装の模様替えをする」の割合と「窓、扉などの建具を取り替える」の割合の単純合計である。平成25年では、2つまでの回答だったが、平成30年では当てはまるもの全てを選んでいる。

(4) 今後5年以内の住み替えの課題

今後5年以内に住み替え・改善意向を持つ世帯に対して、その課題について、提示した項目のうちあてはまるもの全て記入できる方式で調査し、当該項目を選択した世帯の割合を集計した。

① 住み替えの課題

今後5年以内に住み替え意向を持つ世帯の住み替えの課題について、平成30年を見ると、「資金・収入等の不足」が52.1%と最も多くなっている。（図41、表15）

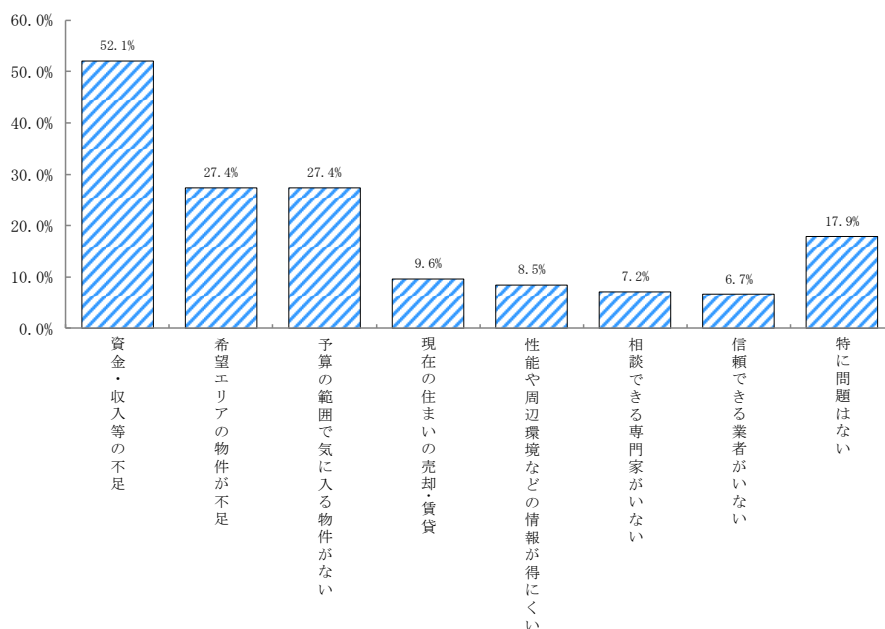
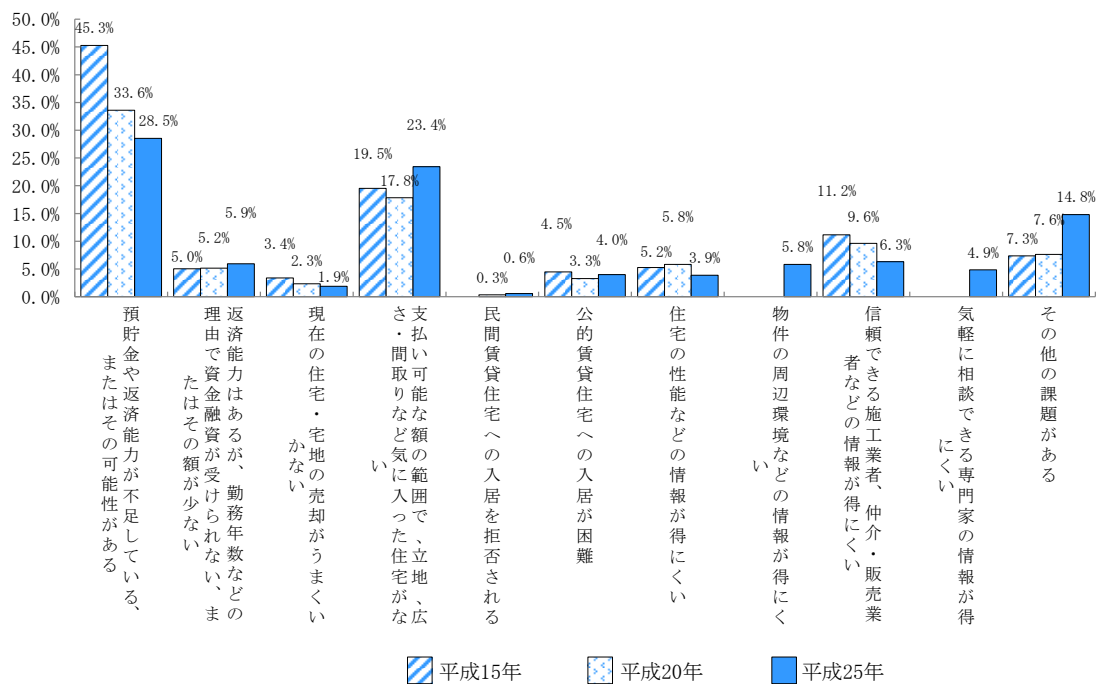


図 41 今後5年以内の住み替えの課題

注 平成25年調査までは「住み替え・改善の課題」を合わせて調査していたが、平成30年調査では、「住み替えの課題」、「リフォーム・建て替えの課題」に分けて調査した。

(参考) 過去の調査の住み替え・改善の課題

平成 15 年から平成 25 年の過去 3 回の調査では、「預貯金や返済能力の不足、またはその可能性がある」が最も多いものの、その割合は減少している。



(参考) 今後 5 年以内の住み替えの課題に関する過去 3 回の比較

② 住み替え先別の住み替えの課題

今後 5 年以内に住み替え意向を持つ世帯においては、住み替え先の希望が持ち家と借家共に「資金・収入等の不足」が 5 割前後と最も多くなっている。「希望エリアの物件が不足」、「予算の範囲で気に入る物件がない」は住み替え先の希望が借家の方が高くなっている。（図 42、表 15）

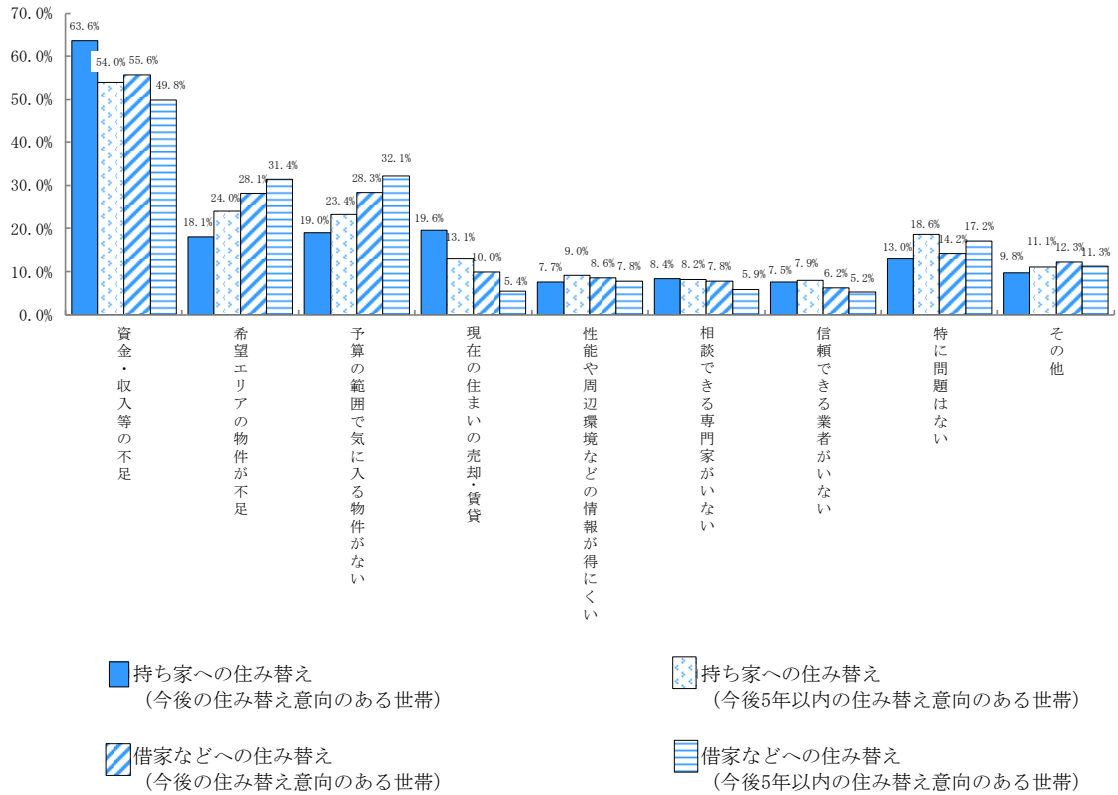


図 42 今後 5 年以内の住み替え先別の住み替えの課題

(5) 今後5年以内の改善の課題

今後5年以内に改善（リフォーム、建て替え）の意向を持つ世帯に対して、その課題について、提示した項目のうちあてはまるもの全て記入できる方式で調査し、当該項目を選択した世帯の割合を集計した。

① リフォームの課題

今後5年以内に改善の意向を持つ世帯のうちリフォームにおいては、「資金・収入等の不足」が55.4%と最も多く、次いで「タイミング」が12.8%となっている。（図43、表16）

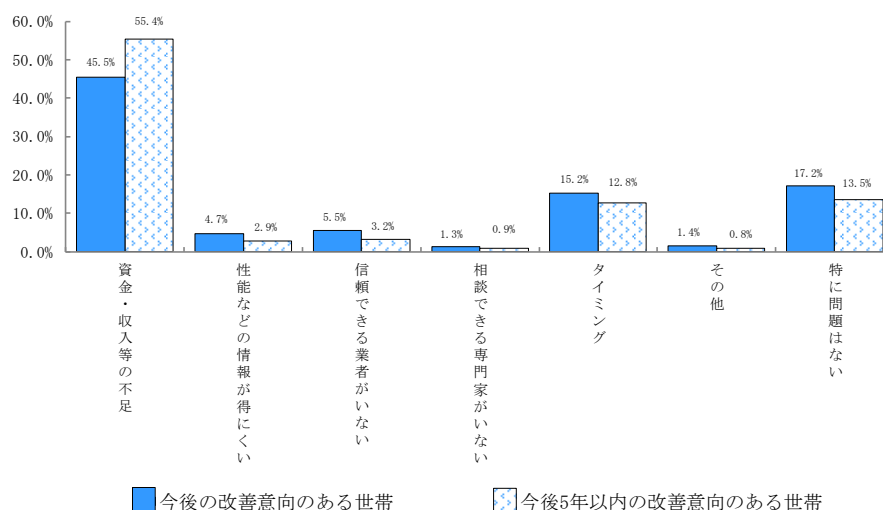


図 43 今後5年以内の改善（リフォーム）の課題

② 建て替えの課題

今後5年以内に改善の意向を持つ世帯のうち建て替えにおいては、「資金・収入等の不足」が16.9%と最も多く、次いで「タイミング」が3.1%となっている。（図44、表16）

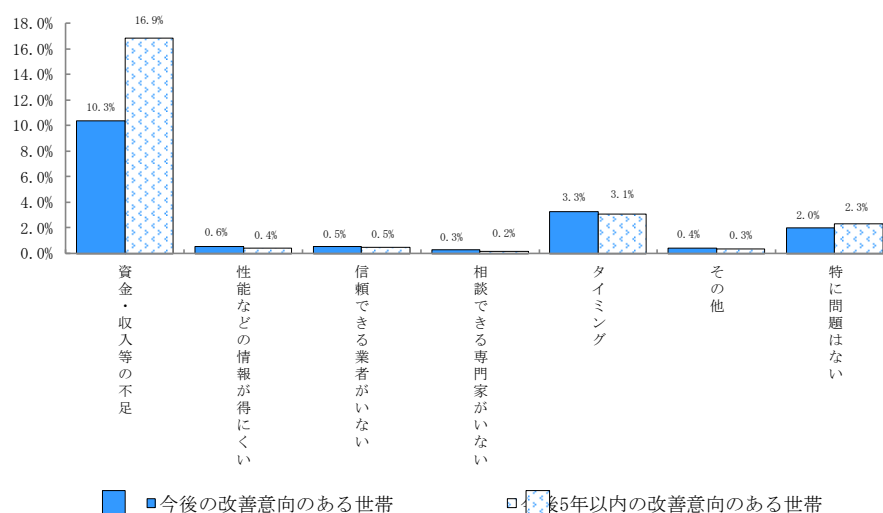


図 44 今後5年以内の改善（建て替え）の課題

(6) 今後の住み替え意向のない世帯

本項目では、今後の住み替え意向のない理由について、調査した。

① 住み替え意向のない理由

今後の住み替え意向のない理由について、「現在の住まいで満足」が 60.3%と最も多く、次いで、「住み慣れている」が 59.7%、「住み替える理由がない」が 48.8%となっている。（図 45、表 17）

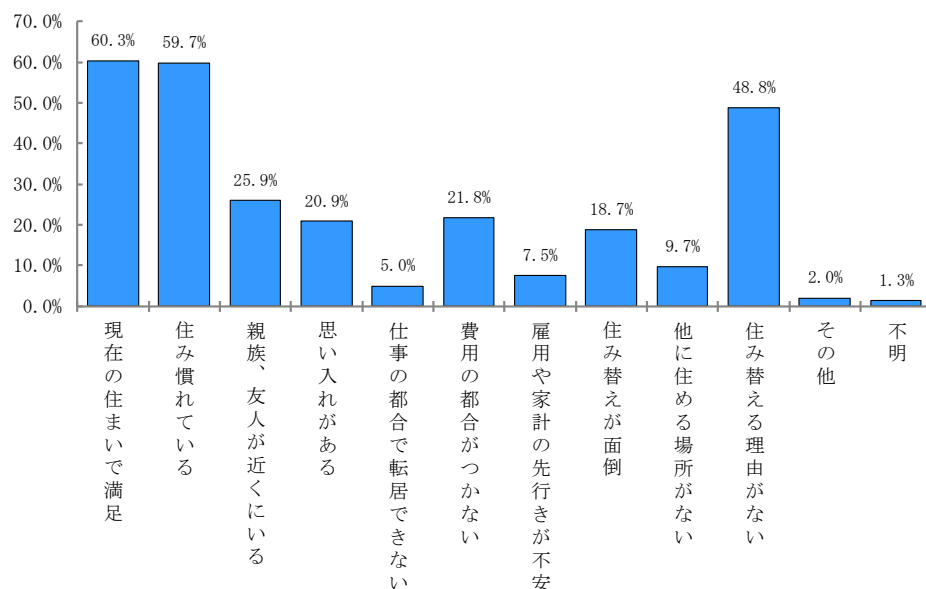
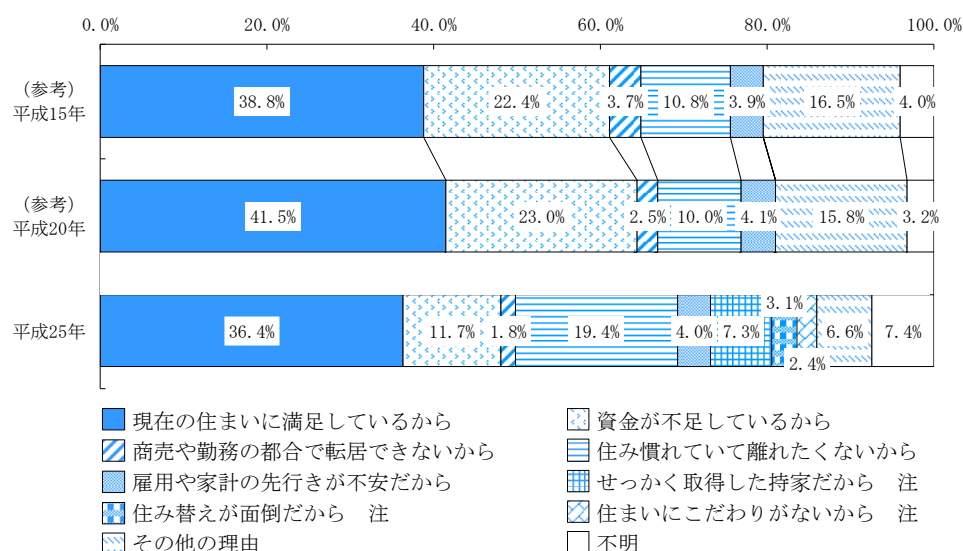


図 45 今後の住み替え意向のない理由



(参考) 今後の住み替え意向のない理由（単数回答）（平成 15～25 年）

注 平成 25 年調査では、従前の選択肢「将来、親、子、親族のところに移ることを考えているから」「もう少ししたてば今の状況が良くなりそうだから（世帯人員が減ったり、周りが便利になったりする）」を廃止し、「せつかく取得した持ち家だから」、「住み替えが面倒だから」、「住まいにこだわりのないから」を新設して調査した。ここでは廃止した選択肢は「その他の理由」にまとめて表示した。なお、平成 20 年調査以前は、今後 5 年以内に住み替え意向のない世帯を対象として調査していたが、平成 25 年調査では、将来にわたって住み替え意向のない世帯を対象とした。

② 今後の住み替え意向の有無別現在の住宅の点検等の依頼先（持ち家）

持ち家に居住している世帯のうち、今後の住み替え意向のない世帯の現在の住宅の点検等の依頼先について見ると、「現住宅の施工業者」が 33.6%と最も多く、次いで「点検していない」が 25.2%、「入居後に自身で探した業者」が 15.8%となっている。

現在の住宅の点検等の依頼先のうち、「点検していない」を見ると、今後の住み替え意向のない世帯に比べて今後の住み替え意向のある世帯の割合が高くなっている。

（図 46、表 18）

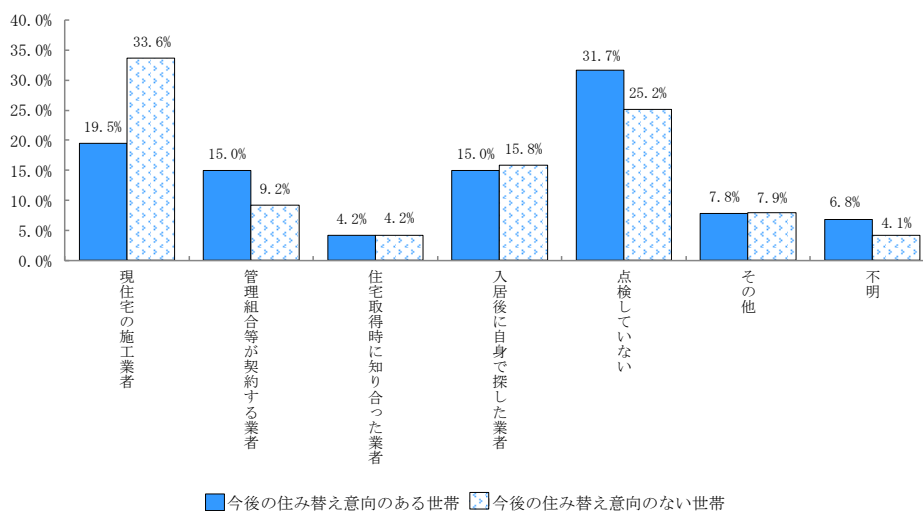


図 46 今後の住み替え意向の有無別の現在の住宅の点検等の依頼先（持ち家）

③ 今後の改善の意向の有無別現在の住宅の点検等の依頼先（持ち家）

住み替え意向のない世帯のうち、今後の改善の意向のある世帯の現在の住宅の点検等の依頼先について見ると、「現住宅の施工業者」が 32.0%と最も多く、次いで、「点検していない」が 26.9%、「入居後に自身で探した業者」が 16.0%となっている。（図 47、表 18）

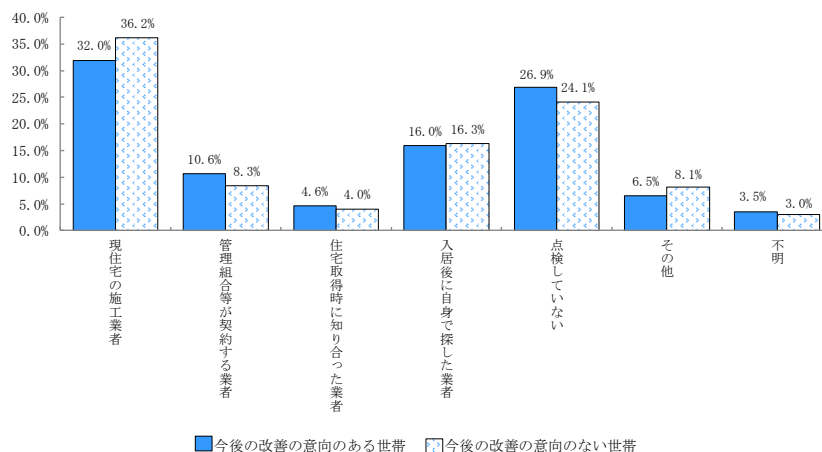


図 47 今後の改善意向の有無別の現在の住宅の点検等の依頼先(住み替え意向のない世帯)

4. 家族構成別に見た住宅及び居住環境の評価と住み替え・改善意向

(1) 子育て世帯の住まい方

本項目では、親と子からなる世帯について、家族構成・長子の年齢別に集計し、他の世帯との比較や長子の年齢別比較等を調査した。

① 家族構成別の居住面積水準

家族構成別に居住面積水準を見ると、最低居住面積水準未満の割合が最も多いのは単身（64歳以下）であり、5.0%となっている。また、最低居住面積水準未満の割合が最も少ないのは夫婦（家計主65歳以上）であり、0.4%となっている。

親と子（長子17歳以下）を見ると、誘導居住面積水準以上の世帯の割合が最も低く、43.2%となっている。（図48、表4）

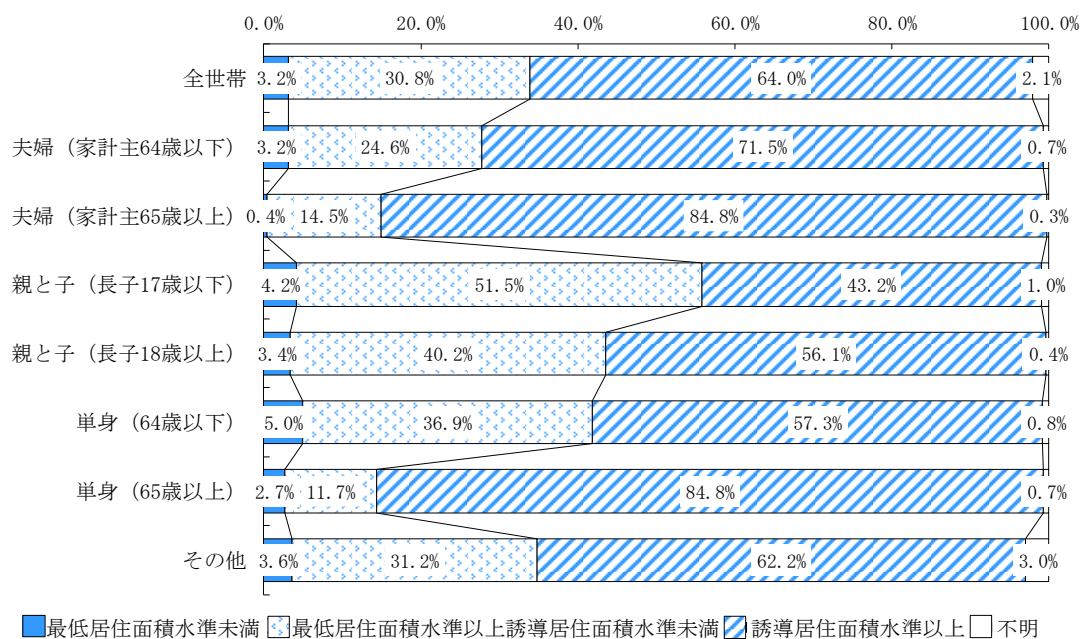


図 48 家族構成別の居住面積水準

② 子育て世帯の住宅及び居住環境の総合的な評価

住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関して、親と子からなる世帯の不満率を見ると、単身世帯よりは低いものの、夫婦のみの世帯に比べて高く、21.0%となっている。（図 49、表 1）

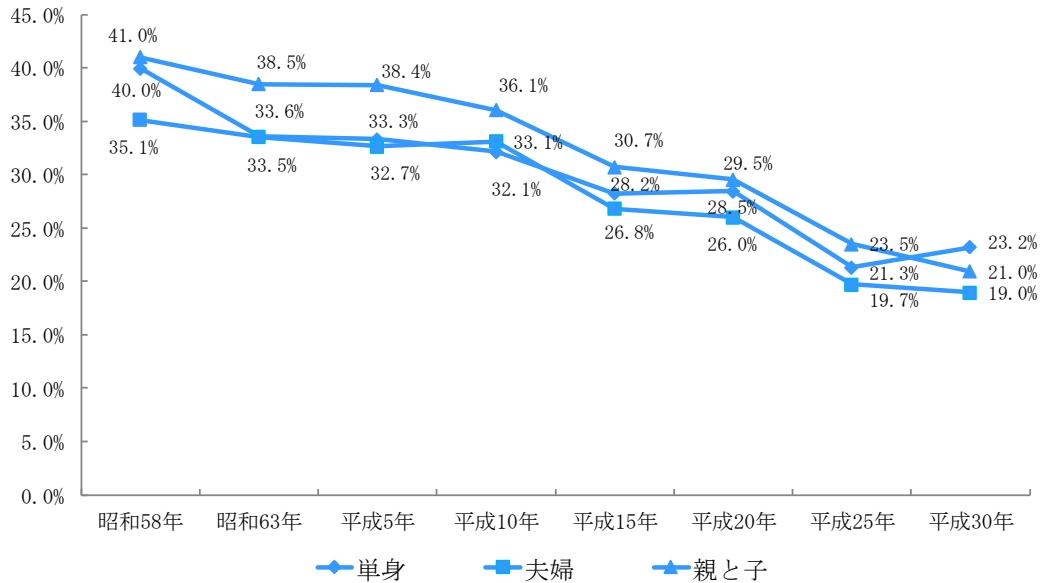


図 49 家族構成別の住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関する不満率(再掲)

③ 住宅及び居住環境に関して子育てのために最も重要と思う項目

子育て世帯が住宅及び居住環境に関して重要と思う項目（長子が17歳以下の世帯を抽出して集計）を見ると、「治安」が47.8%と最も多く、次いで「通勤・通学の利便」が45.7%、「日当たり」が43.4%、「日常の買物などの利便」が39.6%となっている。

また、全世帯の値と比較すると、「子どもの遊び場、子育て支援サービス」(+9.7ポイント)、「近隣の人やコミュニティとの関わり」(+5.7ポイント)、「道路の歩行時の安全性」(+5.2ポイント)などにおいて多くなっている。一方、「遮音性」(-9.1ポイント)、「水回りの広さ、使い勝手」(-4.7ポイント)、「広さや間取り」(-4.0ポイント)などにおいて少なくなっている。（図 50、表 19）

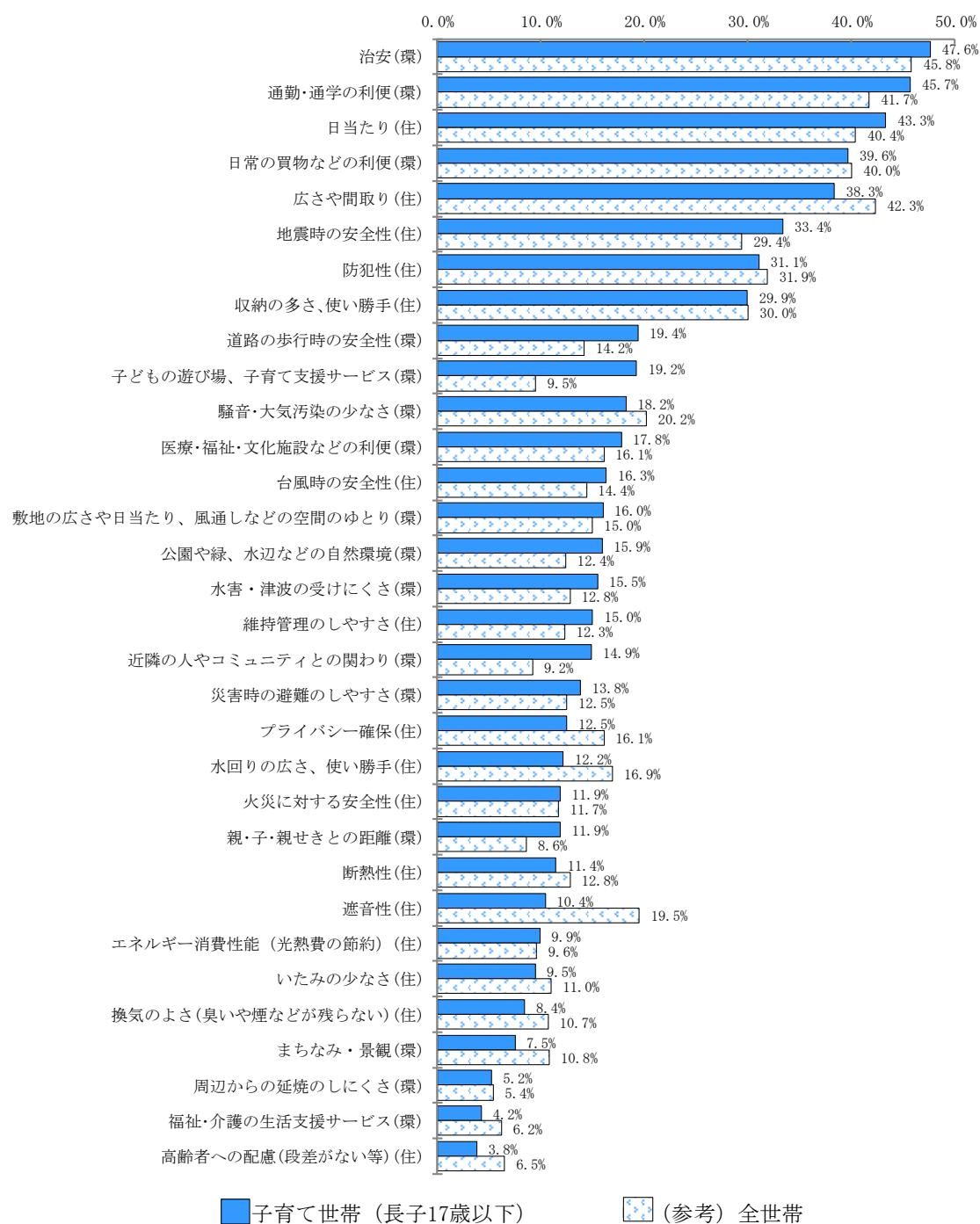
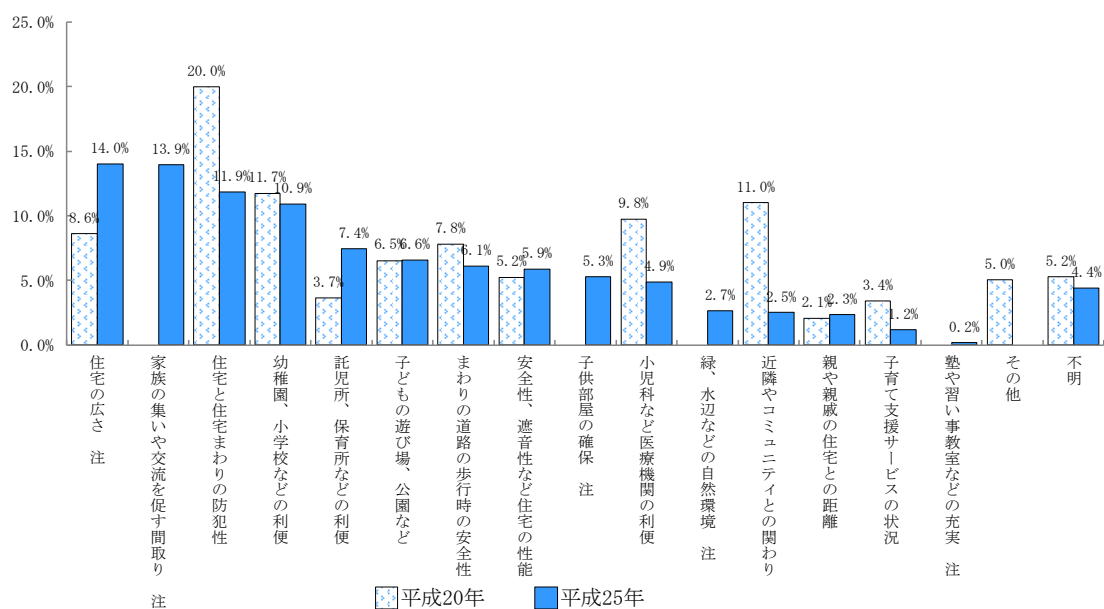


図 50 子育て世帯が考える住宅及び居住環境に関して重要と思う項目（複数回答）

注 全 32 項目の中から、8 項目までを選択して回答している。



(参考) 住宅及び居住環境に関して子育てのために最も重要と思う項目
(平成 20・25 年)

注 平成 20 年は、「住宅の広さ・間取り」という選択項目があったが、平成 25 年では、「住宅の広さ」、「家族の集いや交流を促す間取り」「子供部屋の確保」に選択項目を分けて調査した。図 43 では、平成 20 年で選択した「住宅の広さ・間取り」の集計結果を、平成 25 年で選択した「住宅の広さ」の集計結果と並べて表示した。また、「緑、水辺などの自然環境」、「塾や習い事教室などの充実」を新規に調査した。なお、この設問は、子育てをしていない世帯を含む全世帯を対象に調査している。

④ 家族構成別に見た持ち家世帯の今後 5 年以内の住み替え・改善意向

家族構成別に見た持ち家世帯の今後 5 年以内の住み替え・改善意向を見ると、長子が 5 歳以下の親と子の世帯は、長子が 6 歳以上の親と子の世帯より住み替え意向が高く、「できれば住み替えたい」が 5.4%となっている。

また、単身世帯では 35 歳未満の世帯で「できれば住み替えたい」が 19.1%と最も高くなっている。（図 51、表 20）

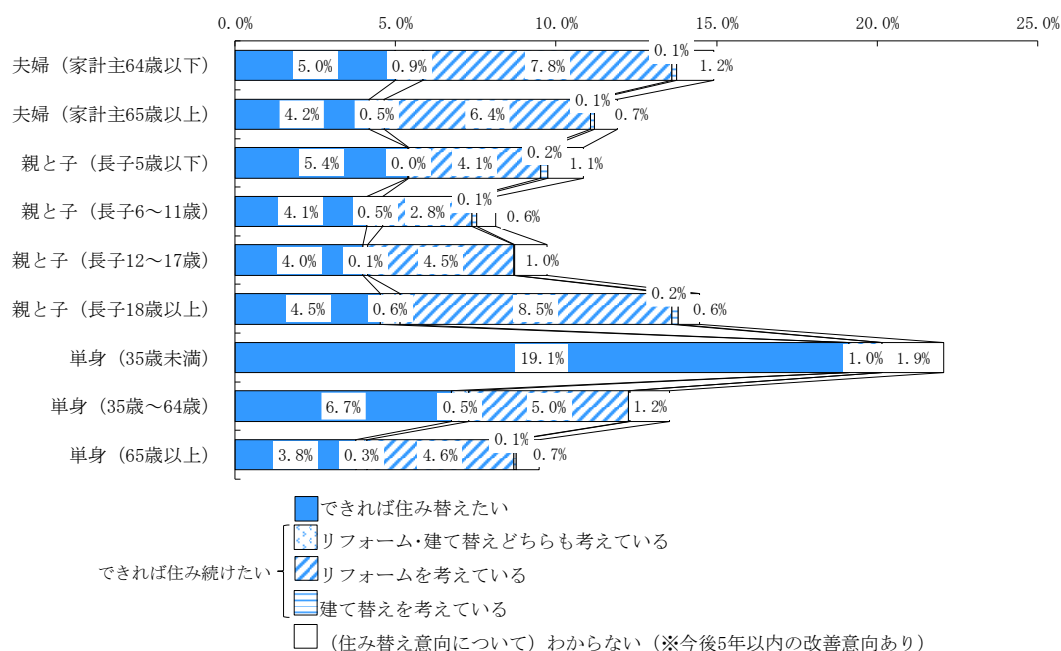


図 51 家族構成別に見た持ち家世帯の今後 5 年以内の住み替え・改善意向

⑤ 親と子からなる世帯の住み替えの目的

親と子からなる世帯の住み替え意向の目的（複数回答）を見ると、「広さや部屋数」が 53.4%と最も多く、次いで「使いやすさの向上」が 33.1%となっている。これらは全世帯より割合が大きくなっている。（図 52、表 21）

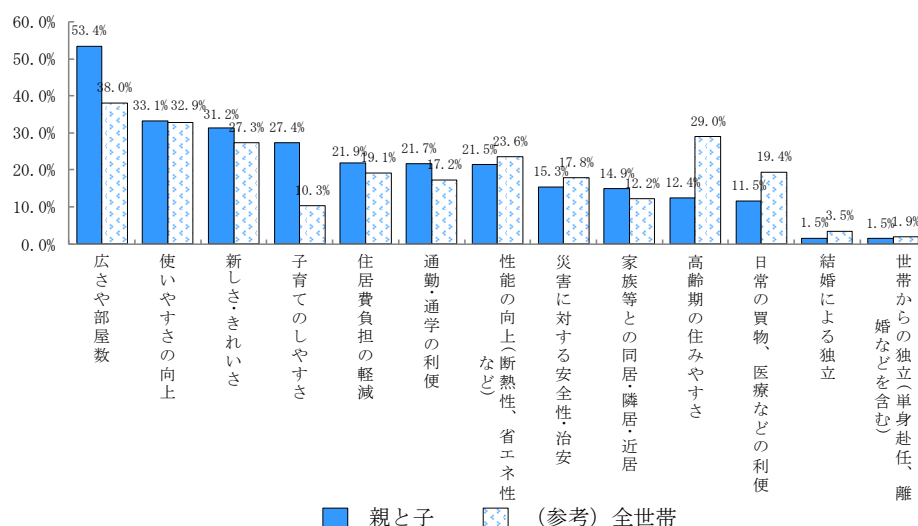


図 52 親と子からなる世帯の住み替えの目的

⑥ 子育て世帯の住み替えの課題

家族構成・長子の年齢別に、住み替え・改善の課題（複数回答）を見ると、持ち家への住み替え意向を持つ親と子の世帯では、長子の年齢にかかわらず、「希望エリアの物件が不足」の割合が全世帯平均を上回っている。また、「予算の範囲で気に入る物件がない」「希望エリアの物件がない」は、長子が「5歳以下」、「6～11歳」の世帯で、全世帯平均を上回っている。

借家への住み替え意向を持ち、長子が「6～11歳」、「12～17歳」、「18歳以上」の世帯では、「希望エリアの物件が不足」の割合が全世帯平均を上回っている。また、長子が「5歳以下」、「6～11歳」、「12～17歳」の世帯では、「希望エリアの物件が不足」が、全世帯平均を上回っている。（図53、表22）

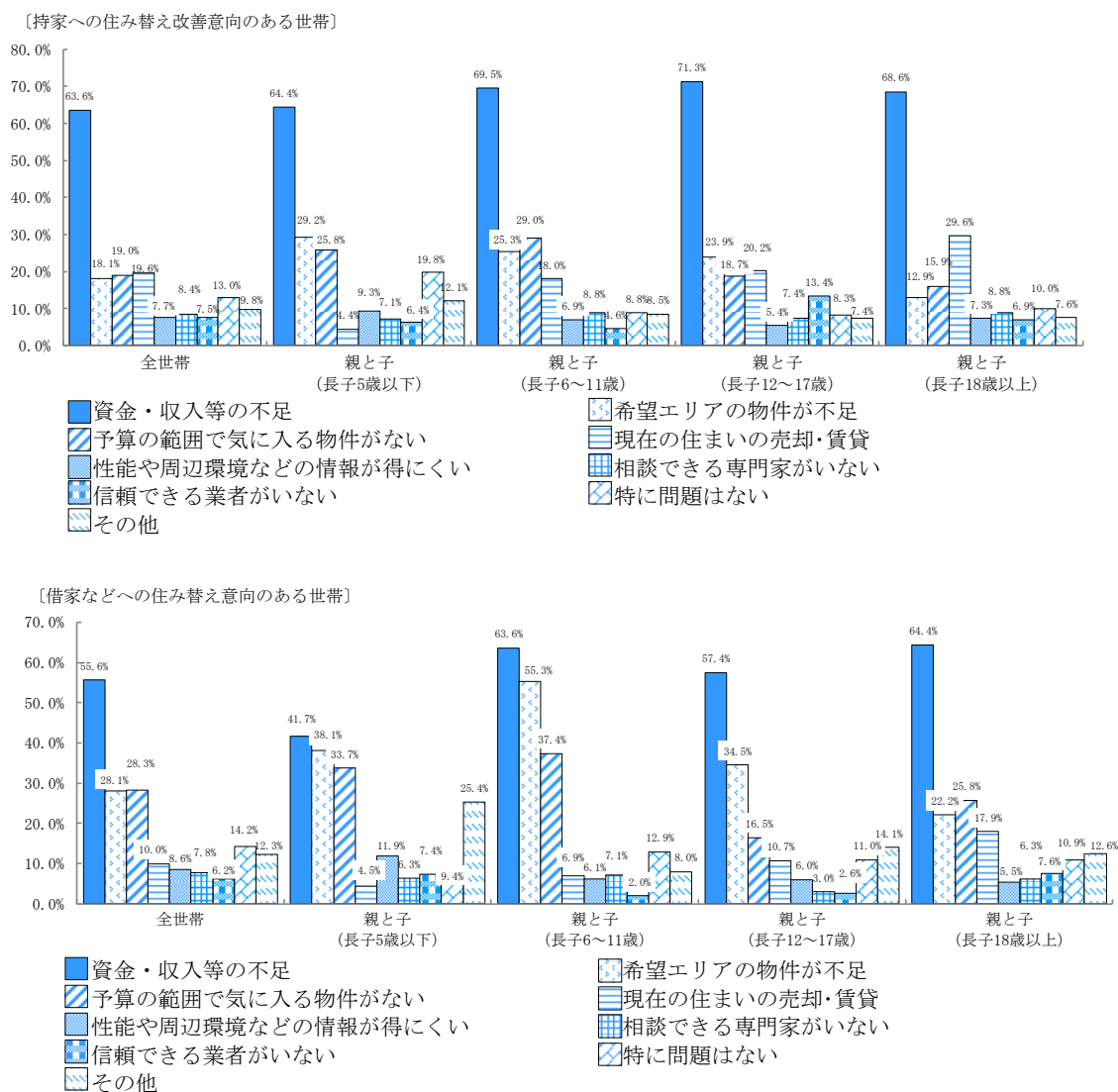


図 53 長子の年齢別の住み替えの課題

(2) 高齢期の住まい方

本項目では、家計主が 65 歳以上の世帯（以降は「高齢者世帯」と表記）について、住宅及び居住環境における評価、今後の住まい方等を調査した。

① 高齢者世帯における子との住まい方別の総合的な評価

住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関する不満率を見ると、「高齢者世帯」は 20.3%と、「全世帯」の 21.5%より低くなっている。（図 54、表 1）

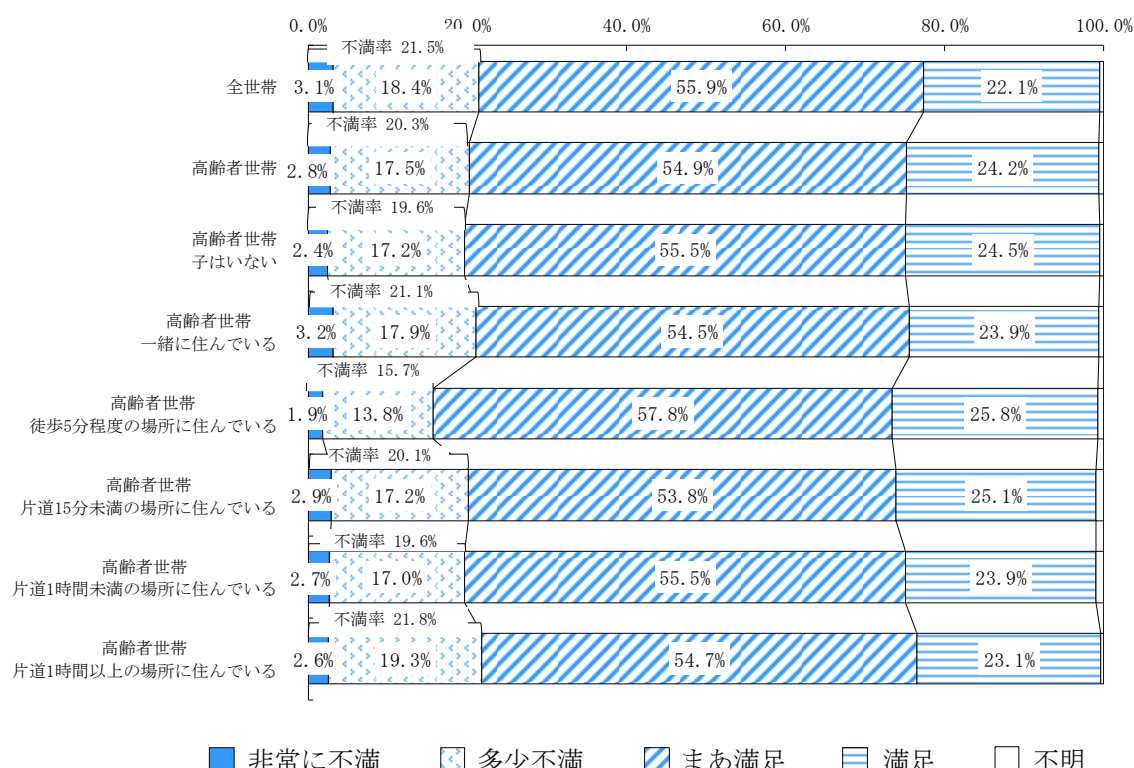


図 54 高齢者世帯における子との住まい方別の総合的な評価

② 高齢単身世帯及び夫婦世帯が考える住宅及び居住環境に関して重要と思う項目

高齢単身世帯及び夫婦世帯が住宅及び居住環境に関して重要と思う項目（高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯の回答を抽出して集計）を見ると、「日常の買物などの利便」が 34.4%と最も多く、次いで「地震時の安全性」が 31.3%、「治安」が 30.8%、「医療・福祉・文化施設などの利便」が 30.6%となっている。

また、全世帯の値と比較すると、「医療・福祉・文化施設などの利便」（+14.4 ポイント）、「高齢者への配慮（段差がない等）」（+13.4 ポイント）、「福祉・介護の生活支援サービス」（+12.7 ポイント）などにおいて多くなっている一方、「通勤・通学の利便」（-29.2 ポイント）、「広さや間取り」（-27.8 ポイント）、「収納の多さ、使い勝手」（-20.5 ポイント）などにおいて少なくなっている。（図 55、表 19）

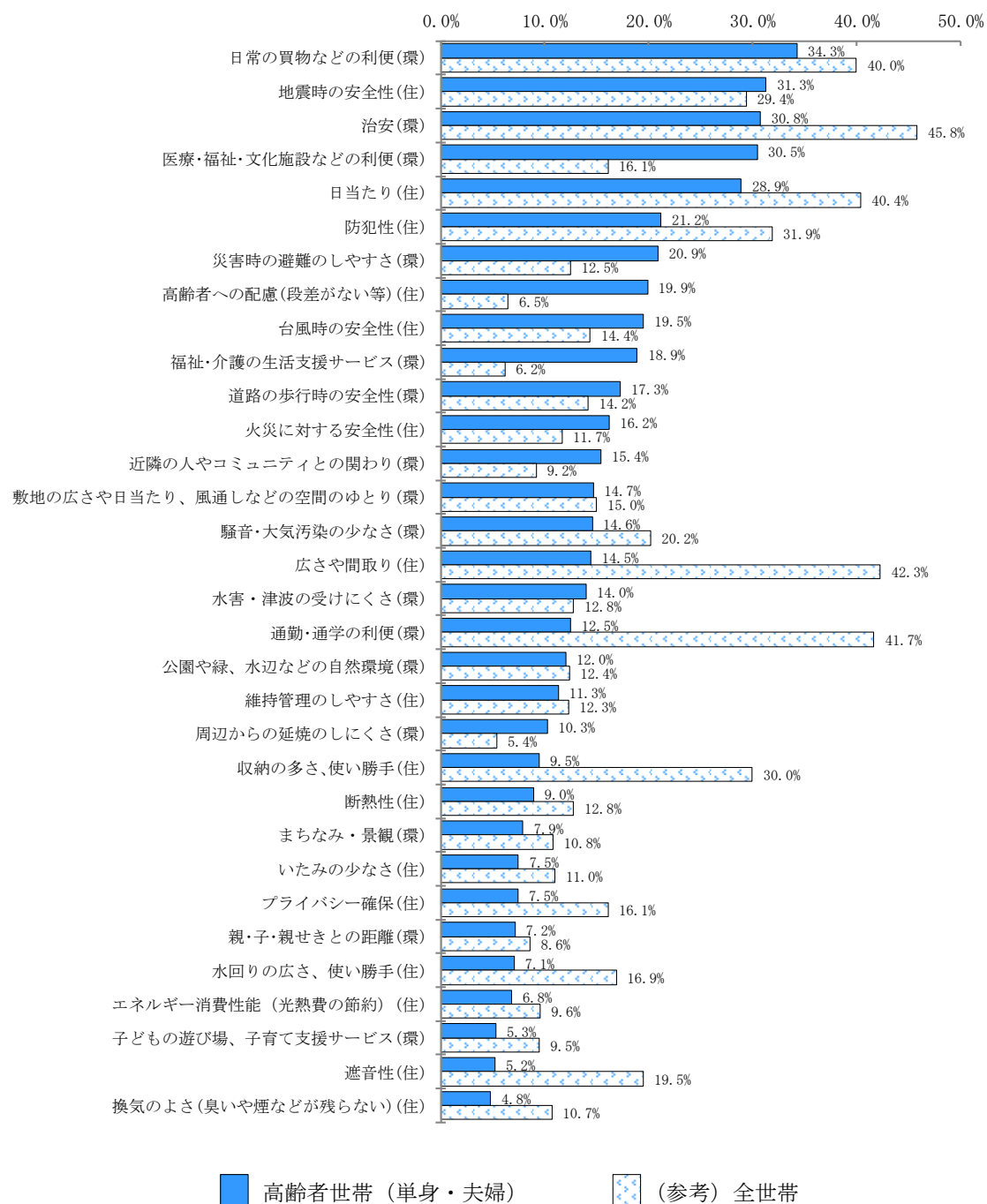


図 55 高齢単身世帯及び夫婦世帯が考える住宅及び居住環境に関して重要と思う項目

注 全 32 項目の中から、8 項目までを選択して回答している。

③ 家計主の年齢別持ち家世帯の住み替え・改善意向

家計主の年齢別に持ち家世帯の住み替え・改善意向を見ると、家計主の年齢が高いほど、住み替え意向を持つ割合は小さくなっている。また、家計主の年齢が55～59歳の世帯において、リフォーム意向を持つ割合が22.0%と特に大きくなっている。

(図 56、表 23)

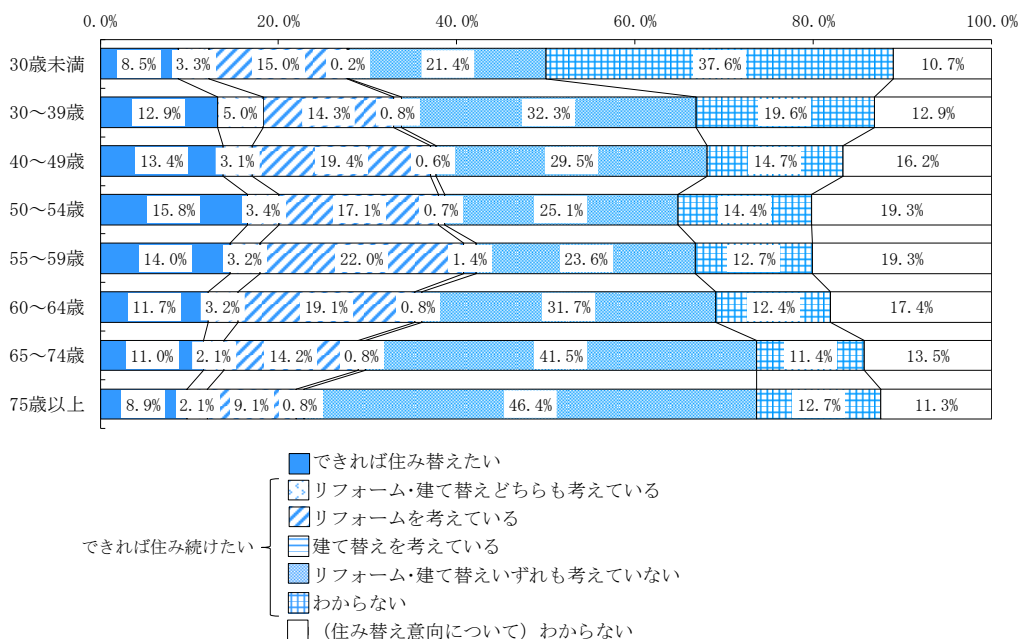


図 56 家計主の年齢別の住み替え・改善意向

④ 高齢単身世帯及び夫婦世帯の改善の目的

高齢単身世帯及び夫婦世帯で改善意向の世帯における改善の目的(複数回答)を見ると、「きれいにする(傷みを直す)」が最も多く(単身 62.5%、夫婦 66.4%)、次いで「高齢期の住みやすさ」となっている(単身 48.9%、夫婦 51.0%)。全世帯と比較すると、「高齢期の住みやすさ」の割合が大きくなっている。(図 57、表 24)

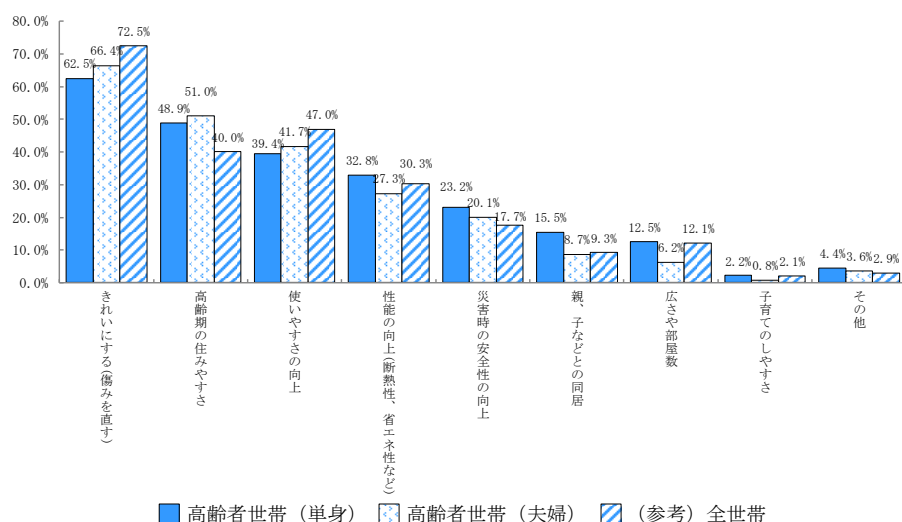


図 57 高齢単身世帯及び夫婦世帯の改善の目的

⑤ 高齢期における子との住まい方（距離）の希望

高齢期において求める子との住まい方（距離）の希望の経年変化を見ると、「子と同居する」は総じて減少し、平成 5 年の 20.8%から平成 30 年の 11.6%となっている。（図 58、表 25）

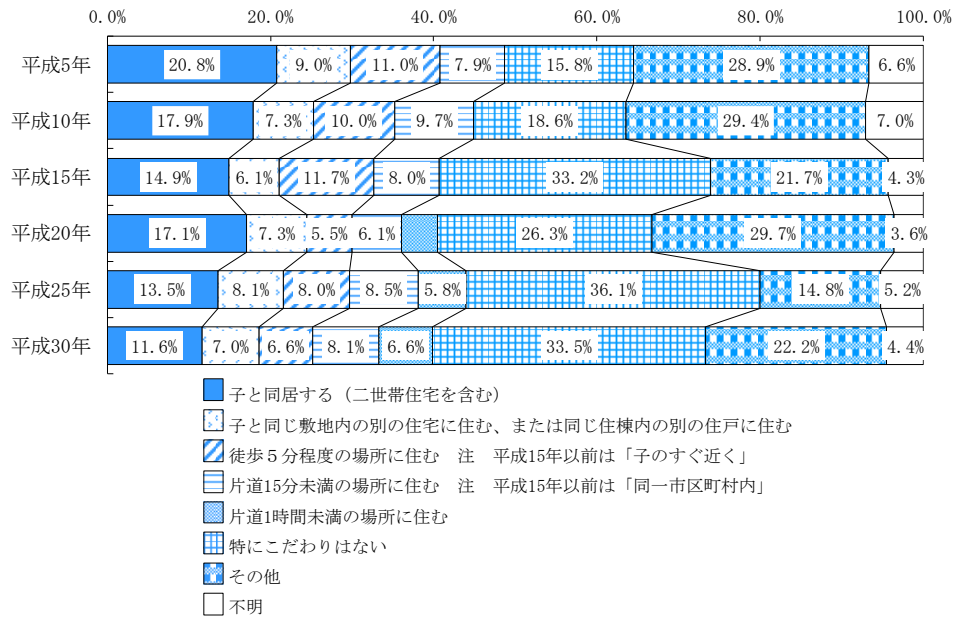


図 58 高齢期における子との住まい方

注 選択肢が変化しているため、図においては平成 15 年調査以前の「子のすぐ近く」、「同一市区町村内」を、平成 20 年調査以降の「徒歩 5 分程度」、「片道 15 分未満」、「片道 1 時間未満」に対応させている。平成 10 年調査以前の「子とは関係なく住む」を平成 15 年調査以降「特にこだわりはない」に変更している。また、ここでは、平成 10 年調査の「ケア付き住宅に住む」、「グループホームに住む」、平成 15 年調査以降の「子はいない」、平成 20 年以前の「わからない」、平成 25 年調査以降の「その他」をまとめて「その他」として表示した。

⑥ 高齢期における住み替え後の居住形態の意向

家計主の年齢別に住み替え後の居住形態の意向（複数選択）を見ると、持ち家の「新築戸建て」では高齢期ではないが30～39歳が30.2%と最も高くなっており、他の年齢より6ポイント以上上回っている。「新築共同住宅（マンションなど）」では高齢期ではないが30歳未満が12.3%と最も高く、年齢が上がるにつれて概ね減少傾向がみられる。借家では、「民営の共同住宅」は30歳未満が29.2%と最も高く、年齢が上がるにつれて概ね減少傾向がみられる。

また、75歳以上（後期高齢者）の世帯の住み替え先では、「高齢者向け住宅・施設」を希望する世帯が25.8%と多くなっている。（図59、図60、表26）

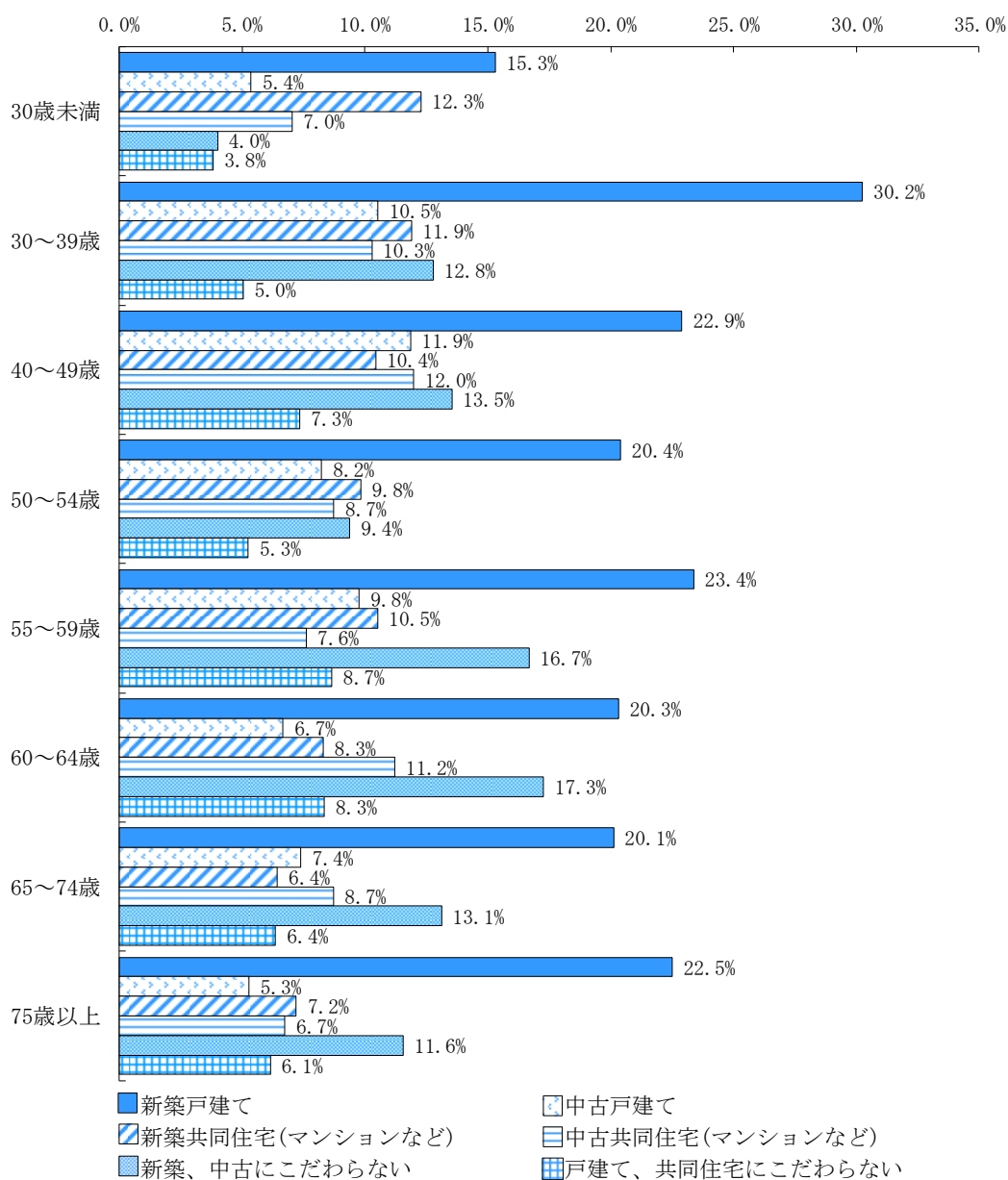


図 59 家計主の年齢別の住み替え後の居住形態に関する意向（持家への住み替え意向）

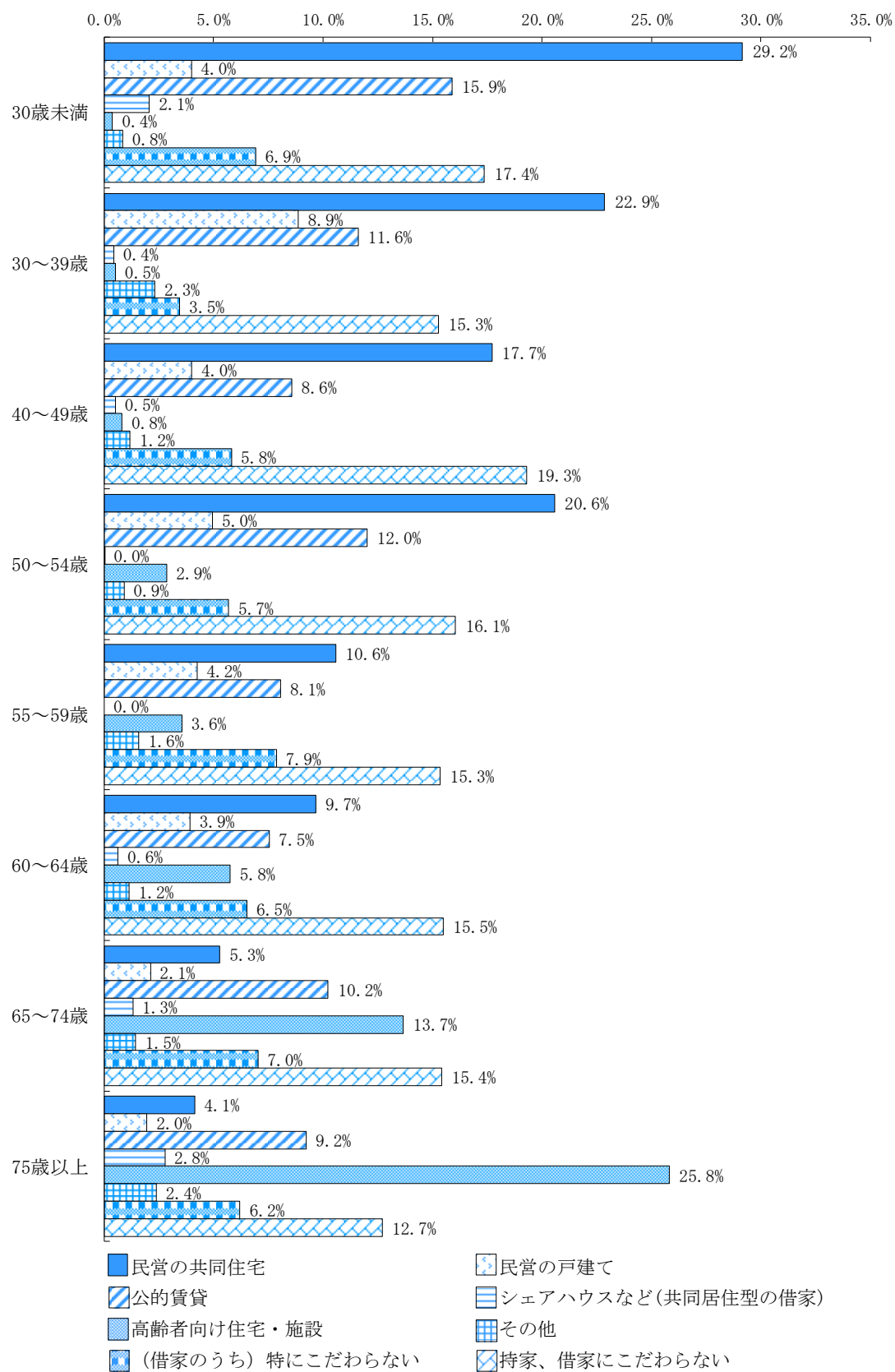


図 60 家計主の年齢別の住み替え後の居住形態に関する意向（借家（施設を含む）への住み替え意向）

⑦ 高齢期における住み替えの課題

高齢者世帯における住み替えの課題（複数選択）を見ると、持ち家への住み替え意向のある高齢者世帯では「資金・収入等の不足」が最も多く、65～74歳の世帯で63.1%、75歳以上の世帯で56.8%となっている。次いで「現在の住まいの売却・賃貸」が多く、65～74歳の世帯で29.6%、75歳以上の世帯で28.4%となっている。

また、借家への住み替え意向のある世帯でも、持ち家同様の傾向にあり、「資金・収入等の不足」が最も多く、65～74歳の世帯で63.3%、75歳以上の世帯で55.4%となっている。（図61、表22）

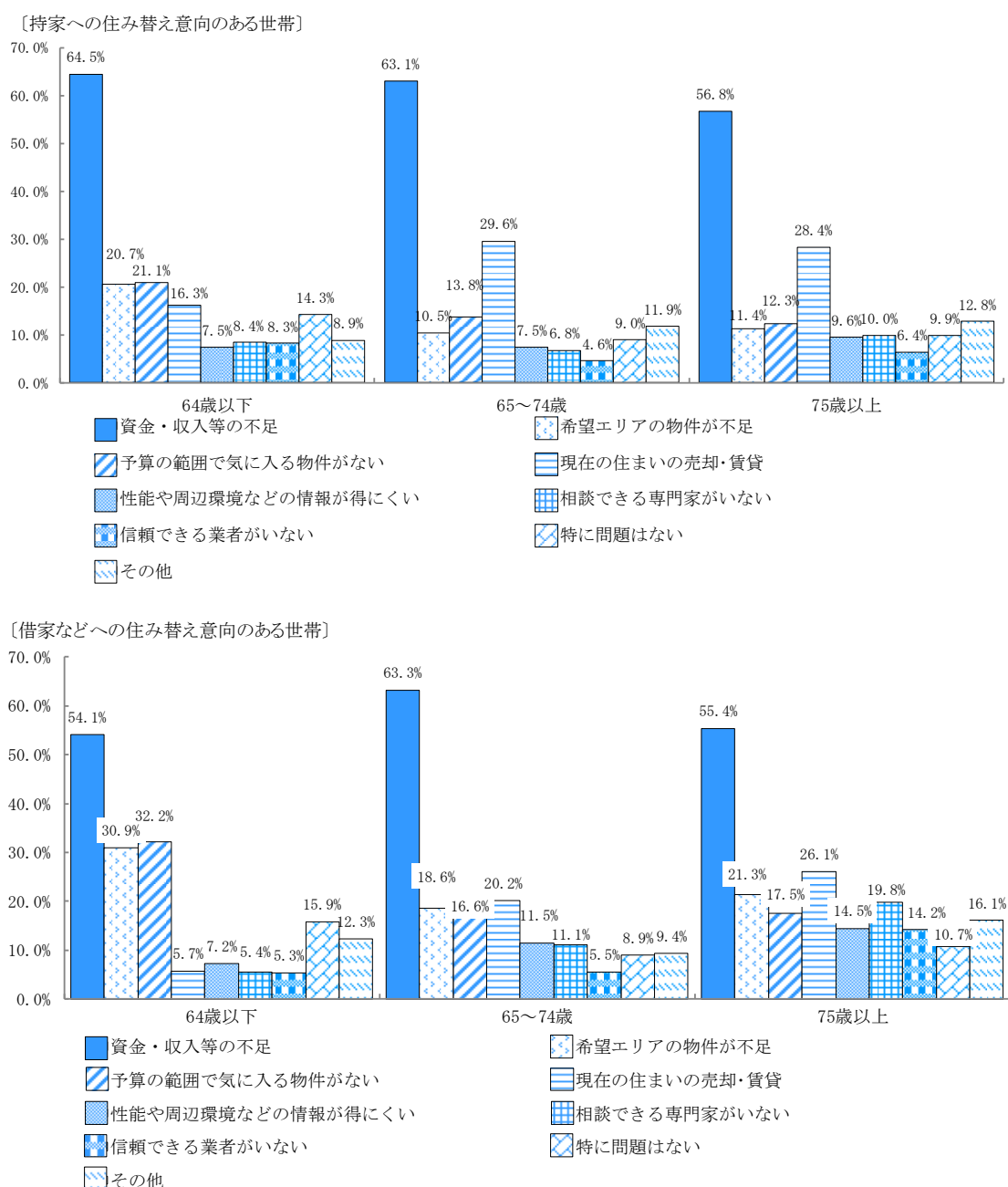


図 61 家計主の年齢別の住み替えの課題

⑧ 家計主の年齢別の今後の住み替え意向のない理由

住み替え意向のない全世帯に対して家計主の年齢別に住み替え意向のない理由を見ると、「住み慣れている」が30歳未満から75歳以上にかけて増加しており、27.8%から68.0%となっている。（図62、表17）

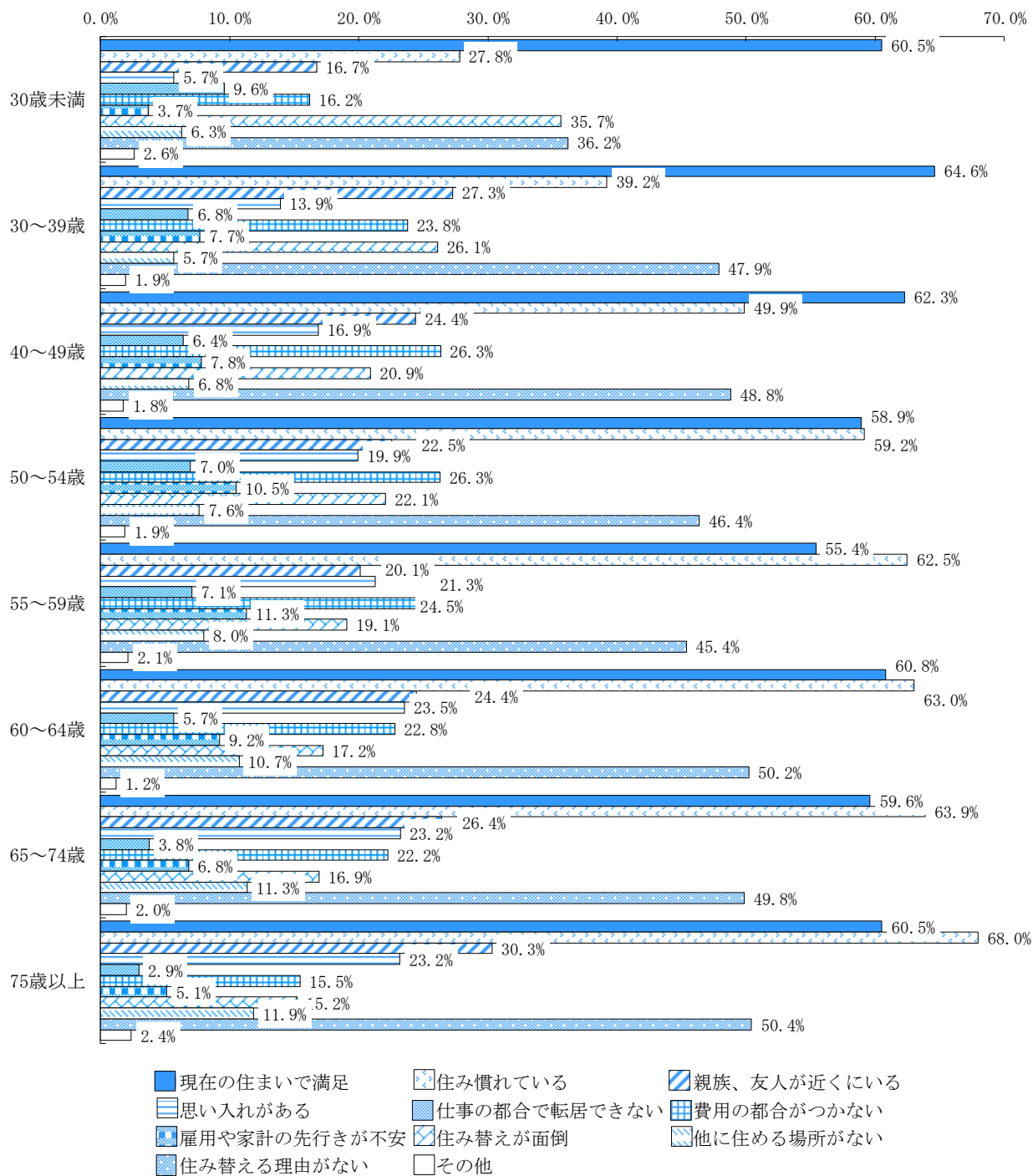


図 62 家計主の年齢別の今後の住み替え意向のない理由

⑨ 高齢期の住みやすさが目的の住み替え意向がある世帯割合

家計主の年齢別に高齢期の住みやすさが目的の住み替え意向がある世帯割合を見ると、持ち家では概ね高齢者等のための設備がない世帯の方が高く、55～59歳で8.7%と最も多くなっている。

借家では、同様に概ね高齢者等のための設備がない世帯の方が高くなっているが、65～74歳が16.5%と最も多くなっている。（図 63、表 27）

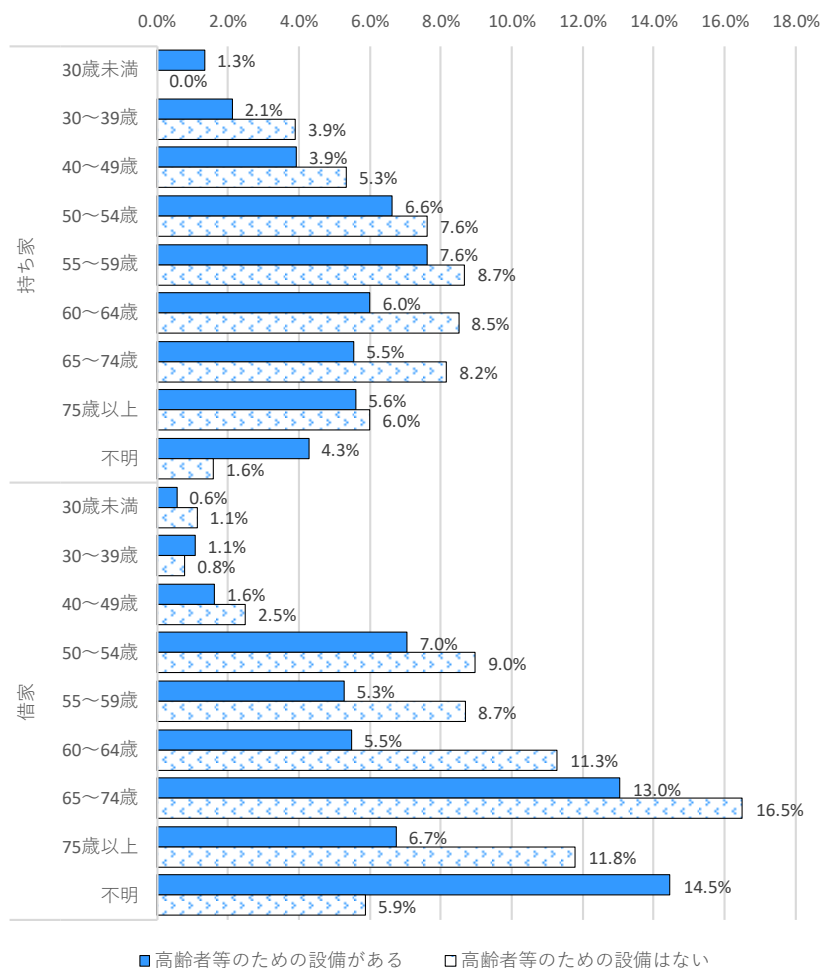


図 63 高齢期の住みやすさが目的の住み替え意向がある世帯割合

⑩ 高齢期の住みやすさが目的の改善意向がある世帯割合

家計主の年齢別に高齢期の住みやすさが目的の改善意向（リフォーム、建て替え）がある世帯割合を見ると、概ね高齢者等のための設備がある世帯の方が高く、55～59歳で12.0%と最も多くなっている。（図64、表28）

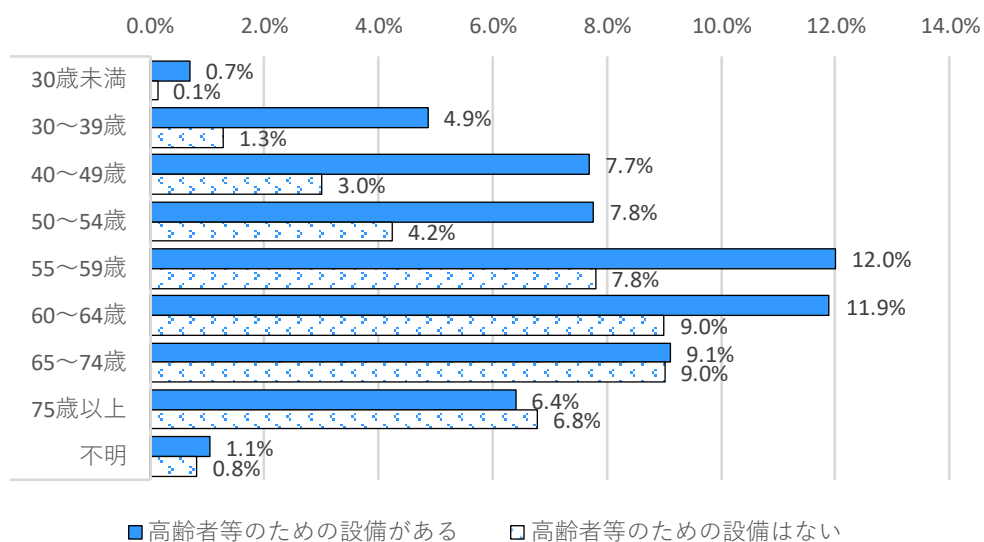


図 64 高齢期の住みやすさが目的の改善意向がある世帯割合

(3) 要介護者等のいる世帯の住まい方

本項目では、高齢者のいる世帯における要介護者等の有無別に、住宅及び居住環境の評価、住み替え・改善意向について調査した。

① 要介護者等のいる住宅及び居住環境の総合的な評価

高齢者のいる世帯における要介護者等の有無別に、住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関する不満率を見ると、要介護者等のいる世帯の方が高く、要介護者がいる世帯が 23.8%、いない世帯が 20.2%となっている。（図 65、表 1）

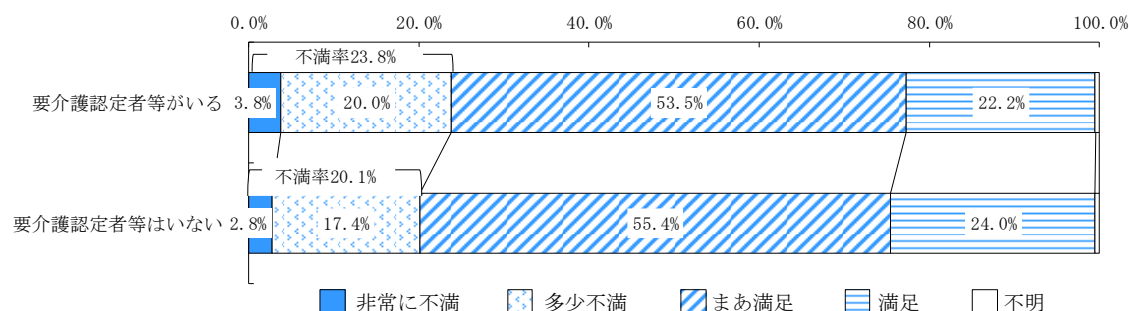


図 65 要介護者等の有無別の住宅及び居住環境の総合的な評価〔高齢者がいる世帯〕

② 要介護者等のいる世帯の住み替え・改善意向

高齢者のいる持ち家世帯に関して、要介護者等の有無別に住み替え・改善意向を見ると、「できれば住み替えたい」は要介護者等のいる世帯の方が 12.2%と多く、いない世帯が 11.7%となっている。

改善意向（リフォーム、建て替え）については大きな差は無く、「リフォーム・建て替えどちらも考えている」「リフォームを考えている」「建て替えを考えている」のすべてにおいて、1ポイント以内の差となっている。（図 66、表 23）

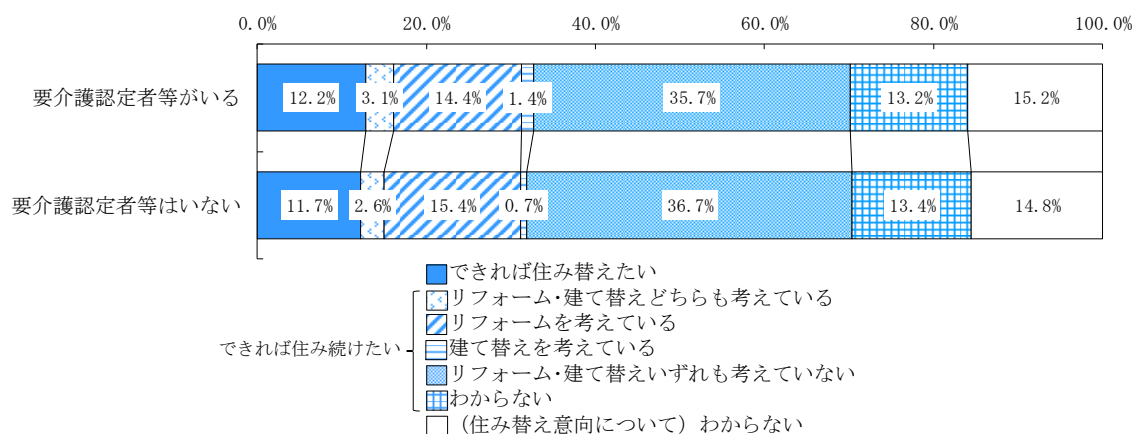


図 66 要介護者等の有無別の住み替え・改善意向〔高齢者がいる持ち家〕

5. 現住居以外の住宅の所有に関する事項

(1) 現住居以外に所有している住宅

本項目では、現住居以外に所有している住宅の有無、ある場合にはその住宅の利用状況について調査した。

① 現住居以外の住宅の所有の状況

現住居以外の住宅を「所有している」は15.2%、「所有していない」は84.8%となっている。(図 67、表 29)

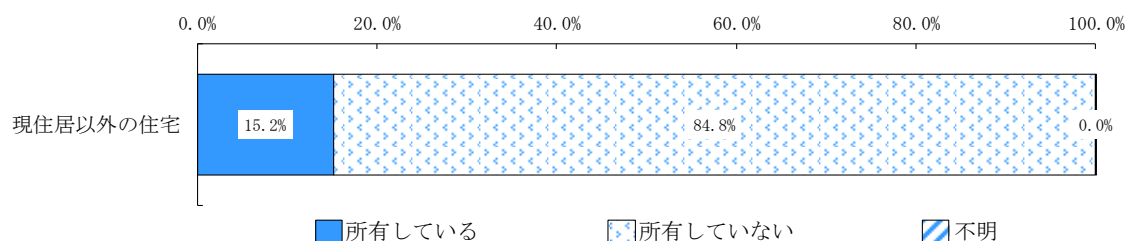


図 67 現住居以外の住宅の所有の状況

② 現住居以外で所有している住宅の居住世帯の有無

現住居以外の住宅を「所有している」世帯の住宅の種類は「居住世帯のある住宅」が83.9%、「居住世帯のない住宅（空き家）」が26.5%となっている。(図 68、表 30)

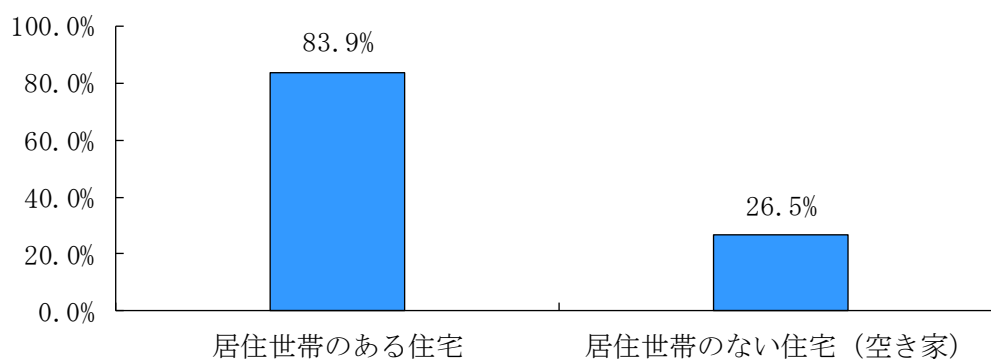


図 68 現住居以外で所有している住宅の居住世帯の有無

注 複数回答となっているため、総数が現住居以外に所有している住宅の種類の選択数となっている。

③ 現住居以外に所有している住宅の種類

現住居以外に所有している住宅の種類を見ると、居住世帯のある住宅は、「親族居住用」が54.9%と最も多く、次いで「貸家用」が30.2%、「売却用」が1.1%となっている。

居住世帯のない住宅（空き家）は、「その他」が52.0%と最も多く、次いで「二次的住宅・別荘用」が28.6%、「貸家用」が10.8%、「売却用」が8.7%となっている。（図69、表31）

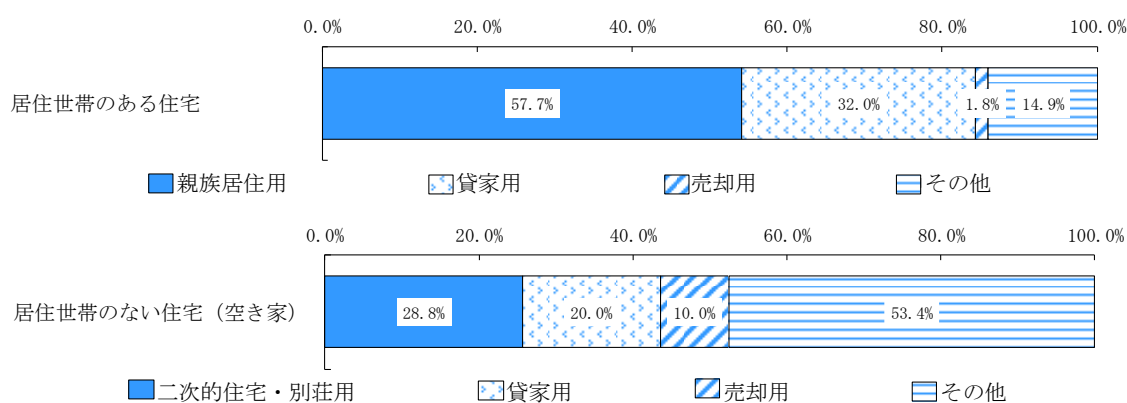


図 69 現住居以外の住宅の種類

注 複数回答となっているため、総数が現住居以外に所有している住宅の種類の選択数となっている。

(2) 将来の住宅相続

本項目では、将来の住宅相続の予定及び相続する住宅の活用予定について調査した。

① 住宅を相続する可能性

将来の住宅を相続する可能性を見ると、「相続する可能性はない」が 48.5%と最も多く、次いで「相続するか、わからない」が 23.5%、「相続する可能性がある」が 22.8%となっている。

現住居が持ち家の世帯は、「相続する可能性がある」が 23.6%であるのに対して借家世帯は 20.8%となっている。（図 70、図 71、表 32）

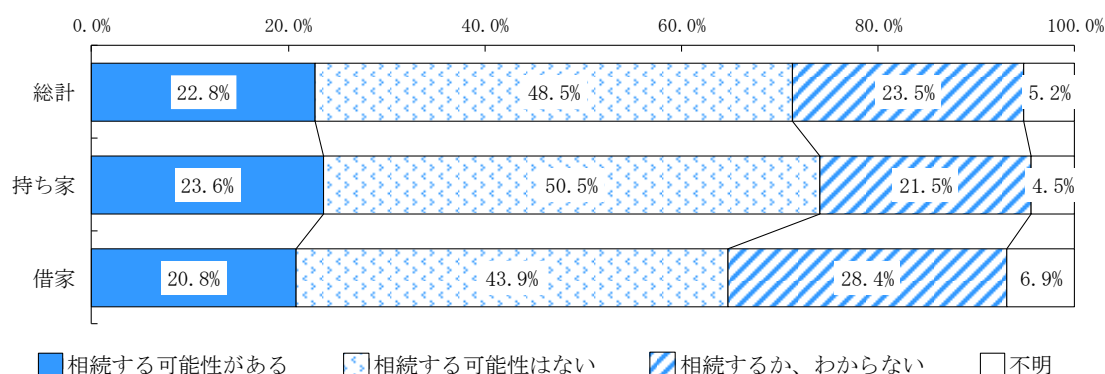


図 70 住宅を相続する可能性

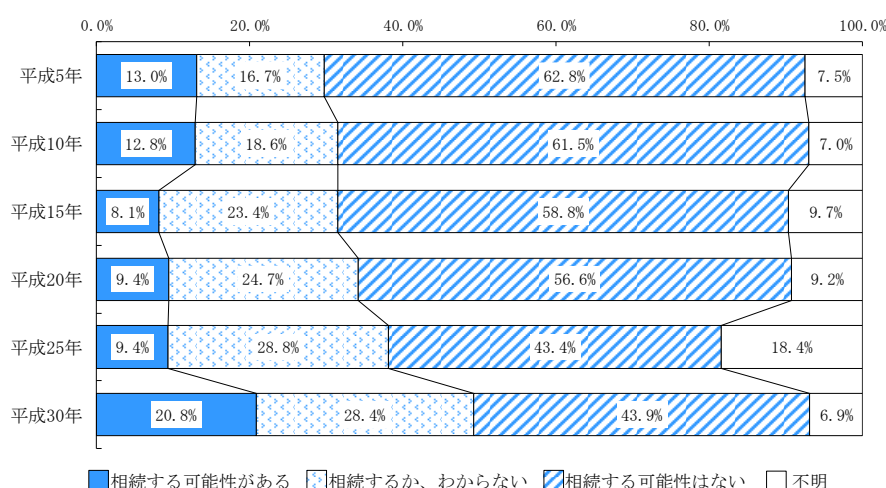


図 71 借家世帯における相続可能性のある住宅の有無の推移

注 平成 25 年以前の調査では、下記のように選択肢を置き換えて調査している。

「相続する可能性がある」⇒「相続する予定がある」

「相続するか、わからない」⇒「相続するかどうかわからない」

「相続する可能性はない」⇒「相続する予定はない」

注 平成 20 年以前の調査で「相続する家はない」、「相続するつもりはない」として調査した結果を「相続する可能性はない」として表示している。また、平成 20 年以前の調査で「相続するかどうかはわからない」、「相続するが、その家に住むかどうかはわからない」として調査した結果を「相続するか、わからない」として表示している。

② 相続可能性のある住宅の利用意向

将来相続する住宅の活用については、現在の住宅の所有関係によってあまり違いは見られず、全世帯では「分からない」を除くと、「住む、または建て替えて住む」が42.8%と最も多く、次いで「住宅を賃貸・売却する」が19.7%となっている。（図72、表33）

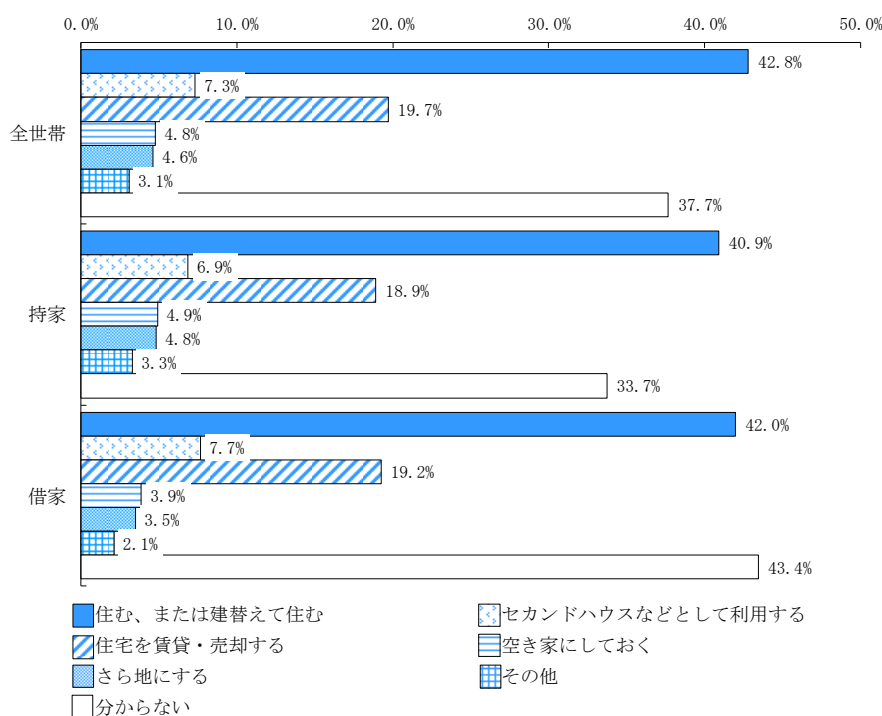
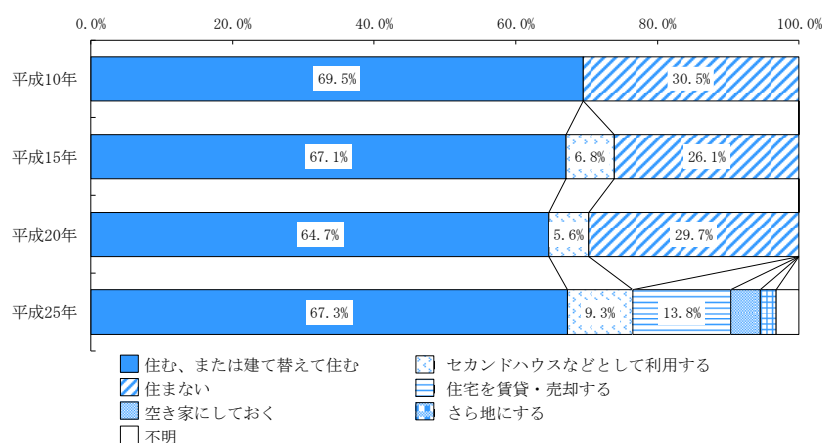


図 72 現在の住宅の所有関係別相続可能性のある住宅の利用意向

注 1人につき3住宅まで回答しているため、総数が借家世帯における相続可能性のある住宅数となっている。



（参考）借家世帯における相続可能性のある住宅の利用意向（平成10年～25年）

注 平成10年は「住まない」としていた選択肢を、平成15年調査で「セカンドハウスなどとして利用する」、「住まない」に分けている。また、平成20年まで「住まない」としていた選択肢を、平成25年以降は、「住宅を賃貸・売却する」、「空き家にする」、「さら地にする」の3つに分けている。

6. 地域別集計

地域別集計では、住宅及び居住環境の評価等について、現在の住宅所在地域を住生活総合調査の調査区の諸元をもとに「木造住宅密集地」、「ニュータウン」、「その他の市街地」、「市街地以外」の4類型^注のどこに該当するかを調査し、地域類型ごとに集計した。

注 地域の定義は下記の通り。

- ・木造住宅密集地：調査区が属する平成27年国勢調査の町丁字等のうち、住宅戸数密度が80戸/ha以上、かつ、調査区の木防率2/3以上。
- ・ニュータウン：上記以外の調査区で、調査区が属する平成27年国勢調査の町大字のうち、「全国のニュータウンリスト（平成30年6月）（国土交通省）」に該当するニュータウンの代表座標が存在するもの。
- ・その他の市街地：上記以外の調査区で、平成27年国勢調査において人口10万人以上またはDID人口3万人以上の市区町村におけるDID地区。
- ・市街地以外：農山漁村等、上記以外の地域。

（1）地域類型別の住まい方

① 居住形態

地域類型別に居住形態を見ると、「木造住宅密集地」では、「ニュータウン」や「その他の市街地」と比べて持ち家の一戸建・長屋建の割合が75.1%と大きく、持ち家の共同住宅が1.1%と小さくなっている。また、「市街地以外」では、持ち家の一戸建・長屋建の割合が76.3%と大きく、持ち家の共同住宅が2.4%、民営賃貸の共同住宅が11.2%と小さくなっている。（図73、表34）

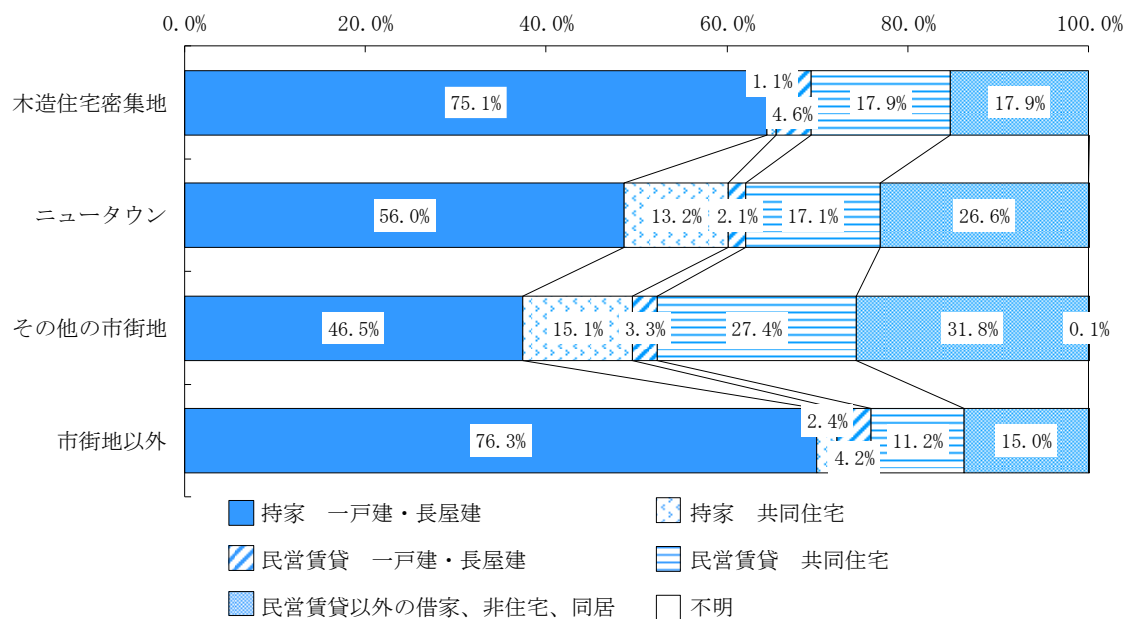


図 73 地域類型別の居住形態

② 家族構成

家族構成を見ると、「木造住宅密集地」では、65 歳以上の単身世帯が 17.0%、家計主が 65 歳以上の夫婦世帯が 13.8%、計 30.8%となっており、他の地域類型に比べ割合が大きくなっている。（図 74、表 34）

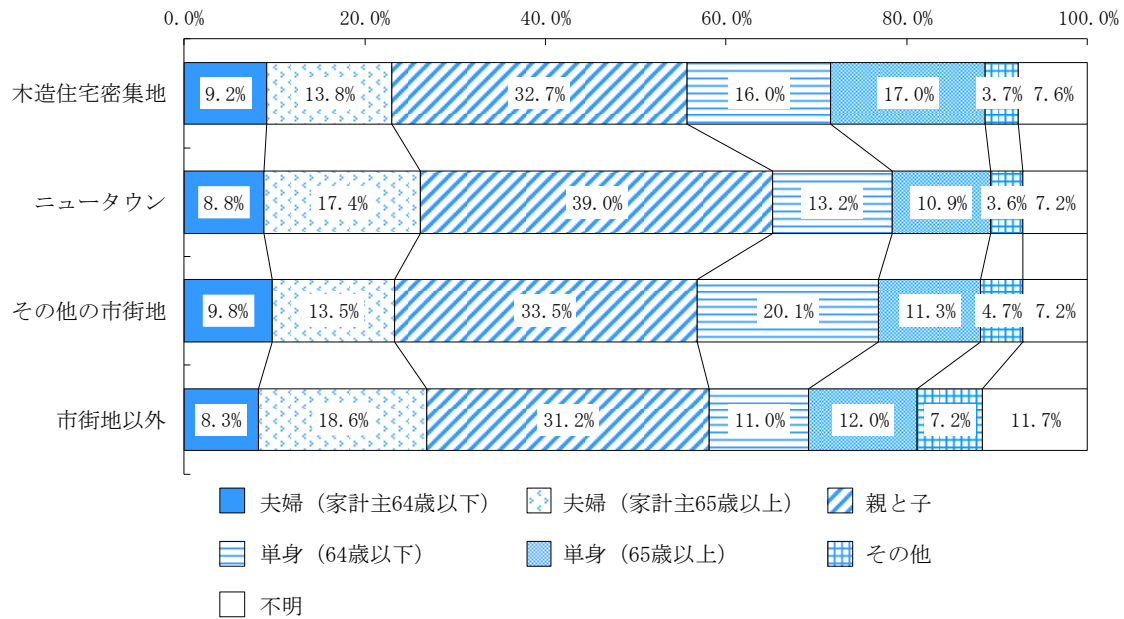


図 74 地域類型別の家族構成

（２） 現住居の地域類型別に見た住宅及び居住環境の評価

① 住宅及び居住環境の総合的な評価

住宅及び居住環境に対する総合的な評価に関する不満率を見ると、「市街地以外」が 24.4%と最も高く、次いで「木造住宅密集地」が 22.0%、「その他の市街地」が 19.6%、「ニュータウン」が 16.1%となっている。（図 75、表 1）

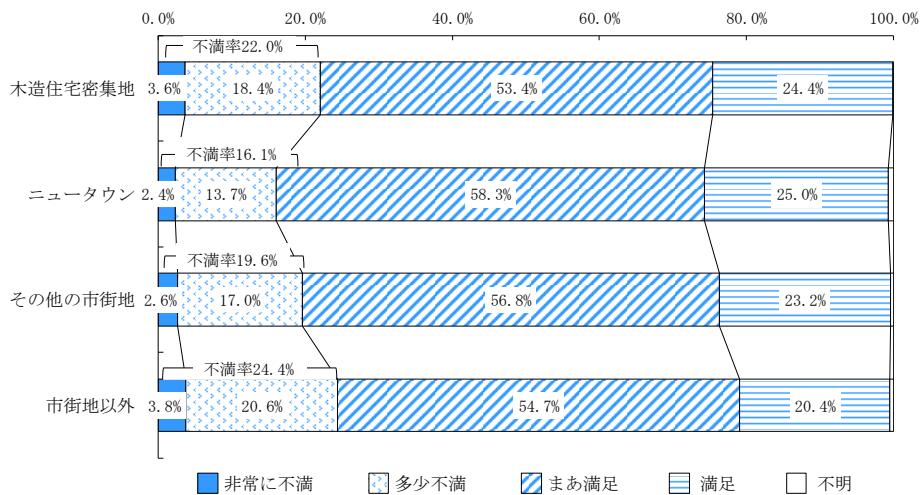


図 75 地域類型別の住宅及び居住環境の総合的な評価

② 住宅及び居住環境の個別要素に対する評価

住宅及び居住環境について、個別要素ごとの不満率（「非常に不満」及び「多少不満」を選択した世帯の割合）を見ると、木造住宅密集地では、「周辺からの延焼のしにくさ」（環）*が 63.4%と最も高く、次いで「高齢者などへの配慮(段差がない等）」（住）が 56.2%、「地震時の安全性」（住）が 50.2%、「断熱性」（住）が 49.5%となっている。市街地以外では、「高齢者などへの配慮(段差がない等）」（住）が 48.5%と最も高く、次いで「地震時の安全性」（住）が 47.9%、「台風時の安全性」（住）が 43.6%、「子どもの遊び場、子育て支援サービス」（環）が 41.9%、「断熱性」（住）が 41.6%となっている。なお、「高齢者などへの配慮(段差がない等）」（住）は、ニュータウン（46.9%）やその他の市街地（45.8%）においても、高くなっている。（図 76、図 77、表 35）

*（住）：住宅の評価の個別要素、（環）：居住環境の評価の個別要素

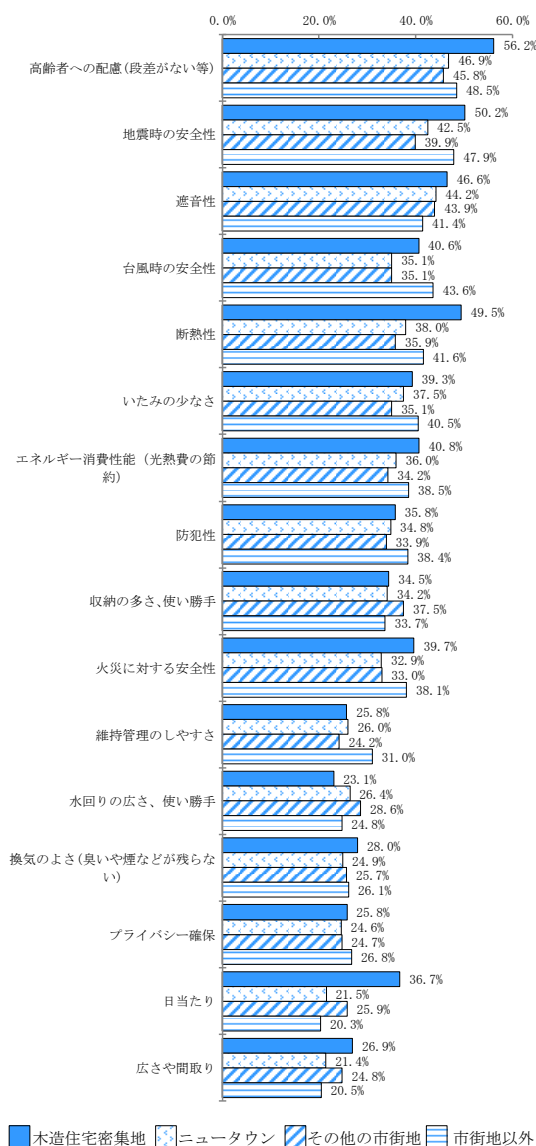


図 76 地域類型別に見た住宅の評価の個別要素に対する不満率

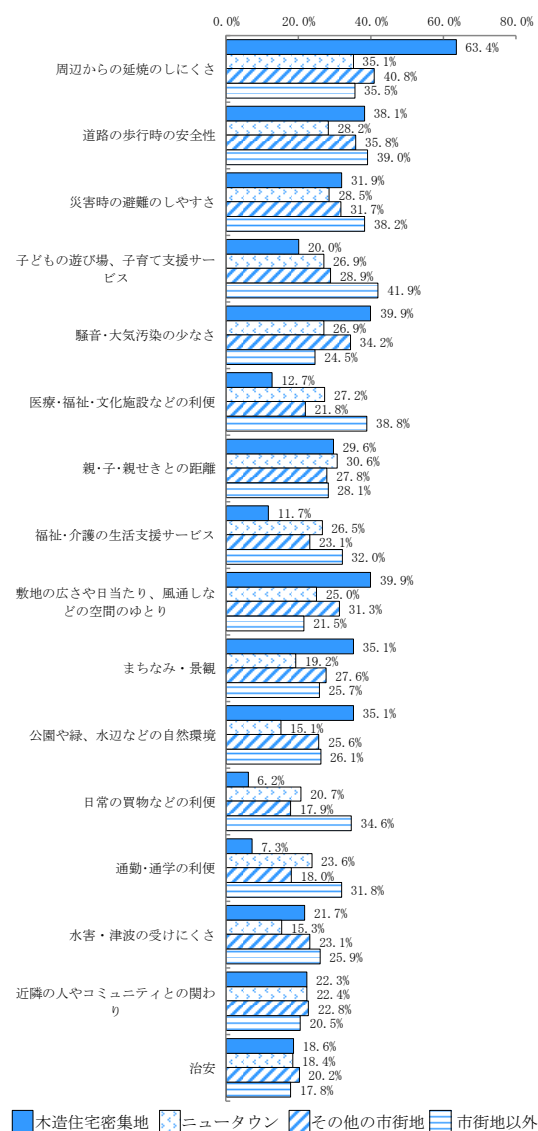


図 77 地域類型別に見た居住環境の評価の個別要素に対する不満率

③ ニュータウンにおける居住環境の個別要素に対する評価

ニュータウンに居住する世帯の居住環境の評価に対する個別要素に対する不満率について、住宅の建築時期別に整理を行った。

居住環境について、個別要素ごとの不満率を見ると、建築時期が昭和45年以前の住宅に居住する世帯では、「日常の買い物など御利便」が33.1%、「医療・福祉・文化施設などの利便」が32.8%と高く、いずれも建築時期が昭和46年以降より高くなっている。（図78、表36）

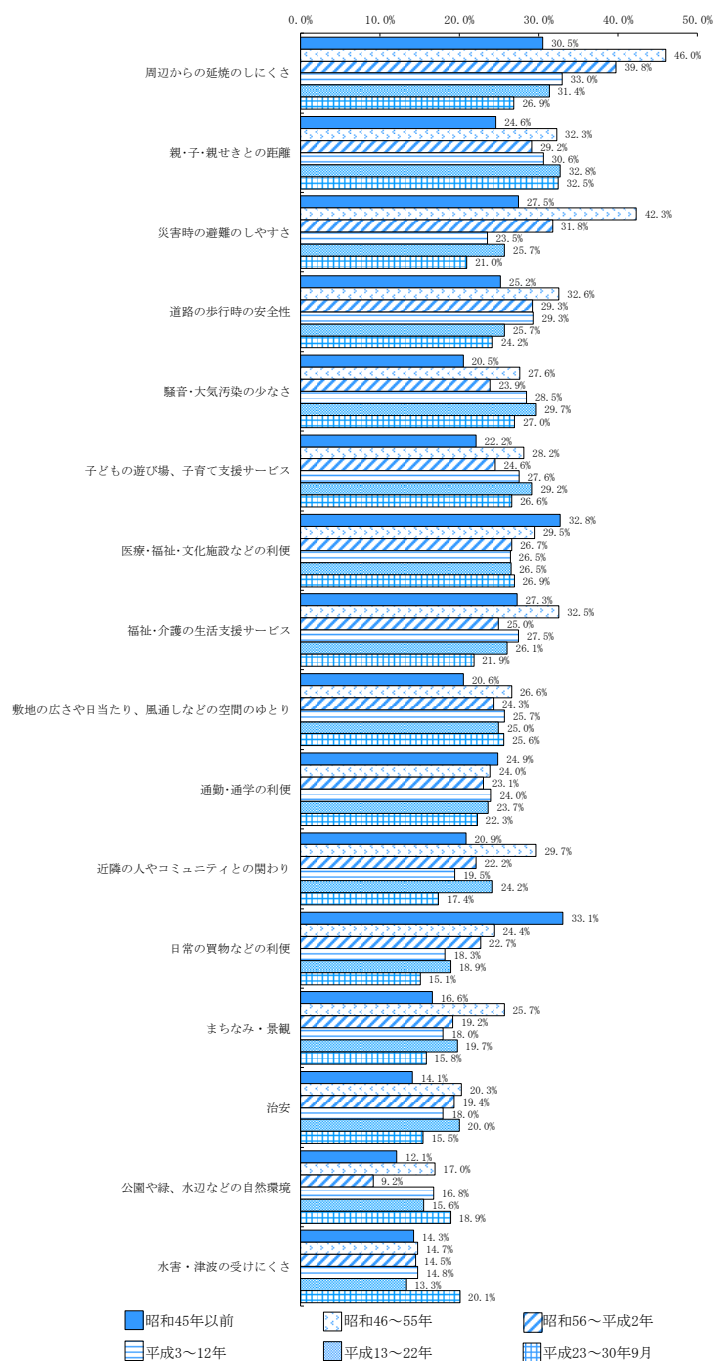


図 78 ニュータウンに居住する世帯の建築時期別に見た
居住環境の評価の個別要素に対する不満率

④ 住宅及び居住環境の評価に関して重要と思う項目

住宅及び居住環境に関して、個別要素ごとに重要と思う割合（8 つまで（任意））を地域類型別に見ると、木造住宅密集地では、「治安」（環）*が 47.1%と最も多く、次いで「日当たり」（住）*が 37.7%となっている。市街地以外では、「日常の買物などの利便」（環）が 34.5%と最も多く、次いで「治安」（環）が 34.4%、「地震時の安全性」（住）が 33.4%となっている。ニュータウンでは、「治安」（環）が 43.6%と最も多く、次いで「日常の買い物などの利便」（環）が 39.8%、「日当たり」（住）が 38.5%となっている。その他の市街地では、「治安」（環）が 44.0%と最も多く、次いで「日常の買い物などの利便」（環）が 38.3%、「日当たり」（住）が 37.6%となっている。（（図 79、図 80、表 35）

*（住）：住宅の評価の個別要素、（環）：居住環境の評価の個別要素

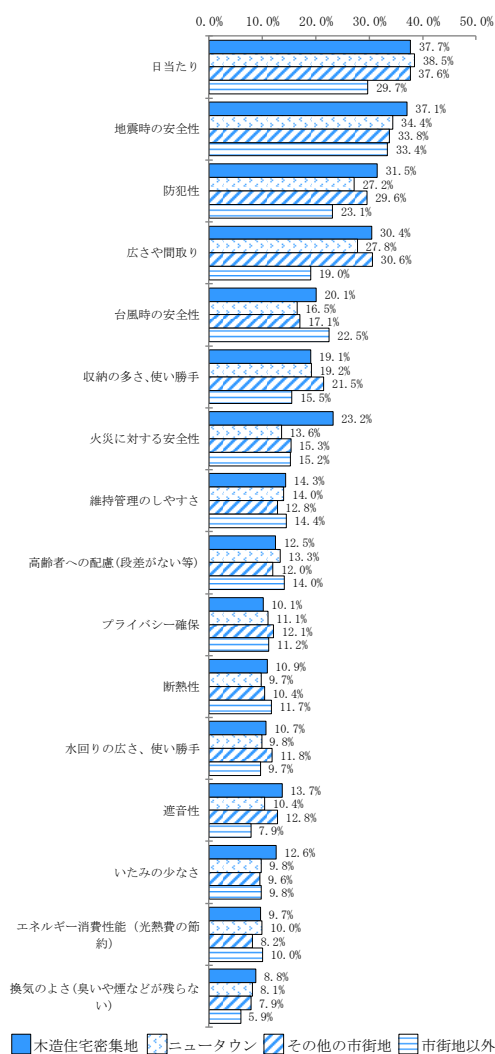


図 79 地域類型別に見た住宅の評価に関して重要と思う項目

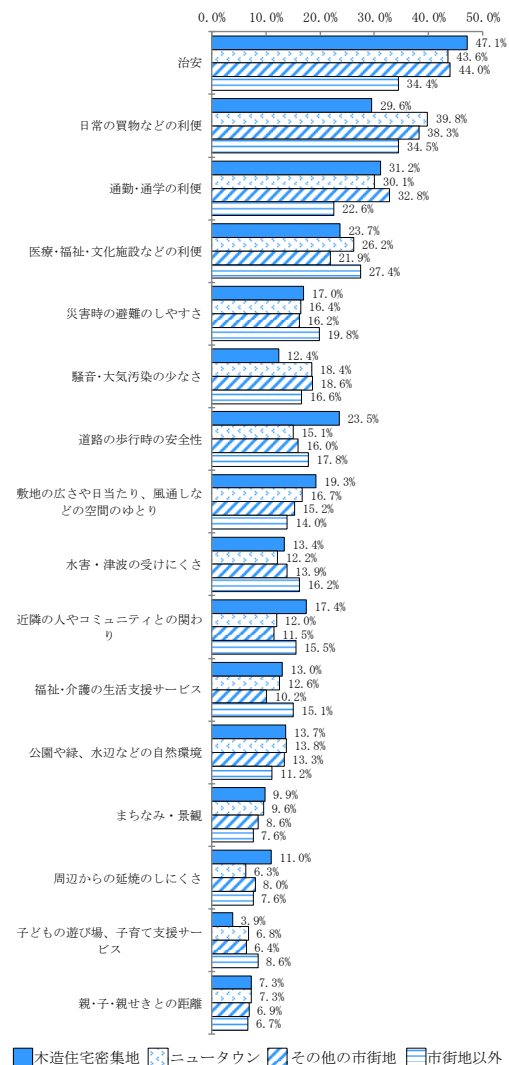


図 80 地域類型別に見た居住環境の評価に関して重要と思う項目

Ⅲ 分 析 表

表 1 住宅及び居住環境に対する総合的な評価

	総計	住宅及び居住環境の総合満足度					住宅の満足度					居住環境の満足度					
		満足	まあ満足	多少満足	非常に満足	不明	満足	まあ満足	多少満足	非常に満足	不明	満足	まあ満足	多少満足	非常に満足	不明	
		100.0	(54,001)	22.1	55.9	18.4	3.1	0.5	23.4	52.9	20.1	3.0	0.7	19.0	52.5	23.5	4.3
地域	100.0	(54,001)	22.1	55.9	18.4	3.1	0.5 <td>23.4</td> <td>52.9</td> <td>20.1</td> <td>3.0</td> <td>0.7</td> <td>19.0</td> <td>52.5</td> <td>23.5</td> <td>4.3</td> <td>0.6</td>	23.4	52.9	20.1	3.0	0.7	19.0	52.5	23.5	4.3	0.6
木造住宅密集地	100.0	(715)	24.4	53.4	18.4	3.6	0.1	19.9	56.7	18.5	3.4	1.5	21.4	49.9	24.3	4.5	-
ニュータウン	100.0	(3,540)	25.0	58.3	13.7	2.4	0.6	23.9	54.1	18.1	2.9	1.0	22.2	55.7	18.6	3.0	0.4
その他の市街地	100.0	(26,507)	23.2	56.8	17.0	2.6	0.4	23.8	52.3	20.3	3.0	0.7	20.8	53.4	21.6	3.6	0.6
市街地以外	100.0	(23,239)	20.4	54.7	20.6	3.8	0.5	22.9	53.3	20.1	3.0	0.6	16.5	51.0	26.5	5.3	0.7
住宅タイプ	100.0	(54,001)	22.1	55.9	18.4	3.1	0.5	23.4	52.9	20.1	3.0	0.7	19.0	52.5	23.5	4.3	0.6
持ち家	100.0	(37,620)	24.0	55.7	16.9	3.0	0.5	26.7	53.7	16.7	2.1	0.8	19.1	52.1	23.5	4.5	0.7
一戸建・長屋建	100.0	(32,560)	23.1	55.4	17.8	3.2	0.5	26.1	53.6	17.2	2.3	0.8	18.3	51.5	24.6	4.8	0.8
共同住宅	100.0	(5,029)	30.1	57.1	11.0	1.7	0.1	30.3	54.7	13.5	1.0	0.5	24.3	56.6	16.3	2.4	0.3
借家	100.0	(16,105)	17.7	56.5	21.8	3.5	0.4	15.6	50.9	28.0	5.1	0.5	18.9	53.2	23.6	3.9	0.4
民営賃貸住宅	100.0	(12,572)	17.6	56.8	21.9	3.4	0.3	15.2	51.5	28.0	4.9	0.4	18.6	53.0	24.0	3.7	0.4
一戸建・長屋建	100.0	(1,950)	16.3	52.9	25.2	5.0	0.5	12.9	49.0	30.4	7.2	0.5	14.8	53.2	28.1	4.6	0.5
共同住宅	100.0	(10,605)	17.8	57.4	21.3	3.1	0.3	15.6	51.9	27.6	4.5	0.4	19.3	53.5	23.2	3.6	0.4
その他	100.0	(3,533)	18.3	55.8	21.4	3.9	0.7	17.0	48.8	27.7	5.8	0.8	19.8	52.9	22.2	4.5	0.6
住宅以外、同居世帯、不明	100.0	(202)	29.1	54.1	15.3	0.6	0.9	27.0	58.5	12.9	0.7	0.9	21.2	58.3	19.4	1.0	0.0
家族構成	100.0	(54,001)	22.1	55.9	18.4	3.1	0.5	23.4	52.9	20.1	3.0	0.7	19.0	52.5	23.5	4.3	0.6
夫婦	100.0	(13,511)	23.7	57.0	16.6	2.4	0.3	26.4	53.3	18.3	1.6	0.5	20.1	52.0	23.7	3.5	0.6
夫婦（家計を主に支えるものが65歳未満）	100.0	(4,892)	21.1	58.2	18.2	2.4	0.1	25.1	53.0	19.8	1.8	0.4	18.1	52.8	25.0	3.5	0.6
夫婦（家計を主に支えるものが65歳以上）	100.0	(8,619)	25.2	56.4	15.7	2.4	0.4	27.1	53.5	17.4	1.5	0.6	21.2	51.5	23.0	3.5	0.7
親と子	100.0	(17,764)	22.0	56.7	17.7	3.3	0.3	22.7	53.8	20.1	3.0	0.4	18.2	53.8	22.7	4.9	0.4
親と子（長子5歳以下）	100.0	(2,303)	24.4	56.1	17.2	2.0	0.2	24.6	54.3	19.1	1.9	0.2	18.1	55.2	23.2	3.3	0.2
親と子（長子6～11歳）	100.0	(2,458)	23.0	58.6	14.5	3.8	0.1	27.2	52.7	17.5	2.4	0.2	22.3	49.9	22.1	5.6	0.1
親と子（長子12～17歳）	100.0	(2,788)	21.1	58.9	15.9	3.8	0.3	21.8	55.4	18.7	3.5	0.7	17.4	56.4	21.3	4.8	0.1
親と子（長子18～24歳）	100.0	(2,909)	18.7	57.2	20.3	3.7	0.2	18.6	54.5	22.7	4.0	0.2	15.8	54.1	24.1	5.7	0.4
親と子（長子25歳以上）	100.0	(7,307)	22.5	55.3	18.5	3.1	0.5	22.5	53.1	20.7	3.0	0.6	18.2	53.5	22.8	4.8	0.7
単身世帯	100.0	(14,926)	20.3	55.8	19.9	3.3	0.7	20.8	52.5	21.6	3.8	1.1	19.4	52.2	23.2	4.2	0.9
単身（35歳未満）	100.0	(2,435)	18.0	58.5	20.1	2.7	0.7	20.2	53.9	21.6	3.8	0.5	23.2	48.0	25.0	3.2	0.6
単身（35歳～64歳）	100.0	(6,021)	17.9	57.0	20.8	4.0	0.4	17.2	53.6	23.9	4.5	0.8	16.7	54.9	22.4	5.3	0.6
単身（65歳～74歳）	100.0	(3,023)	21.4	55.4	18.7	2.9	0.1	17.2	52.4	20.5	3.0	2.0	20.1	52.2	22.1	3.8	1.8
単身（75歳以上）	100.0	(3,261)	25.1	53.2	19.5	2.6	0.5	26.1	49.8	19.3	3.3	1.5	21.0	49.5	24.8	3.4	1.1
居住環境状況（住世帯）	100.0	(53,739)	22.1	55.9	18.4	3.1	0.5	23.3	52.9	20.1	3.0	0.7	19.1	52.7	23.7	4.3	0.2
最低居住面積水準未満	100.0	(1,709)	20.0	53.1	20.5	6.3	0.1	19.7	44.8	27.0	8.4	0.2	20.9	51.4	21.8	5.7	0.1
最低居住面積水準以上・誘導居住面積水準未満	100.0	(16,622)	19.5	56.5	20.1	3.5	0.4	18.1	51.9	25.2	4.2	0.6	18.5	53.3	23.7	4.4	0.1
最低居住面積水準以上・誘導居住面積水準以上	100.0	(34,552)	23.3	56.0	17.4	2.8	0.5	25.0	53.8	17.3	2.2	0.8	19.3	52.6	23.8	4.2	0.2
不明	100.0	(896)	27.9	48.3	20.6	2.9	0.3	25.6	50.3	20.9	2.4	0.9	22.3	50.7	21.5	5.4	0.1
住宅取得方法	100.0	(37,721)	24.0	55.6	16.9	3.0	0.5	26.7	53.7	16.7	2.1	0.8	19.1	52.2	23.5	4.5	0.7
新築住宅を取得	100.0	(26,178)	24.5	56.5	16.0	2.6	0.4	28.8	54.5	14.6	1.4	0.7	19.5	52.7	23.0	4.2	0.6
中古住宅を取得	100.0	(5,003)	22.0	55.3	18.8	3.3	0.6	20.5	54.8	20.8	3.3	0.5	18.1	51.8	24.2	5.1	0.8
相続・贈与で取得	100.0	(4,320)	23.3	52.5	19.3	4.2	0.6	22.2	50.0	22.4	4.1	1.3	17.6	50.8	25.2	5.3	1.1
その他	100.0	(2,220)	24.5	52.2	18.8	3.9	0.7	25.3	49.9	20.5	3.7	0.7	20.0	49.7	24.2	5.1	0.9
子の居住地（家計を主に支える者が65歳以上）	100.0	(22,621)	24.2	54.9	17.5	2.8	0.6	25.0	52.7	18.9	2.5	0.9	20.4	51.5	23.4	3.8	0.9
子はいない	100.0	(3,156)	24.5	55.5	17.2	2.4	0.4	24.1	53.1	19.1	2.8	0.9	20.8	52.7	22.8	3.1	0.7
一緒に住んでいる	100.0	(7,110)	23.9	54.5	17.9	3.2	0.6	24.1	53.1	19.3	2.9	0.6	19.5	52.3	23.3	4.2	0.6
徒歩5分程度の場所に住んでいる	100.0	(1,215)	25.8	57.8	13.8	1.9	0.7	31.0	54.0	13.2	1.0	0.8	19.9	52.8	23.7	2.9	0.6
片道15分未満の場所に住んでいる	100.0	(2,060)	25.1	53.8	17.2	2.9	1.0	24.1	53.5	18.2	2.3	1.8	22.0	50.8	21.7	3.9	1.5
片道1時間未満の場所に住んでいる	100.0	(4,099)	23.9	55.5	17.0	2.7	1.0	24.9	52.8	18.9	2.0	1.4	21.2	51.1	23.0	3.5	1.3
片道1時間以上の場所に住んでいる	100.0	(4,195)	23.1	54.7	19.3	2.6	0.3	26.3	51.5	19.5	2.3	0.4	20.0	49.4	25.7	4.2	0.7
不明	100.0	(788)	27.2	53.2	16.0	2.5	1.1	23.7	48.7	22.1	3.5	2.0	21.8	53.9	20.5	2.1	1.7
高齢者のいる世帯における要介護認定者の有無	100.0	(25,337)	23.6	55.0	17.8	3.0	0.5	25.0	52.5	19.1	2.6	0.7	19.6	51.8	23.8	4.0	0.7
要介護認定者等はいない	100.0	(20,626)	24.0	55.4	17.4	2.8	0.5	25.8	52.5	18.6	2.4	0.7	19.9	51.9	23.7	3.8	0.7
要介護認定者等がいる	100.0	(4,711)	22.2	53.5	20.0	3.8	0.5	21.6	52.6	21.3	3.8	0.7	18.3	51.6	24.6	4.8	0.8

単位：％

()内は英数

単位：千世帯

() 内は実数 単位：千世帯

表2 各要素の満足度及び重要度

	総計					住宅及び居住環境の総合満足度					住宅及び子育て世帯※1					住宅及び居住環境の総合満足度					総計 (高齢者世帯※2)					住宅及び居住環境の総合満足度					単位：％				
	満足					満足					満足					満足					満足					満足					単位：％				
	100.0	(54,001)	28.2	45.9	19.7	3.0	3.1	100.0	(7,548)	23.6	46.0	24.7	4.2	1.6	100.0	(14,903)	33.2	45.1	15.7	1.7	4.2	100.0	(14,903)	33.2	45.1	15.7	1.7	4.2	100.0	(14,903)	33.2	45.1	15.7	1.7	4.2
広さや間取り	100.0	(54,001)	19.8	41.2	30.1	5.5	3.4	100.0	(7,548)	18.4	38.9	33.7	7.3	1.6	100.0	(14,903)	23.7	42.1	26.5	3.1	4.6	100.0	(14,903)	23.7	42.1	26.5	3.1	4.6	100.0	(14,903)	23.7	42.1	26.5	3.1	4.6
収納の多さ、使い勝手	100.0	(54,001)	22.6	47.1	22.6	4.2	3.6	100.0	(7,548)	23.4	48.2	22.3	4.3	1.8	100.0	(14,903)	23.7	42.1	26.5	3.1	4.6	100.0	(14,903)	23.7	42.1	26.5	3.1	4.6	100.0	(14,903)	23.7	42.1	26.5	3.1	4.6
水回りの広さ、使い勝手	100.0	(54,001)	16.5	42.4	29.8	7.8	3.5	100.0	(7,548)	21.8	47.2	23.5	6.1	1.5	100.0	(14,903)	15.1	41.4	31.1	7.3	5.1	100.0	(14,903)	15.1	41.4	31.1	7.3	5.1	100.0	(14,903)	15.1	41.4	31.1	7.3	5.1
いたるの少なさ	100.0	(54,001)	15.6	53.3	22.8	4.5	3.8	100.0	(7,548)	18.7	56.5	19.3	3.8	1.7	100.0	(14,903)	13.1	51.8	23.5	4.1	5.4	100.0	(14,903)	13.1	51.8	23.5	4.1	5.4	100.0	(14,903)	13.1	51.8	23.5	4.1	5.4
維持管理のしやすさ	100.0	(54,001)	20.0	50.5	21.6	4.3	3.7	100.0	(7,548)	22.1	50.8	19.8	5.6	1.7	100.0	(14,903)	22.2	50.9	18.6	3.1	5.1	100.0	(14,903)	22.2	50.9	18.6	3.1	5.1	100.0	(14,903)	22.2	50.9	18.6	3.1	5.1
換気のよさ（臭いや煙などが残らない）	100.0	(54,001)	35.0	38.2	18.1	5.2	3.4	100.0	(7,548)	38.8	38.2	16.9	4.5	1.6	100.0	(14,903)	37.4	35.3	17.8	4.6	4.8	100.0	(14,903)	37.4	35.3	17.8	4.6	4.8	100.0	(14,903)	37.4	35.3	17.8	4.6	4.8
日当たり	100.0	(54,001)	17.6	40.2	29.7	9.0	3.6	100.0	(7,548)	24.7	42.9	23.6	7.1	1.6	100.0	(14,903)	17.2	38.4	30.7	8.4	5.3	100.0	(14,903)	17.2	38.4	30.7	8.4	5.3	100.0	(14,903)	17.2	38.4	30.7	8.4	5.3
断熱性	100.0	(54,001)	10.5	48.6	30.2	6.1	4.6	100.0	(7,548)	12.2	48.6	30.8	6.2	2.1	100.0	(14,903)	11.0	50.4	27.2	4.5	6.9	100.0	(14,903)	11.0	50.4	27.2	4.5	6.9	100.0	(14,903)	11.0	50.4	27.2	4.5	6.9
省エネ性	100.0	(54,001)	10.8	37.7	36.6	10.5	4.3	100.0	(7,548)	11.7	44.1	32.7	9.5	2.0	100.0	(14,903)	12.1	35.3	37.2	9.3	6.1	100.0	(14,903)	12.1	35.3	37.2	9.3	6.1	100.0	(14,903)	12.1	35.3	37.2	9.3	6.1
高齢者への配慮（段差がない等）	100.0	(54,001)	10.6	41.5	32.0	11.6	4.3	100.0	(7,548)	14.6	53.1	24.1	6.3	1.8	100.0	(14,903)	9.8	35.7	34.6	13.5	6.3	100.0	(14,903)	9.8	35.7	34.6	13.5	6.3	100.0	(14,903)	9.8	35.7	34.6	13.5	6.3
地震時の安全性	100.0	(54,001)	11.2	45.8	30.0	8.8	4.1	100.0	(7,548)	14.4	53.9	23.9	6.0	1.8	100.0	(14,903)	11.0	41.3	31.6	10.0	6.1	100.0	(14,903)	11.0	41.3	31.6	10.0	6.1	100.0	(14,903)	11.0	41.3	31.6	10.0	6.1
台風時の安全性	100.0	(54,001)	10.3	49.9	28.8	6.5	4.5	100.0	(7,548)	14.1	58.0	21.6	4.5	1.9	100.0	(14,903)	9.6	47.2	30.1	6.7	6.4	100.0	(14,903)	9.6	47.2	30.1	6.7	6.4	100.0	(14,903)	9.6	47.2	30.1	6.7	6.4
火災に対する安全性	100.0	(54,001)	11.4	48.1	30.0	6.0	4.6	100.0	(7,548)	13.8	52.1	26.7	5.4	2.0	100.0	(14,903)	10.6	49.3	28.7	4.3	7.0	100.0	(14,903)	10.6	49.3	28.7	4.3	7.0	100.0	(14,903)	10.6	49.3	28.7	4.3	7.0
防犯性	100.0	(54,001)	11.1	41.5	32.5	10.5	4.5	100.0	(7,548)	12.7	46.2	30.3	8.8	1.9	100.0	(14,903)	12.3	45.1	28.9	6.8	6.9	100.0	(14,903)	12.3	45.1	28.9	6.8	6.9	100.0	(14,903)	12.3	45.1	28.9	6.8	6.9
遮音性	100.0	(54,001)	15.1	54.8	21.4	4.2	4.5	100.0	(7,548)	15.4	56.8	21.5	4.3	1.9	100.0	(14,903)	18.3	55.1	17.4	2.6	6.6	100.0	(14,903)	18.3	55.1	17.4	2.6	6.6	100.0	(14,903)	18.3	55.1	17.4	2.6	6.6
プライバシー確保	100.0	(54,001)	26.5	43.5	19.1	5.1	5.9	100.0	(7,548)	28.6	44.4	19.8	5.6	1.7	100.0	(14,903)	29.1	42.9	17.8	4.4	5.8	100.0	(14,903)	29.1	42.9	17.8	4.4	5.8	100.0	(14,903)	29.1	42.9	17.8	4.4	5.8
通勤、通学の利便	100.0	(54,001)	27.9	43.6	19.3	5.8	3.5	100.0	(7,548)	32.8	45.0	16.9	3.8	1.6	100.0	(14,903)	25.1	41.1	21.2	7.8	4.9	100.0	(14,903)	25.1	41.1	21.2	7.8	4.9	100.0	(14,903)	25.1	41.1	21.2	7.8	4.9
日常の買物などの利便	100.0	(54,001)	17.0	49.9	23.8	5.6	3.7	100.0	(7,548)	21.2	51.8	21.2	4.3	1.5	100.0	(14,903)	16.6	47.0	24.6	6.6	5.2	100.0	(14,903)	16.6	47.0	24.6	6.6	5.2	100.0	(14,903)	16.6	47.0	24.6	6.6	5.2
医療・福祉・文化施設など	100.0	(54,001)	9.8	56.7	23.5	3.5	6.6	100.0	(7,548)	11.1	61.9	21.4	3.4	2.1	100.0	(14,903)	9.6	52.4	23.5	3.4	11.1	100.0	(14,903)	9.6	52.4	23.5	3.4	11.1	100.0	(14,903)	9.6	52.4	23.5	3.4	11.1
福祉・介護の生活支援サービス	100.0	(54,001)	8.4	48.4	28.8	5.4	9.0	100.0	(7,548)	14.0	48.0	28.4	7.8	1.8	100.0	(14,903)	6.7	42.8	29.2	4.7	16.6	100.0	(14,903)	6.7	42.8	29.2	4.7	16.6	100.0	(14,903)	6.7	42.8	29.2	4.7	16.6
注 子どもの遊び場、子育て支援サービス	100.0	(54,001)	14.1	53.0	21.7	6.5	4.7	100.0	(7,548)	21.5	47.4	20.7	8.9	1.6	100.0	(14,903)	13.1	50.5	23.8	5.3	7.3	100.0	(14,903)	13.1	50.5	23.8	5.3	7.3	100.0	(14,903)	13.1	50.5	23.8	5.3	7.3
親・子・親せきとの距離	100.0	(54,001)	16.2	60.8	16.7	2.3	4.0	100.0	(7,548)	18.6	60.6	16.8	2.5	1.6	100.0	(14,903)	15.8	61.5	15.2	1.5	6.1	100.0	(14,903)	15.8	61.5	15.2	1.5	6.1	100.0	(14,903)	15.8	61.5	15.2	1.5	6.1
治安	100.0	(54,001)	12.1	62.4	18.8	2.9	3.8	100.0	(7,548)	13.8	66.3	15.5	2.5	1.8	100.0	(14,903)	13.7	59.5	19.2	2.3	5.4	100.0	(14,903)	13.7	59.5	19.2	2.3	5.4	100.0	(14,903)	13.7	59.5	19.2	2.3	5.4
近隣の人やコミュニティとの関わり	100.0	(54,001)	10.5	48.1	30.1	6.6	4.7	100.0	(7,548)	11.0	42.1	34.0	10.8	2.2	100.0	(14,903)	10.9	49.9	28.0	4.5	6.7	100.0	(14,903)	10.9	49.9	28.0	4.5	6.7	100.0	(14,903)	10.9	49.9	28.0	4.5	6.7
歩行時の安全性	100.0	(54,001)	9.5	50.9	28.5	5.8	5.2	100.0	(7,548)	11.7	56.4	25.1	4.7	2.1	100.0	(14,903)	9.3	46.3	29.6	6.9	7.9	100.0	(14,903)	9.3	46.3	29.6	6.9	7.9	100.0	(14,903)	9.3	46.3	29.6	6.9	7.9
災害時の避難のしやすさ	100.0	(54,001)	28.9	42.1	17.9	5.9	5.3	100.0	(7,548)	31.9	41.0	19.1	6.0	1.9	100.0	(14,903)	30.8	40.0	15.9	5.4	8.0	100.0	(14,903)	30.8	40.0	15.9	5.4	8.0	100.0	(14,903)	30.8	40.0	15.9	5.4	8.0
水害・津波の受けにくさ	100.0	(54,001)	11.9	44.4	30.9	7.5	5.3	100.0	(7,548)	13.9	47.4	30.3	6.5	2.0	100.0	(14,903)	11.7	41.7	30.8	7.9	7.9	100.0	(14,903)	11.7	41.7	30.8	7.9	7.9	100.0	(14,903)	11.7	41.7	30.8	7.9	7.9
周辺からの延焼のしにくさ	100.0	(54,001)	16.1	49.4	23.2	6.4	4.8	100.0	(7,548)	17.0	47.6	25.5	7.8	2.2	100.0	(14,903)	18.5	51.0	19.5	3.8	7.2	100.0	(14,903)	18.5	51.0	19.5	3.8	7.2	100.0	(14,903)	18.5	51.0	19.5	3.8	7.2
騒音・大気汚染の少なさ	100.0	(54,001)	22.0	46.6	22.1	4.7	4.6	100.0	(7,548)	23.1	48.6	21.7	4.7	1.9	100.0	(14,903)	24.0	45.2	20.2	3.9	6.7	100.0	(14,903)	24.0	45.2	20.2	3.9	6.7	100.0	(14,903)	24.0	45.2	20.2	3.9	6.7
敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり	100.0	(54,001)	17.7	52.1	21.3	3.9	4.9	100.0	(7,548)	23.2	49.0	21.3	4.7	1.9	100.0	(14,903)	17.7	50.9	20.6	3.3	7.5	100.0	(14,903)	17.7	50.9	20.6	3.3	7.5	100.0	(14,903)	17.7	50.9	20.6	3.3	7.5
公園や緑、水辺などの自然環境	100.0	(54,001)	12.9	55.9	22.9	3.5	4.8	100.0	(7,548)	17.1	57.3	20.8	3.0	1.8	100.0	(14,903)	12.3	54.7	22.8	2.9	7.3	100.0	(14,903)	12.3	54.7	22.8	2.9	7.3	100.0	(14,903)	12.3	54.7	22.8	2.9	7.3
まちなみ・景観	100.0	(54,001)	12.9	55.9	22.9	3.5	4.8	100.0	(7,548)	17.1	57.3	20.8	3.0	1.8	100.0	(14,903)	12.3	54.7	22.8	2.9	7.3	100.0	(14,903)	12.3	54.7	22.8	2.9	7.3	100.0	(14,903)	12.3	54.7	22.8	2.9	7.3

() 内は実数 単位：千世帯

※1 長子17歳以下 ※2 高齢単身世帯及び単身世帯

表 3 住宅タイプ別、住居費負担に対する評価

	総計	生活必需品を切りつめるほど苦しい	ぜいたくはできないが何とかやっつけている	ぜいたくを多少がまんしている	家計にあまり影響がない	単位：%
住宅タイプ	100.0	(50,738)	5.4	49.9	17.9	26.9
持ち家	100.0	(34,878)	4.2	48.9	15.5	31.3
一戸建・長屋建	100.0	(30,013)	4.4	49.5	14.7	31.4
共同住宅	100.0	(4,854)	3.2	45.6	20.6	30.6
借家	100.0	(15,605)	8.1	52.1	23.1	16.7
民営賃貸住宅	100.0	(12,204)	7.9	51.1	24.9	16.1
一戸建・長屋建	100.0	(1,896)	11.3	54.9	18.6	15.2
共同住宅	100.0	(10,291)	7.3	50.4	26.1	16.2
その他	100.0	(3,401)	8.6	56.0	16.4	19.0
同居、住宅以外、不明	100.0	(253)	1.9	41.4	17.6	39.2
住宅ローンのある持家	100.0	(13,085)	5.0	53.8	21.9	19.4

() 内は実数 単位：千世帯

表 4 居住面積水準

単位：％

	総計	居住面積水準状況（主世帯）（3 区分）		
		最低居住面積水準 未満	最低居住面積水準以上 誘導居住面積水準未満	最低居住面積水準以上 誘導居住面積水準以上
住宅タイプ				
持ち家	100.0 (53,739)	3.2	30.9	64.3
一戸建・長屋建	100.0 (37,620)	0.8	22.3	75.2
共同住宅	100.0 (32,463)	0.7	21.8	75.8
借家	100.0 (5,026)	1.3	26.1	71.2
民営賃貸住宅	100.0 (16,105)	8.8	51.0	38.9
一戸建・長屋建	100.0 (12,572)	9.6	52.6	36.6
共同住宅	100.0 (1,950)	4.2	61.2	33.0
都道府県・市区町村営賃貸住宅	100.0 (1,766)	6.4	44.0	48.0
都市再生機構 (UR) ・公社等の賃貸住宅	100.0 (619)	4.5	40.1	52.7
給与住宅	100.0 (1,149)	5.3	50.7	42.7
家族構成				
夫婦（家計主64歳以下）	100.0 (54,001)	3.2	30.8	64.0
夫婦（家計主65歳以上）	100.0 (4,892)	3.2	24.6	71.5
親と子（長子17歳以下）	100.0 (8,619)	0.4	14.5	84.8
親と子（長子18歳以上）	100.0 (7,548)	4.2	51.5	43.2
単身（64歳以下）	100.0 (10,216)	3.4	40.2	56.1
単身（65歳以上）	100.0 (8,456)	5.0	36.9	57.3
	100.0 (6,284)	2.7	11.7	84.8

（ ） 内は実数 単位：千世帯

表 5 最近の住み替えの目的（最近 5 年以内に住み替えた世帯）

単位：％

	総計 (最近住み替えた世帯)
合 計	100.0 (12,087)
出生時から住んでいる（住み替えたことがない） 世帯からの独立（単身赴任、離婚などを含む）	1.2 (140)
結婚による独立	18.6 (2,252)
家族等との同居・隣居・近居	14.5 (1,747)
高齢期の住みやすさ	12.0 (1,452)
子育てのしやすさ	7.3 (888)
広さや部屋数	9.5 (1,151)
使いやすさの向上	21.8 (2,640)
性能の向上（断熱性、省エネ性など）	11.1 (1,339)
新しさ・きれいさ	6.1 (733)
住居費負担の軽減	16.6 (2,001)
災害に対する安全性・治安	13.5 (1,631)
通勤・通学の利便	6.3 (765)
日常の買物、医療などの利便	35.9 (4,335)
その他	10.5 (1,274)
	19.5 (2,360)

（ ）内は実数 単位：千世帯

表 6 最近 5 年間の住み替え実施世帯における居住形態の変化別の割合

単位：％

	住み替え前の居住形態(最近5年以内に住み替えた世帯)										
	総計	持ち家		借家		民営賃貸住宅	都道府県・市区町村営賃貸住宅		都市再生機構(UR)・公社等の賃貸住宅		
		一戸建・長屋建	共同住宅	一戸建・長屋建	共同住宅						
住宅	100.0	-	25.2	17.6	7.6	74.8	60.6	9.9	50.7	2.3	7.6
	-	(9,311)	(1,646)	(1,053)	(593)	(6,966)	(5,647)	(926)	(4,722)	(216)	(707)
持ち家	37.0	(3,942)	13.0	8.8	4.2	24.0	19.4	3.6	15.8	1.7	0.6
一戸建・長屋建	27.7	(2,977)	8.3	6.3	2.0	19.4	15.8	3.3	12.5	1.4	0.5
共同住宅	9.3	(974)	4.7	2.5	2.2	4.6	3.8	0.3	3.4	0.2	0.5
借家	63.0	(8,339)	12.2	8.8	3.4	50.8	41.2	6.3	34.9	2.6	1.7
民営賃貸住宅	51.8	(6,947)	9.7	7.1	2.6	42.2	37.5	5.4	32.1	1.5	1.0
一戸建・長屋建	6.3	(739)	1.1	1.0	0.1	5.2	4.7	2.1	2.7	0.2	0.1
共同住宅	45.5	(6,199)	8.5	6.1	2.5	36.9	32.7	3.3	29.4	1.4	0.9
都道府県・市区町村営賃貸住宅	3.3	(1,055)	0.7	0.7	0.0	2.6	1.6	0.5	1.2	0.9	0.1
都市再生機構(UR)・公社等の賃貸住宅	1.6	(5,142)	0.2	0.1	0.1	1.4	0.7	0.2	0.5	0.0	0.6
給与住宅	6.3	(352)	1.6	1.0	0.6	4.8	1.4	0.3	1.1	0.2	0.0

() 内は実数 単位：千世帯

- 1) 住み替え前の居住形態「親その他の親族の家に同居」、「下宿・寮等」、「その他」及び「不明」を除く
 2) 住宅タイプ「非住宅」、「同居」及び「不明」を除く

表 7 住み替えの目的別に見た最近 5 年間の居住形態の変化別の割合

単位：％

	総計 (最近住み替えた世帯)	最近の居住形態の変化				その他	不明
		持家から持家	持家から借家	借家から借家	借家から借家		
世帯からの独立(単身赴任、離婚などを含む)	100.0 (2,252)	12.1	17.8	5.2	21.9	42.6	0.3
結婚による独立	100.0 (1,747)	12.7	3.2	26.2	26.8	30.6	0.4
家族等との同居・隣居・近居	100.0 (1,452)	20.8	8.2	28.8	22.1	19.2	0.9
高齢期の住みやすさ	100.0 (888)	51.7	11.5	15.0	8.5	12.3	1.0
子育てのしやすさ	100.0 (1,151)	8.4	3.3	55.2	22.5	10.3	0.3
広さや部屋数	100.0 (2,640)	20.7	5.9	31.3	29.8	11.6	0.7
使いやすさの向上	100.0 (1,339)	25.6	4.3	31.5	27.2	10.5	1.0
性能の向上(断熱性、省エネ性など)	100.0 (733)	25.1	2.7	42.9	16.9	11.4	1.0
新しさ・きれいさ	100.0 (2,001)	22.9	5.8	27.3	27.3	16.3	0.3
住居費負担の軽減	100.0 (1,631)	22.2	7.6	26.5	31.0	12.1	0.5
災害に対する安全性・治安	100.0 (765)	34.1	4.8	20.7	24.3	15.0	1.0
通勤・通学の利便	100.0 (4,335)	14.5	8.9	12.5	32.2	31.7	0.2
日常の買物、医療などの利便	100.0 (1,274)	25.9	10.9	14.2	28.0	20.6	0.4
その他	100.0 (2,360)	27.6	8.8	13.2	29.8	18.7	1.9

() 内は実数 単位：千世帯

表 8 最近 5 年間に持ち家に住み替えた世帯の住宅の取得方法

	総計	住宅の取得方法(持ち家)										相続・贈与で取得	その他	
		新築の住宅を 購入					中古住宅 を購入		新築(建て替える を除く)		建て替え			
		都市再生機構 (UR)・公社など	民間	民間	民間	民間								
単位：%														
総計	100.0	(37,721)	20.3	0.9	19.3	13.3	31.5	17.7	11.5	5.9				
地域														
木造住宅密集地	100.0	(37,721)	20.3	0.9	19.3	13.3	31.5	17.7	11.5	5.9				
ニュータウン	100.0	(546)	30.0	0.4	29.6	14.7	16.3	17.7	14.8	6.5				
その他の市街地	100.0	(2,455)	29.5	2.3	27.2	17.2	31.2	11.5	5.2	5.5				
市街地以外	100.0	(16,404)	30.1	1.0	29.1	16.2	24.6	16.1	7.7	5.4				
住宅タイプ (14区分)	100.0	(18,315)	10.0	0.7	9.2	10.1	38.1	19.9	15.6	6.4				
持ち家	100.0	(37,721)	20.3	0.9	19.3	13.3	31.5	17.7	11.5	5.9				
一戸建・長屋建	100.0	(37,620)	20.3	0.9	19.4	13.3	31.5	17.7	11.5	5.6				
共同住宅	100.0	(32,560)	15.1	0.6	14.4	10.7	35.7	19.8	12.6	6.1				
借家	100.0	(5,029)	54.4	2.9	51.5	29.8	4.1	3.1	3.9	4.7				
民営賃貸住宅	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
戸建・長屋建	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
共同住宅	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
都道府県・市区町村営賃貸住宅	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
都市再生機構 (UR)・公社等の賃貸住宅	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
給付住宅	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
同居世帯	100.0	(100)	-	-	-	-	-	-	-	-			100.0	
家族構成 (22区分)	100.0	(37,721)	20.3	0.9	19.3	13.3	31.5	17.7	11.5	5.9				
親族世帯	100.0	(30,592)	20.6	0.9	19.7	12.6	33.1	17.9	10.5	5.4				
核家族世帯	100.0	(25,774)	22.7	0.9	21.7	13.7	34.4	15.1	9.1	5.0				
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳未満)	100.0	(2,950)	26.5	0.8	25.6	15.3	38.0	9.2	7.8	3.2				
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0	(7,860)	17.7	1.2	16.5	13.8	29.4	21.4	11.3	6.4				
親と子 (長子5歳以下)	100.0	(1,145)	27.6	0.5	27.1	14.9	49.4	1.7	2.1	4.4				
親と子 (長子6～11歳)	100.0	(1,703)	31.4	0.6	30.8	13.6	48.1	4.2	0.9	1.8				
親と子 (長子12～17歳)	100.0	(2,112)	29.4	0.1	29.3	13.4	44.5	6.4	2.8	3.3				
親と子 (長子18～24歳)	100.0	(2,260)	31.1	0.4	30.6	14.3	38.8	8.7	3.9	3.3				
親と子 (長子25歳以上)	100.0	(6,426)	20.6	1.4	19.2	12.9	29.7	19.0	11.6	6.3				
その他の親族世帯	100.0	(4,818)	9.2	0.5	8.7	6.5	26.1	32.6	18.2	7.4				
夫婦と両親から成る世帯	100.0	(237)	4.0	0.0	4.0	8.2	29.1	37.1	15.8	5.8				
夫婦とひとり親から成る世帯	100.0	(894)	8.9	0.3	8.5	4.7	26.1	35.2	20.3	4.8				
夫婦、子供とひとり親から成る世帯	100.0	(842)	5.5	0.4	5.2	3.5	28.2	41.6	14.5	6.7				
夫婦、子供とひとり親から成る世帯	100.0	(1,323)	10.1	0.4	9.7	5.0	27.2	29.8	19.6	8.3				
夫婦と他の親族 (親、子供を含まない) から成る世帯	100.0	(120)	8.2	0.9	7.3	16.9	23.0	24.7	18.0	9.1				
夫婦、子供と他の親族 (親を含まない) から成る世帯	100.0	(413)	17.8	0.8	17.0	6.7	28.1	27.2	13.6	6.6				
夫婦、親と他の親族 (子供を含まない) から成る世帯	100.0	(64)	7.0	0.9	2.1	2.9	27.3	29.9	22.5	10.5				
夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯	100.0	(304)	3.2	0.2	3.0	8.6	19.3	45.0	15.1	8.8				
兄弟姉妹のみから成る世帯	100.0	(235)	12.5	0.8	11.7	16.7	18.9	14.7	23.0	14.1				
他に分類されない親族世帯	100.0	(386)	11.7	0.2	11.5	11.1	24.2	23.5	22.3	7.3				
非親族世帯	100.0	(97)	19.7	1.1	19.7	18.8	23.8	18.7	8.1	10.8				
単身世帯	100.0	(6,534)	18.9	1.1	17.8	16.5	23.0	15.8	15.9	7.8				
単身 (35歳未満)	100.0	(70)	21.9	0.7	21.9	9.8	31.9	0.7	16.7	19.0				
単身 (35歳～64歳)	100.0	(1,939)	27.8	0.7	27.1	22.4	20.8	7.6	15.6	5.8				
単身 (65歳～74歳)	100.0	(1,965)	16.6	1.4	15.1	15.1	25.6	17.9	17.7	7.0				
単身 (75歳以上)	100.0	(2,475)	13.6	1.2	12.4	13.2	27.7	21.1	14.8	9.6				

表 9 最近 5 年間に実施した住み替えの目的別満足度

		総計		満足	まあ満足	多少不満	非常に不満	不明	単位：％
		100.0	(2,653)	41.6	48.1	8.7	1.0	0.6	
「広さや部屋数」	選択した世帯の「取納の多さ、使い勝手」の満足度	100.0	(2,653)	41.6	48.1	8.7	1.0	0.6	
	選択しなかった世帯の「取納の多さ、使い勝手」の満足度	100.0	(9,448)	25.5	46.5	23.4	4.4	0.2	
「使いやすさの向上」	選択した世帯の「取納の多さ、使い勝手」の満足度	100.0	(1,339)	30.4	38.6	27.7	3.0	0.4	
	選択した世帯の「水回りの広さ、使い勝手」の満足度	100.0	(1,339)	38.2	45.8	13.4	2.5	0.1	
	選択しなかった世帯の「取納の多さ、使い勝手」の満足度	100.0	(11,014)	19.3	40.3	31.4	6.6	2.4	
	選択しなかった世帯の「水回りの広さ、使い勝手」の満足度	100.0	(11,014)	20.3	44.7	26.1	6.3	2.5	
「使いやすさの向上」	選択した世帯の「維持管理のしやすさ」の満足度	100.0	(1,339)	30.4	55.5	13.4	0.6	0.1	
	選択しなかった世帯の「維持管理のしやすさ」の満足度	100.0	(11,014)	21.5	56.9	16.2	2.8	2.6	
「性能の向上（断熱性、省エネ性など）」	選択した世帯の「換気のよさ（臭いや煙などが残らない）」の満足度	100.0	(733)	45.3	41.8	9.5	3.3	0.1	
	選択した世帯の「日当たり」の満足度	100.0	(733)	50.4	36.8	10.8	1.9	0.2	
	選択した世帯の「断熱性」の満足度	100.0	(733)	52.1	35.0	9.5	3.1	0.3	
	選択しなかった世帯の「換気のよさ（臭いや煙などが残らない）」の満足度	100.0	(11,354)	22.4	49.2	22.8	5.1	0.5	
	選択しなかった世帯の「日当たり」の満足度	100.0	(11,354)	33.1	41.0	19.6	6.1	0.3	
	選択しなかった世帯の「断熱性」の満足度	100.0	(11,343)	19.9	45.1	27.3	7.0	0.6	
	「居住費負担の軽減」								
	選択した世帯の「住居費負担」の満足度	100.0	(1,631)	8.9	47.0	24.1	17.0	3.0	
「災害に対する安全性・治安」	選択しなかった世帯の「住居費負担」の満足度	100.0	(10,457)	5.3	45.1	24.9	22.3	2.4	
	選択した世帯の「災害時の避難のしやすさ」の満足度	100.0	(765)	20.5	60.5	16.6	1.6	0.9	
「災害に対する安全性・治安」	選択しなかった世帯の「災害時の避難のしやすさ」の満足度	100.0	(11,322)	10.7	54.7	27.5	5.4	1.7	
	選択した世帯の「治安」の満足度	100.0	(765)	28.5	61.9	6.7	0.2	2.8	
「高齢期の住みやすさ」	選択しなかった世帯の「治安」の満足度	100.0	(11,322)	18.1	59.5	18.1	3.3	1.0	
	選択した世帯の「福祉・介護の生活支援サービス」の満足度	100.0	(888)	14.5	64.4	12.8	1.6	6.8	
「通勤・通学の利便」	選択しなかった世帯の「福祉・介護の生活支援サービス」の満足度	100.0	(11,199)	11.4	61.3	21.7	3.0	2.6	
	選択した世帯の「通勤・通学の利便」の満足度	100.0	(4,335)	45.6	42.3	10.5	1.3	0.2	
「日常の買物、医療などの利便」	選択しなかった世帯の「通勤・通学の利便」の満足度	100.0	(7,752)	25.6	46.0	21.6	4.8	2.1	
	選択した世帯の「日常の買物などの利便」の満足度	100.0	(1,274)	51.3	45.6	2.7	0.3	0.1	
「日常の買物、医療などの利便」	選択した世帯の「医療・福祉・文化施設など」の満足度	100.0	(1,274)	24.3	64.9	9.8	0.5	0.5	
	選択しなかった世帯の「日常の買物などの利便」の満足度	100.0	(11,079)	31.4	43.1	18.6	4.2	2.6	
「日常の買物、医療などの利便」	選択しなかった世帯の「医療・福祉・文化施設など」の満足度	100.0	(11,079)	18.1	52.3	22.9	4.1	2.6	

() 内は実数 単位：千世帯

表 10 今後の住み替え意向

地域	総計	単位：％			
		できれば住み替 えたい	できれば住み続 けたい	わからない	不明
木造住宅密集地	100.0 (54,001)	19.7	60.4	18.5	1.5
ニュータウン	100.0 (715)	20.2	59.0	20.3	0.5
その他の市街地	100.0 (3,540)	19.6	61.3	17.6	1.5
市街地以外	100.0 (26,507)	22.2	55.8	20.4	1.7
住宅タイプ	100.0 (23,239)	16.9	65.5	16.3	1.3
持ち家	100.0 (53,988)	19.7	60.4	18.5	1.5
一戸建・長屋建	100.0 (37,620)	11.7	72.6	14.8	0.9
共同住宅	100.0 (32,560)	11.1	74.0	14.0	0.9
借家	100.0 (5,029)	15.4	64.1	19.7	0.7
民営賃貸住宅	100.0 (16,105)	38.7	32.3	27.2	1.8
一戸建・長屋建	100.0 (12,572)	41.6	28.3	28.3	1.8
共同住宅	100.0 (1,950)	36.2	36.6	26.2	1.0
都道府県・市区町村営賃貸住宅	100.0 (1,766)	42.6	26.8	28.7	2.0
都市再生機構 (UR)・公社等の賃貸住宅	100.0 (619)	20.1	58.1	18.8	3.0
給与住宅	100.0 (1,149)	33.7	39.7	24.6	1.9
同居世帯	100.0 (249)	37.6	32.2	30.1	0.1
家族構成	100.0 (38,119)	1.5	35.8	3.0	59.8
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳未満)	100.0 (4,892)	18.0	64.5	16.5	1.0
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0 (8,619)	25.9	51.3	21.7	1.0
親と子	100.0 (17,764)	11.2	75.2	12.6	1.1
親と子 (長子5歳以下)	100.0 (2,303)	21.1	60.5	17.4	1.1
親と子 (長子6～11歳)	100.0 (2,458)	38.4	48.2	12.9	0.5
親と子 (長子12～17歳)	100.0 (2,788)	26.3	58.3	14.4	1.0
親と子 (長子18～24歳)	100.0 (2,909)	20.7	56.1	19.6	0.8
親と子 (長子25歳以上)	100.0 (7,307)	20.3	56.1	21.9	1.8
その他の親族世帯	100.0 (5,205)	14.4	67.5	17.1	1.0
単身世帯	100.0 (14,926)	12.7	72.5	14.1	0.8
単身 (64歳以下)	100.0 (8,456)	23.8	50.1	23.6	2.6
単身 (65歳以上)	100.0 (6,284)	32.5	35.5	29.9	2.1
() 内は実数 単位：千世帯	100.0 (6,284)	12.4	69.4	15.2	3.0

表 11 住み替え後の居住形態（今後の住み替え意向のある世帯）

	総計（今後の住み替え意向のある世帯）	住み替え後の居住形態				持家、借家 にこだわらない	不明	総計（今後5年以内の住み替え意向のある世帯）	住み替え後の居住形態				持家、借家 にこだわらない	不明	単位：％	
		持家	新築	中古	こだわらない				持家	新築	中古	こだわらない				
総数	100.0（10,658）	33.7	32.2	17.9	18.4	19.0	16.1	3.0	100.0（6,494）	31.6	30.1	19.4	14.5	15.7	0.6	
地域																
本道住宅密集地	100.0（145）	40.7	34.5	25.7	21.9	9.5	13.5	0.9	100.0（63）	12.1	21.6	19.7	6.5	17.7	22.1	0.0
ニュータウン	100.0（696）	32.2	28.5	19.9	19.5	15.4	15.0	3.7	100.0（430）	30.0	29.7	18.3	14.6	17.6	14.5	0.5
その他の市街地	100.0（5,891）	32.6	33.3	18.8	18.6	22.8	14.7	2.3	100.0（4,010）	30.6	31.0	18.7	15.6	20.8	14.5	0.6
市街地以外	100.0（3,245）	35.5	31.4	16.0	17.8	14.3	18.6	4.0	100.0（1,991）	34.6	28.5	20.8	12.6	20.0	18.4	0.6
住宅タイプ																
持ち家	100.0（4,409）	43.9	43.2	19.7	25.2	7.1	14.1	5.0	100.0（1,387）	45.9	45.8	27.0	20.6	7.9	13.0	0.5
一戸建・長屋建	100.0（3,625）	43.1	41.8	16.3	23.9	7.4	14.9	5.5	100.0（1,034）	45.3	41.7	21.8	18.8	8.6	15.5	0.6
共同住宅	100.0（776）	48.0	48.0	33.4	31.6	6.1	10.5	2.6	100.0（331）	47.6	37.7	42.5	26.3	6.3	5.9	0.3
借家	100.0（6,226）	28.3	24.4	16.7	13.6	27.5	17.6	1.7	100.0（5,094）	27.8	25.8	17.3	12.9	28.4	16.5	0.6
民営賃貸住宅	100.0（5,229）	25.9	23.1	15.5	12.4	28.7	16.6	1.3	100.0（4,361）	27.1	26.3	15.5	12.0	29.5	15.7	0.6
一戸建・長屋建	100.0（706）	27.9	20.5	13.8	18.1	20.0	21.7	1.6	100.0（505）	29.9	21.8	12.8	16.7	21.5	20.3	0.0
共同住宅	100.0（4,517）	25.0	25.9	15.5	11.5	30.0	15.8	1.3	100.0（3,851）	26.7	26.9	15.9	11.3	30.5	15.1	0.6
都道府県・市区町村有償賃貸住宅	100.0（335）	21.5	10.6	13.7	24.5	18.1	22.3	7.5	100.0（191）	24.6	16.0	21.9	26.5	19.2	18.1	2.2
都市再生機構（IR）・公社等の賃貸住宅	100.0（209）	15.4	12.7	23.7	15.1	23.8	22.6	0.0	100.0（171）	18.2	13.5	24.5	13.7	21.6	21.8	0.0
給付住宅	100.0（332）	43.6	33.2	30.5	18.4	22.1	23.9	1.4	100.0（371）	42.7	31.7	32.9	17.1	23.1	23.4	1.3
同居世帯	100.0（18）	23.8	18.4	2.2	12.6	14.4	8.6	0.0	100.0（10）	7.4	7.4	0.0	3.2	6.0	8.4	0.0
家族構成																
単独世帯	100.0（6,199）	42.4	39.4	50.7	23.1	14.7	38.4	8.8	100.0（3,446）	43.5	40.7	55.9	20.1	17.9	35.6	1.0
夫婦（家族を主に支えるものが65歳未満）	100.0（1,271）	42.3	45.2	26.2	18.5	18.7	15.1	1.4	100.0（835）	44.6	48.2	22.7	15.3	22.6	12.2	6.1
夫婦（家族を主に支えるものが65歳以上）	100.0（964）	28.9	26.3	21.9	19.1	14.9	15.7	4.0	100.0（423）	33.7	27.2	28.9	16.5	12.1	12.7	6.8
親と子（子5歳以下）	100.0（684）	57.9	59.0	23.3	20.5	11.3	14.0	1.1	100.0（729）	58.7	59.0	24.5	20.7	11.9	14.3	0.0
親と子（子6～11歳）	100.0（646）	46.8	34.6	34.3	32.6	17.7	17.6	0.9	100.0（398）	45.6	33.8	40.8	30.3	24.4	16.3	0.6
親と子（子12～17歳）	100.0（577）	45.0	39.2	22.4	27.7	10.9	17.4	2.5	100.0（292）	40.5	32.7	16.1	23.2	17.4	19.1	1.3
親と子（子18～24歳）	100.0（590）	40.4	35.8	21.5	24.6	15.3	19.1	1.6	100.0（262）	35.9	32.6	18.0	21.1	23.5	20.0	0.0
親と子（子25歳以上）	100.0（1,052）	41.6	36.0	13.9	26.2	11.9	16.4	3.7	100.0（428）	33.1	29.6	17.0	18.9	13.9	20.0	0.0
単身世帯	100.0（3,562）	19.1	17.7	14.5	10.2	28.2	16.4	3.5	100.0（2,667）	16.7	15.6	14.6	7.5	32.1	16.5	1.1
単身（35歳未満）	100.0（1,090）	9.5	10.0	7.7	6.1	44.9	17.4	2.0	100.0（955）	6.8	8.3	6.5	4.8	46.0	16.1	0.6
単身（35歳～64歳）	100.0（1,723）	24.0	21.6	20.0	10.7	23.8	16.9	2.6	100.0（1,281）	22.3	18.2	20.9	9.0	25.6	17.9	1.3
単身（65歳～74歳）	100.0（401）	23.4	21.5	14.2	14.8	18.9	12.9	5.5	100.0（237）	27.0	28.6	15.9	7.8	21.0	9.8	1.0
単身（75歳以上）	100.0（377）	18.9	17.8	9.0	15.0	13.3	14.8	10.5	100.0（181）	16.6	19.4	11.0	11.4	20.0	19.0	2.8

（ ）内は人数 単位：千世帯

表 12 建築時期別住み替え・改善の実現時期（今後の住み替え意向のある世帯）

単位：％

	総計	総計（今後の住み替え意向のある世帯）	住み替えの実現時期				
			1年以内	1年先～3年以内	3年先～5年以内	5年先～10年以内	10年先以降
			1年以内	1年先～3年以内	3年先～5年以内	5年先～10年以内	10年先以降
建築時期（持ち家）	100.0	(37,721)	0.5	1.5	1.5	2.4	4.3
昭和25年以前	100.0	(1,342)	0.7	1.4	1.1	2.2	3.6
昭和26～45年	100.0	(2,699)	0.7	1.3	1.7	3.1	4.5
昭和46～55年	100.0	(6,268)	0.5	1.8	1.4	2.7	4.9
昭和56～平成2年	100.0	(6,495)	0.8	2.2	2.6	2.7	3.6
平成3～7年	100.0	(3,802)	0.5	1.4	2.2	3.3	5.2
平成8～12年	100.0	(4,234)	0.3	1.9	1.2	3.0	4.5
平成13～17年	100.0	(3,476)	0.5	1.4	1.1	2.6	5.1
平成18～22年	100.0	(3,248)	0.8	1.3	1.2	1.6	4.3
平成23～27年	100.0	(3,335)	0.2	1.0	0.8	1.0	4.9
平成28～30年9月	100.0	(1,740)	0.3	0.2	0.0	0.3	3.5
建築時期（借家、間借りなど）	100.0	(16,254)	39.1	7.9	15.6	8.2	4.3
昭和25年以前	100.0	(117)	37.6	4.3	17.1	10.3	2.6
昭和26～45年	100.0	(767)	26.3	2.9	9.1	3.3	2.0
昭和46～55年	100.0	(1,843)	36.8	6.1	11.4	8.0	6.5
昭和56～平成2年	100.0	(3,086)	39.2	8.0	15.4	7.0	5.3
平成3～7年	100.0	(1,752)	39.1	7.6	14.8	9.5	4.9
平成8～12年	100.0	(1,733)	41.2	9.2	15.9	8.7	4.8
平成13～17年	100.0	(1,519)	36.7	7.7	17.3	8.0	2.4
平成18～22年	100.0	(1,938)	40.5	8.9	19.4	7.1	2.7
平成23～27年	100.0	(1,773)	39.0	8.9	15.1	11.7	1.9
平成28～30年9月	100.0	(894)	47.4	9.6	23.7	11.0	1.1
建築時期	100.0	(37,721)	1.0	2.5	2.9	4.2	4.2
昭和25年以前	100.0	(1,342)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和26～45年	100.0	(2,699)	0.3	0.7	1.1	2.0	1.0
昭和46～55年	100.0	(6,268)	0.3	1.0	1.3	1.1	0.6
昭和56～平成2年	100.0	(6,495)	1.3	2.8	2.7	3.1	1.9
平成3～7年	100.0	(3,802)	2.5	5.7	6.0	7.3	4.1
平成8～12年	100.0	(4,234)	0.9	3.4	3.9	5.4	2.7
平成13～17年	100.0	(3,476)	1.2	3.7	5.5	8.4	4.9
平成18～22年	100.0	(3,248)	18.7	6.0	2.6	3.0	5.7
平成23～27年	100.0	(3,335)	12.4	0.8	1.3	1.5	3.3
平成28～30年9月	100.0	(1,740)	28.8	0.5	2.0	4.6	19.2
（ ）内は実数 単位：千世帯							

表 13 今後の居住形態の変化

	総計 (今後の住み替え意向のある世帯)				今後の居住形態の変化				総計 (今後5年以内の住み替え意向のある世帯)				今後の居住形態の変化			
	総計 (今後の住み替え意向のある世帯)	持家から持家へ	持家から借家へ	借家から借家へ	その他	不明			総計 (今後5年以内の住み替え意向のある世帯)	持家から持家へ	持家から借家へ	借家から借家へ	その他	不明		
総計 (その他・不明を除く)	100.0 (9,684)	32.8	9.1	26.4	31.7	-	-	-	100.0 (6,494)	16.1	4.9	32.6	39.0	15.7	-	-
地域	100.0 (10,658)	29.8	8.2	24.0	28.8	16.1	3.2	100.0 (6,494)	16.1	4.9	32.6	39.0	15.7	0.8	-	-
木造住宅密集地	100.0 (145)	60.2	9.6	10.6	19.3	13.5	0.9	100.0 (63)	31.1	22.0	13.9	38.9	22.1	-	-	-
ニュータウン	100.0 (696)	26.0	7.7	28.9	30.7	15.0	3.9	100.0 (430)	15.1	5.9	35.6	39.8	14.5	0.5	-	-
その他の市街地	100.0 (5,891)	25.2	6.2	25.8	35.0	14.7	2.6	100.0 (4,010)	13.6	3.2	32.9	43.3	14.5	0.9	-	-
市街地以外	100.0 (3,926)	36.3	11.3	20.9	19.6	18.6	4.1	100.0 (1,991)	20.9	7.6	31.9	30.4	18.4	0.6	-	-
住宅タイプ	100.0 (10,658)	29.8	8.2	24.0	28.8	16.1	3.2	100.0 (6,494)	16.1	4.9	32.6	39.0	15.7	0.8	-	-
持ち家	100.0 (4,409)	72.0	19.9	-	-	14.1	5.0	100.0 (1,387)	75.3	22.7	-	-	13.0	0.5	-	-
一戸建・長屋建	100.0 (3,625)	70.5	20.5	-	-	14.9	5.5	100.0 (1,034)	72.9	24.4	-	-	15.5	0.6	-	-
共同住宅	100.0 (776)	78.6	17.2	-	-	10.5	2.6	100.0 (351)	82.1	18.2	-	-	5.9	0.3	-	-
借家	100.0 (6,225)	-	-	41.1	49.4	17.6	1.7	100.0 (5,094)	-	-	41.6	49.8	16.5	0.6	-	-
民営賃貸住宅	100.0 (5,229)	-	-	40.2	51.1	16.6	1.3	100.0 (4,361)	-	-	40.4	51.4	15.7	0.6	-	-
一戸建・長屋建	100.0 (706)	-	-	45.5	46.9	21.7	1.6	100.0 (505)	-	-	42.8	46.8	20.3	-	-	-
共同住宅	100.0 (4,517)	-	-	39.3	51.7	15.8	1.3	100.0 (3,851)	-	-	40.1	52.0	15.1	0.6	-	-
都道府県・市区町村営賃貸住宅	100.0 (355)	-	-	39.6	45.6	22.3	7.5	100.0 (191)	-	-	51.6	46.1	18.1	2.2	-	-
都市再生機構 (IR)・公社等の賃貸住宅	100.0 (209)	-	-	42.5	56.4	22.6	-	100.0 (171)	-	-	41.7	57.5	21.8	-	-	-
給与住宅	100.0 (432)	-	-	52.6	27.9	23.9	1.4	100.0 (371)	-	-	50.1	28.6	23.4	1.3	-	-
同居世帯	100.0 (18)	13.4	9.2	-	-	8.6	72.6	100.0 (10)	9.9	9.2	-	-	8.4	79.0	-	-
家族構成	100.0 (10,658)	29.8	8.2	24.0	28.8	16.1	3.2	100.0 (6,494)	16.1	4.9	32.6	39.0	15.7	0.8	-	-
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳未満)	100.0 (1,271)	24.8	3.9	38.0	25.1	15.1	1.5	100.0 (835)	12.9	2.2	48.6	31.5	12.2	0.1	-	-
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0 (964)	53.8	25.3	6.3	11.7	15.7	4.1	100.0 (423)	54.7	16.7	12.2	20.1	12.7	0.8	-	-
親と子 (長子5歳以下)	100.0 (884)	13.2	0.8	62.9	16.9	14.0	1.2	100.0 (729)	7.2	0.5	68.6	18.1	14.3	-	-	-
親と子 (長子6～11歳)	100.0 (646)	29.0	3.4	33.8	20.7	17.6	0.9	100.0 (398)	11.7	1.9	45.4	29.2	16.3	0.6	-	-
親と子 (長子12～17歳)	100.0 (577)	40.6	6.4	24.6	20.5	17.4	2.6	100.0 (292)	17.4	2.1	37.0	33.6	19.1	1.3	-	-
親と子 (長子18～24歳)	100.0 (590)	43.5	8.6	18.6	19.7	19.1	1.7	100.0 (262)	24.8	7.2	29.0	30.7	20.0	-	-	-
親と子 (長子25歳以上)	100.0 (1,052)	54.5	11.8	11.6	13.1	16.4	3.8	100.0 (428)	39.0	12.6	17.9	21.4	20.0	-	-	-
単身世帯	100.0 (3,562)	13.3	6.4	21.2	48.5	16.4	3.8	100.0 (2,667)	7.2	3.4	23.3	55.9	16.5	1.5	-	-
単身 (35歳未満)	100.0 (1,030)	0.2	-	16.7	70.6	17.4	1.0	100.0 (955)	0.1	-	14.4	73.2	16.1	0.6	-	-
単身 (35歳～64歳)	100.0 (1,723)	13.7	3.5	27.9	43.2	16.9	3.1	100.0 (1,281)	6.8	2.5	31.4	47.5	17.9	1.9	-	-
単身 (65歳～74歳)	100.0 (404)	27.0	13.2	18.2	36.5	12.9	5.6	100.0 (237)	21.8	6.3	27.4	43.9	9.8	1.0	-	-
単身 (75歳以上)	100.0 (377)	33.4	29.7	7.2	25.9	14.8	10.5	100.0 (181)	29.3	23.5	9.3	40.0	19.0	2.8	-	-

() 内は実数 単位：千世帯

表 14 今後のリフォームの内容

	今後のリフォームの内容							今後のリフォームの内容							今後のリフォームの内容				不明	その他
	総計 (今後の改修意 向のある世帯)	設備の 更新・改 善	外装・内 装の更 新・改善	間取り の変更・ 増築	母差の 解消・手 の断熱 設置	壁・柱・ 基礎な どの補 強	その他	不明	総計 (今後5年以内の改 修意向のある世帯)	設備の 更新・改 善	外装・内 装の更 新・改善	間取り の変更・ 増築	母差の 解消・手 の断熱 設置	壁・柱・ 基礎な どの補 強	その他					
地域	100.0 (9,554)	58.3	61.2	20.8	26.6	24.7	16.8	3.9	10.1	100.0 (3,769)	55.8	61.0	14.5	24.8	23.5	14.9	4.6	8.7		
木造住宅密集地	100.0 (150)	39.5	56.5	17.3	24.7	25.7	23.3	9.0	18.3	100.0 (74)	43.1	52.7	10.6	18.9	26.2	24.0	16.4	20.1		
ニュータウン	100.0 (725)	62.3	62.3	14.4	22.6	25.4	14.0	2.8	10.5	100.0 (323)	60.3	67.5	11.7	24.0	22.0	15.0	3.1	6.7		
その他の市街地	100.0 (4,187)	61.4	62.0	21.3	24.9	22.1	14.7	3.8	8.5	100.0 (1,692)	56.9	60.1	15.8	22.8	22.6	13.8	3.9	8.7		
市街地以外	100.0 (4,492)	55.5	60.5	21.4	28.9	27.1	19.0	3.9	11.2	100.0 (1,680)	54.4	61.2	13.9	27.2	24.6	15.7	5.1	8.5		
住宅タイプ	100.0 (9,554)	58.3	61.2	20.8	26.6	24.7	16.8	3.9	10.1	100.0 (3,769)	55.8	61.0	14.5	24.8	23.5	14.9	4.6	8.7		
持ち家	100.0 (9,508)	58.3	61.2	20.8	26.6	24.8	16.9	3.9	10.0	100.0 (3,743)	55.6	60.9	14.6	24.9	23.6	15.0	4.6	8.7		
一戸建・長屋建	100.0 (8,170)	56.6	62.3	20.9	27.6	25.9	18.8	4.0	11.0	100.0 (3,136)	54.6	62.9	15.0	25.3	24.2	16.5	4.8	9.4		
共同住宅	100.0 (1,352)	68.5	55.4	20.3	20.2	18.0	4.4	3.4	4.3	100.0 (615)	61.2	52.7	12.2	21.0	20.6	6.8	3.8	5.0		
家族構成	100.0 (9,554)	58.3	61.2	20.8	26.6	24.7	16.8	3.9	10.1	100.0 (3,769)	55.8	61.0	14.5	24.8	23.5	14.9	4.6	8.7		
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳未満)	100.0 (864)	65.9	69.9	15.9	23.7	23.4	12.8	4.0	5.4	100.0 (349)	57.7	67.1	15.1	16.5	21.1	14.5	4.7	6.3		
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0 (1,397)	54.0	57.3	14.6	36.5	23.1	19.6	4.5	10.0	100.0 (711)	53.9	59.1	9.1	36.5	20.5	18.4	5.2	7.1		
親と子 (長子5歳以下)	100.0 (324)	70.1	58.1	28.7	16.1	13.7	9.8	4.4	8.6	100.0 (69)	72.7	65.0	12.3	7.1	19.4	9.4	10.4	9.2		
親と子 (長子6～11歳)	100.0 (481)	59.7	64.6	39.2	19.6	16.5	11.1	3.6	5.7	100.0 (95)	43.7	59.5	38.0	7.6	21.7	6.3	4.7	8.7		
親と子 (長子12～17歳)	100.0 (730)	63.2	71.6	29.2	20.7	22.5	12.4	2.6	3.7	100.0 (160)	51.9	70.5	22.4	10.6	15.7	6.8	5.0	2.6		
親と子 (長子18～24歳)	100.0 (796)	65.6	65.0	18.0	18.2	24.8	12.2	3.2	9.8	100.0 (262)	67.7	72.7	12.9	20.8	24.5	9.8	2.3	6.4		
親と子 (長子25歳以上)	100.0 (1,875)	57.6	63.8	19.7	27.4	27.0	16.4	3.7	10.2	100.0 (850)	57.6	63.8	10.6	20.8	25.9	12.7	3.6	10.7		
単身世帯	100.0 (1,097)	54.2	53.8	19.3	25.5	24.5	20.8	4.3	15.3	100.0 (486)	54.3	56.2	17.9	24.1	26.7	19.1	6.3	8.4		
単身 (35歳未満)	100.0 (13)	32.9	16.0	-	-	-	-	-	51.1	100.0 (8)	-	25.0	-	-	-	-	-	75.0		
単身 (35歳～64歳)	100.0 (489)	59.1	59.6	20.1	20.5	23.1	14.4	4.5	13.7	100.0 (170)	56.0	64.4	9.8	15.5	22.6	10.6	9.0	5.0		
単身 (65歳～74歳)	100.0 (292)	58.9	52.8	15.2	34.4	24.6	27.6	4.1	13.6	100.0 (159)	55.7	55.2	20.8	32.5	25.9	25.3	4.9	9.7		
単身 (75歳以上)	100.0 (301)	42.7	46.9	23.1	25.9	27.8	25.8	4.2	18.1	100.0 (147)	53.7	49.1	25.2	26.3	33.6	23.4	4.9	7.4		

()内は表数 単位：千世帯

() 内は実数 単位：千世帯

表 15 今後5年以内の住み替え先別の住み替えの課題

単位：％

	総計	住み替え上の課題（今後の住み替え意向のある世帯）								その他	不明
		資金・収入等の不足	希望エリアの物件が不足	予算の範囲で気に入る物件がない	現在の住まいの売却・賃貸	性能や周辺環境などの情報が得にくい	相談できる専門家がいない	信頼できる業者がない	特に問題はない		
総計（今後の住み替え意向のある世帯）	100.0 (9,331)	60.5	22.0	22.6	15.9	8.0	8.2	7.0	13.5	10.7	2.0
持ち家への住み替え	100.0 (5,739)	63.6	18.1	19.0	19.6	7.7	8.4	7.5	13.0	9.8	2.4
借家などへの住み替え	100.0 (3,591)	55.6	28.1	28.3	10.0	8.6	7.8	6.2	14.2	12.3	1.2
総計（今後5年以内の住み替え意向のある世帯）	100.0 (5,739)	52.1	27.4	27.4	9.6	8.5	7.2	6.7	17.9	11.2	2.0
持ち家への住み替え	100.0 (3,163)	54.0	24.0	23.4	13.1	9.0	8.2	7.9	18.6	11.1	2.3
借家などへの住み替え	100.0 (2,662)	49.8	31.4	32.1	5.4	7.8	5.9	5.2	17.2	11.3	1.6
（現住居の所有関係別の今後5年以内の住み替え意向のある世帯）											
持ち家から持ち家	100.0 (25)	68.0	28.0	32.0	44.0	28.0	36.0	28.0	4.0	4.0	
借家から持ち家	100.0 (135)	76.3	23.7	31.1	3.0	9.6	29.6	6.7	6.7	12.6	

（ ）内は実数 単位：千世帯

表 16 今後5年以内の改善（リフォーム・建て替え）の課題

単位：％

	総計	リフォーム・建て替え上の課題（改善意向のある世帯）						特に問題はない	不明
		資金の不足	性能などの情報が得にくい	信頼できる業者がない	相談できる専門家がいない	タイミン グ	その他		
総計（リフォーム意向のある世帯）	100.0 (13,323)	52.6	3.4	3.9	1.0	13.5	1.0	14.6	10.1
今後の改善意向のある世帯	100.0 (3,769)	45.5	4.7	5.5	1.3	15.2	1.4	17.2	9.2
今後5年以内の改善意向のある世帯	100.0 (9,554)	55.4	2.9	3.2	0.9	12.8	0.8	13.5	10.4
総計（建て替え意向のある世帯）	100.0 (13,323)	15.0	0.5	0.5	0.2	3.1	0.4	2.2	78.1
今後の改善意向のある世帯	100.0 (3,769)	10.3	0.6	0.5	0.3	3.3	0.4	2.0	82.6
今後5年以内の改善意向のある世帯	100.0 (9,554)	16.9	0.4	0.5	0.2	3.1	0.3	2.3	76.3

（ ）内は実数 単位：千世帯

表 17 今後の住み替え意向のない理由

	総計	今後の住み替え意向のない理由										単位：％		
		現在の住まいで満足	住み慣れている	親族、友人が近くにいる	思い入れがある	仕事の都合で転居できない	費用の都合がつかない	雇用や家計の先行きが不安	住み替えが面倒	他に住める場所がない	住み替える理由がない		その他	不明
総計	100.0	(32,702)	60.3	59.7	25.9	20.9	5.0	21.8	7.5	18.7	9.7	48.8	2.0	1.3
家計を主に支える者の年齢（8区分）														
30歳未満	100.0	(678)	60.5	27.8	16.7	5.7	9.6	16.2	3.7	35.7	6.3	36.2	2.6	2.9
30～39歳	100.0	(2,411)	64.6	39.2	27.3	13.9	6.8	23.8	7.7	26.1	5.7	47.9	1.9	1.8
40～49歳	100.0	(4,526)	62.3	49.9	24.4	16.9	6.4	26.3	7.8	20.9	6.8	48.8	1.8	1.0
50～54歳	100.0	(2,411)	58.9	59.2	22.5	19.9	7.0	26.3	10.5	22.1	7.6	46.4	1.9	0.7
55～59歳	100.0	(2,794)	55.4	62.5	20.1	21.3	7.1	24.5	11.3	19.1	8.0	45.4	2.1	0.9
60～64歳	100.0	(3,237)	60.8	63.0	24.4	23.5	5.7	22.8	9.2	17.2	10.7	50.2	1.2	0.4
65～74歳	100.0	(9,149)	59.6	63.9	26.4	23.2	3.8	22.2	6.8	16.9	11.3	49.8	2.0	1.5
75歳以上	100.0	(7,320)	60.5	68.0	30.3	23.2	2.9	15.5	5.1	15.2	11.9	50.4	2.4	1.7
不明	100.0	(175)	70.4	62.2	30.5	21.0	0.9	9.3	5.5	16.0	8.8	46.2	4.3	0.2
要介護認定者の有無														
要介護認定者等はいない	100.0	(27,583)	61.2	58.7	25.6	20.1	5.2	22.2	7.4	19.1	9.2	48.8	1.8	1.2
要介護認定者等がいる	100.0	(3,956)	56.2	66.9	28.0	27.3	3.6	19.8	7.3	18.0	11.1	50.0	2.6	1.1
不明	100.0	(1,162)	54.0	60.2	25.0	18.0	4.8	17.1	9.3	12.7	16.1	43.1	3.5	4.0
() 内は実数 単位：千世帯														

() 内は実数 単位：千世帯

表 18 今後の住み替え意向の有無別の現在の住宅の点検等の依頼先 (持ち家)

	住宅の点検等の依頼先（持ち家）						単位：％		
	総計		管理組合 等が契約 する業者	住宅取得 時に知り 合った業 者	入居後に 自身で探 した業者	点検して いない		その他	不明
持ち家	100.0	(37,721)	30.0	10.6	4.1	15.5	26.9	8.2	4.7
できれば住み替えたい	100.0	(4,412)	19.5	15.0	4.2	15.0	31.7	7.8	6.8
できれば住み続けたい	100.0	(27,402)	33.6	9.2	4.2	15.8	25.2	7.9	4.1
わからない	100.0	(5,581)	20.7	14.2	3.4	15.0	32.0	10.0	4.7
今後の改善の意向のある世帯	100.0	(7,096)	32.0	10.6	4.6	16.0	26.9	6.5	3.5
今後の改善の意向のない世帯	100.0	(13,678)	36.2	8.3	4.0	16.3	24.1	8.1	3.0
（　　）内は実数　単位：千世帯									

() 内は実数 単位：千世帯

表19 子育て世帯・高齢者世帯における各要素の重要度

	総計（総世帯）				各要素の重要度				総計（子育て世帯※1）				各要素の重要度				総計（高齢者世帯※2）				各要素の重要度			
	重要と思う	その他	不明		重要と思う	その他	不明		重要と思う	その他	不明		重要と思う	その他	不明		重要と思う	その他	不明		重要と思う	その他	不明	
広さや間取り	100.0	(54,001)	42.3	46.9	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	38.3	50.6	11.1	100.0	(14,903)	14.5	61.8	23.7							
収納の多さ、使い勝手	100.0	(54,001)	30.0	59.3	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	29.9	59.0	11.1	100.0	(14,903)	9.5	66.8	23.7							
水回りの広さ、使い勝手	100.0	(54,001)	16.9	72.3	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	12.2	76.8	11.1	100.0	(14,903)	7.1	69.2	23.7							
住み手の少なさ	100.0	(54,001)	11.0	78.2	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	9.5	79.5	11.1	100.0	(14,903)	7.5	68.8	23.7							
維持管理のしやすさ	100.0	(54,001)	12.3	76.9	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	15.0	73.9	11.1	100.0	(14,903)	11.3	65.0	23.7							
換気のよさ（臭いや煙などが残らない）	100.0	(54,001)	10.7	78.5	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	8.4	80.5	11.1	100.0	(14,903)	4.8	71.5	23.7							
日当たり	100.0	(54,001)	40.4	48.8	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	43.3	45.6	11.1	100.0	(14,903)	28.9	47.4	23.7							
断熱性	100.0	(54,001)	12.8	76.4	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	11.4	77.5	11.1	100.0	(14,903)	9.0	67.4	23.7							
省エネ性	100.0	(54,001)	9.6	79.6	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	9.9	79.0	11.1	100.0	(14,903)	6.8	69.5	23.7							
高齢者への配慮（段差がない等）	100.0	(54,001)	6.5	82.7	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	3.8	85.1	11.1	100.0	(14,903)	19.9	56.4	23.7							
地震時の安全性	100.0	(54,001)	29.4	59.8	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	33.4	55.6	11.1	100.0	(14,903)	31.3	45.0	23.7							
台風時の安全性	100.0	(54,001)	14.4	74.8	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	16.3	72.6	11.1	100.0	(14,903)	19.5	56.8	23.7							
火災に対する安全性	100.0	(54,001)	11.7	77.5	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	11.9	77.1	11.1	100.0	(14,903)	16.2	60.1	23.7							
防犯性	100.0	(54,001)	31.9	57.3	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	31.1	57.9	11.1	100.0	(14,903)	21.2	55.1	23.7							
遮音性	100.0	(54,001)	19.5	69.7	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	10.4	78.5	11.1	100.0	(14,903)	5.2	71.1	23.7							
プライバシー確保	100.0	(54,001)	16.1	73.1	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	12.5	76.5	11.1	100.0	(14,903)	7.5	68.9	23.7							
通勤、通学の利便	100.0	(54,001)	41.7	47.5	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	45.7	43.3	11.1	100.0	(14,903)	12.5	63.8	23.7							
日常の買物などの利便	100.0	(54,001)	40.0	49.2	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	39.6	49.3	11.1	100.0	(14,903)	34.3	42.0	23.7							
医療・福祉・文化施設など	100.0	(54,001)	16.1	73.1	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	17.8	71.2	11.1	100.0	(14,903)	30.5	45.9	23.7							
福祉・介護の生活支援サービス	100.0	(54,001)	6.2	83.1	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	4.2	84.7	11.1	100.0	(14,903)	18.9	57.4	23.7							
注 子どもの遊び場、子育て支援サービス	100.0	(54,001)	9.5	79.7	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	19.2	69.7	11.1	100.0	(14,903)	5.3	71.0	23.7							
親・子・親せきとの距離	100.0	(54,001)	8.6	80.6	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	11.9	77.1	11.1	100.0	(14,903)	7.2	69.1	23.7							
治安	100.0	(54,001)	45.8	43.4	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	47.6	41.4	11.1	100.0	(14,903)	30.8	45.6	23.7							
近隣の人やコミュニティとの関わり	100.0	(54,001)	9.2	80.0	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	14.9	74.1	11.1	100.0	(14,903)	15.4	60.9	23.7							
歩行時の安全性	100.0	(54,001)	14.2	75.0	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	19.4	69.6	11.1	100.0	(14,903)	17.3	59.0	23.7							
災害時の避難のしやすさ	100.0	(54,001)	12.5	76.7	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	13.8	75.1	11.1	100.0	(14,903)	20.9	55.4	23.7							
水害・津波の受けにくさ	100.0	(54,001)	12.8	76.4	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	15.5	73.5	11.1	100.0	(14,903)	14.0	62.3	23.7							
周辺からの延焼のしにくさ	100.0	(54,001)	5.4	83.9	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	5.2	83.7	11.1	100.0	(14,903)	10.3	66.0	23.7							
騒音・大気汚染の少なさ	100.0	(54,001)	20.2	69.0	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	18.2	70.7	11.1	100.0	(14,903)	14.6	61.7	23.7							
敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり	100.0	(54,001)	15.0	74.2	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	16.0	73.0	11.1	100.0	(14,903)	14.7	61.6	23.7							
公園や緑、水辺などの自然環境	100.0	(54,001)	12.4	76.8	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	15.9	73.0	11.1	100.0	(14,903)	12.0	64.3	23.7							
まちなみ・景観	100.0	(54,001)	10.8	78.4	10.8	10.8	10.8	100.0	(7,548)	7.5	81.4	11.1	100.0	(14,903)	7.9	68.4	23.7							

() 内は実数 単位：千世帯

※1 長子17歳以下 ※2 高齢単身世帯及び単身世帯

表 20 持ち家世帯における今後5年以内の住み替え・改善意向

	総計(持家世帯)	今後5年以内の住み替え・改善意向					単位：%
		できれば 住み替え たい	できれば 住み続け たい	リフォーム えどちらも 考えてい る	リフォーム を考えて いる	建て替え を考えて いる	
総計	100.0 (37,721)	4.3	7.3	0.6	6.5	0.2	1.2
核家族世帯	100.0 (24,457)	4.4	7.5	0.5	6.8	0.2	0.8
夫婦(家計を主に支えるものが65歳未満)	100.0 (2,950)	5.0	8.8	0.9	7.8	0.1	1.2
夫婦(家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0 (7,860)	4.2	7.0	0.5	6.4	0.1	0.7
親と子(長子5歳以下)	100.0 (1,145)	5.4	4.4	0.0	4.1	0.2	1.1
親と子(長子6～11歳)	100.0 (1,703)	4.1	3.4	0.5	2.8	0.1	0.6
親と子(長子12～17歳)	100.0 (2,112)	4.0	4.7	0.1	4.5	0.0	1.0
親と子(長子18歳以上)	100.0 (8,686)	4.5	9.3	0.6	8.5	0.2	0.6
単身世帯	100.0 (5,913)	4.8	5.1	0.4	4.7	0.1	0.9
単身(35歳未満)	100.0 (70)	19.1	1.0	0.0	1.0	0.0	1.9
単身(35歳～64歳)	100.0 (2,009)	6.7	5.6	0.5	5.0	0.0	1.2
単身(65歳以上)	100.0 (3,904)	3.8	5.0	0.3	4.6	0.1	0.7

()内は実数 単位：千世帯

表 21 住み替え意向のある世帯における住み替えの目的

単位：％

	住み替えの目的(住み替え意向のある世帯)		総計 (今後5年以内の住み替え 意向のある世帯)
	総世帯	親と子からなる世帯	
総数	100.0 (10,658)	100.0 (2,109)	100.0 (6,494)
世帯からの独立(単身赴任、離婚などを含む)			
結婚による独立	1.9	1.5	2.3
家族等との同居・隣居・近居	3.5	1.5	5.5
高齢期の住みやすさ	12.2	14.9	13.6
子育てのしやすさ	29.0	12.4	18.5
広さや部屋数	10.3	27.4	14.6
使いやすさの向上	38.0	53.4	42.3
性能の向上(断熱性、省エネ性など)	32.9	33.1	31.9
新しさ・きれいさ	23.6	21.5	22.7
住居費負担の軽減	27.3	31.2	27.4
災害に対する安全性・治安	19.1	21.9	21.6
通勤・通学の利便	17.8	15.3	14.9
日常の買物、医療などの利便	17.2	21.7	20.3
その他	19.4	11.5	16.2
	13.6	10.7	14.4

() 内は実数 単位：千世帯

表 22 住み替え先別の住み替えの課題

単位：％

	総計	持家への住み替え意向のある世帯										不明
		住み替えの課題										
		資金・収入等の不足	希望エリアの物件が不足	予算の範囲で気に入る物件がない	現在の住まいの売却・賃貸	性能や周辺環境などの情報が得にくい	相談できる専門家がいない	信頼できる業者がない	特に問題はない	その他		
持ち家への住み替え（今後の住み替え意向のある世帯） 長子の年齢（親と子からなる世帯）	100.0	(5,739)	63.6	18.1	19.0	19.6	7.7	8.4	7.5	13.0	9.8	2.4
	100.0	(673)	64.4	29.2	25.8	4.4	9.3	7.1	6.4	19.8	12.1	0.2
	100.0	(406)	69.5	25.3	29.0	18.0	6.9	8.8	4.6	8.8	8.5	3.2
	100.0	(377)	71.3	23.9	18.7	20.2	5.4	7.4	13.4	8.3	7.4	0.7
	100.0	(1,062)	68.6	12.9	15.9	29.6	7.3	8.8	6.9	10.0	7.6	1.6
	100.0	(4,258)	64.5	20.7	21.1	16.3	7.5	8.4	8.3	14.3	8.9	1.3
	100.0	(950)	63.1	10.5	13.8	29.6	7.5	6.8	4.6	9.0	11.9	5.7
65～74歳	100.0	(521)	56.8	11.4	12.3	28.4	9.6	10.0	6.4	9.9	12.8	5.9
75歳以上												
	総計	借家への住み替え意向のある世帯										不明
		住み替えの課題										
		資金・収入等の不足	希望エリアの物件が不足	予算の範囲で気に入る物件がない	現在の住まいの売却・賃貸	性能や周辺環境などの情報が得にくい	相談できる専門家がいない	信頼できる業者がない	特に問題はない	その他		
長子の年齢（親と子からなる世帯） 親と子（長子5歳以下） 親と子（長子6～11歳） 親と子（長子12～17歳） 親と子（長子18歳以上） 家計を主に支える者の年齢	100.0	(3,591)	55.6	28.1	28.3	10.0	8.6	7.8	6.2	14.2	12.3	1.2
	100.0	(148)	41.7	38.1	33.7	4.5	11.9	6.3	7.4	9.4	25.4	0.6
	100.0	(152)	63.6	55.3	37.4	6.9	6.1	7.1	2.0	12.9	8.0	-
	100.0	(116)	57.4	34.5	16.5	10.7	6.0	3.0	2.6	11.0	14.1	3.2
	100.0	(352)	64.4	22.2	25.8	17.9	5.5	6.3	7.6	10.9	12.6	1.0
	100.0	(2,676)	54.1	30.9	32.2	5.7	7.2	5.4	5.3	15.9	12.3	0.8
	100.0	(538)	63.3	18.6	16.6	20.2	11.5	11.1	5.5	8.9	9.4	1.6
64歳以下	100.0	(357)	55.4	21.3	17.5	26.1	14.5	19.8	14.2	10.7	16.1	4.1
65～74歳												
75歳以上												

() 内は実数 単位：千世帯

表 23 今後の住み替え・改善意向

単位：％

	総計	今後の住み替え・改善意向							(住み替え意向について)わからない	
		できれば住み替えたい	できれば住み続けたい	リフォーム・建て替えどちらも考えている		リフォームを 考えている	建て替えを 考えている	リフォーム・建て替えいずれも考えていない		
総計	100.0 (37,721)	11.7	68.3	2.7	15.3	0.8	36.3	13.2	14.8	
家計を主に支える者の年齢										
30歳未満	100.0 (170)	8.5	77.6	3.3	15.0	0.2	21.4	37.6	10.7	
30～39歳	100.0 (2,207)	12.9	72.1	5.0	14.3	0.8	32.3	19.6	12.9	
40～49歳	100.0 (5,071)	13.4	67.4	3.1	19.4	0.6	29.5	14.7	16.2	
50～54歳	100.0 (3,074)	15.8	60.6	3.4	17.1	0.7	25.1	14.4	19.3	
55～59歳	100.0 (3,591)	14.0	62.9	3.2	22.0	1.4	23.6	12.7	19.3	
60～64歳	100.0 (4,121)	11.7	67.2	3.2	19.1	0.8	31.7	12.4	17.4	
65～74歳	100.0 (10,951)	11.0	70.0	2.1	14.2	0.8	41.5	11.4	13.5	
75歳以上	100.0 (8,393)	8.9	71.1	2.1	9.1	0.8	46.4	12.7	11.3	
不明	100.0 (142)	8.8	67.0	1.2	2.9	2.3	48.4	12.2	16.4	
要介護認定者の有無										
要介護認定者等はいない	100.0 (31,544)	11.7	68.8	2.6	15.4	0.7	36.7	13.4	14.8	
要介護認定者等がいる	100.0 (4,875)	12.2	67.7	3.1	14.4	1.4	35.7	13.2	15.2	

() 内は実数 単位：千世帯

表 24 改善意向のある世帯における改善の目的

単位：％

	改善の目的(改善意向のある世帯)		
	総世帯	高齢者世帯(単身)	高齢者世帯(夫婦)
総数	100.0 (9,554)	100.0 (593)	100.0 (1,397)
きれいにする(傷みを直す)	72.5	62.5	66.4
高齢期の住みやすさ	40.0	48.9	51.0
使いやすさの向上	47.0	39.4	41.7
災害時の安全性の向上	17.7	23.2	20.1
性能の向上(断熱性、省エネ性など)	30.3	32.8	27.3
親、子などとの同居	9.3	15.5	8.7
広さや部屋数	12.1	12.5	6.2
子育てのしやすさ	2.1	2.2	0.8
その他	2.9	4.4	3.6

() 内は実数 単位：千世帯

表 25 高齢期における子との住まい方

	総計	高齢期における子との住まい方						その他	不明
		子と同居する (二世帯住宅を 含む)	子と同じ敷地内 の別の住宅に 住む、または同 じ住棟内の別の 住戸に住む	徒歩5分程度 の場所に住む	片道15分未満 の場所に住む	片道1時間未 満の場所に住 む	特にこだわりの ない	子はいない	
総計	100.0 (54,001)	11.6	7.0	6.6	8.1	6.6	33.5	18.3	4.4
地域									
木造住宅密集地	100.0 (715)	8.5	3.4	7.2	6.9	9.1	31.7	21.3	4.6
ニュータウン	100.0 (3,540)	9.9	5.1	6.6	9.7	9.2	35.4	17.2	3.9
その他の市街地	100.0 (26,507)	9.3	5.3	7.1	8.7	7.3	33.0	21.3	4.3
市街地以外	100.0 (23,239)	14.7	9.3	5.9	7.3	5.3	33.8	14.9	4.5
住宅タイプ									
持ち家	100.0 (37,620)	14.4	8.3	6.8	8.2	6.5	35.2	12.6	3.9
一戸建・長屋建	100.0 (32,560)	15.6	8.7	6.7	8.2	6.1	35.2	11.1	4.4
共同住宅	100.0 (5,029)	7.2	5.6	7.2	8.3	8.6	35.2	22.3	2.7
借家	100.0 (16,105)	4.9	3.8	6.1	7.9	6.9	29.7	31.8	3.3
民営賃貸住宅	100.0 (12,572)	4.7	3.5	5.8	7.8	6.5	29.0	34.6	2.9
一戸建・長屋建	100.0 (1,950)	7.0	3.4	7.6	8.5	5.1	35.6	21.8	4.9
共同住宅	100.0 (10,605)	4.3	3.2	5.4	7.6	6.8	27.8	37.0	2.7
都道府県・市区町村営賃貸住宅	100.0 (1,766)	6.2	3.8	5.9	9.3	7.2	32.3	16.6	12.1
都市厚生機構 (UR)・公社等の賃貸住宅	100.0 (619)	4.6	5.5	7.0	6.4	9.9	27.6	28.9	3.3
給与住宅	100.0 (1,149)	5.0	6.2	9.2	7.4	8.1	33.4	25.6	2.3
同居世帯	100.0 (249)	32.1	14.0	4.1	6.3	1.5	26.2	10.4	2.0
家族構成									
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳未満)	100.0 (4,892)	5.3	4.3	5.3	8.2	7.0	30.6	34.2	2.3
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0 (8,619)	10.7	8.4	8.4	10.7	9.0	33.7	8.5	4.8
親と子 (長子5歳以下)	100.0 (2,303)	6.1	6.7	8.6	13.9	10.8	49.8	1.3	1.9
親と子 (長子6～11歳)	100.0 (2,458)	7.6	5.9	11.6	13.6	9.0	48.3	0.8	2.0
親と子 (長子12～17歳)	100.0 (2,788)	7.6	6.2	6.8	12.0	10.2	52.9	0.9	1.5
親と子 (長子18～24歳)	100.0 (2,909)	9.8	6.5	8.5	11.5	8.0	51.3	1.0	1.4
親と子 (長子25歳以上)	100.0 (7,307)	23.2	8.8	6.0	6.6	5.1	38.3	3.8	4.2
単身世帯	100.0 (14,926)	5.9	4.4	5.5	5.9	5.1	23.1	37.9	5.1
単身 (35歳未満)	100.0 (2,435)	5.1	3.3	7.0	6.5	6.3	19.8	48.1	1.7
単身 (35歳～64歳)	100.0 (6,021)	3.3	3.1	4.2	4.9	4.3	21.2	51.7	2.5
単身 (65歳～74歳)	100.0 (3,023)	7.0	4.3	4.5	5.5	5.1	26.1	29.5	8.5
単身 (75歳以上)	100.0 (3,261)	10.1	7.6	7.8	7.8	5.5	26.4	14.0	9.0

() 内は実数 単位：千世帯

表 26 住み替え後の居住形態に関する意向

		住み替え後の居住形態に関する意向												単位：％	
	総計（住み替え意向のある世帯）	持家						借家施設（を含む）							
		新築戸建て	中古戸建て	新築共同住宅（マンションなど）	中古共同住宅（マンションなど）	新築、中古にこだわらない	戸建て、共同住宅にこだわらない	借家施設（を含む）	民営の戸建て	公営賃貸	シェアハウス（共同居住型の借家）	高齢者向け住宅・施設	その他	物件にこだわらない	持家、借家にこだわらない
総計	100.0 (10,658)	33.7	22.4	8.6	9.7	12.1	6.3	19.0	15.8	4.5	10.5	0.9	5.9	1.6	16.1
家計を主に支える者の年齢															
30歳未満	100.0 (1,139)	24.6	15.3	5.4	12.3	7.0	4.0	3.8	29.2	4.0	15.9	2.1	0.4	0.8	17.4
30～39歳	100.0 (1,920)	38.9	30.2	10.5	11.9	10.3	12.8	5.0	22.9	8.9	11.6	0.4	0.5	2.3	15.3
40～49歳	100.0 (1,998)	37.8	22.9	11.9	10.4	12.0	13.5	7.3	17.9	4.0	8.6	0.5	0.8	1.2	19.3
50～54歳	100.0 (1,211)	31.4	20.4	8.2	9.8	8.7	9.4	5.3	21.4	5.0	12.0	0.0	2.9	0.9	16.1
55～59歳	100.0 (906)	42.7	23.4	9.8	10.5	7.6	16.7	8.7	11.2	10.6	4.2	8.1	3.6	1.6	15.3
60～64歳	100.0 (770)	36.4	20.3	6.7	8.3	11.2	17.3	10.7	9.7	3.9	7.5	0.6	5.8	1.2	15.5
65～74歳	100.0 (1,704)	29.9	20.1	7.4	6.4	8.7	13.1	14.2	5.3	2.1	10.2	1.3	13.7	1.5	15.4
75歳以上	100.0 (970)	26.4	22.5	5.3	7.2	6.7	11.6	12.3	4.1	2.0	9.2	2.8	25.8	2.4	12.7
不明	100.0 (41)	10.4	5.3	1.6	5.9	0.9	13.7	29.2	15.7	2.4	0.4	2.9	5.2	11.3	10.8
() 内は実数 単位：千世帯															

表 27 高齢期の住みやすさが目的の住み替え意向がある世帯割合

	総計 (高齢者等のための設 備がある世帯)		総計 (高齢者等のための設 備はない世帯)		単位：％	
	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択した世帯	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択しなかった世帯	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択した世帯	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択しなかった世帯	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択した世帯	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択しなかった世帯
持ち家						
50～64歳	100.0	(7,744)	6.7	93.3	8.3	91.7
単身 (65歳以上)	100.0	(3,290)	5.4	94.6	7.8	92.2
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0	(5,935)	6.1	93.9	8.2	91.8
65歳以上 (単身・夫婦を除く)	100.0	(5,054)	5.1	94.9	6.3	93.7
借家						
50～64歳	100.0	(1,109)	6.1	93.9	9.5	90.5
単身 (65歳以上)	100.0	(832)	9.6	90.4	10.8	89.2
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0	(385)	6.7	93.3	17.8	82.2
65歳以上 (単身・夫婦を除く)	100.0	(307)	14.6	85.4	23.6	76.4
家計を主に支える者の年齢						
持ち家						
30歳未満	100.0	(131)	1.3	98.7	0.0	100.0
30～39歳	100.0	(1,778)	2.1	97.9	3.9	96.1
40～49歳	100.0	(3,903)	3.9	96.1	5.3	94.7
50～54歳	100.0	(2,242)	6.6	93.4	7.6	92.4
55～59歳	100.0	(2,564)	7.6	92.4	8.7	91.3
60～64歳	100.0	(2,939)	6.0	94.0	8.5	91.5
65～74歳	100.0	(7,819)	5.5	94.5	8.2	91.8
75歳以上	100.0	(6,460)	5.6	94.4	6.0	94.0
不明	100.0	(78)	4.3	95.7	1.6	98.4
借家						
30歳未満	100.0	(787)	0.6	99.4	1.1	98.9
30～39歳	100.0	(1,183)	1.1	98.9	0.8	99.2
40～49歳	100.0	(1,103)	1.6	98.4	2.5	97.5
50～54歳	100.0	(450)	7.0	93.0	9.0	91.0
55～59歳	100.0	(368)	5.3	94.7	8.7	91.3
60～64歳	100.0	(291)	5.5	94.5	11.3	88.7
65～74歳	100.0	(756)	13.0	87.0	16.5	83.5
75歳以上	100.0	(769)	6.7	93.3	11.8	88.2
不明	100.0	(46)	14.5	85.5	5.9	94.1

() 内は実数 単位：千世帯

表 28 高齢期の住みやすさが目的の改善意向がある世帯割合

単位：％

	総計 (高齢者等のための設 備がある世帯)		総計 (高齢者等のための設 備はない世帯)	
	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択した世帯	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択しなかった世帯	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択した世帯	改善の目的で「高齢 期の住みやすさ」を 選択しなかった世帯
持ち家				
50～64歳	100.0	(8,853)	10.7	89.3
単身 (65歳以上)	100.0	(4,123)	4.5	95.5
夫婦 (家計を主に支えるものが65歳以上)	100.0	(6,320)	8.4	91.6
65歳以上 (単身・夫婦を除く)	100.0	(5,361)	9.8	90.2
家計を主に支える者の年齢				
30歳未満	100.0	(918)	0.7	99.3
30～39歳	100.0	(2,961)	4.9	95.1
40～49歳	100.0	(5,006)	7.7	92.3
50～54歳	100.0	(2,692)	7.8	92.2
55～59歳	100.0	(2,932)	12.0	88.0
60～64歳	100.0	(3,229)	11.9	88.1
65～74歳	100.0	(8,575)	9.1	90.9
75歳以上	100.0	(7,229)	6.4	93.6
不明	100.0	(124)	1.1	98.9

() 内は実数 単位：千世帯

表 29 現住居以外の住宅の所有の状況

単位：％

	総計		現住居以外の住宅の有無	
			所有している	所有していない
総計	100.0	(54,001)	15.2	84.8
住宅	100.0	(53,988)	15.2	84.8
主世帯	100.0	(53,739)	15.2	84.8
持ち家	100.0	(37,620)	17.8	82.2
借家	100.0	(16,105)	9.3	90.7
同居世帯	100.0	(249)	12.4	87.5
住宅以外の建物に居住する世帯	100.0	(8)	12.7	2.1
不明	100.0	(5)	—	100.0
家計を主に支える者の年齢				
30歳未満	100.0	(2,521)	4.6	95.4
30～39歳	100.0	(5,461)	5.4	94.6
40～49歳	100.0	(8,450)	10.9	89.1
50～54歳	100.0	(4,733)	14.8	85.2
55～59歳	100.0	(4,821)	20.3	79.7
60～64歳	100.0	(5,106)	19.7	80.3
65～74歳	100.0	(12,893)	19.4	80.6
75歳以上	100.0	(9,728)	17.1	82.9
不明	100.0	(288)	8.3	83.4

() 内は実数 単位：千世帯

表 30 現住居以外で所有している住宅の居住世帯の有無

	総計	現住居以外の住宅を「所有している」住宅の種類		単位：％
		居住世帯のある住宅	居住世帯のない住宅（空き家）	
総計	100.0	(8,205)	83.9	26.5
住み替え後の居住形態（今後の住み替え意向のある世帯）				
持家	100.0	(574)	81.5	22.8
借家（施設を含む）	100.0	(143)	90.2	10.5
持家、借家にこだわらない	100.0	(192)	85.9	15.6
不明	100.0	(43)	88.4	30.2

（ ）内は実数 単位：千世帯

表 31 現住居以外の住宅を「所有している」住宅の種類

	総計	居住世帯のある住宅				総計	居住世帯のない住宅（空き家）				
		親族居住用	賃貸用	売却用	その他		二次的住宅・別荘用	賃貸用	売却用	その他	
総計	100.0 (6,880)	57.7	32.0	1.8	14.9	100.0 (2,177)	28.8	20.0	10.0	53.4	
住み替え後の居住形態（今後の住み替え意向のある世帯）											
持家	100.0 (468)	64.7	20.1	0.9	17.5	100.0 (131)	24.4	17.6	6.1	58.0	
借家（施設を含む）	100.0 (129)	71.4	26.3	2.3	0.0	100.0 (15)	25.0		6.3	75.0	
持家、借家にこだわらない	100.0 (165)	54.5	27.9	4.2	35.2	100.0 (30)	56.7	26.7	36.7	73.3	
不明	100.0 (38)	65.8	31.6		5.3	100.0 (13)	46.2	38.5		7.7	
() 内は実数 単位：千世帯											

（ ）内は実数 単位：千世帯

表 32 住宅を相続する可能性

単位：％

	総計	相続する可能性のある住宅				
		相続する可能性がある	相続する可能性はない	相続するか、わからない	不明	
総計	100.0	(54,001)	22.8	48.5	23.5	5.2
持ち家	100.0	(37,620)	23.6	50.5	21.5	4.5
一戸建・長屋建	100.0	(32,560)	23.8	50.4	21.2	4.6
共同住宅	100.0	(5,029)	22.6	51.0	23.2	3.2
借家	100.0	(16,105)	20.8	43.9	28.4	6.9
民営賃貸住宅	100.0	(12,572)	22.0	41.5	30.3	6.2
一戸建・長屋建	100.0	(1,950)	22.1	42.9	26.2	8.8
共同住宅	100.0	(10,605)	22.0	41.2	31.0	5.7
都道府県・市区町村営賃貸住宅	100.0	(1,766)	8.5	62.5	15.4	13.6
都市再生機構（UR）・公社等の賃貸住宅	100.0	(619)	14.4	61.1	13.9	10.5
給与住宅	100.0	(1,149)	30.1	31.9	36.2	1.8
同居世帯	100.0	(249)	27.7	50.4	17.1	4.7

表 33 相続する可能性のある住宅の利用意向

	総計(相続可能性のある 住宅数)	相続する可能性のある住宅の利用意向					単位：％
		住む、または 建替えて住 む	できれば住 み続けたい	住宅を賃貸・ 売却する	空き家にし ておく	さら地にする	
総計	100.0	(12,858)	42.8	7.3	19.7	4.8	37.7
持ち家	100.0	(37,620)	40.9	6.9	18.9	4.9	33.7
借家	100.0	(16,105)	4.4	7.5	0.5	6.8	43.4

() 内は実数 単位：千世帯

表 34 地域類型別の属性

	地域類型				単位：％
	木造住宅密集地	ニュータウン	その他の市街地	市街地以外	
総計	100.0 (715)	100.0 (3,540)	100.0 (26,507)	100.0 (23,239)	
住宅タイプ					
持ち家	76.3	69.3	61.9	78.8	
一戸建・長屋建	75.1	56.0	46.5	76.3	
共同住宅	1.1	13.2	15.1	2.4	
借家	22.5	28.7	35.2	19.2	
民営賃貸住宅	22.5	19.3	30.8	15.4	
一戸建・長屋建	4.6	2.1	3.3	4.2	
共同住宅	17.9	17.1	27.4	11.2	
その他	0.0	9.4	4.4	3.8	
非住宅・同居	0.0	0.3	0.4	0.2	
不明	0.0	0.0	0.1	0.0	
家族構成					
夫婦（家計を主に支えるものが65歳未満）	9.2	8.8	9.8	8.3	
夫婦（家計を主に支えるものが65歳以上）	13.8	17.4	13.5	18.6	
親と子	32.7	39.0	33.5	31.2	
単身世帯	33.0	24.1	31.3	23.0	
単身（64歳以下）	16.0	13.2	20.1	11.0	
単身（65歳以上）	17.0	10.9	11.3	12.0	
その他	3.7	3.6	4.7	7.2	
不明	7.6	7.2	7.2	11.7	

() 内は実数 単位：千世帯

表 35 地域類型別各要素の不満率、重要と思う割合

	各要素の不満率					各要素の重要と思う割合				
	総計	本選住宅 密集地	ニュータウン	その他の市 街地	市街地以 外	総計	本選住宅 密集地	ニュータウン	その他の市 街地	市街地以 外
	100.0 (54,001)	100.0 (715)	100.0 (3,540)	100.0 (26,507)	100.0 (23,239)	100.0 (54,001)	100.0 (715)	100.0 (3,540)	100.0 (26,507)	100.0 (23,239)
総計	22.7 (54,001)	26.9 (715)	21.4 (3,540)	24.8 (26,507)	20.5 (23,239)	25.4 (54,001)	30.4 (715)	27.8 (3,540)	30.6 (26,507)	19.0 (23,239)
広さや間取り	35.6	34.5	34.2	37.5	33.7	18.7	19.1	19.2	21.5	15.5
収納の多さ、使い勝手	26.7	23.1	26.4	28.6	24.8	10.7	10.7	9.8	11.8	9.7
水回りの広さ、使い勝手	37.6	39.3	37.5	35.1	40.5	9.7	12.6	9.8	9.6	9.8
いたみの少なさ	27.3	25.8	26.0	24.2	31.0	13.6	14.3	14.0	12.8	14.4
維持管理のしやすさ	25.9	28.0	24.9	25.7	26.1	7.1	8.8	8.1	7.9	5.9
換気のよさ（臭いや煙などが残らない）	23.3	36.7	21.5	25.9	20.3	34.3	37.7	38.5	37.6	29.7
日当たり	38.6	49.5	38.0	35.9	41.6	10.9	10.9	9.7	10.4	11.7
断熱性	36.3	40.8	36.0	34.2	38.5	9.1	9.7	10.0	8.2	10.0
省エネ性	47.2	56.2	46.9	45.8	48.5	13.0	12.5	13.3	12.0	14.0
高齢者への配慮（段差がない等）	43.6	50.2	42.5	39.9	47.9	33.7	37.1	34.4	33.8	33.4
地震時の安全性	38.8	40.6	35.1	35.1	43.6	19.4	20.1	16.5	17.1	23.5
台風時の安全性	35.3	39.7	32.9	33.0	38.1	15.3	23.2	13.6	15.3	15.2
火災に対する安全性	35.9	35.8	34.8	33.9	38.4	26.7	31.5	27.2	29.6	23.1
防犯性	42.9	46.6	44.2	43.9	41.4	10.6	13.7	10.4	12.8	7.9
遮音性	25.6	25.8	24.6	24.7	26.8	11.6	10.1	11.1	12.1	11.2
プライバシー確保	24.2	7.3	23.6	18.0	31.8	28.2	31.2	30.1	32.8	22.6
通勤、通学の利便	25.1	6.2	20.7	17.9	34.6	36.6	29.6	39.8	38.3	34.5
日常の買物などの利便	29.4	12.7	27.2	21.8	38.8	24.6	23.7	26.2	21.9	27.4
医療・福祉・文化施設など	27.0	11.7	26.5	23.1	32.0	12.5	13.0	12.6	10.2	15.1
福祉・介護の生活支援サービス	34.2	20.0	26.9	28.9	41.9	7.3	3.9	6.8	6.4	8.6
注 子どもの遊び場、子育て支援サービス	28.2	29.6	30.6	27.8	28.1	6.8	7.3	7.3	6.9	6.7
親・子・親せきとの距離	19.0	18.6	18.4	20.2	17.8	39.9	47.1	43.6	44.0	34.4
治安	21.8	22.3	22.4	22.8	20.5	13.4	17.4	12.0	11.5	15.5
近隣の人やコミュニティとの関わり	36.7	38.1	28.2	35.8	39.0	16.8	23.5	15.1	16.0	17.8
歩行時の安全性	34.3	31.9	28.5	31.7	38.2	17.8	17.0	16.4	16.2	19.8
災害時の避難のしやすさ	23.8	21.7	15.3	23.1	25.9	14.8	13.4	12.2	13.9	16.2
水害・津波の受けにくさ	38.4	63.4	35.1	40.8	35.5	7.8	11.0	6.3	8.0	7.6
周辺からの延焼のしにくさ	29.7	39.9	26.9	34.2	24.5	17.7	12.4	18.4	18.6	16.6
騒音・大気汚染の少なさ	26.8	39.9	25.0	31.3	21.5	14.8	19.3	16.7	15.2	14.0
敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり	25.2	35.1	15.1	25.6	26.1	12.4	13.7	13.8	13.3	11.2
公園や緑、水辺などの自然環境	26.3	35.1	19.2	27.6	25.7	8.3	9.9	9.6	8.6	7.6
まちなみ・景観	() 内は実数 単位：千世帯									

表 36 ニュータウンに居住する世帯の住環境の評価の個別要素に対する不満率

単位：％

	住環境の各要素の不満率							
	総計	昭和45年以前		昭和46～55年	昭和56～平成2年	平成3～12年	平成13～22年	平成23～30年9月
		100.0	昭和45年以前	昭和46～55年	昭和56～平成2年	平成3～12年	平成13～22年	平成23～30年9月
総計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		(3, 225)	(216)	(543)	(677)	(807)	(671)	(527)
通勤、通学の利便		23.5	24.9	24.0	23.1	24.0	23.7	22.3
日常の買物などの利便		19.9	33.1	24.4	22.7	18.3	18.9	15.1
医療・福祉・文化施設など		27.1	32.8	29.5	26.7	26.5	26.5	26.9
福祉・介護の生活支援サービス		26.6	27.3	32.5	25.0	27.5	26.1	21.9
注 子どもの遊び場、子育て支援サービス		27.2	22.2	28.2	24.6	27.6	29.2	26.6
親・子・親せきとの距離		31.3	24.6	32.3	29.2	30.6	32.8	32.5
治安		18.7	14.1	20.3	19.4	18.0	20.0	15.5
近隣の人やコミュニティとの関わり		22.4	20.9	29.7	22.2	19.5	24.2	17.4
旅行時の安全性		28.3	25.2	32.6	29.3	29.3	25.7	24.2
災害時の避難のしやすさ		28.5	27.5	42.3	31.8	23.5	25.7	21.0
水害・津波の受けにくさ		15.3	14.3	14.7	14.5	14.8	13.3	20.1
周辺からの延焼のしにくさ		35.3	30.5	46.0	39.8	33.0	31.4	26.9
騒音・大気汚染の少なさ		27.4	20.5	27.6	23.9	28.5	29.7	27.0
敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり		25.4	20.6	26.6	24.3	25.7	25.0	25.6
公園や緑、水辺などの自然環境		15.3	12.1	17.0	9.2	16.8	15.6	18.9
まちなみ・景観		19.5	16.6	25.7	19.2	18.0	19.7	15.8

() 内は実数 単位：千世帯

IV 参 考 資 料

標本抽出方法及び結果の推定方法

1 抽出の方針

平成 30 年住生活総合調査における標本抽出は、平成 30 年住宅・土地統計調査調査区を第 1 次抽出単位とし、抽出された標本調査区内に常住する普通世帯を第 2 次抽出単位とする層化 2 段抽出法によって行った。

2 調査区の抽出方法

(1) 住宅・土地統計調査調査単位区の層化

平成 30 年住宅・土地統計調査の調査単位区を都道府県別、市部郡部別の 94 層とする。

(2) 標本調査区の抽出

層ごとに、平成 30 年住宅・土地統計調査の調査単位区から、定められた抽出率 $1/X$ により X の間隔で系統抽出する。ただし、郡部においては、 $4X$ の間隔で町村内の調査単位区を系統抽出し、抽出調査単位区のあった町村内から、4 調査区を無作為に抽出した。

注) 系統抽出法：全ての抽出単位に番号を付け、ある出発点から等間隔に個体を抽出することにより
標本抽出を行う方法

(3) 目標精度

平成 25 年調査と同様に、「敷地やまわりのバリアフリー化の状況」について「満足」「まあ満足」と回答した世帯数の推計値について、目標精度を設定する。なお、住宅事情の違う地域ごとの精度と、地域別集計に関する集計区分毎の精度の両方を確保できるよう、下記の通り、大都市圏内外別・市部郡部別と地方ブロック別に目標精度を設定した。

大都市圏内外別・市部郡部別の目標制度については、住宅事情の変化が激しく住宅政策上の課題が多い市部については、調査精度を高めるため、標準誤差率を 1.1%以下とした。一方、郡部においては、市部と同様の標準誤差率を目標とすると実査負担が過大となることが想定されたため、その点も考慮し 2.2%以下とする。また、地方ブロック（10 区分）における標準誤差率が 2.2%以下とした。

上記設定により都道府県・市部郡部別に標本調査区数を求め、大きい方を採用した。

(4) 計算式

平成 30 年住生活総合調査の標準誤差の計算式は、住宅・土地統計調査と同様に、平成 27 年国勢調査の調査区を第 1 次抽出単位、調査区内の世帯を第 2 次抽出単位とする層化二段抽出方法によるものとする。

注) 層化抽出法：母集団をいくつかの部分母集団に分割し、各部分母集団から標本を抽出する方法。

$$\sigma(\hat{p}) \approx \sqrt{\frac{M-m}{M} \cdot \frac{s_b^2}{m} + \frac{\bar{N}-\bar{n}}{\bar{N}} \cdot \frac{s_w^2}{m\bar{n}}}$$

M ：母集団調査区数

m : 標本調査区数

$\bar{N}$: 調査区内世帯数 (=50)

$\bar{n}$: 調査区内標本世帯数 (=8)

$\hat{p}$: 比率

$$s_b^2 = \frac{1}{m-1} \sum_{i=1}^m (\hat{p}_i - \hat{p})^2 \text{ (調査区間分散)}$$

$$s_w^2 = \frac{\bar{n}}{m(\bar{n}-1)} \sum_{i=1}^m \hat{p}_i (1 - \hat{p}_i) \text{ (調査区内分散)}$$

$$\text{標準誤差率} = \frac{\sigma(\hat{p})}{\hat{p}} \quad \text{これを展開し、調査区数 } m \text{ が求められる。}$$

$$m = \frac{s_b^2 + \frac{\bar{N} - \bar{n}}{\bar{N}} \cdot \frac{s_w^2}{\bar{n}}}{\sigma(\hat{p})^2 + \frac{s_b^2}{M}}$$

(5) 住生活総合調査の調査区数

平成 25 年住生活総合調査結果から、大都市圏内外別、市部郡部別の 4 層の $\hat{p}$ 、 s_b^2 、 s_w^2 、調査区数 m は表 1 の通りとなる。また、同様に、地方ブロック別の 10 層の $\hat{p}$ 、 s_b^2 、 s_w^2 、調査区数 m は表 2 の通りとなる。上記を同時に満たす調査区数 m を求めたところ、9,269 区となった。

表 1 大都市圏内外別、市部郡部別に必要な調査区数

	$\frac{\sigma(\hat{p})}{\hat{p}}$	$\hat{p}$	M	s_b^2	s_w^2	m
大都市圏 市部	0.011	0.4704	523,941	0.0717	0.2028	3,456
大都市圏 郡部	0.022	0.4379	21,677	0.0488	0.2255	762
大都市圏以外 市部	0.011	0.4761	422,147	0.0512	0.2266	2,724
大都市圏以外 郡部	0.022	0.4795	69,610	0.0451	0.2336	622

表2 地方ブロック別に必要な調査区数

	$\frac{\sigma(\hat{p})}{\hat{p}}$	$\hat{p}$	M	S_b^2	S_w^2	m
北海道	0.022	0.5126	51,023	0.0571	0.2205	626
東北	0.022	0.4890	70,062	0.0436	0.2355	587
南関東	0.022	0.4741	301,424	0.0698	0.2048	838
北関東・甲信	0.022	0.4802	72,837	0.0462	0.2321	629
中部	0.022	0.4813	114,702	0.0544	0.2227	691
北陸	0.022	0.5033	34,210	0.0471	0.2319	576
近畿	0.022	0.4661	180,886	0.068	0.2056	849
中国	0.022	0.4815	61,866	0.0514	0.2261	665
四国	0.022	0.4623	32,140	0.0535	0.2225	731
九州・沖縄	0.022	0.4871	118,225	0.0536	0.2238	669

注) 北海道 : 北海道

東北 : 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北関東・甲信 : 茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県

南関東 : 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸 : 新潟県、富山県、石川県

中部 : 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿 : 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州 : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(6)住宅・土地統計調査調査区から住生活総合調査調査区の抽出方法

上記の調査区 m は、母集団調査区 M から直接抽出するのではなく、母集団調査区 M から抽出された住宅・土地統計調査調査区から抽出した。都道府県および市部・郡部ごとに抽出率 $1/X$ を定め、 X の間隔で系統抽出した。

なお、実際には、住宅・土地統計調査の調査区の一部は、複数の調査単位区に分割されることから、住生活総合調査の調査区は、住宅・土地統計調査の調査単位区から抽出しており、調査区数は9,558区となった。

注) 系統抽出法 : 全ての抽出単位に番号を付け、ある出発点から等間隔に個体を抽出することにより標本抽出を行う方法。

3 調査世帯の抽出方法

以下の条件に従って、平成 30 年住宅・土地統計調査で調査対象となった住戸から 12 戸を系統抽出する。

- ア. 準世帯を含む世帯全体を対象とする。
- イ. 平成 30 年住宅・土地統計調査に回答している世帯とする。
- ウ. イ. のうち、調査の時期（平成 30 年 12 月 1 日）において、調査の地域内にある住宅に居住する主世帯又は同居世帯とする。ただし、同一の建物及び住宅が 3 以上ある場合は対象外とする。
- エ. イ. のうち、調査の時期（平成 30 年 12 月 1 日）において、調査の地域内にある住宅以外の建物に居住している世帯とする。ただし、住宅以外の建物に居住している世帯のうち、同一の建物で 2 以上の住宅がいる場合は対象外とする。

4 結果の推定方法

平成 30 年住生活総合調査における調査結果の推定方法は、平成 30 年住宅・土地統計調査における推計世帯数をベンチマークとする比推定とする。

(1)推計地域の単位

各都道府県の市部、郡部を単位とする。なお、市区町村の行政区域は、平成 30 年 10 月 1 日現在による。

(2)推定式

$$Z = \sum_i Z_i \quad (\text{推計結果})$$

$$Z_i = X_i T_i \sum_j C_{ij} V_{ij} S_{ij} \quad (i \text{ 推計地域の推計結果})$$

$$X_i = \frac{P_i}{T_i \sum_j C_{ij} V_{ij} F_{ij}} \quad (i \text{ 推計地域の比推定用乗率})$$

i : 推計地域

j : 住総指定調査区

T_i : i 推計地域における復元乗率

C_{ij} : i 推計地域 j 住総指定調査区内の設定単位区数 (j 住総指定調査区の復元乗率)

V_{ij} : i 推計地域 j 住総指定調査区内の調査単位区における復元乗率

S_{ij} : i 推計地域 j 住総指定調査区の調査単位区における当該集計項目の集計結果

F_{ij} : i 推計地域 j 住総指定調査区の調査単位区における集計世帯数

P_i : i 推計地域の推計世帯数 (平成 30 年住宅・土地統計調査)

$$T_i = \frac{i \text{ 推計地域の国勢調査区数}}{i \text{ 推計地域の住総指定調査区数}}$$

$$V_{ij} = \frac{\text{調査単位区内総住戸数}}{\text{調査単位区内住総調査住戸数}}$$

大都市圏構成市町村名一覧

関 東 大 都 市 圏

8	茨城県	106	さいたま市桜区
203	土浦市	107	さいたま市浦和区
204	古河市	108	さいたま市南区
208	龍ヶ崎市	109	さいたま市緑区
211	常総市	110	さいたま市岩槻区
217	取手市	201	川越市
219	牛久市	202	熊谷市
220	つくば市	203	川口市
224	守谷市	206	行田市
230	かすみがうら市	208	所沢市
235	つくばみらい市	209	飯能市
442	稲敷郡美浦村	210	加須市
443	稲敷郡阿見町	211	本庄市
447	稲敷郡河内町	212	東松山市
542	猿島郡五霞町	214	春日部市
546	猿島郡境町	215	狭山市
564	北相馬郡利根町	216	羽生市
		217	鴻巣市
9	栃木県	218	深谷市
208	小山市	219	上尾市
216	下野市	221	草加市
364	下都賀郡野木町	222	越谷市
		223	蕨市
10	群馬県	224	戸田市
207	館林市	225	入間市
521	邑楽郡板倉町	227	朝霞市
522	邑楽郡明和町	228	志木市
		229	和光市
11	埼玉県	230	新座市
101	さいたま市西区	231	桶川市
102	さいたま市北区	232	久喜市
103	さいたま市大宮区	233	北本市
104	さいたま市見沼区	234	八潮市
105	さいたま市中央区	235	富士見市

237 三郷市
 238 蓮田市
 239 坂戸市
 240 幸手市
 241 鶴ヶ島市
 242 日高市
 243 吉川市
 245 ふじみ野市
 246 白岡市
 301 北足立郡伊奈町
 324 入間郡三芳町
 326 入間郡毛呂山町
 327 入間郡越生町
 341 比企郡滑川町
 342 比企郡嵐山町
 343 比企郡小川町
 346 比企郡川島町
 347 比企郡吉見町
 348 比企郡鳩山町
 349 比企郡ときがわ町
 361 秩父郡横瀬町
 369 秩父郡東秩父村
 381 児玉郡美里町
 385 児玉郡上里町
 408 大里郡寄居町
 442 南埼玉郡宮代町
 464 北葛飾郡杉戸町
 465 北葛飾郡松伏町

12 千葉県

101 千葉市中央区
 102 千葉市花見川区
 103 千葉市稲毛区
 104 千葉市若葉区
 105 千葉市緑区
 106 千葉市美浜区
 203 市川市
 204 船橋市
 206 木更津市
 207 松戸市

208 野田市
 210 茂原市
 211 成田市
 212 佐倉市
 213 東金市
 216 習志野市
 217 柏市
 218 勝浦市
 219 市原市
 220 流山市
 221 八千代市
 222 我孫子市
 224 鎌ヶ谷市
 225 君津市
 226 富津市
 227 浦安市
 228 四街道市
 229 袖ヶ浦市
 230 八街市
 231 印西市
 232 白井市
 233 富里市
 235 匝瑳市
 236 香取市
 237 山武市
 238 いすみ市
 239 大網白里市
 322 印旛郡酒々井町
 329 印旛郡栄町
 342 香取郡神崎町
 347 香取郡多古町
 403 山武郡九十九里町
 409 山武郡芝山町
 410 山武郡横芝光町
 421 長生郡一宮町
 422 長生郡睦沢町
 423 長生郡長生村
 424 長生郡白子町
 426 長生郡長柄町
 427 長生郡長南町

	441	夷隅郡大多喜町		213	東村山市
	443	夷隅郡御宿町		214	国分寺市
	463	安房郡鋸南町		215	国立市
13		東京都		218	福生市
	101	千代田区		219	狛江市
	102	中央区		220	東大和市
	103	港区		221	清瀬市
	104	新宿区		222	東久留米市
	105	文京区		223	武蔵村山市
	106	台東区		224	多摩市
	107	墨田区		225	稲城市
	108	江東区		227	羽村市
	109	品川区		228	あきる野市
	110	目黒区		229	西東京市
	111	大田区		303	西多摩郡瑞穂町
	112	世田谷区		305	西多摩郡日の出町
	113	渋谷区	14		神奈川県
	114	中野区		101	横浜市鶴見区
	115	杉並区		102	横浜市神奈川区
	116	豊島区		103	横浜市西区
	117	北区		104	横浜市中区
	118	荒川区		105	横浜市南区
	119	板橋区		106	横浜市保土ヶ谷区
	120	練馬区		107	横浜市磯子区
	121	足立区		108	横浜市金沢区
	122	葛飾区		109	横浜市港北区
	123	江戸川区		110	横浜市戸塚区
	201	八王子市		111	横浜市港南区
	202	立川市		112	横浜市旭区
	203	武蔵野市		113	横浜市緑区
	204	三鷹市		114	横浜市瀬谷区
	205	青梅市		115	横浜市栄区
	206	府中市		116	横浜市泉区
	207	昭島市		117	横浜市青葉区
	208	調布市		118	横浜市都筑区
	209	町田市		131	川崎市川崎区
	210	小金井市		132	川崎市幸区
	211	小平市		133	川崎市中原区
	212	日野市		134	川崎市高津区

135 川崎市多摩区
 136 川崎市宮前区
 137 川崎市麻生区
 151 相模原市緑区
 152 相模原市中央区
 153 相模原市南区
 201 横須賀市
 203 平塚市
 204 鎌倉市
 205 藤沢市
 206 小田原市
 207 茅ヶ崎市
 208 逗子市
 210 三浦市
 211 秦野市
 212 厚木市
 213 大和市
 214 伊勢原市
 215 海老名市
 216 座間市
 217 南足柄市
 218 綾瀬市
 301 三浦郡葉山町
 321 高座郡寒川町
 341 中郡大磯町
 342 中郡二宮町
 361 足柄上郡中井町
 362 足柄上郡大井町
 363 足柄上郡松田町
 364 足柄上郡山北町
 366 足柄上郡開成町
 383 足柄下郡真鶴町
 384 足柄下郡湯河原町
 401 愛甲郡愛川町
 402 愛甲郡清川村

22 静岡県
 205 熱海市

19 山梨県
 206 大月市
 212 上野原市
 422 南都留郡道志村

中 京 大 都 市 圏

21	岐阜県	108	名古屋市瑞穂区
201	岐阜市	109	名古屋市熱田区
202	大垣市	110	名古屋市中川区
204	多治見市	111	名古屋市港区
208	瑞浪市	112	名古屋市南区
209	羽島市	113	名古屋市守山区
210	恵那市	114	名古屋市緑区
211	美濃加茂市	115	名古屋市名東区
212	土岐市	116	名古屋市中白区
213	各務原市	202	岡崎市
214	可児市	203	一宮市
216	瑞穂市	204	瀬戸市
218	本巣市	205	半田市
221	海津市	206	春日井市
302	羽島郡岐南町	207	豊川市
303	羽島郡笠松町	208	津島市
341	養老郡養老町	209	碧南市
361	不破郡垂井町	210	刈谷市
362	不破郡関ヶ原町	211	豊田市
381	安八郡神戸町	212	安城市
382	安八郡輪之内町	213	西尾市
383	安八郡安八町	214	蒲郡市
403	揖斐郡大野町	215	犬山市
404	揖斐郡池田町	216	常滑市
421	本巣郡北方町	217	江南市
501	加茂郡坂祝町	219	小牧市
503	加茂郡川辺町	220	稲沢市
505	加茂郡八百津町	222	東海市
521	可児郡御嵩町	223	大府市
		224	知多市
		225	知立市
23	愛知県	226	尾張旭市
101	名古屋市千種区	227	高浜市
102	名古屋市東区	228	岩倉市
103	名古屋市北区	229	豊明市
104	名古屋市西区	230	日進市
105	名古屋市中村区	232	愛西市
106	名古屋市中区	233	清須市
107	名古屋市昭和区		

234 北名古屋市
235 弥富市
236 みよし市
237 あま市
238 長久手市
302 愛知郡東郷町
342 西春日井郡豊山町
361 丹羽郡大口町
362 丹羽郡扶桑町
424 海部郡大治町
425 海部郡蟹江町
427 海部郡飛島村
441 知多郡阿久比町
442 知多郡東浦町
445 知多郡南知多町
446 知多郡美浜町
447 知多郡武豊町
501 額田郡幸田町

24 **三重県**

202 四日市市
205 桑名市
207 鈴鹿市
214 いなべ市
303 桑名郡木曽岬町
324 員弁郡東員町
341 三重郡菰野町
343 三重郡朝日町
344 三重郡川越町

京 阪 神 大 都 市 圏

24	三重県	214	木津川市
208	名張市	303	乙訓郡大山崎町
		322	久世郡久御山町
25	滋賀県	343	綴喜郡井手町
201	大津市	344	綴喜郡宇治田原町
202	彦根市	364	相楽郡笠置町
204	近江八幡市	365	相楽郡和束町
206	草津市	366	相楽郡精華町
207	守山市	367	相楽郡南山城村
208	栗東市	407	船井郡京丹波町
209	甲賀市		
210	野洲市	27	大阪府
211	湖南市	102	大阪市都島区
212	高島市	103	大阪市福島区
213	東近江市	104	大阪市此花区
383	蒲生郡日野町	106	大阪市西区
384	蒲生郡竜王町	107	大阪市港区
		108	大阪市大正区
26	京都府	109	大阪市天王寺区
101	京都市北区	111	大阪市浪速区
102	京都市上京区	113	大阪市西淀川区
103	京都市左京区	114	大阪市東淀川区
104	京都市中京区	115	大阪市東成区
105	京都市東山区	116	大阪市生野区
106	京都市下京区	117	大阪市旭区
107	京都市南区	118	大阪市城東区
108	京都市右京区	119	大阪市阿倍野区
109	京都市伏見区	120	大阪市住吉区
110	京都市山科区	121	大阪市東住吉区
111	京都市西京区	122	大阪市西成区
204	宇治市	123	大阪市淀川区
206	亀岡市	124	大阪市鶴見区
207	城陽市	125	大阪市住之江区
208	向日市	126	大阪市平野区
209	長岡京市	127	大阪市北区
210	八幡市	128	大阪市中央区
211	京田辺市	141	堺市堺区
213	南丹市	142	堺市中区

143 堺市東区
 144 堺市西区
 145 堺市南区
 146 堺市北区
 147 堺市美原区
 202 岸和田市
 203 豊中市
 204 池田市
 205 吹田市
 206 泉大津市
 207 高槻市
 208 貝塚市
 209 守口市
 210 枚方市
 211 茨木市
 212 八尾市
 213 泉佐野市
 214 富田林市
 215 寝屋川市
 216 河内長野市
 217 松原市
 218 大東市
 219 和泉市
 220 箕面市
 221 柏原市
 222 羽曳野市
 223 門真市
 224 摂津市
 225 高石市
 226 藤井寺市
 227 東大阪市
 228 泉南市
 229 四條畷市
 230 交野市
 231 大阪狭山市
 232 阪南市
 301 三島郡島本町
 321 豊能郡豊能町
 322 豊能郡能勢町
 341 泉北郡忠岡町

361 泉南郡熊取町
 362 泉南郡田尻町
 366 泉南郡岬町
 381 南河内郡太子町
 382 南河内郡河南町
 383 南河内郡千早赤阪村

28

兵庫県

101 神戸市東灘区
 102 神戸市灘区
 105 神戸市兵庫区
 106 神戸市長田区
 107 神戸市須磨区
 108 神戸市垂水区
 109 神戸市北区
 110 神戸市中央区
 111 神戸市西区
 201 姫路市
 202 尼崎市
 203 明石市
 204 西宮市
 206 芦屋市
 207 伊丹市
 208 相生市
 210 加古川市
 214 宝塚市
 215 三木市
 216 高砂市
 217 川西市
 218 小野市
 219 三田市
 220 加西市
 221 篠山市
 226 淡路市
 228 加東市
 229 たつの市
 301 川辺郡猪名川町
 381 加古郡稲美町
 382 加古郡播磨町
 443 神崎郡福崎町

464 揖保郡太子町

29 **奈良県**

201 奈良市

202 大和高田市

203 大和郡山市

204 天理市

205 橿原市

206 桜井市

207 五條市

208 御所市

209 生駒市

210 香芝市

211 葛城市

212 宇陀市

342 生駒郡平群町

343 生駒郡三郷町

344 生駒郡斑鳩町

345 生駒郡安堵町

361 磯城郡川西町

362 磯城郡三宅町

363 磯城郡田原本町

385 宇陀郡曾爾村

401 高市郡高取町

402 高市郡明日香村

424 北葛城郡上牧町

425 北葛城郡王寺町

426 北葛城郡広陵町

427 北葛城郡河合町

441 吉野郡吉野町

442 吉野郡大淀町

443 吉野郡下市町

30 **和歌山県**

201 和歌山市

203 橋本市

209 岩出市

341 伊都郡かつらぎ町

343 伊都郡九度山町

問15 将来、住宅を相続する可能性がある方にお尋ねします。

相続する可能性がある住宅について、下の①から⑤に当てはまるものを選んで下さい。

※複数の住宅を相続する可能性がある方は、建築時期が古い順に3住宅目までお答えください。

1 住宅目	① 建て方(1つ)	0 一戸建	0 長屋建 (テラスハウスなど)	0 共同住宅 (マンションなど)
	② 現住居から利用可能な交通手段による所要時間(1つ)	0 15分未満	0 15～30分未満	0 30分～1時間未満
	③ 最寄りの公共交通機関との距離(1つ)	0 徒歩15分未満 (約1,000m以内)	0 徒歩15～30分未満 (約2,000m以内)	0 徒歩30分以上 (約2,000m以上)
	④ 建築の時期(1つ)	0 平成23～30年	0 平成13～22年	0 平成2～12年
	⑤ 相続後の活用などの意向(当てはまるもの全て)	0 住む、または建替えて住む	0 セカンドハウスなどとして利用する	0 住宅を賃貸・売却する
		0 空き家にしておく	0 さら地にする	0 その他
		0 わからない		

以降、2住宅以上相続する可能性がある場合のみ記入して下さい。

2 住宅目	① 建て方(1つ)	0 一戸建	0 長屋建 (テラスハウスなど)	0 共同住宅 (マンションなど)
	② 現住居から利用可能な交通手段による所要時間(1つ)	0 15分未満	0 15～30分未満	0 30分～1時間未満
	③ 最寄りの公共交通機関との距離(1つ)	0 徒歩15分未満 (約1,000m以内)	0 徒歩15～30分未満 (約2,000m以内)	0 徒歩30分以上 (約2,000m以上)
	④ 建築の時期(1つ)	0 平成23～30年	0 平成13～22年	0 平成2～12年
	⑤ 相続後の活用などの意向(当てはまるもの全て)	0 住む、または建替えて住む	0 セカンドハウスなどとして利用する	0 住宅を賃貸・売却する
		0 空き家にしておく	0 さら地にする	0 その他
		0 わからない		

3 住宅目	① 建て方(1つ)	0 一戸建	0 長屋建 (テラスハウスなど)	0 共同住宅 (マンションなど)
	② 現住居から利用可能な交通手段による所要時間(1つ)	0 15分未満	0 15～30分未満	0 30分～1時間未満
	③ 最寄りの公共交通機関との距離(1つ)	0 徒歩15分未満 (約1,000m以内)	0 徒歩15～30分未満 (約2,000m以内)	0 徒歩30分以上 (約2,000m以上)
	④ 建築の時期(1つ)	0 平成23～30年	0 平成13～22年	0 平成2～12年
	⑤ 相続後の活用などの意向(当てはまるもの全て)	0 住む、または建替えて住む	0 セカンドハウスなどとして利用する	0 住宅を賃貸・売却する
		0 空き家にしておく	0 さら地にする	0 その他
		0 わからない		

本調査は本紙ならびにインターネット回答も可能です。
インターネット上で回答される場合は、以下の「インターネット回答の利用者情報」をご利用ください。
詳しくは、同封資料の「インターネット回答のご案内」をご参照ください。

政府統計コード	調査対象者ID	確認コード
□□□□	□□□□-□□□□-□□□□	□□□□-□□□□

インターネット回答の利用者情報

平成30年住生活総合調査 調査票

平成30年12月1日 国土交通省住宅局

政府統計

この調査について

※この調査は、本年10月に総務省統計局が実施した「平成30年住宅・土地統計調査」にご回答いただいた世帯を対象として行う、住生活に関する意識や意向などの調査です。

※ご記入いただいた調査票は統計以外の目的に使用しませんので、ありのままをご記入下さい。

調査票の記入のしかた

1. 必ず黒の鉛筆がシャープペンシルで記入し、ボールペンや万年筆は使わないで下さい。

2. 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから再度記入して下さい。

3. 調査票は機械で読み取りますので、折り曲げたり、汚したりしないで下さい。

4. 数字やマークは、枠からはみ出さないよう、下の記入例を参考に記入して下さい。

〈マークの記入例〉

◎良い記入例 ◎悪い記入例

数字の記入例

数字1本 上につまみあげる角をつける「開じる」

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入者氏名

電話番号

10月1日時点で、現在のお住まいに住んでいましたか。

0 住んでいた 0 住んでいなかった

I 現在の住宅と、住宅のまわりの環境の評価について

問1 全員にお尋ねします。

(ア) 現在お住まいの住宅と、住宅のまわりの環境に対する総合的な満足度について、当てはまるものを選んで下さい。(1つ)

0 満足 0 まあ満足 0 多少不満 0 非常に不満

(イ) 上の(ア)のうち住宅に対する満足度について、当てはまるものを選んで下さい。(1つ)

0 満足 0 まあ満足 0 多少不満 0 非常に不満

(ウ) 上の(ア)のうち住宅のまわりの環境に対する満足度について、当てはまるものを選んで下さい。(1つ)

0 満足 0 まあ満足 0 多少不満 0 非常に不満

→(次面に進んでください)

都道府県番号 市区町村番号 調査区番号 建物番号 住宅番号 世帯番号

□□-□□□□-□□□□ □□□□-□□□□-□□□□

•	•
•	•

•	•
•	•

浴室	洗面所	玄関	廊下	トイレ	和室 押入れ
調理台 流し		食事業台所 (DK・LDKなど)			
洋室		ベランダ			

Ⅲ 今後のお住まい方について

問4 全員にお尋ねします。 今後も現在のお住まいに住み続けたいと思いますか。当てはまるものを選んで下さい。(1つ)	
☐ できれば住み替えたい	☐ できれば住み続けたい
→ (問6へ)	
問5 「できれば住み替えたい」とお考えの方に、お尋ねします。	
(ア) 住み替えの目的は何ですか。(当てはまるもの全て)	
☐ 世帯からの独立 (単身赴任、離婚などをきむ)	☐ 結婚による独立
☐ 高齢期の住みやすさ	☐ 子育てのしやすさ
☐ 使いやすいの向上	☐ 性能の向上
☐ 住居費負担の軽減	☐ 災害に対する安全性・治安
☐ 日常の買物、医療などの利便	☐ その他
(イ) 住み替えの実現はいつごろを考えていますか。おおよその時期を選んで下さい。(1つ)	
☐ 1年以内	☐ 1年先～3年以内
☐ 5年先～10年以内	☐ 10年先以降
(ウ) どのような住宅への住み替えを考えていますか。(当てはまるもの全て)	
☐ 持家	☐ 新築戸建て
☐ 借家 (施設を含む)	☐ 中古戸建て
☐ 持家、借家にこだわらない	☐ 新築、中古にこだわらない
☐ 新築共同住宅 (マンションなど)	☐ 中古共同住宅 (マンションなど)
☐ 民営の 共同住宅	☐ 公営の 戸建て
☐ 高齢者向け住宅・施設	☐ その他
☐ シェアハウスなど (共同居住型の借家)	☐ 特にこだわらない
(エ) 住み替えの実現上の課題がありますか。(当てはまるもの全て)	
☐ 資金・収入等の不足	☐ 希望エリアの物件が不足
☐ 現在の住まいの売却・賃貸	☐ 性能や周辺環境などの 情報に得にくい
☐ 信頼できる業者がいらない	☐ 特に問題はない
→ (問7へ)	

問6 「できれば住み続けたい」とお考えの方に、お尋ねします。 (ア) 現在のお住まいに住み続けたい理由は何か。(当てはまるもの全て)	
☐ 現在の住まいで満足	☐ 住み慣れている
☐ 思い入れがある	☐ 仕事の都合で転居できない
☐ 雇用や家計の先行きが不安	☐ 住み替えが面倒
☐ 住み替える理由がない	☐ その他
(イ) 将来、あなた(配偶者がいる場合は、配偶者を含めて)が現在お住まいの住宅を必要としなくなった場合、住宅はどうなると見込まれますか。(当てはまるもの全て)	
☐ 持家でないため 考えていない	☐ 子、親族などが住む
☐ リバースモーゲージ※ を利用後処分	☐ 空き家になる
☐ 子、親族などが賃貸、 売却、解体などを行う	☐ わからない
※自宅を担保に融資を受け、利用者が死亡した際、その住宅の処分により一括返済する融資	
問7 現在、持ち家にお住まいの方にお尋ねします。(持ち家でない世帯は問9へ) 今後または将来において、現在のお住まいのリフォーム・建て替えを考えていますか。 当てはまるものを選んで下さい。(1つ)	
☐ リフォーム・建て替え どちらを考えている	☐ リフォームを考えている
☐ リフォーム・建て替え いずれも考えていない	☐ 建て替えを考えている
→ (問9へ)	
問8 リフォームや建て替えをお考えの方に、お尋ねします。 (ア) リフォーム・建て替えの目的は何ですか。(当てはまるもの全て)	
☐ きれいにする(傷みを直す)	☐ 高齢期の住みやすさ
☐ 災害時の安全性の向上	☐ 性能の向上 (断熱性、省エネ性など)
☐ 広さや部屋数	☐ 子育てのしやすさ
☐ 使いやすさの向上	☐ 使いやすさの向上
☐ 親、子などの同居	☐ その他
(イ) リフォーム・建て替えはいつごろを考えていますか。おおよその時期を選んで下さい。(1つ)	
☐ 1年以内	☐ 1年先～3年以内
☐ 5年先～10年以内	☐ 10年先以降
☐ 3年先～5年以内	

(質問8の続きです。リフォーム・建て替えてみたいとお考えの方に、お尋ねしています。)

(ウ) どのようなリフォーム・建て替えていますか。(当てはまるもの全て)

☐ 設備の更新・改善	☐ 外装・内装の更新・改善	☐ 間取りの変更・増築
☐ 段差の解消・手すりの設置	☐ 窓・壁等の断熱・結露防止	☐ 壁・柱・基礎などの補強
☐ その他		

(エ) リフォーム・建て替えるを行うにあたっての課題はありますか。(当てはまるもの全て)

☐ 資金・収入等の不足	☐ 性能などの情報が得にくい	☐ 信頼できる業者がない
☐ 相談できる専門家がいない	☐ タイミング	☐ その他
☐ 特に問題はない		

問9 全員にお尋ねします。

ご自身の高齢期における子との住まい方についてどのようなものが望ましいと思いますか。

当てはまるものを選んで下さい。(1つ)

☐ 子と同居する (二世帯住宅を含む)	☐ 子と同じ敷地内、または同じ住棟内の別の住宅に住む
☐ 徒歩5分程度の場所に住む	☐ 利用可能な交通手段で片道15分未満の場所に住む
☐ 利用可能な交通手段で片道1時間未満の場所に住む	☐ その他
☐ 特にこだわらない	☐ 子はいない

問10 全員にお尋ねします。

現在の家賃や住宅ローンの返済などの住居費負担についてどう感じですか。

当てはまるものを選んで下さい。(1つ)

☐ 生活必需品を切りつめるほど苦しい	☐ ぜいたくはできないが何とかやっている
☐ ぜいたくを多少かまんしている	☐ 家計にあまり影響がない

問11 現在、住宅ローン・リフォームローンを返済している方にお尋ねします。

住宅ローン・リフォームローンの毎月返済額、ボーナス返済額（年間）を下の欄に記入してください。

※万円単位で記入してください(万円未満は四捨五入)

※ローンがない場合は0(万円)と記入してください

	毎月返済額 (ボーナスを含まない)	ボーナス返済額 (年間の合計)
	万円 □ □ . □ □ 万	万円 □ □ . □ □ 万

VI 要支援・要介護認定について

問12 全員にお尋ねします。

あなたの世帯に要介護認定などを受けている方はいますか。「いる」を選択した場合は、その要介護認定などについて当てはまるものを選んで下さい。(1つ)

※ 要介護認定などを受けている方が複数の場合は、最も要介護度などの高い方について記入して下さい。

要介護度 など	
0 いない	0 いる

0 要支援1～2 0 要介護1～2 0 要介護3～5

問13 現在、持家にお住まいの方にお尋ねします。

(ア) 現在お住まいの住宅の点検等の依頼先について、当てはまるものを選んで下さい。(1つ)

☐ 現住宅の施工業者	☐ 管理組合等が契約する業者	☐ 住宅取得時に知り合った業者
☐ 入居後に自身で探した業者	☐ 点検していない	☐ その他

(イ) 共同住宅・長屋建にお住まいの方は(イ)を回答

(イ) 毎月の住宅の管理費(管理組合費・修繕積立金を含む)の額を下の欄に記入ください。

毎月の管理費		万円
--------	---	----

※千円単位で記入してください(千円未満は四捨五入)
※支出・積立がない場合は0(万円)と記入して下さい

4万 千

図14 全員にお尋ねします。

将来、親などが住んでいる住宅を相続する可能性がありますか。当てはまるものを選んで下さい。(1つ)

☐ 相続する可能性がある	☐ 相続する可能性はない	☐ 相続するか、わからない (記入おわり)
----------------------------------	----------------------------------	--

→ (問15へ)

平成30年住宅・土地統計調査 建物調査票

資料統計調査 平成30年10月1日現在 総務省統計局 国勢統計

【数字の記入例】

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

◆調査対象はカーブハウスで、記入欄が空欄の場合は「建物番号」のみ記入してください。

◆数字の記入する欄は、右ついで記入してください。

◆住宅以外の建物については、「建物番号」のみ記入してください。

住宅と非住宅		住宅と非住宅の区分										住宅と非住宅の区分										住宅と非住宅の区分									
建物番号	住宅と非住宅の区分	住宅と非住宅の区分										住宅と非住宅の区分										住宅と非住宅の区分									
		(1) 住宅と非住宅の区分		(2) 住宅と非住宅の区分		(3) 住宅と非住宅の区分		(4) 住宅と非住宅の区分		(5) 住宅と非住宅の区分		(6) 住宅と非住宅の区分		(7) 住宅と非住宅の区分		(8) 住宅と非住宅の区分		(9) 住宅と非住宅の区分		(10) 住宅と非住宅の区分		(11) 住宅と非住宅の区分									
000000	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00								

[illegible][illegible]

23 現住居以外の住宅

(ア) 所有していますか

所有している

所有していない

(イ) 住宅の種類

(1) 居住世帯のある住宅

(2) 居住世帯のない住宅(空き家)

親族宅住用

貸家専用

売却用

その他

24 現住居以外の土地

(ア) 所有していますか

所有している

所有していない

(イ) 土地の種類

宅地・農地・山林以外の土地

宅地・農地・山林以外の土地

宅地・農地・山林以外の土地

宅地・農地・山林以外の土地

宅地・農地・山林以外の土地

宅地・農地・山林以外の土地

平成30年10月1日 総務省統計局

調査票の記入にあたっては、調査票の記入のしかたをよくお読みください。

記入には黒のボールペン又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

答えを数字で記入する欄は、右の例のように、右の方で書いてください。

例：284567890

＜調査票の記入例＞

1. 性別 ☐ 男 ☒ 女

2. 年齢 歳

3. 職業 職業

4. 収入 円

5. 家族構成 家族構成

6. 住居 住居

7. 通勤手段 通勤手段

8. 趣味 趣味

9. 運動 運動

10. 食事 食事

11. 睡眠 睡眠

12. 健康 健康

13. 生活 生活

14. 仕事 仕事

15. 収入 収入

16. 家族 家族

17. 住居 住居

18. 通勤 通勤

19. 趣味 趣味

20. 運動 運動

21. 食事 食事

22. 睡眠 睡眠

23. 健康 健康

24. 生活 生活

25. 仕事 仕事

26. 収入 収入

27. 家族 家族

28. 住居 住居

29. 通勤 通勤

30. 趣味 趣味

31. 運動 運動

32. 食事 食事

33. 睡眠 睡眠

34. 健康 健康

35. 生活 生活

36. 仕事 仕事

37. 収入 収入

38. 家族 家族

39. 住居 住居

40. 通勤 通勤

41. 趣味 趣味

42. 運動 運動

43. 食事 食事

44. 睡眠 睡眠

45. 健康 健康

46. 生活 生活

47. 仕事 仕事

48. 収入 収入

49. 家族 家族

50. 住居 住居

51. 通勤 通勤

52. 趣味 趣味

53. 運動 運動

54. 食事 食事

55. 睡眠 睡眠

56. 健康 健康

57. 生活 生活

58. 仕事 仕事

59. 収入 収入

60. 家族 家族

61. 住居 住居

62. 通勤 通勤

63. 趣味 趣味

64. 運動 運動

65. 食事 食事

66. 睡眠 睡眠

67. 健康 健康

68. 生活 生活

69. 仕事 仕事

70. 収入 収入

71. 家族 家族

72. 住居 住居

73. 通勤 通勤

74. 趣味 趣味

75. 運動 運動

76. 食事 食事

77. 睡眠 睡眠

78. 健康 健康

79. 生活 生活

80. 仕事 仕事

81. 収入 収入

82. 家族 家族

83. 住居 住居

84. 通勤 通勤

85. 趣味 趣味

86. 運動 運動

87. 食事 食事

88. 睡眠 睡眠

89. 健康 健康

90. 生活 生活

91. 仕事 仕事

92. 収入 収入

93. 家族 家族

94. 住居 住居

95. 通勤 通勤

96. 趣味 趣味

97. 運動 運動

98. 食事 食事

99. 睡眠 睡眠

100. 健康 健康

101. 生活 生活

102. 仕事 仕事

103. 収入 収入

104. 家族 家族

105. 住居 住居

106. 通勤 通勤

107. 趣味 趣味

108. 運動 運動

109. 食事 食事

110. 睡眠 睡眠

111. 健康 健康

112. 生活 生活

113. 仕事 仕事

114. 収入 収入

115. 家族 家族

116. 住居 住居

117. 通勤 通勤

118. 趣味 趣味

119. 運動 運動

120. 食事 食事

121. 睡眠 睡眠

122. 健康 健康

123. 生活 生活

124. 仕事 仕事

125. 収入 収入

126. 家族 家族

127. 住居 住居

128. 通勤 通勤

129. 趣味 趣味

130. 運動 運動

131. 食事 食事

132. 睡眠 睡眠

133. 健康 健康

134. 生活 生活

135. 仕事 仕事

136. 収入 収入

137. 家族 家族

138. 住居 住居

139. 通勤 通勤

140. 趣味 趣味

141. 運動 運動

142. 食事 食事

143. 睡眠 睡眠

144. 健康 健康

145. 生活 生活

146. 仕事 仕事

147. 収入 収入

148. 家族 家族

149. 住居 住居

150. 通勤 通勤

151. 趣味 趣味

152. 運動 運動

153. 食事 食事

154. 睡眠 睡眠

155. 健康 健康

156. 生活 生活

157. 仕事 仕事

158. 収入 収入

159. 家族 家族

160. 住居 住居

161. 通勤 通勤

162. 趣味 趣味

163. 運動 運動

164. 食事 食事

165. 睡眠 睡眠

166. 健康 健康

167. 生活 生活

168. 仕事 仕事

169. 収入 収入

170. 家族 家族

171. 住居 住居

172. 通勤 通勤

173. 趣味 趣味

174. 運動 運動

175. 食事 食事

176. 睡眠

＜数字の記入例2＞

・	・	・	8	0	2
---	---	---	---	---	---

おつめを書く
まちど

記入者 氏名	電話 番号	— —	(記入内容にわからないことがあった 場合の疑問にのみ利用いたします)
-----------	----------	-----	---------------------------------------

第2面の2欄へ→

世帯の構成

- ・ふだん住んでいる人について、もれなく記入してください（その住居を離れて3か月以上）
- ・単身赴任 出かけるなどで この住居を離れて3か月以上
- ・住み込みの家来や下宿人も含めます
- ・住み込みの従業員や下宿人は別の世帯とし、人員から除きます

(ア) 世帯人員の合計

(数字は右つめで書いてください)

(イ) 各世帯員の男女の別や年齢など

- ・年齢は 平成30年10月1日現在の満年齢を書いてください
- ・続き柄は 世帯の家計を主に支える人とその続き柄を 右の選択肢の中から選んでその番号を書いてください

		男女の別		年 齢		配偶者の有無		続き柄			
世帯の家計を主に支える人	1	男	女					あり	なし		
	2	男	女					あり	なし		
	3	男	女					あり	なし		
	4	男	女					あり	なし		
	5	男	女					あり	なし		
	6	男	女					あり	なし		
	7	男	女					あり	なし		
	8	男	女					あり	なし		

1 本人 世帯の家計を主に支える人

〔続き柄の選択肢〕

- 2 配偶者
- 3 子
- 4 子の配偶者
- 5 父母
- 6 配偶者の父母
- 7 孫
- 8 祖父
- 9 兄弟姉妹
- 10 他の親族
- 11 その他

＜調査員記入欄＞（世帯では記入しなさい）（2）へ

